



佐賀大学理工学部・
工学系研究科広報

No. 32

Scien Tech

平成 29 年 11 月
佐賀大学大学院工学系研究科

目次

I 特集記事

理工学部創立50周年記念事業（記念式典・記念講演会・記念祝賀会）を実施!!	前理工学部長 石橋 孝治	1
数理科学科この一年	数理科学科専攻長 梶木屋龍治	2
物理科学専攻この一年	物理科学専攻 青木 一	3
理工学部この1年	知能情報システム学科 奥村 浩	3
循環物質化学専攻・機能物質化学科のこの1年	循環物質化学専攻長 大石 祐司	4
「機械システム工学専攻のこの1年」	機械システム工学専攻長 佐藤 和也	5
電気電子工学専攻・電気電子工学科 この1年	電気電子工学専攻長 豊田 一彦	6
先端融合工学専攻 この1年	先端融合工学専攻長 上野 直広	7

II 国際交流

ドイツ電子シンクロトロン研究所での ILC 測定器試験について	物理科学専攻 房安 貴弘・杉山 晃	9
「国際パートナーシッププログラム～インドネシア・ボゴール農業大学との交流」	知能情報システム学科 教授 奥村 浩	10
国際パートナーシップ教育プログラムによる国際交流	循環物質化学専攻 坂口 幸一	11
佐賀大学工学系研究科と中国温州大学建築工程学院の学術交流協定	都市工学専攻 柴 錦春・根上 武仁	13

III 開かれゆく大学及び学外活動

第9回高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会	数理科学専攻 中川 泰宏	14
-------------------------	--------------	----

IV 新任教員紹介

新任教員5名の紹介		15
-----------	--	----

V 退職教員より

退職にあたって	電気電子工学専攻 西尾 光弘	18
勤続35周年を振り返って	都市工学専攻 清田 勝	19
在職32年（特に最後の3年半）を振り返って	都市工学専攻 石橋 孝治	20

VI 教育・研究成果および社会活動の一覧

(1) 受賞		21
(2) 佐賀大学が世話役となつて行つた学会・研究会一覧表		22
(3) 外国人訪問者一覧		23
(4) 社会的活動		25
(5) 留学・海外研修・国際学会参加一覧		39
(6) 博士論文テーマ一覧表		47
(7) 修士論文テーマ一覧表		48
(8) 工学系研究科研究成果一覧表		54
(a) 著書・学術論文		
(b) 資料・解説・論説・研究報告等		
(c) 特許		
(d) 講演（特別講演・一般講演）		
(e) その他（講習会等）		
(9) 国際共同研究の実施状況		158

I 特集記事

理工学部創立50周年記念事業 (記念式典・記念講演会・記念祝賀会)を実施!!

前理工学部長 石橋 孝治



石橋前理工学部長式辞

平成28年5月21日(土)の午前10時から、理工学部創立50周年記念式典がホテルニューオータニ佐賀で挙行されました。本式典には文部科学省高等教育局の北山浩士専門教育課長、佐賀県産業労働部の横尾金紹副部長ならびに佐賀県工業連合会の中村敏郎会長を来賓として迎えました。県内の市町の首長を含む自治体関係者の方々と佐賀県工業会の会員企業の皆様、さらに教職員OB、卒業生、および在校生等で総勢が210名を超える方々のご列席をいただきました。

まず、石橋孝治理工学部長の式辞に続いて、宮崎耕治学長の挨拶があり、その後、上記3名の来賓の皆様から祝辞をいただきました。佐賀県知事からのメッセージが届けられており、併せて披露されました。

穂屋下茂理工学部同窓会長から石橋学部長への記念品目録の贈呈に続き、昭和43年に機械工学科に赴任された大野信義名誉教授から「理工学部50年の思い出」の紹介があり、滞りなく記念式典が終了しました。

引き続き、株式会社三菱総合研究所理事長（第28代東大総長）の小宮山宏氏より、「プラチナ社会へのイノベーション」と題して記念講演をいただきました。産業革命以降の世界的うねりの中での我が国の開国を含む対応という歴史的な分析に始まり、未来予測をする中で我が国の現状を飽和社会と位置づけ、さらに実装による模索が必要な分野とイノベーションを起こす分野とその手立てについて“豊かさ”をキーワードとする示唆に満ちた講演を聴講いたしました。予定時間を超える熱演となりました。

記念講演会終了後、引き続き記念祝賀会を開催しました。祝賀会では、佐賀県市長会会長の秀島敏行佐賀市長、佐賀大学同窓会の金丸安隆会長、元理工学部長（前佐賀大学理事）の中島晃名誉教授を来賓としてお迎えしました。多数の式典参加者のご列席をいただきました。

まず、石橋孝治理工学部長の挨拶に続いて、秀島敏行佐賀市長と金丸安隆同窓会長から来賓祝辞をいただき、中島晃名誉教授の乾杯ご発声により、祝賀会の開宴となりました。諸所で教職員OBおよび卒業生の会話が弾んでいました。この間に葉隠れ太鼓の演奏があり、宴が盛り上がりました。

終宴近くに優秀学生の有志で構成される STEPs の活動報告がなされました。その後、理工学部後援会の秀島宣雄会長の音頭により万歳三唱が行われ、盛会のうちに記念祝賀会が閉会しました。

記念式典・記念講演会・記念祝賀会からなる一連の理工学部創立50周年事業が無事滞りなく終了し、理工学部は次の50年に向けて一歩を踏み出しました。

数理科学科この一年

数理科学科専攻長 梶木屋 龍 治

数理科学科の一年間を振り返って感じたことを以下に書きます。まず4月の保護者会、新入生オリエンテーションに始まります。新入生オリエンテーションでは、緊張した面持ちの新入生に数理科学科の先生方が教務、就職、学生生活などの説明をしました。4月には、熊本地震もありましたが、幸いにも数理科学科の学部学生、大学院生に怪我人は、いませんでした。8月10日のオープンキャンパスにおいて、数理科学科では教員による模擬講義と入試、進路などに関する質疑応答を行いました。例年、夏に高校教員と佐賀大学数学教員との交流会を開いていますが、今年も8月22日に開きました。内訳は、理工学部教員8名、教育学部教員2名、学生3名、高校教員24名でした。活発な質疑応答が行われました。さらに8月26日に保護者懇談会を開きました。保護者からいろいろな質問を受けました。成績表と「理工学部で何を学ぶか」等を手元に置いて、学生がきちんと卒業できそうであるか、就職や教員免許などについての保護者の質問にきちんと各教員が対応しました。日本数学会の最中の9月17日に数学会の会場の教室の1つで国立22大学法人数学系教室懇談会がありました。これは、数学教室を持つ22の国立大学が集まって、意見と情報の交換をする場所です。

数理科学科では、就職対策の1つとして「アクチュアリー」に力を入れています。アクチュアリーとは、大ざっぱに言いますと、保険に関係する数学の専門家のことです。保険料率や死亡率などを計算し、そこから保険料を算定し、利益を計算する専門家のことです。これは、数学の確率論や統計学と関係しています。数理科学科では、希望する学生にアクチュアリー試験を受験させて、その旅費、受験料を補助しています。今年度も1月21日に大阪での試験を4名の学生が受験しました。結果は不合格でしたが、来年度以降もアクチュアリー数学に力を入れていくことになると思います。

今年は、大学からの予算削減で数理科学科も緊縮財政にあえいでいました。特に本学科では、専門誌をたくさん購入していますが、年度契約で購入していますので、すぐに雑誌の購入中止ができなくて、そのため予算の大きな赤字を出しました。これらの赤字は、理工学部の各学科の予算からお借りすることになりました。この誌面をお借りしまして、ご協力いただきました学科にお礼申し上げます。来年度は、雑誌の購入を大幅に減らしましたので、赤字が徐々に解消できるものと考えています。3月24日に卒業祝賀会を行いました。晴れ晴れとした学生の様子を見て1年が終わったことを感じました。

物理科学専攻この一年

物理科学専攻 青 木 一

専攻長・学科主任を務めるにあたり、多くの業務で忙しくなるであろうことは覚悟していたが、1年終わって振り返ってみるに、例年通りのルーティーンワーク以外に、予期せぬ出来事が次々と生じ、それらへの対処に追われた1年だった。

まず第1に、災害、疾病。2016年4月に熊本地方で最大震度7の大きな地震が発生した。佐賀でも震度3程度の揺れを感じた。地震の少ない九州地方で、このような地震らしい地震を体験できたのは驚きであった。物理科学科・専攻の学生にも被災地域からの出身者がおり、ご家族が避難生活を余儀なくされたり、実家の家屋が損傷したりした。休みに救援のため実家に戻る学生もいたが、特に学業に支障なく学生生活を継続できたのは不幸中の幸いであった。

さらなる不幸が訪れた。前期に1名、後期に1名の教員が急遽、重篤な病状に見舞われた。本人及びご家族の心労は計り知れない。学科・専攻としても、授業や研究室教育などの教育、並びに委員会やチューター、入試などの業務の代理を他の教員に依頼しなければならなかった。もともと教員数が少ない当専攻としては、さらなる欠員は大きな痛手となった。

第2に、近年、入試、教育、卒業などに関する数値データ（例えば、入試志願者率、留年率、就職率）を用いて学科・専攻の状況が厳しく監視されるようになってきた。今年度も幾度か法人側からご指摘をうけ対応を行った。不慣れな私にとっては驚愕と緊張の連続であった。学科教員の純朴で熱い教育姿勢を尊重しつつ、数値的にも良好な学科運営を保つためには、冷静な判断が必要だと感じた。

第3に、改組、教教分離など、大きな変革が押し寄せてきた。学科の将来のあり方や存続に係る重要な問題なのだが、学科の意見を集約するのも、それを学部や大学側に伝えるのも容易ではない。また、上層部の決定に左右され、教員が疲弊してしまっているのも心配である。

第4に、予算削減、人員削減が厳しくなってきた。当専攻でも春先に空きポストを用いた補充人事を申請したが、結局そのポストは学長裁量定数に拠出することとなり、この人事は中止となった。専攻では分野のバランスを考え計画的に人事を進めており、急激な方針の変化は学科・専攻の教育活動の維持に大きな支障を与える。大学ではますます人事を進めにくくなっており、今後の見通しは見えぬままだ。

新年度となり専攻長の任期が終わりいささか肩の荷がおりたが、重要な問題の多くは未解決のまま棚上げされた状態だ。今後何らかの明るい方向性が見えてくることを願っている。

理工学部この1年

知能情報システム学科 奥 村 浩

平成28年度の知能情報システム学科／専攻での大きな動きとして、(1)学部／大学院改組への取り組み、(2)新しい教員の着任、(3)理工学部創立50周年、(4)近藤弘樹名誉教授ご逝去などがありました。

(1) 学部／大学院改組への取り組み

本学科のカリキュラムは、2003年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）によって、日本技術者

教育認定基準への適合が認定されて以来、継続認定されておりますが、近年の急激な情報・通信分野の発展や、企業側からの要請を鑑み、学部および大学院の改組を良い機会として、カリキュラムの全面的な見直しを進めております。

(2) 新しい教員の着任

6月1日付で、九州大学より上田俊（うへだすぐる）助教が着任されました。本学科／専攻としては、待望の若手教員の着任です。ゲーム理論やマッチング理論、メカニズムデザイン等を中心に研究をされています。研究・教育両面での今後の活躍に期待しています。詳しくは、本ScienTechにご自身の記事が掲載されておりますので、そちらもご一読ください。

(3) 理工学部創立50周年

理工学部は、創立半世紀を重ね、去る平成28年5月21日に、佐賀大学理工学部創立50周年記念式典、後援会、祝賀会が開催され、本学科／専攻からも現職教職員、教職院OB、卒業生ら多数ご列席されました。

(4) 近藤弘樹名誉教授ご逝去



在りし日の故近藤弘樹名誉教授（佐賀新聞より）

佐賀大学理工学部創立50周年記念式典にも元気なお姿を見せて頂いていた、近藤弘樹名誉教授が、去る平成28年9月4日にご逝去されました。享年75歳でした。近藤先生は、本学科の前身である情報科学科の発足に携われ、ご定年を迎えてからも、本学へも幾度となく足を運ばれ、研究や教育への飽くなき情熱を示されてこられました。また、本学科に対しても、数々の忌憚のないご意見や貴重なご提言を頂きました。この場を借りまして、近藤先生へ感謝の意を表すると共に、ご冥福をお祈りしたいと思います。

循環物質化学専攻・機能物質化学科のこの1年

循環物質化学専攻長 大石 祐司

前回に私が学科主任・専攻長を務めましたのは13年前の2003年度であり、大学法人化の前年でありました。そのような情勢のため、学科・専攻の新たな運営に向けて多くの準備作業があり、また、私が40半ばで若かったこともあり、学科・専攻の課題に懸命に対応していたことが思い出されます。しかし、今回は私も年若い体力・気力も衰えまして、現在の課題に十分に組み合わせたとは恥ずかしながら申せません。ともかくも、入口・出口の改善を掲げて2016年度の学科運営を何とか務めさせて頂いた次第です。

入口、すなわち受験者数の引き上げ対策につきましては、「前年度から開始しました、教員が手分けして佐賀県と福岡県の高等専門学校及び高等学校に訪問して学科を紹介することを継続」、「学科ホームページを受験者に分かり易く全面改修」、「高等学校の生徒に実験を体験、また研究室を見学してもらう」を実行するとともに、本学主催の「オープンキャンパス」、「ジョイントセミナー」に協力しました。また、出口、すなわち就職対策につきましては、「教員が手分けし企業訪問して学科・専

攻の紹介」,「企業就職希望者のための卒業生による説明会に加えて, 教員や公務員を志望する学生のための説明会」,「さが地方創生合同就職説明会」を新規に実施しました。入口・出口対策以外では, 2017年度改組に向けての新学科・新専攻の組織や教育内容の立案作業を行い, 多数の先生方のご尽力により改組案は何とかまとめあげました。地域・社会貢献では,「多くの受講生があった, ものづくり技術者育成講座」,「地域企業が集結した工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」,「化学教育協議会と連携した佐賀県理科・化学教育研究発表会」,「連携大学院交流セミナー」,「公開講座」,「市民講座」,「地域高等学校の依頼を受けた SSH 事業に係る大学研修」に参加, 国際交流として「遼寧大学や大邱大学との国際パートナーシップ」を実行しました。また, 教員の手厚い指導により学生の留学が活発であり, 当学科・専攻の留学学生数は学部・研究科の中で際立って多くなっています。その他には,「多種多数の入学試験」,「卒修論の中間・最終研究発表会」を実施するとともに,「新入生や3年生の合宿研修」,「学生要望書に対する回答」,「学業成績優秀者表彰」の実施に基づき, 在学生の修学・生活面を学科・専攻教員で支援しました。

最後に, この1年間を特に問題なく終えることができましたことは, 学科教員を含め数多くの方々にご教授・ご助力頂きました御陰であります。ここに厚く御礼申し上げます。

「機械システム工学専攻のこの1年」

機械システム工学専攻長 佐藤和也

2016年度の機械システム工学科・専攻は94名の学部新入生と7名の編入学生, 41名の大学院新入生(機械システム工学専攻と先端融合工学専攻機械系を含む)を迎えることでスタートいたしました。新入生オリエンテーションでは, これから迎える大学生生活が楽しみな反面, 新しい生活への不安も垣間見られましたが, その後, 徐々に大学生生活に馴染んでいく様子が伺えました。

年次進行で講義や様々な行事が進んでいきましたが, 最大の懸案事項としては11月に実施予定であった JABEE 実地審査であったように思います。本学科は学部教育において2006年に日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定基準に適合することが認定されていますが, 2007年の中間審査, 2010年の継続審査, 2013年の中間審査を受審ののち, 認定継続のための実地審査が11月に予定どおり実施されました。その準備のために多くの時間を割くこととなり, 特に JABEE プログラム責任者の石田先生には入念なご準備をしていただきました。その結果, 実地審査において良好な審査結果が得られ, 無事に6年認定となり, 本学科の教育が高い水準に維持されていることが改めて確認されました。

つぎに大きな懸案事項として, 2018年度に実施予定の工学研究科・学部の改組に向けての取り組みが挙げられます。前回の改組から15年近くが経ち, 大学院組織も含めた改組案が提示され, 40回以上にも及ぶ改組委員会の会議とともにたくさんの資料作りがなされました。改組委員である服部先生, 教務委員である仮屋先生にたくさんのご尽力をいただきました。

12月頃まで JABEE 実地審査や改組案作成のために慌ただしい日々を過ごすこととなりましたが, 学科内では特に大きな問題が起きることなく過ごすことができました。

2017年を迎え, 昨年同様に本年も春の到来が遅く, 2017年3月24日の学位授与式が挙行されました。今年も桜の開花が少し遅く, 少しさみしいものとなりましたが, 2016年度の機械システム工学科の学部生93名, 機械システム工学専攻の博士前期課程35名, 先端融合工学専攻機械系の博士前期課程9名

の卒業生・修了生を無事に送り出すことができました。謝恩会ではようやく卒・修了に辿り着けた安堵の顔とともに、社会人生活を迎えることに多少不安な様子を伺うことができました。これまでの卒・修了生と同様に、学生時代に培った能力を企業エンジニアとして発揮してくれるものと期待するところです。

団塊の世代が定年を迎える近年、機械システム工学専攻においても教員の世代交代が進んでいます。2016年度をもって長年、学科の教育・研究と運営にご尽力いただきました瀬戸口俊明先生がご退官を迎えられました。

本学科・専攻は機械システム工学専攻の教職員、先端融合工学専攻の教員、さらに海洋エネルギー研究センターの教員により運営されており、皆様のご協力により2016年度も大きな問題もなく終えることができました。皆様に支えていただいたことに深く謝意を表して本稿の結びといたします。

電気電子工学専攻・電気電子工学科 この1年

電気電子工学専攻長 豊田 一彦

桜の花が満開になる頃、無事1年間の専攻長・学科主任の任務を終えることができました。ご協力頂いた専攻・学科ならびに工学系研究科の皆様にお礼を申し上げます。

この1年の大きな変化と言えばやはり改組に向けた取り組みと予算削減の影響であろう。今回の改組では、ソフトウェアに強いハードウェア技術者とハードウェアに強いソフトウェア技術者を育成するというコンセプトのもとに電気電子工学専攻・学科と知能情報システム学専攻・学科を一体化することを一つの目玉とした。これは、IoTやIoE、あるいは、超スマート社会といったキーワードで表される情報通信技術を核とした社会の形成に向けた必然的な改革であり、産業界の要請に応えるとともに学生にとってもより魅力的な専攻・学科とするものである。カリキュラム編成にあたっては、授業科目の大きな変更と専攻・学科間の調整が必要であり、教務委員を中心としたタスクフォースのメンバーには大変尽力頂いた。しかしながら、科学技術が細分化し急激に変化する中、多様な分野に即応できる広い視野と知識を持った人材の輩出が求められており、本稿脱稿直前にさらに大胆な組織改革が求められることになった。この改組により佐賀大学がますます発展することを確信している。

一方、研究費の削減は衝撃的であった。各教員の身を切る自助努力によりそれほどアクティビティを落とすことなく研究活動を継続できているようではあるが、それも限界に近いと感じる。ヒト・モノ・カネは組織活動の根幹であり、これをなくして組織の存続は難しい。このような事態に対応するためには外部資金の獲得が必須であるとは言うものの、日本全体でどれほどの無効労働が発生し、不採択書類の山が築かれているかと思うと、日本の学問の将来を憂えずにはいられない。

大学としては非常に厳しい状況にあるが、就職状況は好調であり、学生たちにとってはよい世の中に向かっているようである。今年度は、企業の採用意欲も高く700社を超える求人があり、公務員浪人を出すこともなく真に100%の就職率を達成した。これは、150社を超える企業を学内会社説明会に誘致するなど、就職担当教授の努力の賜である。また、学生支援室などと連携することにより障がいのある学生も専門知識を活かせる職業に就くことができた。これはこれまでに例のないことであり特筆に値する。電気電子工学専攻・学科の面倒見の良さを示す好事例であろう。

教育面では、JABEEの継続審査に向けて新しい体制での活動を開始した。継続審査では新基準が

適用されるため、これまでの取り組みを維持発展させていくことが求められる。引き続き、学科一体となった取り組みをお願いしたい。また、本専攻・学科の学生が学会等から多くの表彰を受けたことも印象深い。

入試の関係では、産業界の女性技術者に対するニーズに応えるべく、オープンキャンパスで女子学生が活躍している姿をアピールするなど女子学生増に向けて活動した。その甲斐あってか平成29年度は11名の女子学生を迎えることができた。一方、平成29年度入試では、入学辞退者が多かったのも印象的であった。しかしながら、その理由がもともと医学部志望であったので浪人するというものが多く、入学してもらえなかったことは残念ではあるが、ポテンシャルの高い生徒が受験しているという点では明るい材料ではないかと思う。

専攻・学科の運営にあたっては、21回の教室会議、26回の教授会議を開催し、教員相互のコミュニケーションを図り、皆が忌憚なく意見を述べられる風通しのよい運営に配慮した。また、オープンキャンパスや後援会、卒業研究・修士論文の発表会などは先端融合工学専攻電気系の教員と協力して実施した。担当教員のリーダーシップと皆の協力により円滑に実施することができた。

今年度は、西尾光弘教授が定年退職を迎えることとなった。41年の長きにわたって教育研究に尽力されるとともに、重鎮として専攻・学科の運営に貴重なご意見を頂いたことに深く感謝申し上げます。また、年度はじめに熊本で大きな地震があり、実家などが被災した学生もいた。ここで改めてお見舞い申し上げます。

先端融合工学専攻 この1年

先端融合工学専攻長 上野直広

平成28年は、佐賀大学理工学部にとって50周年の節目の年であった。その中で、本専攻は設置から6年を経たにすぎず、まだまだ若い専攻であるが、本年は新しい試みが充実し実を結び始めた年であったように思う。

まず、教員人事においては、平成28年4月1日に循環物質専攻から藤澤知績特任講師が着任された。若手の戦力として、研究の発展に期待が寄せられている。

教育については、平成26年度に新設された「プロジェクトスタディ」が3回目の実施となった。これは専門分野の異なる学生が一つのグループを形成し、機械系、電気系、化学系の教員から、それぞれの分野の課題を与えられて、互いに協力しながら問題解決に挑むものである。開始当初は教員にも課題設定など戸惑いがあったものの、かなりこなれてきたように思う。授業評価アンケートの結果では、時間外学習が全体平均より高く、学生の取り組みに対する意欲が表れていると考えられる。ただ、満足度がやや低い結果となっており、今後の運用などに工夫が必要であろう。

一方、課題の一つとして毎年頭を悩ませるのが、博士前期課程入試での定員充足問題である。教育面では異分野の融合がメリットとして生きてくるが、学生募集の観点からは寄り合い所帯のデメリットがどうしても発生してしまう。高専や他大学への広報などの努力も行っているが、限界もあるのが実情であり、本専攻単独では解決が難しい問題である。

研究面では、研究費削減が大きな課題となった。国からの運営交付金が毎年削減される中で、研究費が減少していくのはやむを得ないことであり、いかにして外部から研究費を導入するのか、その戦

略が求められている。本専攻の分野融合のスタイルは、体制をうまく構築できれば外部資金獲得につながる可以考虑が、残念ながら未だそのメリットを活かしているとは言えない状況である。今後、外部資金獲得へ向けた組織的な協業の仕組みを構築していくことを、課題の一つとして問題提起したい。

また、国際交流では、本専攻の竹下准教授（平成29年4月1日付で教授へ昇任）が交流メンバーの一員となり、フランス国リール第一大学との学部間学術交流協定締結に向けて手続きが進捗している。新たな国際交流の展開として期待される。

最後に、基盤技術の融合という本専攻のスタイルが、社会において活躍する人材を生み続けることを期待して、この拙文を締めくくりたい。

Ⅱ 国際交流

ドイツ電子シンクロトロン研究所での ILC 測定器試験について

物理科学専攻 房安貴弘・杉山晃

物理科学専攻・高エネルギー研究室では、素粒子物理の将来計画である「国際リニアコライダー計画」(ILC)の実現に向け、粒子線測定器の開発研究を行っています。中でも、生成された荷電粒子がガスを電離する作用を利用して、粒子の飛跡を3次元で測定する TPC (Time-Projection Chamber) と呼ばれる測定器の開発に取り組んでいます。

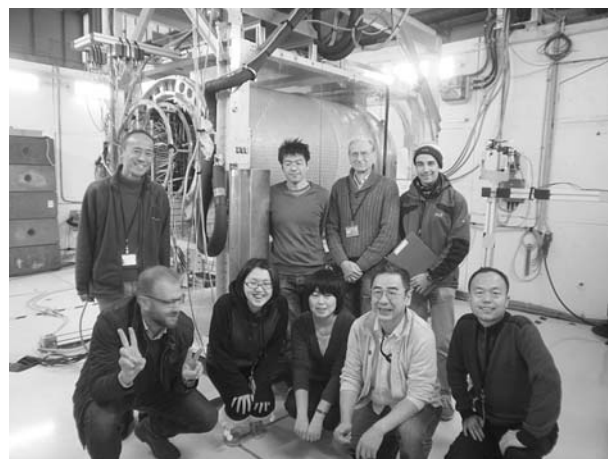
開発がある程度進むと、測定器のプロトタイプを加速器施設に持ち込み、加速器からのビームを用いた試験(ビームテスト)を行います。今回、検出器の端部で副次的に生成される陽イオンを、検出器本体への逆流から防ぐフィルタの開発に成功し、これを装着した状態での試験を行うこととなりました。どこの加速器を使うかは、目的に応じて選ばなくてはなりません。本研究室および共同研究グループでは、ハンブルグにあるドイツ電子シンクロトロン (DESY) 研究所の施設をしばしば利用しており、こちらを今回も訪問することとなりました。

ビームテストは、現地での準備2週間および実験2週間(2016年10月31日~11月13日)で、トータル約1ヶ月に渡ります。また、多くの共同研究者の方々の協力を必要とします。日本からは、本学のほか高エネルギー加速器研究機構、総研大、岩手大、近畿大、東北大から、スタッフ5名および学生3名が参加しました。また、現地 DESY 研究所のスタッフはもとより、サクレー原子力庁センター、ルント大学、中国科学院高能物理研究所、ジーゲン大学からも参加いただきました。滞在期間は個別事情によりマチマチですが、最終的に総勢20人による実験となりました。

奇しくも、本学・電気電子工学専攻を休学してドイツ・ジーゲン大学に留学中の木原大輔さんも、今回の実験に参加してくれました。どうして他専攻の学生さんにご縁ができたのかというと、前年まで当研究室で研究員を務めていた池松克昌氏が、地域活動で木原さんと知り合い、前任校であったジーゲン大学への留学を勧めたというのが経緯です。今回、ドイツで実験をすることになっ

たので、一緒に参加してはどうかと、池松氏が誘ってくれたのでした。

学術誌ではないので、実験結果の詳細は控えますが、ごく簡単に述べると、上述の陽イオンフィルタを装着した状態であっても、見たい電離電子の信号は十分に収集



ビームテストエリアにて。後方にあるのは1テスラの磁場を生成する超電導マグネットで、その中に TPC 検出器を設置している。写真の右斜め前方から電子ビームを照射する。本研究室からは、日本グループリーダーの杉山(前列右から2番目)および房安(後列左から1番目)が参加。



実験中は放射線管理区域であるテストエリアから退出し、隣接するコントロールルームから制御およびデータ取得を行う。そのコントロールルームの様子。

することができ、以前と遜色ない精度での飛跡測定結果を得られました。これは、ILC用TPC検出器のいくつかの大きな技術的課題の一つでしたので、ILC計画の実現に向けて、大きく1歩進めることが出来たと思います。

残念ながら旅費の捻出に苦勞し、研究室の大学院生を連れていくことが出来ませんでした。房安の旅費については、本学・研究者海外派遣事業から支援していただき、出張することが出来ました事を感謝し、ここに報告とさせていただきます。



ビームテスト期間中に、DESY 研究所内で陽イオンフィルタに関するミニワークショップを開催した。右から3番目はジーゲン大学に留学中の木原さん。

「国際パートナーシッププログラム ～インドネシア・ボゴール農業大学との交流」

ボゴール (Bogor) は、インドネシアの首都ジャカルタがあるジャワ島の西部、首都ジャカルタから南へ約44 km に位置する都市で、市の中心部に広大な植物園を有する高原避暑地です。ボゴール農業大学 (Institut Pertanian Bogor (IPB)) は、1963年に設置された国立大学で、現在、ボゴール市郊外の Dramaga に本部とメインキャンパスが、市内中心部のショッピングモール Botani Square 近接の Baranangsiang キャンパスに、農学・獣医学・水産海洋学・畜産学・林学、農業工学、数学自然科学、経済経営学、人間生態学の9学部を有します。その中でも、数学自然科学部コンピュータサイエンス学科は、知能情報システム学科と研究・教育両面で非常に関係が深く、教員や学生の相互交流が盛んです。

本稿では、平成24～27年度の4年間に渡り、国際パートナーシッププログラムに採択された小さな国際交流の様子をご紹介します。詳細は、各年度の国際パートナーシッププログラム実施報告書をご覧ください。

●平成24年度 (責任者: 新井康平名誉教授, 招聘)

本プログラムの初年度は、IPBの教員と大学院生3名を佐賀大学本庄キャンパスに招聘し、教員による講義、学生による研究発表、ディスカッションなどを行いました。時間外には、新井名誉教授が企画した佐賀市内ウォーキングツアーなどを開催し、両大学のメンバー間の交流を深めることができました。

知能情報システム学科 教授 奥村 浩



写真1: ピラミッド形状が特徴の IPB Headquarter Office



写真2: 平成24年度参加メンバー

●平成25年度 (責任者: 奥村, 派遣)

初年度が、IPBの教員と大学院生を佐賀大学へ招聘したので、2年目は、私が知能情報システム学専攻の大学

院生3名を引率し、IPBを訪問し、ボゴール農業大学および佐賀大学のジョイントワークショップ、教員による講義、学生による研究発表、教員間ディスカッションなどを行いました。

初めての海外旅行となった大学院生の1名が、初日にパスポートを紛失したり、市内のデモと交通渋滞のため2時間で着くはずのジャカルタ＝ボゴール間が6時間以上かかるなど、トラブルもありましたが、IPBスタッフが最大級の歓待をしてくれたおかげで、私も学生も大変快適かつ有意義な滞在となりました。(パスポートは、後日奇跡的に持ち主に戻りました。)



写真3：ジョイントワークショップ参加者

●平成26年度（責任者：奥村，招聘）

本プログラムの3年目は、IPBの教員と大学院生4名を、佐賀大学本庄キャンパスに招聘し、教員による講義、学生による研究発表、ディスカッションなどを行いました。また、学部の科学英語IIの講義に特別ゲストとして参加してもらい、知能情報システム学科3年生の英語のプレゼンテーションを評価して頂きました。プログラム終了時に手作り修了証を発行したり、時間外には、私が日本料理店の料理長に特別にお願いして、イスラム教徒が食べられる食材だけを用いたミニ懐石料理のバンケットを開催し、大変高評を頂きました。



写真4：石橋前学部長への表敬訪問



写真5：修了証の授与の様子

●平成27年度（責任者：奥村，招聘）

本プログラムの4年目は、本来なら学生派遣の年度ですが、私が就職担当に当たっていたため、IPBの教員2名と大学院生3名を、佐賀大学本庄キャンパスに招聘し、教員による講義、学生による研究発表、ディスカッションなどを行いました。また、参加学生に高評を得ていた、学部の科学英語IIへの特別ゲスト参加、プログラム終了時の修了証発行、ミニ懐石料理のバンケットを開催しました。

国際パートナーシップ教育プログラムによる国際交流

循環物質化学専攻 坂口 幸一

平成28年10月30日から11月2日にかけて、佐賀大学にて韓国の大邱大学を迎えて、「先端材料化学」をテーマに、国際パートナーシップ教育プログラム（本学大学院工学系研究科循環物質化学専攻における開講科目「循環物質化学特別講義II」の集中講義）並びに The 11th Saga University- Daegu University Joint Symposium（第11回

佐賀大学—大邱大学ジョイントシンポジウム）を開催しました。本国際パートナーシップへは、本学から6名の教員と19名の学生、Joint Symposiumに15名の教員と38名の学生が参加し、大邱大学からは5名の教員と13名の学生が参加しました。本学からは、大渡啓介教授、高椋利幸教授、坂口幸一准教授、川喜田英孝准教授、森貞真

太郎准教授、藤澤知績講師、Ramachandra Rao Sathuluri 博士が、大邱大学からは Seoung Ho Lee 助教、Jun Ho Shim 助教、Chang Woo Lee 准教授、Kyung Ryang Wee 助教、Heon-Jung Kim 准教授が講義を行いました。また、Chang Woo Lee 准教授の講義は総合分析センターのセミナーと共催し、学内センターとの連携も行いました。さらに前回からの新たな試みである学生の口頭発表 Student oral session を実施した。Student oral session では、本学から2名の学生、大邱大学から2名の学生がそれぞれ英語による口頭発表を行いました。

第11回佐賀大学一大邱大学ジョイントシンポジウムでは、ポスター概要紹介の Short presentation を実施し、4年生3名を含む35名の学生が数分程度の英語口頭によるポスターの概略紹介を行いました。双方の学生にとって、ポスターのみならず口頭でも英語で発表を行う機会となり、国際化に向けて良い経験となっています。52件のポスター発表が行われたポスターセッションは会場のいたるところで活発な議論が行われ、時間が足りないほどの非常に盛況なポスター発表となりました。学生による口頭発表及びポスター発表に対して、本シンポジウムに参加した教員による審査を行い、Presentation award 及び Poster award を選出し、かささぎホールで行った Banquet にて表彰を行いました。

一方で、来日一日目には Welcome Reception として

バーベキューパーティーを行い、2日目の昼食では STEPs の学生との会食を行い、学生同士の交流を果たしました。また、佐賀の理解を深める目的でエクスカーションとして、2016佐賀熱気球世界選手権ツアーを企画しました。朝の5時半集合かつ気球が飛ばず、延期といったアクシデントも生じた中で、佐賀のイベントを体験してもらうことができました。教育だけでなく文化の面でも同時に交流できたことは成果の一つであると考えています。

本パートナーシップを起点として、坂口准教授と Jun Ho Shim 助教が共同研究を行っており、今後の共同研究の進展に向けて、情報交換を行うこととなっています。今後は研究成果を積み上げ、日本や韓国の研究費への申請を模索していきます。

本プログラムは、国際交流の点で大きな貢献があり、佐賀大学が世界で通用する研究を行う上で、共同研究を行う機会や学生の教育的効果は極めて大きい。国際的共同研究は始めるきっかけを必要としており、その機会を継続的に提供するために今後も本プログラムが継続されることを望みます。また、本プログラムのさらなる活用・発展に努力し成果を挙げられるよう努めていきます。

最後に本国際パートナーシップ教育プログラムを実施するにあたり、工学系研究科の平成28年度研究科長経費（国際パートナーシップ教育プログラム経費）のご支援を



機能物質化学科教員との会食集合写真



Banquet 集合写真



ポスターセッションの様子



エクスカーション(2016佐賀熱気球世界選手権ツアー)

頂き、また、機能物質化学科並びに総合分析センターの
教員・事務職員、工学系研究科の事務職員の方々に様々

な面で支えて頂いたことに、この場を借りて感謝申し上げ
ます。

佐賀大学工学系研究科と中国温州大学建築工程学院 の学術交流協定

都市工学専攻 柴 錦 春
都市工学専攻 根 上 武 仁

2017年2月28日に工学系研究科と中国浙江省立温州大学建築工程学院との学術交流協定を締結しました。締結式は温州大学建築工程学院の会議室で行われました。温州大学側は国際交流担当副学長銭強（Qian Qiang）教授、温州大学科学技術部副部长盧立珏（Lu Lijue）教授、建築工程学院長孙林柱（Sun Lin Zhu）教授、副院长張敏（Zhang Ming）教授、副院长王軍（Wang Jun）教授、国際交流課主任熊勇（Xiong Yong）先生らが列席し、佐賀大学柴錦春教授、根上武仁講師が石橋孝治研究科長の代理として出席しました。式は温州大学銭強副学長の挨拶、研究科長代理柴錦春教授の挨拶、温州大学建築工程学院長孙林柱の挨拶後、石橋研究科長署名済の協定書に、孙林柱院長が署名を行い、協定書を交換しました。

温州大学建築工程学院との研究交流の始まりは2015年3月でした。温州は佐賀のように軟弱な粘性土地盤に位置しています。軟弱地盤改良に関する研究テーマについて共同研究を行ってきており、既に2篇の共著論文を発表しています。また、これまでに柴錦春教授が4回温州大学を訪問し、3回の講演を行っています。2015年11月には、温州大学建築工程学院から4名の教員が佐賀大学を訪問し、現在、王鵬（Wang Peng）准教授は工学系研究科の訪問准教授として滞在中（2016年12月～2017年6月）です。今後は、地盤工学以外にも構造工学、都市計画、建築設計等の分野の交流を計画しています。



会談の様子



交流協定交換式

Ⅲ 開かれゆく大学及び学外活動

第9回高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会

数理科学専攻 中川 泰宏

2016年8月22日（月曜日）15：30より、理工学部6号館310講義室にて「第9回高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会」を開催しました。

対象は、佐賀県内の高等学校および福岡県内南部（筑後地区+福岡地区第5学区）の「佐賀大学に一定数以上入学している」高等学校であり、実際の参加者は、本学13名（理工数理：8名+教育：2名+学生：3名）と高校から24名（その内訳は、佐賀県高等学校：

伊万里高等学校（2名）

小城高等学校（2名）

鹿島高等学校（1名）

神崎高等学校（2名）

巖木高等学校（1名）

佐賀北高等学校（1名）

佐賀西高等学校（1名）

佐賀東高等学校（1名）

白石高等学校（3名）

致遠館高等学校（2名）

龍谷高等学校（2名）

早稲田佐賀高等学校（1名）

福岡県高等学校：

久留米高等学校（1名）

筑紫高等学校（2名）

三池高等学校（2名）

でした。

内容は以下のとおりです。

1. 平成28年度佐賀大学数学入試問題の背景説明
2. 平成28年度佐賀大学数学入試問題の学術的背景
3. 質疑応答

質疑応答では、誘導問題の必要性や、新たにカリキュラムに入ってきた複素数に関する教育などについて議論されました。それから教員志望の4年生より、

- (a) 大学のときに身につけておいたほうが良いことは何か？
- (b) 講師をやりながら採用試験を受けようと思うのだが、講師の時には何をすれば良いか？

という質問があり、高校教員に答えていただきました。

またアンケートにおいて、教員を目指している学生に対するアドバイスをお願いしたところ、

- (1) 数学（特に線形代数や微積分）をしっかりと勉強しておくこと。
- (2) 大学入試への指導のときに困らないように数学の力をつけておくこと。
- (3) コミュニケーション能力を身につけておくこと。
- (4) 大学レベルの数学から見た背景を知っていて指導できるかどうかが大事成ってくる。
- (5) 数学に関する雑学を学んでおくこと。
- (6) 数学を苦手としている生徒が多い学校に勤める場合もあるので、そのような生徒に対してどのように指導するのも考えておいて欲しい。
- (7) 数学のおもしろさを心から感じてほしい。
- (8) 常勤講師をしながら採用試験を勉強する時間はあまりないので、教職教養、一般教養などは大学生のうちにその土台をしっかりと身につけておいたほうが良い。

というアドバイスをいただきました。

IV 新任教員紹介



中村健太郎

(数理科学科)

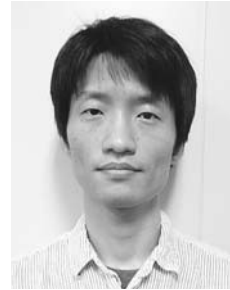
2016年1月に数理科学科専攻の准教授として着任いたしました。専門は整数論で、 p 進 Hodge 理論に興味を持ち、これまでは p 進体の絶対ガロア群の p 進表

現についての研究を主に行ってきました。

2008年に学位を取った後、佐賀大に赴任するまでの約8年間、任期付きの身分が不安定な研究員、特任助教として苦しい思いをしてきましたので、今回佐賀大で初めての任期なしの職を得ることができ大変嬉しく思っております。このような経緯での赴任のため、教育経験がほぼゼロの状態で行なうことになったのですが、人にものを教えることの難しさを日々痛感しつつも、理解してもらえてる場合もたまにあり嬉しい、といった感じで佐賀大での充実した教員生活を送らせていただいております。至らぬ点は多々ありますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

略 歴

- 2003年3月 東京大学理学部数学科 卒業
- 2005年3月 東京大学数理科学研究科数理科学専攻修士課程・博士前期課程 修了
- 2008年3月 東京大学数理科学研究科数理科学専攻博士課程・博士後期課程 修了
- 2008年4月 東京大学大学院数理科学研究科 GCOE 特任研究員
- 2008年4月 東京電機大学 非常勤講師 (2010年3月まで)
- 2009年4月 東京大学大学院数理科学研究科 研究生
- 2009年7月 慶應義塾大学理工学部数理科学科 特任助教
- 2011年11月 北海道大学大学院理学研究院数学部門 特任助教
- 2016年1月 佐賀大学大学院工学系研究科数理科学専攻准教授
- 現在に至る



山内 一宏

(物理科学専攻)

2016年2月に物理科学専攻の特任助教として着任いたしました。山内一宏と申します。専門は凝縮系物理学の実験で、主にミュオンスピン回転/緩和法と

核磁気共鳴法を用いて、磁性体中で現れる新奇な秩序状態、基底状態の研究を行っております。前任地までは、

(任期付きであることを忘れれば) 気楽な研究員として自分の研究を進めることだけを考えておりましたが、佐賀大学に着任してからは少しずつ学生の指導も始めました。教育の難しさと、学生と共に物理を研究することの有意義さを感じながら日々を過ごしております。今後ともよろしくお願いいたします。

略 歴

- 2004年3月 徳島大学総合科学部自然システム学科卒業
- 2006年3月 名古屋大学大学院理学研究科 博士前期課程修了
- 2009年3月 名古屋大学大学院理学研究科 博士後期課程修了
- 2008年4月 学振特別研究員 名古屋大学大学院理学系研究科
- 2010年4月 学振特別研究員 東京大学物性研究所
- 2012年11月 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 博士研究員
- 2015年11月 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 研究員
- 2016年2月 佐賀大学大学院工学系研究科 特任助教
- 現在に至る

上田 俊

(知能情報システム学専攻)

2016年6月に知能情報システム学専攻の助教として着任いたしました。専門はゲーム理論で、特に協力ゲーム理論における提携形成問題やマッチング理論の



研究に従事してきました。ゲーム理論は人の行動を定式化し予測するという数学理論で、経済学や政治学の分野で盛んに研究されています。近年、人工知能研究の中で計算機科学・情報学分野でもゲーム理論を用いる研究が行われるようになり、経済学等の他分野とのコラボレーション・文理融合の研究ができる面白いテーマです。(と私は思っています。)

出身は北九州で、九州大学で学位を取り、はじめて教員として佐賀大学に採用されました。学生の指導や研究等、佐賀大学の教員として励んでいきたいと考えています。今後ともご指導のほど、よろしく願いいたします。

略 歴

2009年 3月 九州大学工学部電気情報工学科単位取得退学
 2011年 3月 九州大学大学院システム情報科学府情報学専攻修士課程修了
 2013年 7月 九州大学大学院システム情報科学府情報学専攻博士課程修了
 2014年 4月 国立情報学研究所特任助教
 2015年 4月 九州大学大学院システム情報科学研究院学術研究員
 2016年 6月 佐賀大学大学院工学系研究科知能情報システム学専攻助教
 現在に至る



富永 昌人

(循環物質化学専攻)

2016年4月に循環物質化学専攻の教授として着任しました。専門は電気化学です。特に、金属表面を有機単分子膜で修飾した機能化電極の創成や、それを

生体分子との電子授受コミュニケーションに応用した生物電気化学を得意とします。応用例として、酵素の酸化還元反応の様子を電流値として検出することができます。携帯型血糖値センサは同様の原理で作動します。また、酵素を触媒にした燃料電池の基礎研究にも取り組んでいます。金属電極のみならず、カーボン電極の機能化とその応用についても研究を展開しています。ワンポットで作製した単層カーボンナノチューブ複合電極を用いたセンサなどを開発しています。最近では、微生物を触媒パッケージとしてとらえた「泥の電池」(微生物燃料電池)の開発も行っており、泥の浄化を促進するとともに、電力を得ることが可能です。

着任当初は、カルチャーショックを受けることも多かったのですが、所属専攻の先生方のあたたかいご支援によって、だいぶんそれも柔らかくなっていったのではないかと推察しています。佐賀大学の発展のために、微力ですが一生懸命取り組む所存です。どうぞ今後とも変わらぬご指導をお願い致します。

略 歴

1989年 3月 熊本大学工学部工業化学科卒業
 1991年 3月 熊本大学大学院工学研究科工業化学専攻修士課程修了
 1994年 3月 熊本大学大学院自然科学研究科生産科学専攻博士課程 修了
 1994年 4月 Georgia Institute of Technology (USA) 博士研究員
 1994年 8月 長崎大学工学部応用化学科 助手
 日本学術振興会特別研究員
 Ames Laboratory-Department of Energy (USA) 客員研究員
 1998年 4月 熊本大学医療技術短期大学部 助手
 熊本大学医学部保健学科 助手
 2003年11月 熊本大学工学部物質生命化学科 助手
 熊本大学大学院自然科学研究科 助教
 2011年 1月 熊本大学大学院自然科学研究科准教授
 2016年 4月 佐賀大学大学院工学系研究科 教授
 現在に至る



大島 孝仁

(電気電子工学専攻)

2016年2月1日に電気電子工学専攻の特任助教として着任致しました。専門は、半導体結晶工学、半導体工学、デバイス工学であり、新規パワー半導体で

ある酸化ガリウムを用いて、材料優位性のあるパワーデバイスや深紫外光デバイスの研究開発を行っています。本研究分野は、本格的に半導体研究が開始されてから10年程度と比較的歴史が浅く、今後の飛躍的な発展も見込めることから大変やりがいがあります。

着任して、佐賀大学の学生は、土地柄かとても素直で穏やかだなあと感じました。つまり、彼らが自主性を発揮して将来日本の繁栄を担う人材となるための道のりは長いということです。私は教育者として、授業や研究を通して、彼らに少しずつ自主自立の精神を養うよう促していきたいと考えております。このように佐賀大学の研

究と教育に全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

略 歴

2005年 3月 京都大学工学部電気電子工学科 卒業
2007年 3月 京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程 修了
2008年 4月 日本学術振興会特別研究員（DC2）採用
2010年 3月 京都大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程 博士（工学）取得
2010年 4月 東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻 助教
2016年 2月 佐賀大学大学院工学系研究科電気電子工学専攻 特任助教
現在に至る

V 退職教員より

退職にあたって



昭和51年に佐賀大学理工学部
に助手として採用されて以来、
約41年間、本学で長い教員生活
を過ごし、この度、無事定年退
職を迎えることができ、教職員、
卒業生、在学生には大変お世話

になりました。この間の経験は多岐にわたり、すべてを語りつくすことはできませんが、41年間を通して眺めると赴任当初に感じた教育研究に立ち足る大きな障害（教育研究環境がまだ整っていない）が定年間際には幾分緩和されました。私の属する研究室（現光半導体研究室）の教職員と一緒にこの障害を乗り越えてきたことが懐かしく思い出されます。助手時代は、今の時代と異なり学生に単位を出す立場でなかったことから研究に専念できました。結晶成長実験中の度々起こる停電トラブルの経験、学生と一緒に実験装置を繰り返し自作したこと、汗だくで注意しながらペンの図面作成やタイプライタでの原稿作成を行ったこと、他大学等に出かけて文献を入手したこと等々、今から振り返ると昭和の時代にしか体験できない懐かしい思い出です。当時は、青色LEDのための半導体材料としてII-VI族化合物の開発がブームであり、私の属する研究室においてもII-VI族化合物のテルル化亜鉛を研究しておりました。この種の材料では成長温度の低減化が重要と考えられており、光援結晶成長も大きな話題として取り上げられた時期でありました。そこで、通常の可視、紫外の光源に加えて、極端紫外光光源の活用を始めるため、岡崎の分子科学研究所、極端紫外光（UVSOR）施設の外部ユーザとなっ

電気電子工学専攻 西尾光弘

て研究を進めました。これは平成1、2年頃から平成15年位まで続けた研究であり、マシンタイムの期間に結晶成長装置の持ち込み、運転、撤去を行うといったもので、当時の研究室の教職員や大学院生の協力の下で皆と一緒に取り組むことができたことは大変懐かしく感じます。また、平成5年から2年間は極端紫外光科学研究系の流動部門への転出が認められ、新しい整った環境でよりよい勉強ができ、研究成果があがりました。分子科学研究所在任当時、研究資材の値段を比較した所、例えば化学薬品の値段は1～2割以上、液体ヘリウムの値段が佐賀大学の液体窒素とほぼ同程度、超高真機器に至っては2倍近くの差と具体的に知ることができました。定年退職までの十数年間は、皆様もご存じのように法人化、大学院部局化、改組など多くの変化を体験することができました。これに伴って、評価、根拠資料のために多くの資料作成が余儀なくされる時代になった感があります。個人的には、この十数年の間に佐賀県のシンクロトロン光施設や佐賀大学のシンクロトロン光応用研究センターの設置準備、設立、整備に参加・協力できたことや電気電子工学科5号館の改修に伴い教育研究環境の整備を行うことができたことなどは大変有意義な経験であったと思っております。最後になりましたが、佐賀大学で約41年間をなんとか無事に仕事を終えることができましたのは、電気電子工学をはじめとする理工学部の皆様方の支えのおかげと大変感謝しております。今後の皆様のご健勝とご多幸、ならびに理工学部のご発展を心から祈っております。

勤続35周年を振り返って

都市工学専攻 清田 勝



長いようで短い35年間でした。特に、最後の1年間は1週間が4日で終わるような感覚で時間が経過し、あっという間に定年退職を迎えました。この間、パーキンソン病を発症するなど辛く

耐えがたい日々の連続でしたが、学科の同僚、テニスの仲間、研究室の学生をはじめ多くの方からご支援を頂き、無事退職をすることができました。

九州大学大学院工学研究科土木工学専攻に入学したとき、人に密接にかかわる都市計画や交通計画の分野の研究をしたいと考えるようになりました。しかし、専門を変えることがいかに無謀で、大変かということとその後いやというほど思い知らされました。各研究分野の分析もせず、思い込みだけで物事を決定する危うさを身に沁みて感じました。母に『ドクターに入ったら都市の計画をするよ』と言ったら、『自分の計画もできんくせに、何が都市の計画ね』と予期せぬ言葉で夢から覚めたような気がしました。計画分野に変更すると公言していたので後戻りもできず、前に進むしか道はありませんでした。計画部門で頑張ろうと指導教官の内田一郎先生に相談に行ったところ、開口一番言われたのは、『清田君、研究は一人ですものだよ』でした。ドクターになったら人に頼ってはいけない、自分で適当なテーマを見つけて学位論文を書きなさいと言うことかと思ひ、何を研究するかというテーマ探しから一人で始めなければなりません。しかし、計画に関しては素人で、相談する人もいないし何の蓄積もないので、とりあえず計画を本格的に進めていくうえで重要になると思われる統計・確率や数量化理論などの分析手法を勉強しました。しかし、研究テーマが定まらず1年が過ぎてしまいました。非常につらい日々でした。もう研究を辞めようかと何度も思いました。このままでは潰れてしまうと考え、意を決して交通工学および交通計画の第一人者である高田先生を訪ね、ご指導をお願いし、毎週1回のゼミに参加することを許していただきました。早速次の週から、週1回のペースで福岡から佐賀まで行って、ゼミに参加し、先生のお

話を聞いたり、技官だった田上君と研究の話をして夜遅くあるいは一泊して帰宅する生活が4年間（九大のドクターコース2年間および福岡建設専門学校2年間）続けました。徐々に、研究分野が交通計画と都市計画を統合した土地利用交通モデルや最適化手法を用いて交通施設整備計画を立案する手法の開発に絞られてきました。助手になって三年目、ようやく土木計画学研究論文集と都市計画論文集に掲載されるようになりました。この二つの論文と約1年後に掲載された論文をまとめて平成元年九州大学から工学博士を取得しました（題目：地方都市における道路網整備計画手法に関する研究）。

これですべて上手く行くと思っていましたが、逆境の期間が長かったために研究に対する考え方や姿勢が歪んでしまったようです。いつのまにか論文を書くことが目的になっていました。深く掘り下げて考えることがないので、独創性と言われるものがほとんどない低いレベルの論文になっていることに気づき愕然としました。もう一度原点に戻って、現在取り組んでいるテーマを再検討し、佐賀市に相応しい自転車道路網はどうあるべきか、佐賀県が始めたパーキングパーミット制度をより有効にするためにはどのような改善が必要かなどを提案していくことが重要であると考えようになりました。これこそが私のできる地域貢献だと思っています。気持ちを切り替えたら、研究が楽しくなると同時に論文も今まで以上に書けるようになりました。

私のように目先のことだけにとらわれず、妥協することなく追求し続ける姿勢を失わないようにして下さい。執行部をお願いしておきたいことがあります。研究には長い時間がかかります。一般的に、一つの研究プロジェクトを達成するのに3年から5年かかり、その間の研究費を準備しなければなりません。科学研究費や財団の研究助成を獲得するのが極めて厳しい状況です。この厳しい状況では予算を柔軟に使うことが必要になると考えます。最近是不正経理等のメールばかりが来るように感じます。その時間を予算獲得の時間に回したらいかがでしょうか。

在職32年（特に最後の3年半）を振り返って



都市工学専攻 石橋孝治

昭和60年（1985年）4月に理工学部土木工学科に助教授として赴任して以来、川面に浮かぶ落ち葉のように時間軸を移動しながら変化する環境の中で回転を繰り返している内に32年の年月が経過しました。佐賀大学では教職員を含め先輩諸氏、後輩諸氏と同僚に恵まれ、ご教示と支援を賜りました。恵まれた環境を与えていただいた皆様方と支えて頂いた皆様方に、厚く御礼申し上げます。

サイエンテックへの寄稿と言うことで、前工学系研究科長としては理工学部も含め組織に関する想いを2点綴らせて頂きます。

まずは理工学部創立50周年事業についての想いです。昭和41年（1966年）4月の文理学部の改組により、理工学部、経済学部と教養部が設置されました。平成28年（2016年）は記念すべき50年目に当たりました。この時点で理工学部長の任にあったことは幸いと受け止めるべきでしょう。創立30周年記念事業を上原春男第9代学長が学部長時代に行われています。大々的に行事を挙行されたようですが、今回は通常規模ながら成功裏に記念式典と記念講演会および記念祝賀会を開催することが出来ました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。残念なことに、記念式典への佐賀県知事の出席が叶いませんでした。せめて副知事の出席をと交渉を重ねましたが、産業労働部の副部長の出席と相成りました。理工学部の佐賀県への関与は、工業分野ばかりでなく県土づくり、環境分野等と多岐に渡ります。知事部局の判断への不満を書き留めて置くこととします。

次に改組再編についての想いです。工学系研究科長（理工学部長）に就任（平成25年10月）直後に、佛淵孝夫前学長から次は理工学部の改組と指示がありました。当時は文化教育学部の改組が山場でしたが、理工学部は平成9年（1997年）4月の改組が最後で、社会が要求する人材育成の方向性が変化しているにも係わらず16年間も現体制を続けていました。改組の動きは林田前研究科長時代からありましたが、法人化以降のガバナンス強化で学長の了解なしには勝手に動けない状況となりました。試案の学長説明を行う間に、学部を跨ぐ改組を求められ農学部と医学部を含む規模に拡大しました。これらの学部との合理的接点を模索した結果、大学院における生命・生化学分野での融合再編に至り、学部と大学院の同時改組の方向で学長了解を得ました。その後は9回に渡る文科省事前相談での厳しい指摘に対峙しながら組織再編委員会での皆様の議論と協力を得て、事前伺いの段階に至りました。改組中途での定年退職となり、渡新研究科長に仕上げをお願いすることとなりましたが、文科省の入試室との事前相談が不十分であったため、学生募集の了承が得られず今回の改組は延期になったと聞きました。私の不手際をお詫びいたしますと共に、教職課程認定等の関連申請を含め教職員の皆様には性急で膨大な作業を強いました。皆様方の寛容で忍耐のあるご協力に感謝いたします。

仕切り直しとなりますが、組織の見直しは常に必要であり、改組は組織が生き残るための社会適応と言えます。皆様の意識は高まっており、新体制下での改組成就を祈っております。

— 20 —

Ⅵ 教育・研究成果および 社会活動の一覧

(1) 受賞

氏名	受賞名	期日
橘 基	日本学術振興会特別研究員審査会専門委員表彰	2016年度
Teruya Minamoto	Track Organizing Award	2016年度
内野 聖子	(学生受賞) 第6回酸化グラフェンシンポジウム ポスター賞	2016年度
大竹 亜紗美	(学生受賞) The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium Presentation award	2016年度
平川 あい	(学生受賞) 第7回酸化グラフェンシンポジウム ポスター賞	2016年度
牛島 政也	(学生受賞) The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium Poster award	2016年度
平川 あい	(学生受賞) The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials	2016年度
Salswanda Selamat	日本冷凍空調学会賞 会長奨励賞	2016年度
宮良 明男	日本機械学会フェロー	2016年度
大島 孝仁	第8回井上リサーチアワード	2016年度
高橋 潤	電子情報通信学会九州支部学術奨励賞	2016年度
宮内 紀尚 末 永貴大 福島 義浩 福島 孟	2016年度学生マイクロ波回路設計試作コンテスト 特別賞	2016年度
伊野 孝宏	2016年 IEEE 福岡支部発表奨励賞 (第6回)	2016年度
リミ ラシド	2016年 IEEE 福岡支部学生研究奨励賞	2016年度
和久屋 寛	日本知能情報ファジィ学会九州支部年次貢献賞	2016年度
伊藤 秀昭	日本知能情報ファジィ学会九州支部年次貢献賞	2016年度
田中 裕恒	日本知能情報ファジィ学会九州支部学生優秀講演賞	2016年度
琉球大学 佐賀大学 大阪府立環境農林 水産総合研究所 佐世保工業高等専門学校	FOOMAJAPAN2016 アカデミックプラザ賞	2016年度
都市構造PDCA研究会	日本都市計画学会計画設計賞	2016年度
Jiixin Yuan Yongheng Zhong Yang Lei Cuihua Tian Weimin Guan Yanhui Gao Kazuhiro Muramatsu Baichao Chen	The Best Poster Paper Award	2016年度
山口 暢彦	日本知能情報ファジィ学会九州支部年次貢献賞	2016年度
Tetsuya Enokida	The Duanne F. Bruley Award (International Society on Oxygen Transport to Tissue)	2016年度

(2) 佐賀大学が世話役となつて行った学会・研究会一覧表

所属学会・協会名	学会・研究会名	世話人氏名	開催日・期間
日本フッ素化学会	第39回フッ素化学討論会	花本 猛士	2016年9月29日 ～30日
錯体化学会	2016錯体化学秋の学校	鯉川 雅之	2016年9月12日 ～13日
日本油化学会界面科学部会	平成28年度物理化学インターカレッジセミナー	成田 貴行	2016年11月26日 ～27日
電子情報通信学会	マイクロ波研究会	田中高行	2016年11月17日 ～18日
日本知能情報ファジィ学会	第32回ファジィシステムシンポジウム	和久屋 寛 山口 暢彦 伊藤 秀昭	2016年8月31日 ～9月2日
九州・山口プラズマ研究会	第32回九州・山口プラズマ研究会	大津 康德	2016年11月19日 ～20日
酸素ダイナミクス研究会	第20回酸素ダイナミクス研究会	高橋 英嗣	平成26年11月19日

(3) 外国人訪問者一覧

氏 名	国 名 及 び 大 学 名	訪 問 学 科 名	期 間
瀬名波 栄間	国立台湾大学	物理科学専攻	2016年9月7日 ～2016年9月23日
Stephan Stetina	ワシントン大学原子核理論研究所	物理科学専攻	2016年11月6日 ～2016年11月11日
冬頭 かおり	マサチューセッツ大学アマースト校	物理科学専攻	2016年12月10日 ～2016年12月23日
Michael Schramm	カリフォルニア州立大学	循環物質化学専攻	2016年7月21日
Chang Woo Lee	大邱大学	循環物質化学専攻	2016年10月30日 ～2016年11月2日
Heon-Jung Kim	大邱大学	循環物質化学専攻	2016年10月30日 ～2016年11月2日
Jun Ho Shim	大邱大学	循環物質化学専攻	2016年10月30日 ～2016年11月2日
Kyung Ryang Wee	大邱大学	循環物質化学専攻	2016年10月30日 ～2016年11月2日
Seoung Ho Lee	大邱大学	循環物質化学専攻	2016年10月30日 ～2016年11月2日
Jan J. Weigand	ドレスデン工科大学	循環物質化学専攻	2016年11月29日 ～2016年12月2日
Chanifah Hidayah	スラバヤ工科大学	循環物質化学専攻	2017年2月22日 ～2017年3月7日
Md. Nasim Hasan	BUET (Bangladesh University of Engineering and Technology)	機械システム工学専攻	2016年12月12日 ～2016年12月15日
Wang Chunbing	浙江工商大学	都市工学専攻	2016年9月 ～2016年3月
巖 立賢	中国社会科学院近代史研究所	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
牛 亜華	中国中医科学院中医薬情報研究所	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
産 立賢	中国社会科学院近代史研究所	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
張 涛	清華大学自動化系	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
陳 建	中国人民大学经济学院	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
雷 鳴	南开大学经济学院経済研究所	都市工学専攻	2016年10月21日 ～2016年10月26日
Jiixin Yuan	武漢大学	先端融合工学専攻	2016年10月10日 ～2016年11月9日
Baichao Chen	武漢大学	先端融合工学専攻	2016年10月10日 ～2016年10月17日
Cuihua Tian	武漢大学	先端融合工学専攻	2016年10月10日 ～2016年10月17日

氏 名	国 名 及 び 大 学 名	訪 問 学 科 名	期 間
Weimin Guan	武漢大学	先端融合工学専攻	2016年10月10日 ～2016年10月17日
Lin Cheng	周口師範学院	先端融合工学専攻	2017年 3 月 1 日 ～2018年 3 月31日
WEI LIANG LIANG	武漢大学	先端融合工学専攻	2017年 2 月11日 ～2017年 5 月10日
Andoko (学部長) Hary Suswanto(副学部長) Anik Nur Handayani	マラン国立大学工学部	大学院工学系研究科	2017年 3 月29日

(4) 社会的活動

a) 各種審議会等委員

氏名	各種審議会等委員名	期間
遠藤 隆	佐賀県教育委員会・スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	2016年4月27日 ～2017年3月31日
河野 宏明	九州大学・大学院理学府大学院教育プログラム アドバイザリーコミティー	2016年6月8日 ～2017年3月31日
廣友 雅徳	佐賀県警察本部・佐賀県警察サイバー犯罪対策技術アドバイザー	2016年4月1日 ～2017年3月31日
只木 進一	任意団体 CTC アカデミックユーザーアソシエーション・運営委員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
只木 進一	サイエンティフィック・システム研究会・学術研究機関におけるサイバーセキュリティ・ガバナンスWG	2016年9月7日 ～2017年3月31日
只木 進一	佐賀県・「佐賀県情報セキュリティクラウド構築に係る構築業務委託に係る総合評価一般競争入札審査委員会審査委員	2016年8月19日 ～2016年10月30日
只木 進一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所・学術認証運営委員会委員	2016年10月12日 ～2017年3月31日
只木 進一	一般社団法人 九州経済連合会・情報通信委員会委員	2016年11月9日 ～2017年3月31日
只木 進一	佐賀県情報セキュリティ強化に係る機器貸借及び保守契約に関する総合評価一般競争入札審査委員会	2016年3月14日 ～2016年5月31日
掛下 哲郎	ISO/IEC JTC 1/SC 7/WG 20委員（日本代表委員）、CEN リエゾン委員、IEA リエゾン委員	2013年9月 ～継続中
掛下 哲郎	ISO/IEC 24773 Part 1 co-editor	2014年度 ～継続中
掛下 哲郎	JABEE 専門職大学院認証評価委員会 委員	2012年4月 ～継続中
皆本 晃弥	一般社団法人 日本技術者教育認定機構・審査長	2016年9月7日 ～2017年3月31日
花田 英輔	電波環境協議会・医療機関における電波利用推進部会（座長代理）	2016年11月1日 ～2017年10月31日
福田 修	国立大学法人 九州大学大学院芸術工学府・論文調査委員会委員	2017年1月25日 ～2017年3月31日
花本 猛士	独立行政法人 日本学術振興会・フッ素化学に関する評価、助言	2016年4月1日 ～2020年3月31日
兒玉 浩明	佐賀県・平成28年度佐賀県立学校学校評議員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
北村 二雄	公益財団法人 日本化学会・日本化学会 理事	2016年5月24日 ～2017年3月31日
大渡 啓介	佐賀市エコプラザ運営委員会・委員長	2015年8月1日 ～2018年7月31日
木上 洋一	佐賀県・佐賀県環境審議会委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
木上 洋一	佐賀県・インフラ構造物長寿命化学識者	2017年2月17日 ～2017年3月31日

氏 名	各 種 審 議 会 等 委 員 名	期 間
森 田 繁 樹	一般社団法人 日本溶接協会・九州地区溶接技術検定委員会委員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
服 部 信 祐	佐賀県中小企業団体中央会・平成28年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金審査委員会委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
服 部 信 祐	佐賀県職業能力開発協会・さがものづくり産学連携会議 副委員長	2016年6月8日 ～2017年3月31日
服 部 信 祐	佐賀県教育委員会・平成28年度佐賀県立学校学校評議員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
服 部 信 祐	佐賀県工業技術センター・平成28年度佐賀県工業技術センター評議会委員	2016年7月1日 ～2017年3月31日
服 部 信 祐	公益財団法人佐賀県地域産業支援センター・評議員	2016年7月6日 ～2017年3月31日
森 貞 真太郎	文部科学省科学技術・学術政策研究所 専門調査員	2015年4月1日 ～2017年3月31日
大 島 史 洋	一般社団法人 日本歯車工業会・JGMA ギャカレッジ講師	2016年4月1日 ～2017年3月31日
塩 見 憲 正	佐賀県・インフラ構造物長寿命化学識者	2017年2月17日 ～2017年3月31日
石 橋 孝 治	佐賀市役所・佐賀市開発審査会委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
石 橋 孝 治	佐賀県・佐賀県 ダム総合点検委員会 委員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
石 橋 孝 治	佐賀県 県土整備部・佐賀県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会委員	2016年11月9日 ～2017年3月31日
石 橋 孝 治	佐賀県・インフラ構造物長寿命化学識者	2017年2月17日 ～2017年3月31日
石 橋 孝 治	佐賀県工業技術センター・平成28年度佐賀県工業技術センター研究評価会議評議員	2016年9月1日 ～2017年3月31日
清 田 勝	佐賀市・佐賀市自転車利用環境整備実施計画検討会議アドバイザー	2016年7月6日 ～2017年3月31日
清 田 勝	佐賀県教育庁・平成28年度防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業推進委員	2016年11月4日 ～2017年2月28日
井 嶋 克 志	国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所・平成28年度総合評価技術委員会	2016年4月1日 ～2017年3月31日
井 嶋 克 志	佐賀県 県土整備部・佐賀県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会委員	2016年6月8日 ～2017年3月31日
井 嶋 克 志	佐賀県・玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会原子力安全専門部会委員	2017年1月11日 ～2017年3月31日
井 嶋 克 志	佐賀県・佐賀県 総合評価技術委員会 委員	2016年4月7日 ～2017年3月31日
井 嶋 克 志	鳥栖市・鳥栖市学校給食センター被災検証委員会委員	2017年2月8日 ～2017年6月30日

氏 名	各 種 審 議 会 等 委 員 名	期 間
伊 藤 幸 広	国土交通省 九州地方整備局・平成28年度総合評価技術委員会 専門委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
伊 藤 幸 広	佐賀県・佐賀県 総合評価技術委員会 委員	2016年4月7日 ～2017年3月31日
伊 藤 幸 広	国土交通省九州地方整備局・九州地方整備局コンクリート評価委員委員	2016年9月7日 ～2017年3月31日
伊 藤 幸 広	佐賀県 県土整備部・佐賀県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会委員	2016年11月9日 ～2017年3月31日
三 島 伸 雄	佐賀県歯科医師会・アドバイザー	2016年4月1日 ～2017年3月31日
三 島 伸 雄	佐賀県・佐賀県住生活基本計画等策定委員会 副委員長	2016年4月1日 ～2017年3月31日
三 島 伸 雄	佐賀県・佐賀県 総合評価技術委員会 委員	2016年4月7日 ～2017年3月31日
三 島 伸 雄	嬉野市教育委員会・嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
三 島 伸 雄	鹿島市・鹿島市歴史的景観審議会委員	2016年7月1日 ～2018年3月31日
三 島 伸 雄	佐賀県・佐賀県建築士審査会委員	2016年9月2日 ～2018年9月1日
三 島 伸 雄	佐賀県・佐賀県都市計画審議会専門部会委員	2016年10月1日 ～2017年9月30日
三 島 伸 雄	佐賀県・佐賀県土地利用審査会委員及び会長	2016年12月24日 ～2019年12月23日
三 島 伸 雄	唐津市役所・唐津市景観まちづくり審議会委員	2017年1月11日 ～2018年2月28日
三 島 伸 雄	福岡市・天神ビッグバンボーナス民間アドバイザー	2017年2月8日 ～2017年3月31日
三 島 伸 雄	鳥栖市・鳥栖市学校給食センター被災検証委員会委員	2017年2月8日 ～2017年6月30日
三 島 伸 雄	佐賀県・平成28年度さかの木の住まいコンクール審査委員長	2017年2月8日 ～2017年3月31日
大 串 浩一郎	佐賀県・森林審議会委員	2016年9月7日 ～2018年7月31日
大 串 浩一郎	一般財団法人 みなと総合研究財団・有明・八代海海域環境検討委員会委員	2016年10月12日 ～2017年3月31日
大 串 浩一郎	国土交通省九州地方整備局・嘉瀬川・六角川・松浦川学識者懇談会委員	2016年10月12日 ～2018年9月19日
大 串 浩一郎	九州地方整備局武雄河川事務所・六角川水系におけるヨシ等の管理に関する検討会委員	2016年4月13日 ～2017年3月31日
柴 錦 春	国土交通省九州地方整備局 佐賀国道事務所・大川佐賀道路軟弱地盤対策技術基準検討委員会委員	2016年11月9日 ～2017年3月31日

氏 名	各 種 審 議 会 等 委 員 名	期 間
柴 錦 春	伊万里市・伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会委員	2017年1月24日 ～2017年12月31日
帯 屋 洋 之	佐賀市・公共事業評価監視委員会 委員	2016年3月1日 ～2018年2月28日
小 島 昌 一	佐賀県・佐賀県建築審査会 委員	2016年9月2日 ～2018年9月1日
小 島 昌 一	佐賀県・佐賀県 総合評価技術委員会 委員	2016年4月7日 ～2017年3月31日
小 島 昌 一	一般社団法人 日本サステナブル建築協会・スマートウエルネス住宅等推進調査委員会委員	2016年9月7日 ～2017年3月31日
小 島 昌 一	鳥栖市・鳥栖市学校給食センター被災検証委員会委員	2017年2月8日 ～2017年6月30日
後 藤 隆太郎	佐賀県・佐賀県美しい景観づくり審議会委員	2016年4月13日 ～2017年3月31日
後 藤 隆太郎	佐賀市・佐賀市建築審査会 委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
後 藤 隆太郎	佐賀県・佐賀県住生活基本計画等策定委員会	2016年4月1日 ～2017年3月31日
後 藤 隆太郎	佐賀市役所・佐賀市都市計画審議会委員	2016年4月27日 ～2018年4月26日
後 藤 隆 太 郎	嬉野市教育委員会・嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
後 藤 隆太郎	大川市・大川市都市計画審議会委員	2016年9月1日 ～2018年3月31日
後 藤 隆太郎	佐賀県・佐賀県立吉野ヶ里歴史公園指定管理者候補選定委員会 委員	2016年10月1日 ～2017年3月31日
後 藤 隆太郎	唐津市・唐津市住生活基本計画策定委員会委員	2016年10月17日 ～2017年3月31日
後 藤 隆太郎	唐津市・呼子・鎮西地区における屋外広告物に関する協議会会長	2016年10月4日 ～2017年3月31日
後 藤 隆太郎	佐賀市・神野公園のあり方検討会委員	2016年12月15日 ～2017年3月31日
中大窪 千 晶	一般社団法人 佐賀県歯科医師会 アドバイザー	2016年4月2日 ～2017年3月31日
田 口 洋 子	佐賀市役所・佐賀市開発審査会委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
田 口 陽 子	佐賀市・佐賀市空家等対策協議会 委員	2016年5月10日 ～2018年5月9日
田 口 陽 子	佐賀市・佐賀駅周辺整備構想検討委員会	2016年6月7日 ～2017年3月31日
ナ ル モ ン	応用生体工学会・国際交流委員会委員	2016年6月8日 ～2018年3月31日

氏 名	各 種 審 議 会 等 委 員 名	期 間
平 瀬 有 人	佐賀県・佐賀県美しい景観づくりアドバイザー	2016年5月11日 ～2017年3月31日
平 瀬 有 人	基山町・基山町空家等対策協議会委員	2016年12月7日 ～2017年3月31日
猪八重 拓 郎	佐賀市・自転車利用環境整備実施計画検討会議 委員	2016年9月1日 ～2017年3月31日
上 野 直 広	国立研究開発法人産業技術総合研究所・工学的応力イメージング（応力発光法）標準化検討委員会委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
松 尾 繁	独立行政法人労働者健康安全機構 佐賀産業保健総合支援センター・産業保健相談員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
松 尾 繁	佐賀県・佐賀県大規模小売店舗立地審議会委員	2016年8月15日 ～2018年8月14日
松 尾 繁	佐賀労働局・佐賀労働局 粉じん対策指導委員	2017年2月1日 ～2019年3月31日
大 和 武 彦	一般社団法人 九州産業技術センター・技術企画委員	2016年6月8日 ～2018年6月7日
竹 下 道 範	佐賀大学生協同組合・理事	2016年5月26日 ～2017年5月25日
村 松 和 弘	佐賀県・インフラ構造物長寿命化学識者	2017年2月17日 ～2017年3月31日
矢 田 光 徳	九州ファインセラミックス・テクノフォーラム運営委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
矢 田 光 徳	佐賀県窯業技術センター研究評価会議研究評価委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
高 橋 英 嗣	日本学術振興会科学研究費補助金審査員	2015年12月 ～2016年1月

b) 学協会委員

氏名	学協会委員	期間
杉山 晃	プログラム小委員会 素粒子実験領域代表	2016年4月1日 ～2017年3月31日
花田 英輔	日本医療情報学会 「利益相反委員会」委員、幹事	2014年4月1日 ～2017年3月31日
花田 英輔	日本医療福祉設備協会 理事	2015年5月26日 ～継続中
花田 英輔	日本生体医工学会 評議員	2015年5月1日 ～継続中
廣友 雅徳	誤り訂正符号のワークショップ実行委員会 ワークショップ実行委員	2012年4月1日 ～継続中
山口 暢彦	日本知能情報ファジィ学会 SOFT九州支部運営委員	2013年4月 ～継続中
花本 猛士	日本学術振興会フッ素化学第155委員会 学界委員	2010年4月1日 ～継続中
兒玉 浩明	(社)日本生化学会 九州支部評議員	2010年4月1日 ～継続中
坂口 幸一	電気情報通信学会 有機エレクトロニクス研究会 専門委員	2011年4月1日 ～継続中
坂口 幸一	日本表面科学会 九州支部 幹事	2016年4月 ～継続中
大渡 啓介	日本溶媒抽出学会 編集委員	2013年1月1日 ～継続中
大渡 啓介	化学工学会九州支部 幹事	2013年3月1日 ～継続中
大渡 啓介	日本分析化学会九州支部 幹事	2013年3月1日 ～継続中
大渡 啓介	日本イオン交換学会 理事(編集委員)	2012年4月1日 ～継続中
大渡 啓介	日本素材物性学会編集委員 代表幹事	2013年4月1日 ～継続中
大渡 啓介	国際溶媒抽出学会組織委員	2016年8月1日 ～継続中
掛下 哲郎	情報処理学会 情報処理教育委員会 委員	2016年9月 ～継続中
掛下 哲郎	情報処理学会 学会誌編集委員(EWG)	2011年4月 ～継続中
掛下 哲郎	情報処理学会 資格制度運営委員会 委員	2012年4月 ～継続中
掛下 哲郎	情報処理学会 基準委員会 委員長	2016年9月 ～継続中
掛下 哲郎	情報処理学会 ITプロフェッショナル委員会 委員	2012年4月 ～継続中

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
掛 下 哲 郎	情報処理学会 アクレディテーション委員会 副委員長	2016年 9 月 ～継続中
掛 下 哲 郎	情報システム学会 評議員	2012年 4 月 ～継続中
富 永 昌 人	公益社団法人電気化学会九州支部 幹事	2017年 2 月 7 日 ～2018年 2 月 6 日
富 永 昌 人	日本ポーラログラフ学会 理事・編集委員	2012年 1 月 1 日 ～継続中
富 永 昌 人	日本分析化学会九州支部 幹事	2017年 3 月 1 日 ～継続中
富 永 昌 人	日本法科学技術学会 評議員	2017年11月11日 ～継続中
大 石 祐 司	繊維学会西部支部 常任幹事	2014年 6 月 ～継続中
大 石 祐 司	高分子学会九州支部 幹事	2012年12月 ～継続中
高 椋 利 幸	九州溶液化学懇談会事務局	2007年 4 月 1 日 ～継続中
高 椋 利 幸	EMLG-JMLG Secretary ヨーロッパ分子液体グループ-日本分子液体グループ事務局	2010年 1 月 1 日 ～継続中
高 椋 利 幸	Editorial Board of Journal of Molecular Liquids	2016年 7 月18日 ～継続中
高 椋 利 幸	EMLG/JMLG Annual Meeting Scientific Advisory Committee ヨーロッパ分子液体グループ-日本分子液体グループ	2010年 9 月 7 日 ～継続中
高 椋 利 幸	日本分析化学会九州支部幹事	2003年 3 月 1 日 ～継続中
海 野 雅 司	日本分光学会 九州支部 幹事	2014年 4 月 1 日 ～継続中
鯉 川 雅 之	日本分析化学会 XSAO 誌編集委員	2009年 4 月 1 日 ～継続中
張 波	精密工学会 商議員	2008年 4 月 1 日 ～継続中
木 上 洋 一	日本機械学会 論文校閲委員	2007年 4 月 1 日 ～継続中
宮 良 明 男	International Institute of Refrigeration Commission member	2016年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 参与	2011年 7 月 1 日 ～継続中
宮 良 明 男	ヒートポンプ・蓄熱センター 地下熱利用とヒートポンプシステム研究会・委員	2016年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 熱交換器技術委員会・委員長	2016年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 西日本地区事業推進委員会・委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本機械学会 九州支部・商議員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 調査研究プロジェクト・幹事	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 学術講演会運営委員会・委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 冷媒漏洩対策委員会・委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	国立研究開発法人 新エネルギー・産業開発機構 (NEDO) 審査委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 理事・副会長	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本伝熱学会 理事	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	ASHRAE 日本チャプター・幹事	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	Elsevier Applied Thermal Engineering Associate Regional Editor	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 伝熱ワーキンググループ・主査	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 論文編集委員会・委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	ASHRAE 国内分科会・主査	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本冷凍空調学会 冷凍空調技士考査委員会・委員	2016年4月1日 ～2017年3月31日
宮 良 明 男	日本伝熱学会 九州支部・支部長	2016年4月1日 ～2017年3月31日
森 貞 真太郎	日本吸着学会 評議員	2015年4月1日 ～継続中
森 貞 真太郎	日本吸着学会 編集委員	2015年4月1日 ～2017年3月31日
山 口 暢 彦	第32回ファジィシステムシンポジウム 財務副委員長	2016年6月1日 ～2016年12月31日
塩 見 憲 正	ターボ機械協会送風機・圧縮機の騒音と性能研究分科会 委員	2012年4月1日 ～継続中
西 山 英 輔	2017 IEEE International Conference on Computational Electromagnetics Steering Committee 総務幹事	2015年5月 ～2017年5月
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 専門委員会 委員	2012年5月 ～継続中

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 ワークショップ常設委員会 委員	2013年 5月 ～継続中
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 国際委員会 委員	2015年 9月 ～継続中
西 山 英 輔	2017 Asian Workshop on Antennas and Propagation Committee 技術編集委員会委員長	2016年11月 ～継続中
西 山 英 輔	The 2018 Asia-Pacific Microwave Conference Technical Program Committee 技術編集委員会副委員長	2017年10月 ～継続中
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 福迫講師ワークショップ実行委員会 実行委員	2014年 8月 ～2017年 1月
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 本間講師ワークショップ実行委員会 実行委員	2016年 6月 ～継続中
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 野口講師ワークショップ実行委員会 総務幹事	2014年11月 ～継続中
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 九州ワークショップ実行委員会 総務幹事	2013年 4月 ～継続中
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 論文特集号編集委員会 編集委員	2015年 8月 ～2017年 2月
西 山 英 輔	電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 論文特集号編集委員会 編集委員	2017年 2月 ～継続中
西 山 英 輔	Thailand-Japan MicroWave Technical Program Committee 委員	2015年 8月 ～継続中
西 山 英 輔	2016 International Symposium on Antennas and Propagation Social Event Committee 委員	2014年12月 ～2016年10月31日
大 津 康 徳	九州山口プラズマ研究会幹事 平成28年度第32回九州・山口プラズマ研究会実行委員長	2016年11月19日 ～2016年11月20日
大 津 康 徳	日本学術振興会科学研究費委員会 科学研究費委員会専門委員	2015年12月 1日 ～2017年 3月31日
大 津 康 徳	文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員 専門調査員	2008年 4月 1日 ～継続中
大 津 康 徳	アレキサンドル・クザ大学学術雑誌国際諮問委員会委員 (the International Advisory Committee for the Plasma and Spectroscopy section of the Journal of Advanced Research in Physics Al I Cuza University of Iasi)	2009年10月 1日 ～継続中
大 津 康 徳	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 役員	2015年 6月 ～継続中
大 津 康 徳	電気学会 A 部門 A 2 グループ論文委員会 幹事	2015年 4月 ～継続中
大 島 孝 仁	International Workshop on Gallium Oxide and Related Materials プログラム委員	2017年～2017年
大 島 孝 仁	2017 International Conference on Solid State Devices and Materials 論文委員	2017年～2017年
佐々木 伸 一	電子情報通信学会九州支部学生会顧問 評議委員	2008年 5月 ～2009年 5月

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
佐々木 伸 一	電子情報通信学会九州支部学生会 顧問	2003年 4 月 ～継続中
佐々木 伸 一	電子情報通信学会電磁環境工学研究専門委員会 委員	2012年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日
佐々木 伸 一	電子情報通信学会九州支部学生会顧問 顧問	2003年 4 月 ～継続中
佐々木 伸 一	エレクトロニクス実装学会 回路・実装設計技術委員会委員	2001年 4 月 1 日 ～2016年 3 月31日
田 中 高 行	アメリカ電気電子学会 2017 International Conference on Computational Electromagnetics (ICCEM2017) 運営委員	2015年 9 月 ～2017年 3 月
田 中 高 行	電子情報通信学会 マイクロ波研究会専門委員	2007年 5 月21日 ～継続中
田 中 高 行	アメリカ電気電子学会 IEEE Transaction on Antennas and Propagation 論文査読委員	2015年 8 月 ～継続中
田 中 高 行	電子情報通信学会 IEICE Electronics Express 編集委員	2014年11月28日 ～継続中
田 中 高 行	電子情報通信学会 論文査読委員	2006年12月 1 日 ～継続中
田 中 高 行	映像情報メディア学会 放送技術研究会専門委員	2002年 6 月15日 ～継続中
田 中 高 行	アメリカ電気電子学会 IEEE Microwave and Wireless Components Letters 論文査読委員	2011年 1 月 1 日 ～継続中
豊 田 一 彦	ICCEM2017 展示委員長	2015年10月19日 ～2017年 3 月31日
豊 田 一 彦	電子情報通信学会 無線電力伝送研究専門委員会 専門委員	2016年 6 月 2 日 ～継続中
豊 田 一 彦	ECCE2017 Advisory Committee member	2016年 5 月12日 ～2017年 2 月28日
豊 田 一 彦	欧州マイクロ波学会 (EuMA) GA メンバ	2017年 1 月 1 日 ～継続中
豊 田 一 彦	電子情報通信学会 短距離無線研究専門委員会 専門委員	2012年 6 月 1 日 ～継続中
豊 田 一 彦	一般社団法人 電子情報通信学会九州支部・支部委員	2016年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日
豊 田 一 彦	一般社団法人 電気学会・電子デバイス技術委員会副委員長	2016年 5 月11日 ～2017年 3 月31日
和久屋 寛	電気学会 論文委員	2005年 4 月 1 日 ～継続中
和久屋 寛	日本知能情報ファジィ学会九州支部 運営委員	2013年 4 月 6 日 ～継続中
和久屋 寛	日本知能情報ファジィ学会 評議員	2013年 5 月25日 ～継続中

氏名	学協会委員	期間
和久屋 寛	4th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2016 (ICISIP2016) 国際プログラム委員	2015年4月27日 ～2016年9月30日
和久屋 寛	産業応用工学会全国大会2016 実行委員	2015年4月27日 ～2016年9月30日
和久屋 寛	5th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2017 (ICIAE2017) 国際プログラム委員	2015年4月27日 ～2017年3月31日
和久屋 寛	日本知能情報ファジィ学会誌 (知能と情報) 特集号 ゲストエディタ	2016年2月16日 ～継続中
和久屋 寛	第32回ファジィシステムシンポジウム 実行副委員長	2016年6月10日 ～2016年9月30日
和久屋 寛	第32回ファジィシステムシンポジウム 開催地専門委員会副委員長	2016年6月24日 ～2016年9月30日
和久屋 寛	5th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2017 (ICISIP2017) 国際プログラム委員	2016年10月1日 ～継続中
和久屋 寛	産業応用工学会全国大会2017 実行委員	2016年10月1日 ～継続中
和久屋 寛	第18回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会 実行委員	2016年10月27日 ～2016年12月31日
和久屋 寛	IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 運営委員	2017年1月1日 ～継続中
和久屋 寛	第18回自己組織化マップ研究会2017 実行副委員長	2017年1月6日 ～2017年3月31日
伊藤 秀昭	日本知能情報ファジィ学会九州支部 運営委員	2013年4月6日 ～継続中
柴 錦春	Computers and Geotechnics 編集委員 学術雑誌編集委員	2011年3月1日 ～継続中
柴 錦春	Geotextiles and Geomembranes 誌編集委員会 Geotextiles and geomembranes 編集委員	2007年4月1日 ～継続中
柴 錦春	国際地盤工学会 会員	1996年4月1日 ～継続中
柴 錦春	Frontier of Architecture and Civil Engineering of China 編集委員会 委員	2009年4月1日 ～継続中
柴 錦春	地盤工学会 会員	1993年4月1日 ～継続中
淵上 貴由樹	日本建築学会	2008年4月1日 ～継続中
井嶋 克志	土木学会西部支部表彰候補者選考委員会 委員	2014年4月1日 ～継続中
中大窪 千晶	日本ヒートアイランド学会企画・運営委員会 幹事	2007年4月1日 ～継続中
中大窪 千晶	日本ヒートアイランド学会ヒートアイランド対策事典編集委員会 幹事	2010年4月1日 ～継続中

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
中大窪 千 晶	日本建築学会 伝熱小委員会建築・都市熱環境 WG	2009年 4 月 1 日 ～継続中
三 島 伸 雄	国際低平地研究会 副会長	2014年 9 月28日 ～継続中
大 串 浩一郎	土木学会西部支部商議員	2015年 4 月 1 日 ～継続中
押 川 英 夫	平成27年度土木学会西部支部研究発表会実行委員会 委員	2016年 4 月 1 日 ～2017年 3 月31日
押 川 英 夫	International Scientific Committee for 20th Congress of the Asia Pacific Division of the International Association for Hydro Environment Engineering & Research	
後 藤 隆太郎	日本建築学会九州支部佐賀支所 顧問	2000年 4 月 1 日 ～継続中
高 橋 英 嗣	酸素ダイナミクス研究会 会長	2012年 9 月 ～継続中
高 橋 英 嗣	日本血液代替物学会 評議員	1999年 3 月 ～継続中
高 橋 英 嗣	International Society on Oxygen Transport to Tissue 執行役員	2014年 7 月 ～継続中
高 橋 英 嗣	日本生理学会 評議員	1993年 4 月 ～継続中
高 橋 英 嗣	日本生理学会 Journal of Physiological Sciences 編集委員	2010年12月 ～継続中
高 橋 英 嗣	日本生体医工学会 九州支部評議員	2011年 3 月 ～継続中
高 橋 英 嗣	第20回酸素ダイナミクス研究会 世話人代表	2015年 8 月 ～2016年 9 月
後 藤 聡	アジア制御協会 (Asian Control Association) メンバー	2009年 6 月25日 ～継続中
後 藤 聡	The Open Electrical and Electronics Engineering Journal Editor	2009年 5 月14日 ～継続中
松 尾 繁	International Journal of Turbo & Jet-Engines International Journal of Turbo & Jet-Engines 編集委員	2011年10月 1 日 ～継続中
竹 下 道 範	有機合成化学協会 幹事	2016年 4 月 1 日 ～継続中
村 松 和 弘	International COMPUMAG Society, Board member	2017年 1 月 1 日 ～継続中
村 松 和 弘	電気学会回転機電磁界解析の実用的総合評価技術調査専門委員会 委員	2016年 4 月 1 日 ～継続中
村 松 和 弘	電気学会電磁界解析の高度化技術調査専門委員会 委員	2016年 4 月 1 日 ～2016年12月31日

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
村 松 和 弘	電気学会超電導回転機の現状と将来動向調査専門委員会 委員	2015年10月1日 ～継続中
野 口 英 行	電気化学会 九州支部幹事	2009年1月1日 ～継続中
寺 本 顕 武	計測自動制御学会 評議員	2009年1月1日 ～継続中
高 炎 輝	電気学会電磁界解析の高度化技術調査専門委員会 委員	2016年12月31日 ～継続中
上 野 直 広	応力発光技術コンソーシアム 幹事	2016年9月30日 ～継続中
上 野 直 広	光学的応力イメージング（応力発光法）標準化検討委員会 委員	2015年12月1日 ～継続中
山 岡 禎 久	レーザー学会 第37回レーザー学会年次大会プログラム委員主査	2016年4月1日 ～2017年3月31日
山 岡 禎 久	日本組織細胞化学会 評議員	2011年4月1日 ～継続中
山 岡 禎 久	日本超音波医学会 光超音波画像研究会 幹事	2016年4月1日 ～継続中
山 岡 禎 久	ICO-24 Program Committee	2016年9月1日 ～2017年8月31日
木 本 晃	IEEE IM09 Tokyo/Japan Joint Chapter 委員	2016年4月 ～継続中
青 木 一	素粒子論委員	2016年4月1日 ～2018年3月31日
岡 崎 泰 久	電子情報通信学会 教育工学研究会 ET 専門委員	2013年5月 ～継続中
岡 崎 泰 久	教育システム情報学会 九州支部幹事	2015年5月 ～2016年6月
岡 崎 泰 久	教育システム情報学会 九州支部長	2016年6月24日 ～継続中
田 中 徹	応用物理学会九州支部 理事	2016年4月1日 ～継続中
田 中 徹	日本表面科学会九州支部 幹事	2016年4月1日 ～継続中
田 中 徹	27th Photovoltaic Science and Engineering Conference プログラム委員	2017年3月1日 ～継続中
嘉 数 誠	International Conference on Diamond and Related Carbon Materials 2016プログラム委員 (2015-2016)	
嘉 数 誠	International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitride (Is Plasma) 2016プログラム委員	
嘉 数 誠	APEX/JJAP 編集運営委員 (2015-2016)	

氏 名	学 協 会 委 員	期 間
嘉 数 誠	表面科学会九州支部副支部長 (2015-2016)	
嘉 数 誠	表面科学会学会法編集委員 (2015-2016)	
嘉 数 誠	表面科学会座学連携委員 (2015-2016)	
小 島 昌 一	(公社) 空気調和・衛生工学会九州支部 事業幹事	2016年4月1日 ～継続中
小 島 昌 一	(一社) 日本建築学会九州支部 環境工学委員会 委員	1998年4月1日 ～継続中
小 島 昌 一	SAGA 健康・省エネ住宅推進協議会 副会長	2014年4月13日 ～継続中
小 島 昌 一	有明未利用熱利用促進研究会 技術顧問	2017年11月25日 ～継続中
大 和 武 彦	有機 π 電子系学会 副会長	2014年4月1日 ～継続中
矢 田 光 徳	日本セラミックス協会九州支部 事務局	2015年4月17日 ～継続中

(5) 留学・海外研修・国際学会参加一覧

氏名	渡航および参加目的	期間
梶木屋 龍 治	研究集会「AIMS」での講演及び研究打ち合わせ及び資料収集を行った。	2016年 6月30日 ～2016年 7月 7日
梶木屋 龍 治	研究集会「2017 International Workshop…」での講演発表及び研究打ち合わせを行った。	2017年 3月29日 ～2017年 3月31日
中 村 健太郎	研究集会「Pan Asia Number Theory Conference 2016」参加及び講演を行った。	2016年 7月10日 ～2016年 7月16日
中 村 健太郎	第三回日台整数論研究集会に参加して研究発表、研究討論及び情報収集を行った。	2016年 9月 7日 ～2016年 9月13日
岡 田 拓 三	研究集会に参加し招待講演及び研究打ち合わせを行った。	2016年 6月 1日 ～2016年 6月 7日
前 田 定 廣	国際研究集会で招待講演を行った。	2016年 6月15日 ～2016年 6月18日
加 藤 孝 盛	留学中の竹田寛志氏 UCSB の G. Ponce 氏 T. Sideris 氏と研究打ち合わせを行った。	2016年 9月15日 ～2016年 9月28日
加 藤 孝 盛	研究打ち合わせ及び研究集会参加を行った。	2017年 3月11日 ～2017年 3月19日
上 原 崇 人	「Cremona Conference」及び「日本数学会秋季総会」に参加し研究打ち合わせを行った。	2016年 9月10日 ～2016年 9月17日
房 安 貴 弘	ビーム実験に参加した。	2016年11月 2日 ～2016年11月16日
山 内 一 宏	ミュオン照射実験により層状物質 Y2C と超伝導体 La-1111-H 材料の物性評価を行った。	2016年 9月 2日 ～2016年 9月 7日
杉 山 晃	ビーム試験に参加、フランス側共同研究者と研究打合せを行った。	2016年10月28日 ～2016年11月16日
高 橋 智	フィンランド側共同研究者と宇宙論に関する研究打ち合わせを行った。	2016年 5月 9日 ～2016年 5月21日
高 橋 智	ワルシャワ大学、パリ第7大学において共同研究者と宇宙論に関する研究打ち合わせを行った。	2016年 6月13日 ～2016年 6月25日
高 橋 智	トリエステ、ユトレヒトにおいて共同研究者と宇宙論に関する研究打ち合わせを行った。	2016年10月31日 ～2016年11月11日
高 橋 智	インフレーション宇宙に関する研究打ち合わせを行った。	2017年 1月22日 ～2017年 2月 5日
高 橋 智	New perspectives on cosmology 出席、インフレーション宇宙に関する研究議論を行った。	2017年 2月15日 ～2017年 2月18日
高 橋 智	カナダとの二国間交流事業に関する共同研究打ち合わせを行った。	2017年 3月19日 ～2017年 3月27日
鄭 旭 光	ICTAM-AFM10国際会議で新しい強誘電性変遷の機構解明研究に関する招待講演及び研究打合せを行った。	2016年11月 6日 ～2016年11月13日
福 田 修	国際会議 IEEEhealthcom 2016に参加・発表を行った。	2016年 9月13日 ～2016年 9月16日
福 田 修	国際会議 IEEEhealthcom 2016にて研究打ち合わせおよび情報収集を行った。	2016年 9月16日 ～2016年 9月19日

氏名	渡航および参加目的	期間
福田 修	IEEE IEEM 2016参加を行った。	2016年12月3日 ～2016年12月7日
橘 基	NPCSM 2016に参加，中性子星に関する研究議論を行った。	2016年10月30日 ～2016年11月6日
山口 暢彦	国際会議 SCIS-ISIS 2016に参加・発表を行った。	2016年8月25日 ～2016年8月28日
花田 英輔	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference にて招待講演を行うと共に，座長を務めた。	2016年8月23日 ～2016年8月24日
花田 英輔	HEC 2016（内で開催の Medical Informatics Europe 2016）において発表を行った。	2016年8月26日 ～2016年9月4日
花田 英輔	EMC Europe 2016において発表を行った	2016年9月5日 ～2016年9月8日
廣友 雅徳	The 9th International Symposium on Turbo Codes &	2016年9月3日 ～2016年9月11日
廣友 雅徳	国際会議 ISITA2016に参加し，発表および情報収集を行った。	2016年10月30日 ～2016年11月5日
掛下 哲郎	8th International Conference on Computer Supported Education (CSEDU 2016) 参加および研究発表	2016年4月19日 ～2016年4月25日
掛下 哲郎	ISO/IEC JTC 1/SC 7 Plenary Meeting 参加および ISO/IEC 24773策定	2016年5月22日 ～2016年5月27日
掛下 哲郎	ISO/IEC JTC 1/SC 7 Interim Meeting 参加および ISO/IEC 24773策定	2016年11月12日 ～2016年11月20日
大月 美佳	iiWAS 2016にて発表・参加を行った。	2016年11月27日 ～2016年12月1日
皆本 晃弥	国際会議 ITNG 2016において研究発表を行ない、Track Chair を務めた。	2016年4月10日 ～2016年4月14日
皆本 晃弥	国際会議 ICWAPR 2016において研究発表、座長および資料収集を行った。	2016年7月10日 ～2016年7月13日
中山 功一	HCI 2016発表参加を行った。	2016年7月19日 ～2016年7月24日
岡崎 泰久	韓国コンテンツ学会大会に出席・研究発表及び二国間交流事業共同研究打合せを行った。	2016年5月19日 ～2016年5月21日
木村 拓馬	SCAN 2016にて参加・発表を行った。	2016年9月24日 ～2016年10月1日
花本 猛士	18th European Symposium on Fluorine Chemistry に参加・発表した。	2016年8月5日 ～2016年8月14日
花本 猛士	国際教育交流について討論及び情報収集を行った。	2017年3月7日 ～2017年3月9日
北村 二雄	第5回超原子価ヨウ素化学国際会議への参加し、招待講演を行った。	2016年7月2日 ～2016年7月8日
坂口 幸一	第7回遼寧大学－佐賀大学国際パートナーシッププログラムに参加・研究発表および情報収集を行った。	2016年12月7日 ～2016年12月10日

氏 名	渡 航 お よ び 参 加 目 的	期 間
富 永 昌 人	① JST 二国間共同研究課題についてスラバヤ工科大学と打合せならびに招待講演を行った。② BBPT 環境技術センター・バイオテクノロジーセンター設備見学を行った。	2016年 5 月 9 日 ～2016年 5 月14日
富 永 昌 人	フランス・グルノーブル大学にて JST 国際科学共同研究推進事業の研究題目にかかる打ち合わせおよび ワークショップ講演会にて研究発表。	2016年 8 月30日 ～2016年 9 月 4 日
富 永 昌 人	スラバヤ工科大学で開催された第 3 回化学工学国際セミナーへの参加ならびに招待講演、研究打ち合わせを行った。	2016年10月31日 ～2016年11月 4 日
富 永 昌 人	インド・Amrita 大学で開催された国際学会 (SCICON16) での招待講演ならびに共同研究打ち合わせを行った。	2016年12月18日 ～2016年12月24日
森 貞 真太郎	ISPCAM 2016に参加・研究発表および情報収集を行った。	2016年12月 7 日 ～2016年 1 月210 日
大 渡 啓 介	2th German-Japanese マイクロシンポジウムでの招待講演ならびに情報収集を行った。	2016年 5 月 8 日 ～2016年 5 月16日
大 渡 啓 介	8th ISNSC に参加し、講演と情報収集を行った。	2016年 7 月12日 ～2016年 7 月18日
大 渡 啓 介	プラハ化学技術大学 Ludek Jelinek 博士と新規レアメタル分離剤の開発に関する共同研究打合せを行った。	2016年 9 月 2 日 ～2016年 9 月 9 日
大 渡 啓 介	平成28年度 STEPs 海外研修に参加し、大学紹介と講演を行った。	2016年11月20日 ～2016年11月24日
大 渡 啓 介	韓国－日本－中国合同シンポジウム開催の打合せおよび国際セミナーに参加し、研究発表・情報収集を行った。	2017年 1 月23日 ～2017年 1 月24日
大 渡 啓 介	国際教育交流について討論及び情報収集を行った。	2017年 3 月 7 日 ～2017年 3 月 9 日
高 椋 利 幸	EMLG-JMLG Annual Meeting 2016での講演及び座長と運営委員会に出席した。	2016年 9 月 9 日 ～2016年 9 月18日
高 椋 利 幸	平成28年度 海外調査事業（フランス、リール第 1 大学）に参加した。	2016年12月 6 日 ～2016年12月14日
海 野 雅 司	第 5 回国際振動光学活性分光に関する国際会議に参加し、発表を行った。	2016年 9 月10日 ～2016年 9 月17日
張 波	ICETA 2016にて研究発表を行った。	2016年11月 4 日 ～2016年11月 7 日
張 波	ITS-IFTtoMM 2017国際会議にて研究発表を行った。	2017年 3 月19日 ～2017年 3 月23日
萩 原 世 也	WCCM 12th and APCOM VI に出席した。	2016年 7 月24日 ～2016年 7 月29日
萩 原 世 也	The 7th ICCM 2016に参加した。	2016年 7 月30日 ～2016年 8 月 7 日
萩 原 世 也	ICSE 2016に出席した。	2016年12月 9 日 ～2016年12月13日
服 部 信 祐	視察及び訪問を行った。	2016年11月22日 ～2016年11月26日

氏 名	渡 航 お よ び 参 加 目 的	期 間
仮 屋 圭 史	ACRA16国際会議に参加し、最新の研究動向を調査した。	2016年 5月15日 ～2016年 5月18日
仮 屋 圭 史	2016 Purdue Compressor Engineering, 国際会議に参加した。	2016年 7月10日 ～2016年 7月16日
仮 屋 圭 史	ICESNANO 2016に参加し、最新の研究動向を調査した。	2016年 7月31日 ～2016年 8月 6日
仮 屋 圭 史	SEBELAS MARET 大学にて特別セミナーを行った。	2016年10月30日 ～2016年11月 5日
木 上 洋 一	第 6 回 AJWTF に出席し研究発表を行った。	2016年 9月19日 ～2016年 9月23日
宮 良 明 男	地中熱交換器に関連する研究打ち合わせおよび ACRA 2016に参加した。	2016年 5月14日 ～2016年 5月17日
宮 良 明 男	2016 PurdyConferences に参加し最新研究情報を収集した。	2016年 7月 9日 ～2016年 7月17日
宮 良 明 男	ICESNANO 2016で基調講演を行い Wijayata 先生と研究打ち合わせを行った。	2016年 7月31日 ～2016年 8月 6日
宮 良 明 男	ISTP-27Hawaii に参加して研究発表を行った。	2016年 9月20日 ～2016年 9月26日
宮 良 明 男	RAL に参加し最新研究調査・情報収集を行った。またアジア地域交流促進	2016年 9月29日 ～2016年10月 3日
宮 良 明 男	新冷媒研究を行っているパドバ大学及び Universita Politecnica della Marche を訪問し、新冷媒研究の最新情報に関する意見交換を行う	2016年12月 4日 ～2016年12月10日
宮 良 明 男	ASHRAE Winter Conference に参加し各国の関連学会との交流を行った。	2017年 1月27日 ～2017年 2月 3日
宮 良 明 男	1stACTS に参加して研究発表及びアジア各国の最新研究に関する調査を行った。	2017年 3月26日 ～2017年 3月31日
佐 藤 和 也	ICUAS 2016国際会議に参加した。	2016年 6月 6日 ～2016年 6月12日
佐 藤 和 也	ICT-ROBOT 2016に参加した。	2016年 9月 7日 ～2016年 9月 9日
塩 見 憲 正	ISTP 27 Hawaii に参加した。	2016年 9月19日 ～2016年 9月25日
塩 見 憲 正	2016 National Youth Scholars Symposium に参加した。	2016年10月28日 ～2016年10月31日
辻 村 健	International Conference on Telecommunications and Signal Processing に出席した。	2016年 6月24日 ～2016年 7月 1日
辻 村 健	IEEE International Conference on Multisensor Fusion and Integration for Intelligent Systems に出席した。	2016年 9月16日 ～2016年 9月23日
只 野 裕 一	WCCM 12th and APCOM VI に出席した。	2016年 7月24日 ～2016年 7月29日
只 野 裕 一	USACM Conference on Isogeometric and Meshfree Methods に出席し基調講演を行った。	2016年10月 8日 ～2016年10月14日

氏名	渡航および参加目的	期間
西山英輔	2016 Thailand-Japan Microwave (TJMW2016)に参加した。	2016年6月8日 ～2016年6月12日
原重臣	26th International Photovoltaic Science and Engineering Conferenceにて研究発表を行った。	2016年10月24日 ～2016年10月29日
嘉数誠	2016 MRS Spring Meeting & Exhibit に出席及び研究打ち合せを行った。	2016年4月1日 ～2016年4月4日
嘉数誠	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conferen に出席した。	2016年8月22日 ～2016年8月25日
嘉数誠	International Conference on Diamond and Carbon に出席した。	2016年9月3日 ～2016年9月11日
嘉数誠	2016 IEEE Compound Semiconductor IC Symposium に出席した。	2016年10月22日 ～2016年10月28日
大島孝仁	German-Japanese Gallium Oxide Technology に出席した。	2016年9月5日 ～2016年9月12日
大島孝仁	German-Japanese Gallium Oxide Technology に出席した。	2016年9月5日 ～2016年9月11日
田中高行	17th International Symposium on Antenna Technology and Applied Electromagnetics (Antem 2016) に出席し研究発表	2016年7月10日 ～2016年7月13日
田中徹	THE 43rd IEEE PHOTOVOLTAIC SPECIALISTS CONFERENCE に出席し研究発表を行った。	2016年6月5日 ～2016年6月12日
田中徹	CC 3 DMR 国際会議で招待講演を行った。	2016年6月19日 ～2016年6月21日
田中徹	26th International Photovoltaic Science and Engineering Conferenceにて研究発表を行った。	2016年10月24日 ～2016年10月29日
和久屋寛	韓国コンテンツ学会大会に出席・研究発表及び二国間交流事業共同研究打ち合せを行った。	2016年5月19日 ～2016年5月21日
三沢達也	国際会議 International Conference on PROCESSING & MANUFACTUREING OF ADVANCED MATERIALS (THERMEC'2016, MESSE GRAZ, Graz, Austria) で発表を行った。	2016年5月28日 ～2016年6月5日
三沢達也	国際会議 World PM 2016 Congress & Exhibition (Congress Centre Hamburg, Hamburg, Germany) で発表を行った。	2016年10月8日 ～2016年10月15日
有馬隆文	中国銀川シティフェスティバル・アジア景観デザイン学会に出席ほか	2016年10月28日 ～2016年10月31日
柴錦春	軟弱地盤の掘削による地盤変形に関する国際共同研究を行った。	2016年4月1日 ～2016年4月3日
柴錦春	H28年度 SIPOP 申請者の面接を行った。	2016年5月28日 ～2016年6月4日
柴錦春	温州大学にて研究打ち合せ及び共同研究を実施した。	2016年7月17日 ～2016年7月24日
柴錦春	共同研究の実施と特別講演会の参加と講演を行った。	2016年9月4日 ～2016年9月28日
柴錦春	粘性粘土地盤に関する研究打ち合わせ及び資料収集を行った。	2016年12月19日 ～2016年12月31日

氏 名	渡 航 お よ び 参 加 目 的	期 間
柴 錦 春	学術交流協定及び実験施設視察・共同研究の打ち合わせを行った。	2017年 2月27日 ～2017年 3月 2日
柴 錦 春	盛土挙動予測に関する打合せを行った。	2017年 3月 8日 ～2017年 3月22日
柴 錦 春	有明粘土圧密・透水特性に関する講演、研究打ち合わせを行った。	2017年 3月27日 ～2017年 3月30日
井 嶋 克 志	土木環境工学部訪問教授	2017年 3月 5日 ～2017年 3月15日
中大窪 千 晶	インドネシア・ジャカルタの中層住宅における、建築空間・住民行動・コミュニティの関係分析を行った。	2016年 9月23日 ～2016年 9月30日
三 島 伸 雄	世界展開力の打ち合わせを行った。	2016年 4月 1日 ～2016年 4月 5日
三 島 伸 雄	韓国コンテンツ学会大会に出席・研究発表及び二国間交流事業共同研究打合せを行った。	2016年 5月19日 ～2016年 5月21日
三 島 伸 雄	環アジア国際セミナーへの参加、ならびに共同研究に関する打合せを行った。	2016年 6月17日 ～2016年 6月29日
三 島 伸 雄	歴史的な地方都市における住民目線による ICT 地域防災に関する資料収集を行った。	2016年 9月11日 ～2016年 9月18日
三 島 伸 雄	科学研究費研究打合せ及びまち空間改善に関する研究打合せとワークショップを行った。	2017年 3月10日 ～2017年 3月23日
根 上 武 仁	学術交流協定及び実験施設視察・共同研究の打ち合わせを行った。	2017年 2月27日 ～2017年 3月 2日
大 串 浩一郎	国際学会 APD IAHR 2016参加、河川流域環境視察を行った。	2016年 8月28日 ～2016年 9月 4日
大 串 浩一郎	モンゴル・ウランバートル市防災に関する共同研究打ち合わせを行った。	2016年 9月14日 ～2016年 9月17日
押 川 英 夫	国際学会への参加・講演を行った。	2016年 8月28日 ～2016年 9月 4日
押 川 英 夫	国際学会 APD IAHR 2016参加、河川流域環境視察を行った。	2016年 8月28日 ～2016年 9月 4日
小 島 昌 一	上海市内、常州市内の室内熱環境・エネルギー消費量データ回収を行った。	2016年 5月 7日 ～2016年 5月 9日
小 島 昌 一	上海市内、常州市内の室内熱環境・エネルギー消費量データ回収を行った。	2016年11月 5日 ～2016年11月 7日
小 島 昌 一	上海市内、常州市内の室内熱環境・エネルギー消費量データ回収を行った。 浙江大学城市学院において客員教授就任記念講演を行った。	2016年12月21日 ～2016年12月24日
小 島 昌 一	上海市内、常州市内の室内熱環境・エネルギー消費量データ回収を行った。	2017年 1月18日 ～2017年 1月21日
VONGTHANASUNTHORN NARUMOL	共同研究打合せを行った。	2016年 5月18日 ～2016年 5月21日
三 島 悠一郎	表敬訪問及び学術交流協定締結を行った。	2016年 8月19日 ～2016年 8月22日

氏 名	渡 航 お よ び 参 加 目 的	期 間
三 島 悠一郎	IALT 2016理事会に出席した。	2016年 9 月10日 ～2016年 9 月22日
三 島 悠一郎	佐賀大学ホームカミングデイ in ハノイ出席、低平地に関する国際会議の打ち合わせを行った。	2017年 2 月 9 日 ～2017年 2 月12日
田 口 陽 子	オランダ De Ceuvel のおける空間マネジメントの実態調査を行った。	2016年 9 月 5 日 ～2016年 9 月16日
寺 本 顕 武	WCNDT への参加および大学院生との共同研究の発表	2016年 6 月12日 ～2016年 6 月19日
堂 蘭 浩	ネバダ大学にて中国准教授との研究打合せ、CSCI16に参加、発表を行った。	2016年12月13日 ～2016年12月20日
堂 蘭 浩	ICMLC 2017への参加および大学院生との共同研究の発表を行った。	2017年 2 月24日 ～2017年 2 月26日
高 橋 英 嗣	ISOTT 2016に出席した。	2016年 7 月 9 日 ～2016年 7 月16日
高 炎 輝	国際会議 ICEF 2016に参加した。	2016年 9 月17日 ～2016年 9 月21日
高 炎 輝	国際会議 2 dm 2016に参加した。	2016年 9 月22日 ～2016年 9 月26日
高 炎 輝	武漢大学で実験、調査研究を行った。	2016年 9 月12日 ～2016年 9 月16日
高 炎 輝	国際会議 CEFC に参加した。	2016年11月12日 ～2016年11月18日
KHANMD.TAWHIDUL ISLAM	平成28年度 STEP s 海外研修に参加し、講演を行った。	2016年11月20日 ～2016年11月24日
竹 下 道 範	国際フォトクロミズムシンポジウム (ISOP2016) にて研究成果発表を行った。	2016年11月 3 日 ～2016年11月 8 日
竹 下 道 範	平成28年度 海外調査事業に参加した。	2016年12月 6 日 ～2016年12月14日
竹 下 道 範	リール第 1 大学にてリサーチミーティングに参加した。	2017年 1 月25日 ～2017年 1 月29日
村 松 和 弘	武漢大学にて客員教授として講義、共同研究を行った。	2016年 9 月12日 ～2016年 9 月26日
村 松 和 弘	国際会議 ICEF 2016に参加した。	2016年 9 月17日 ～2016年 9 月21日
村 松 和 弘	国際会議 2 dm 2016に参加した。	2016年 9 月22日 ～2016年 9 月26日
村 松 和 弘	数値電磁界解析に関する国際会議 CEFC2016に参加した。	2016年11月12日 ～2016年11月18日
村 松 和 弘	武漢大学にて客員教授として講義、共同研究を行った。	2017年 3 月 4 日 ～2017年 3 月18日
村 松 和 弘	ソウル大にて国際数値電磁界解析学会の役員会に出席した。	2017年 3 月19日 ～2017年 3 月22日

氏名	渡航および参加目的	期間
藤澤 知績	第5回国際振動光学活性分光に関する国際会議参加、発表を行った。	2016年9月10日 ～2016年9月17日
藤澤 知績	第77回岡崎カンファレンス「International Symposium on Ultrafast Dynamics in Molecular and Material Sciences」に参加、発表を行った。	2017年3月6日 ～2017年3月8日
矢田 光徳	AMEC2016にて研究成果の発表を行った。	2016年12月4日 ～2016年12月8日
大和 武彦	カール・レッドショウ教授を訪問し、特別講演および機能性有機色素開発に関する共同研究打合せを行った。	2016年7月3日 ～2016年7月8日
大和 武彦	8th ISNSCに参加し、研究発表および関連分野の情報収集を行った。	2016年7月11日 ～2016年7月17日
大和 武彦	香港科技大学化学系 唐本忠教授・馮星博士を訪問特別講演・機能性有機色素開発に関する共同研究打合せを行った。	2016年8月26日 ～2016年8月30日
大和 武彦	UAEU ティース・ティーマン教授を訪問し、特別講演および機能性有機色素に関する共同研究打合せを行った。	2016年10月15日 ～2016年10月21日
大和 武彦	マウロ・モセリノ教授を訪問し特別講演およびカリックスアレーンに関する共同研究打合せを行った。	2016年11月15日 ～2016年11月20日
大和 武彦	カールレッドショウ教授研究室・化学系の教員を訪問し、機能性発光材料開発に関する共同研究打合せを行った。	2016年11月29日 ～2016年12月5日
大和 武彦	ISPCAM 2016に参加し、座長および研究発表を行った。	2016年12月7日 ～2016年12月10日
大和 武彦	南洋理工大学を訪問し、特別講演および機能性有機材料開発に関する共同研究打合せを行った。	2017年1月2日 ～2017年1月7日
大和 武彦	韓国－日本－中国合同シンポジウム開催の打合せおよび国際セミナーに参加し、研究発表・情報収集を行った。	2017年1月23日 ～2017年1月24日
大和 武彦	Min Min Yee 教授を訪問し特別講演および共同研究打合せ、本学工学系研究科の紹介を行った。	2017年2月20日 ～2017年2月24日
大和 武彦	国際教育交流について討論及び情報収集を行った。	2017年3月7日 ～2017年3月9日
大和 武彦	蛍光性化学センサー・有機太陽電池・有機発光材料開発に関する共同研究打合せを行った。	2017年3月13日 ～2017年3月21日
橋本 時忠	国際会議13th ICFD に出席した	2016年10月10日 ～2016年10月12日

(6) 博士論文テーマ一覧表 (2014年4月～2015年3月)

講座／コース	修了生	教員	研究テーマ
システム創成科学専攻			
電子情報システム学コース (数理科学部門)	梶原 哲夫	前田 定廣	Geodesic spheres with sufficiently small radius in a complex hyperbolic space (複素双曲型空間内の半径が十分小さい測地球面)
電子情報システム学コース (電気電子工学部門)	王 旭	郭 其新	A study on wide bandgap oxide semiconductors (ワイドバンドギャップ酸化物半導体に関する研究)
電子情報システム学コース (電気電子工学部門)	佐藤 博	豊田 一彦	電磁界の波動信号処理を適用した広角指向性レクテナに関する研究
電子情報システム学コース (電気電子工学部門)	陳 政委	郭 其新	Epitaxial growth and characterization of rare earth doped Ga ₂ O ₃ films (希土類元素ドーパした酸化ガリウム薄膜のエピタキシャル成長と評価)
電子情報システム学コース (電気電子工学部門)	野口 卓朗	豊田 一彦	Schauer の回路とマイクロコントローラを組み合わせた簡易型微小位相差計測回路に関する研究
生産物質科学コース (物理科学部門)	徐 興亮	鄭 旭光	μ SR Study on Exotic Ferroelectric Transitions in Hydroxyl Salts Co ₂ (OH/D) ₃ X (水酸塩化物系物質 Co ₂ (OH/D) ₃ X の新奇強誘電転移に関する μ SR 研究)
生産物質科学コース (機械システム工学部門)	MAHMUD MD. SULTAN	宮良 明男	Two Phase Flow Distribution and Heat Transfer in Plate Heat Exchanger (プレート式熱交換器内気液二相流の流動と熱伝達特性に関する研究)
社会循環システム学コース (循環物質化学部門)	権藤 圭祐	北村 二雄	1,2-ビス(トリメチルシリル)アレーン類の簡便合成法の開発と超原子価ヨウ素ベンズジイン等価体への応用
社会循環システム学コース (循環物質化学部門)	上田 祐生	大渡 啓介	貴金属の選択的回収を目的とした弱い相互作用を用いた溶媒抽出試薬の開発、基礎研究および工業利用
社会循環システム学コース (都市工学部門)	ARTHUR HARRIS THAMBAS	大串浩一郎	INUNDATION RISK ANALYSIS OF THE STORM SURGE AND FLOOD FOR THE ARIAKE SEA COASTAL DISASTER MANAGEMENT (有明海沿岸域における災害危機管理のための高潮・洪水の浸水リスク解析)
社会循環システム学コース (都市工学部門)	鶴見 正史	木戸田 力	中小企業会計基準の設定と会計情報システム—社会的要請に応える新たな会計制度のあり方—
社会循環システム学コース (都市工学部門)	小林 一郎	木戸田 力	財務戦略の高度化に対応する法制度の在り方～MSCB 利用の資金調達最適化システム～
社会循環システム学コース (都市工学部門)	岸川 公紀	木戸田 力	会計測定構造と現代の会計制度における財務諸表—社会的要請に応える会計情報システムの再構築—
社会循環システム学コース (都市工学部門)	SHRESTHA SAILESH	柴 錦春	Method for Predicting Bending Failure of DCM Columns under Embankment Load (盛土荷重下における地盤改良コラムの曲げ破壊予測法)
社会循環システム学コース (都市工学部門)	PKSEELAGAMA	ラタナーヤカピヤダーサ	The Impact of Informal Institutions on Tourism Development in Sri Lanka: With Lessons Learnt from Japan (スリランカの観光産業の発展に対するインフォーマル・インスティテューションの影響 —日本からの教訓—)
社会循環システム学コース (都市工学部門)	白木 秀典	木戸田 力	地域中小医療法人の経営評価のフレームワーク 経済学部 教授—経営戦略と経営管理を軸として—
先端融合工学コース (先端融合工学部門)	JIANG XUEKAI	大和 武彦	Studies on Synthesis and Evaluation of Novel Ratiometric Fluorescent Chemosensors Based on Hexahomotrioxacalix [3] arenes (ヘキサホモトリオキサカリックス [3] アレーンを基盤とする新規蛍光性化学センサーの合成と評価に関する研究)
先端融合工学コース (先端融合工学部門)	ZHAO JIANGLIN	大和 武彦	Studies on Synthesis, Structural Properties and Applications of Fluorescent Chemosensors Based on Thiacalix [4] arenes (チアカリックス [4] アレーンを基盤とする蛍光性化学センサーの合成、構造特性および応用に関する研究)

(7) 修士論文テーマ一覧表 (2016年4月～2017年3月)

専攻	修了生	指導教員	論文題目
数理学専攻			
	大島 央	日比野雄嗣	量子分解を用いたサイクルグラフの漸近的スペクトル分布
	小嶋 彩子	中川 泰宏	極小曲面の Gauss 写像について
	定松 良	市川 尚志	多重ゼータ値のインデックスの総数
	白谷 峻	岡田 拓三	ベズーの定理及びネーターの定理とその応用
	中島 祐樹	市川 尚志	平方剰余と確率的素数判定法
	永田 光星	前田 定廣	可微分多様体上のリー微分
	伴内 乃明	日比野雄嗣	等質樹木の距離 2 グラフの漸近的スペクトル分布
	本末 温	岡田 拓三	平面代数曲線の変換について
物理学専攻			
	池崎 良人	河野 宏明	量子色力学の有効模型の研究
	一ノ瀬健次	青木 一	交差 D プレーンと磁場を持った D プレーンの関係
	岡 優希	鄭 旭光	MgCo ₃ (O[H/D]) ₆ Cl ₂ 及び Co ₂ (O[H/D]) ₃ Cl 膜の誘電特性及びラマン分光
	久保 雄	高橋 智	電弱相転移による重力波
	古賀 圭樹	杉山 晃	連成振動とスピノルの類似性
	實松 勇佑	橋 基	中性子星に対する暗黒物質捕獲の熱的影響
	戸田 大輔	房安 貴弘	ILC-TPC 次期プロトタイプ読み出しエレクトロニクス冷却構造研究
	中北慎太郎	房安 貴弘	STRIPIX チップを用いた X 線イメージング装置の開発
	長崎 祥之	杉山 晃	ILC-TPC に用いられる陽イオンゲート装置のシミュレーションによる性能評価
	東 昂功	河野 宏明	クォーク・ハドロン転移の現象論的解析
	兵頭 佑紀	青木 一	交差 D プレーン模型とその統計的扱い
	平岡 佑磨	青木 一	交差 D-プレーンとトポロジー
	吉田 慧河	高橋 智	宇宙起源の高エネルギーニュートリノの解析
知能情報システム学専攻			
	赤穂 大河	奥村 浩	GOSAT プロダクト検証用オゾン差分吸収ライダーデータ解析ツールの開発
	荒木 直人	只木 進一	マイクロブログに現れる Dunbar 数とその起源
	大宅 悠貴	中山 功一	潜在的に興味のある情報に気づかせる検索システムの開発
	岡野 慎也	奥村 浩	地上観測局ネットワークデータを用いた PM2.5可視化システムの改良
	奥 暁大	岡崎 泰久	多様なモバイル端末に対応した学内のイベント案内アプリケーションの開発と評価
	小西 拓人	奥村 浩	難聴者のための聞えの改善
	小柳 孝允	山下 義行	タブレット端末上の多数の医療検査データの表示アプリケーションの開発
	坂本 奈央	奥村 浩	正規化 Zernike モーメントベクトルに基づく教師付きテキストチャ分類手法におけるパラメータの検討
	富田 幸子	松前 進	プロジェクションマッピングを用いた PC 操作システムの試作
	豊永 港	中山 功一	対面授業を支援する CAQQ システムの改良と評価
	西村 康平	岡崎 泰久	手書き過程の提示が可能なプレゼンテーションツールの改良と情報提示の比較評価実験
	西村 直哉	大谷 誠	iBeacon とプッシュ通知を用いた出席管理システムの開発
	東原 凌平	中山 功一	発話者の感情を誘導する音声変換アルゴリズムの検討

福田 雅矢	大谷 誠	OpenFlow を用いたペアレンタルコントロールサービスの実現
藤木 宏史	松前 進	画像を用いた暗記学習アプリケーションの試作
松永 紘樹	皆本 晃弥	内視鏡画像診断におけるウェーブレット特徴量を用いた早期食道癌検出法
吉富 惇也	中山 功一	機械学習初心者に向けた機械学習ライブラリの作成と評価

循環物質化学専攻

島 靖卓	坂口 幸一	エステル化反応を用いた有機溶媒親和性のある酸化グラフェン誘導体の合成及び条件の検討
梅本 祐介	鯉川 雅之	長鎖アルキル連結型配位子による多核金属錯体の合成と性質
江口 伸夫	北村 二雄	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの官能基変換による嵩高い超原子価ヨウ素化合物及び隣接置換芳香族化合物の合成
岡崎 涼	成田 貴行	π -A 曲線と共焦点顕微鏡を用いたリボソームの変形評価法の検討
押川 雄紀	山田 泰教	Dianiline 化合物から誘導される多座配位子を用いた Zn(II) 錯体の合成と性質
川頭祐太郎	高椋 利幸	イミダゾリウム系イオン液体中での Ni ²⁺ イオンと各種分子性液体の錯形成平衡とその熱力学
木村 孝弘	山田 泰教	1-Phenylethylamine から誘導される光学活性二座配位子を含む Ni(II) 錯体の構造および反応性
栗原 滉季	兒玉 浩明	異なる FPR サブタイプに選択性を持つ二量体ペプチドの生物活性
黒里 郁仁	花本 猛士	β - (モノフルオロメチル) ビニルフェニルスルフィドの合成
小林 和矢	山田 泰教	ねじれ源にフルオレン骨格を有する配位子を用いた螺旋型複核錯体の構築
白鳥 武	坂口 幸一	大気圧プラズマ法による親水性炭素材料の合成および評価
居石 和己	鯉川 雅之	新規多孔性配位高分子の開発と壁面の自在制御
田中 英彦	北村 二雄	環状アルコキシオリゴチオフエン誘導体の合成
藤 貴弘	高椋 利幸	HFIP-水混合溶液中における Leucine および Leucine-Glycine の溶媒和構造とコンフォメーション変化の解明
道城 正和	花本 猛士	新規含フッ素不飽和スルホニウム塩の合成及び変換
時貞 雄成	長田 聡史	モノフルオロオレフィンに有する翻訳後修飾リジンミミックの合成研究
林田 和也	北村 二雄	ポリチオフエン及びオリゴチオフエン誘導体の合成
原田 滉平	鯉川 雅之	Tpyp 金属錯体を配位子とした多孔性配位高分子の合成
前田 大成	北村 二雄	CO ₂ を原料とする環状カーボナートおよび環状カルバメートの合成
光富 大貴	北村 二雄	高い歪みを持つ含窒素複素環化合物とベンザインの反応に関する研究
宮本 隼	兒玉 宏樹	ダム底泥及び Fe 資材添加によるイネの生育促進効果
森 健吾	山田 泰教	光学活性な分岐状六座配位子を用いた希土類錯体の合成と性質
森田 祥平	大石 祐司	水面上圧縮過程におけるアルキルアミン単分子膜の水相溶存イオンの影響
山崎 雄輝	北村 二雄	嵩高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成
山田 裕貴	成田 貴行	小型吸着式冷却装置における脱着繊維と送風の影響
吉武 恵	鯉川 雅之	混合原子価四核 Co 錯体の構造制御による新規単分子磁石の創成
渡邊 裕大	兒玉 浩明	イオンチャネル構造因子の機能解明を目的としたイオンチャネルペプチドの合成と活性評価

機械システム工学専攻

橋本 隆寛	辻村 健	前腕複合動作識別を目的としたサポートベクターマシンによる筋電位解析
SHANZIDA AKTER SHANTA	光武 雄一	Criterion for recovery of local stable wetting during periodical impacts of a droplet onto a hot surface
石田 大空	仮屋 圭史	低 GWP 新冷媒の熱物性測定および相関式の検討

石橋 弘樹	張 波	人工股関節のためのプラズマ溶射アルミナ被膜のトライボロジー特性に関する研究
浦田 幸尚	辻村 健	前腕筋電位を用いた単指動作の識別技術
小村 健	永田 修一	渦法による浮体型振り子式波力発電装置の性能評価に関する研究
上村 成明	長谷川裕之	微細構造制御に基づくコンポジットコーティングの開発
北村 顕	森田 繁樹	疑似生体環境内でのマグネシウム合金圧延材の変形・破壊特性
工藤 康浩	宮良 明男	溝付細径管内気液二相流における圧力損失および相変化伝熱
栗栖 嵩明	只野 裕一	結晶格子回転が HCP 金属のひずみ硬化挙動に与える影響
古賀 仁士	武富 紳也	水素マイクロプリント法を用いた SUS304 中の水素拡散係数測定と応力勾配の影響
小柳嬉見子	今井 康貴	渦法による振動水柱型波力発電装置の性能評価に関する研究
坂中理恵子	今井 康貴	有限体積法による振動水柱型波力発電装置の性能評価に関する研究
塩谷 光基	光武 雄一	地中熱の空調利用に適したサイクルの研究
嶋田 裕太	辻村 健	アクティブ FSO システムを用いた双方向光空間通信
副田 武司	只野 裕一	多結晶純マグネシウムにおける変形双晶に関する定量的検討
大黒隆一郎	佐藤 和也	ROS を用いた産業用マルチコプターの自律飛行制御に関する研究
田河 博康	森田 繁樹	AZ31 マグネシウム合金押出板材の疲労特性
多久島啓佑	萩原 世也	糖尿病性足病変予防靴の開発を目的とした有限要素解析
竹下 智徳	辻村 健	拡張現実技術を応用した壁面認識に基づくロボットナビゲーション
立若 一輝	塩見 憲正	狭小空間に置かれた小型軸流ファンの性能と内部流動に関する研究 (入口幾何形状と空間サイズの関係)
田中 雅哉	木上 洋一	減速流れ内での NACA65 翼まわりのコーナーはく離における食い違い角の影響に関する研究
中元寺功貴	長谷川裕之	窒化ジルコニウムをベースとする多元系セラミック薄膜の開発
中尾 瑛一	木上 洋一	半開放型軸流ファンへの斜流ファン設計法の適用に関する研究
中野 裕貴	池上 康之	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電の最適化に関する研究
中村 真嘉	池上 康之	プレート式熱交換器における蒸発および凝縮現象の可視化に関する研究
西岡 卓哉	石田 賢治	熱工学に関わる可視化データの解析支援システムの開発
橋本 敏生	有馬 博史	FC-72 強制対流核沸騰の CLSVOF 法を用いたシミュレーション計算
福田 章人	光武 雄一	高温面衝突噴流冷却時の非定常遷移沸騰過程の計測と観察
堀江 孝典	佐藤 和也	画像処理による二輪移動ロボット車の適応制御実験に関する研究
益田 敬明	石田 賢治	高圧気体中の微量成分の露点推算法に関する研究
道下 皓平	服部 信祐	高窒素ステンレス鋼の強度特性に関する基礎的研究
諸富 秀	大島 史洋	ギヤスカイピング加工のカッタ設計に関する研究
MWANGJESSEENJORA	張 波	The performance of TiAlN and Al-Rich (Al, Ti) N PVD Coated Tungsten Carbide Tools in High Speed Turning of Inconel 718 Alloy
藤井 一光	佐藤 和也	Formation Control of Multi Robots using Multiple-camera with ROS

電気電子工学専攻

井手 翼	大津 康徳	薄膜材料ターゲット均一利用のための回転型十字状磁化プラズマスパッタ装置の開発及び特性
植松 卓巳	嘉数 誠	吉野ヶ里メガソーラーにおける高速測定システムの構築と解析
潮 昇平	田中 徹	分子線エビタキシー法による ZnCdO 薄膜の成長と評価
岡野 友紀	田中 徹	分子線エビタキシー法による $Zn_{1-x}Cd_xTe_{1-y}O_y$ 混晶成長と太陽電池への応用
黒川 楽	古川 達也	弦振動を考慮した代表的二種ギター・ピックアップの動的電磁界解析
黒木 秀俊	大石 敏之	振動解析における積層鉄芯のモデリング
古賀 圭祐	深井 澄夫	インピーダンス計測における電流源に用いる基準信号回路の検討
古賀 優太	古川 達也	多巻線モデル変圧器の漏れリアクタンスの有限要素解析と実験的検証
境 智弘	猪原 哲	水中キャビテーション放電プラズマの発生特性および殺菌特性に関する

			る研究
下川 顕太郎	郭 其新		スパッタリング法による GaAs (111) 基板上的 GaN 薄膜成長に関する研究
庄野 智瑛	西尾 光弘		減圧有機金属気相成長法による P ドープ ZnTe のホモエピタキシャル膜の成長と評価
住山 貴史	大津 康德		対向円筒型ターゲットを用いたリング状磁化放電スパッタによる Al-ZnO 薄膜合成及び評価
高田 祐輔	大津 康德		高周波マグネトロンスパッタリングによる PVDF 薄膜合成とその評価
高橋 潤	豊田 一彦		RF 整合と DC 整合を考慮したディファレンシャルレクテナ設計法の研究
竹内健太郎	古川 達也		ダウンサイジングした柱上開閉器内蔵樹脂一体型電力センサの設計製作と特性解析に関する研究
田中 大貴	原 重臣		気象測定値を用いた太陽電池モジュールの温度推定
田中 裕喜	豊田 一彦		平面型マジック T を用いた入力振幅比制御 2 次元指向性可変アレーアンテナの研究
續 諒人	古川 達也		大学生の就職支援のための合同企業説明会管理・実施システムの設計と実装
中島 麻貴	伊藤 秀昭		自律多機能ロボットのための分散処理型対話制御及び駆動制御に関する研究
中嶋 悠太	西尾 光弘		減圧有機金属気相成長法による $Zn_{1-x}Mg_xSe_yTe_{1-y}$ の成長と <i>p</i> 型伝導型の制御
野田 真司	郭 其新		PLD 法による Er ドープ Ga_2O_3 薄膜の成長と特性評価に関する研究
福島 義浩	豊田 一彦		位相差給電による磁気共鳴型選択的無線電力伝送システムの拡張性に関する研究
古川 義晃	豊田 一彦		空間変調用ガン発振器・変調器一体型アクティブアンテナの研究
本川 良真	古川 達也		EMS 学習支援用遠隔計測実験システムの開発
松岡 稔貴	大石 敏之		MRI 用金属インプラントのアーチファクト低減のためのグラファイト粉末の実効磁化率の検討
松永祐太郎	深井 澄夫		4 値マイコンに用いる 4 値 ALU とメモリセルの検討
南 龍司	佐々木伸一		抵抗付加法によるプリント配線板電源層からの放射雑音低減の検討 - 周辺部スルーホールの評価 -
宮内 紀尚	田中 高行		相互同期型結合回路を用いた Push-Push 発振器アレーの研究
山口 修造	大石 敏之		低周波 S パラメータ測定による GaN HEMT のバッファトラップ評価に関する研究
吉川 大地	大石 敏之		大電力レクテナに向けた GaN SBD の小信号モデルの検討とカスコード応用型レクテナ回路作製に関する研究
HONWAN SERGIO DINS	嘉数 誠		Data Analysis of Photovoltaic System on Grid Discrete-Fourier-Transform-based Interpolation Method for Missing Data in Mega Solar Power Plant

都市工学専攻

黄 鵬翔 SIEWWUTANAGUL SOMSIRI	清田 勝 猪八重拓郎		Study of tradeoff between safety and convenience of two-way cycling The Urbanization Phenomenon Investigation: An Integration of Urban Attractiveness and Spatial Development Interaction in Railway Station Districts
KHAIMOOK PEERAPAT	柴 錦春		Relationship between Saturated Permeability and Air-Entry Value of Soils (土の飽和透水係数と空気の侵入値の関係)
荒牧 優希	平瀬 有人		全周パノラマ画像を用いた街路空間の記述法に関する研究 - 基山町・長崎街道沿いの町並みの「図になりやすさ」について -
一井健太郎	井嶋 克志		非弾性骨組構造物の地震応答解析において振動形解析法を使用した

			Newmark β 法の研究
今利 育美	平瀬 有人		Landform Architecture – 場所の形を紡ぐカタチの提案 –
江藤 修平	中大窪千晶		「建築雑誌」の特集を対象とした環境工学用語における共起関係の時代変遷
小淵 真弓	小島 昌一		縁側と隣接室内空間の温湿度とカビの発生に関する研究
栗崎 和歩	小島 昌一		熱的快適性に基づく指向性を考慮した放射暖房法の研究
古賀 智之	三島 伸雄		まちづくり学修における参加意識と修得能力の評価指標
寺町 雄太	猪八重拓郎		時空間的分析による佐賀低平地の都市構造評価に関する研究 – 人口予測と浸水想定区域及び住環境の観点から –
内藤 沙耶	平瀬 有人		図書館への用途転用改修手法に関する研究 – 従前用途からみた改修要素の分析 –
仲 浩慶	平瀬 有人		型の断片 – アルド・ロッシの「類型」の概念から導かれる建築の提案 –
永尾 悠希	末次 大輔		三重津海軍所船渠跡で発掘された砂・粘土互層造成地盤の機能解明に関する研究
原 英敏	清田 勝		T型交差点で発生する自動車と自転車の出合頭事故低減対策の提案
日高祐太郎	三島 伸雄		低平地に位置する歴史的町並みにおける住民意識を考慮した避難経路分析
福岡 祐也	井嶋 克志		定ひずみ要素を用いた懸垂膜曲面反転による圧縮シェル形状に関する研究
山崎 彬	帯屋 洋之		大変位平面骨組解析における Timoshenko 型接触要素力式の解析性能に関する研究
山田 翔平	井嶋 克志		非抗圧膜モデル理論による空気膜ドームのインフレーション解析に関する研究
KhaingMyintMo	三島 伸雄		Evaluation of colonial grid pattern city in tropical zone considering urban morphology viewing from shading aspect
PreetiPokhrel	大串浩一郎		AN INTEGRATED STUDY ON IMPACT OF LAND USE AND CLIMATE CHANGES ON THE HYDROLOGICAL PROCESSES IN KASE RIVER BASIN

先端融合工学専攻

GHOSHMOHENDRO KUMAR	村松 和弘		Investigation on Loss Reduction and Force Calculation of Iron Core Using Magnetic Field Analysis (磁界解析を用いた鉄芯の損失低減法と力の計算法の検討)
円田 智博	堂菌 浩		自己組織化マップを用いた C 言語演習状況の視覚化
綾部 達哉	矢田 光徳		Ce-Zr 化合物/界面活性剤ナノ複合体ナノチューブの合成
荒木 諭	堂菌 浩		自己組織化マップを用いた音声解析
一柳 弥志	大和 武彦		ピレンを基盤とする新規青色発光材料の合成と光学特性の評価
今村慎太郎	矢田 光徳		リン酸チタンナノ構造体薄膜を前駆体とした酸化チタンナノ構造体薄膜の合成と濡れ性
榎田 祐也	高橋 英嗣		MDA-MB-231細胞遊走の pH 勾配依存性
落合 和馬	竹下 道範		超分子ダイマーを形成する水素結合性フォトクロミックジアリールエテンの開発
金丸 拓史	橋本 時忠		圧力波による粘弾性体中気泡への力学的作用に関する研究
川淵 航	橋本 時忠		空気銃を用いたゲル薬剤輸送に関する研究
久原 俊亮	上野 直広		オールメタルシーリング機構の耐圧性能評価
古賀 大貴	村松 和弘		鉄芯の積層構造を考慮した誘導機の鉄損解析
近藤 洋平	イスラム カーン		AE 手法によるフェライトのき裂進展挙動検出に関する研究
坂本 光	イスラム カーン		AE 信号処理を用いた膝関節炎症診断に関する研究
島田 典	後藤 聡		海洋温度差発電実験プラント温熱源の動的モデル構築と温度制御
新郷 忠真	橋本 時忠		Ho:YAG レーザー誘起キャビテーションの医療応用に向けた基礎研

			究
瀬戸口修三	渡 孝則		陶磁器用顔料のための La ₄ Ti ₉ O ₂₄ : Eu ³⁺ + 赤色蛍光体の製造と特性
高橋 良介	木本 晃		4 電極式バイタル及び膀胱内尿量測定に関する研究
武田 真	渡 孝則		Sr ₂ MgSi ₂ O ₇ : Eu, Dy 蓄光体の製造と特性
武富 敦	竹下 道範		熱不可逆な新奇フォトクロミック化合物の開発
徳重 圭太	竹下 道範		クラウンエーテルを用いた水素結合性超分子ポリマーの光スイッチング
中嶋 貴広	大和 武彦		縮合多環芳香族炭化水素を置換したピレン類の合成及び光学特性に関する研究
西脇 大貴	寺本 顕武		微分干渉照明を用いた面外せん断ひずみの計測
野田 裕貴	大和 武彦		ヘキサアリアルベンゼン類を基盤とした新規 of 凝集誘起発光材料の合成と光学特性の評価
三浦 高史	矢田 光徳		ナノ・マイクロ形態が制御された酸化チタン粒子のリチウムイオン電池及びナトリウムイオン電池特性
南 昂希	木本 晃		筋活動解析のための積層型センサに関する研究
横尾 侑子	橋本 時忠		衝撃波管駆動粉体注射器を用いた粒子貫入挙動に関する研究
米川 史晃	木本 晃		静電気センサによる皮膚湿潤分布測定に関する研究
HE YUNAN	上野 直広		Real-time Fatigue Crack Detection of Hydrogen Tank using Mechanoluminescent Sensor with GPU acceleration

(8) 工学系研究科研究成果一覧表

数理学専攻

原著論文

R. Kajikiya	Symmetric mountain pass lemma and sublinear elliptic equations.	J. Differential Equations, Vol.3, No.2587-2610., 2016
R. Kajikiya	Nonradial positive solutions of the p-Laplace Emden-Fowler equation with sign-changing weight.	Mathematische Nachrichten, Vol.42769, No.290-299, 2016
Y. Komiya and R. Kajikiya	Existence of infinitely many solutions for the (p,q)-Laplace equation.	Nonlinear Differential Equations and Applications, Vol.4, No.1-23, 2016
Takato Uehara	Rational Surface Automorphisms Preserving Cuspidal Anticanonical Curves	Math. Ann., Vol.1, No.635-659, 2016. 6

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

中村健太郎	The local and global ε -conjectures for the rank two case	RIMS Kokyuroku Bessatsu Algebraic Number Theory and Related Topics 2014, 2016. 12
-------	---	---

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

半田賢司	Hierarchical coagulation-fragmentation equations	研究会集「マルコフ過程とその周辺」, とくぎんトモニプラザ (徳島市), 2017年1月
中村健太郎	A construction of local epsilon isomorphisms using Colmez's multiplicative convolution	Hakodate workshop on arithmetic geometry 2016, 函館, 2016年5月, 2016年5月
中村健太郎	A construction of local epsilon isomorphisms using Colmez's multiplicative convolution	Pan Asia Number Theory Conference 2016, 台湾, , 2016年7月
中村健太郎	A construction of local epsilon isomorphisms using Colmez's multiplicative convolution	ワークショップ「p進コホモロジーと数論幾何学」, 東京電機大学, , 2016年7月
中村健太郎	A construction of local epsilon isomorphisms using Colmez's multiplicative convolution	第三回日台整数論研究会, 台北 (台湾), 2016年9月
Takuzo Okada	Stable rationality of cyclic covers and some orbifold Fano 3-folds	Workshop on birational geometry and reduction to positive characteristic, University of Edinburgh, UK, 2016. 6
Takuzo Okada	Stable rationality of orbifold Fano 3-fold hypersurfaces	Rationality and selfmaps, RIMS, Kyoto, 2016. 7
Takuzo Okada	Stable rationality of orbifold Fano 3-fold hypersurfaces	城崎代数幾何学シンポジウム, 城崎国際アートセンター, 2016年10月
Takuzo Okada	On stable rationality of del Pezzo fibrations	The 15th Affine Algebraic Geometry Meeting, Kwansai Gakuin University, Osaka Umeda Campus, 2017. 3

岡田拓三	Stable rationality of conic bundles over projective spaces	農工大数学セミナー2017, 東京農工大学小金井キャンパス, 2017年3月
岡田拓三	Stable rationality of higher dimensional conic bundles	野田シンポジウム, 東京理科大学野田キャンパス, 2017年3月
Takato Uehara	Rigidity of automorphisms on rational surfaces	Complex dynamical systems and related topics, Kyoto University, 2016. 12

一般講演 (学会講演を含む)

R. Kajikiya	Nonradial positive solutions of the p -Laplace Emden-Fowler equation.	日本数学会筑波大学, 2016年
R. Kajikiya	Stability of stationary solutions for sublinear parabolic equations.	日本数学会 関西大学, 2016年
R. Kajikiya	半線形楕円型方程式の群不変解の存在	名城大学「ポテンシャル論セミナー」, 2016年
R. Kajikiya	Stability of stationary solutions for semilinear parabolic equations.	数理解析研究所, 研究集会「常微分方程式の定性的理論とその周辺」, 2016年
R. Kajikiya	半線形放物型方程式の定常解の安定性	熊本大学「熊本大学応用解析セミナー」, 2016年
中村健太郎	階数2の場合の局所及び大域イプシロン予想について	「 p 進数論幾何とその周辺」セミナー, 2016年2月, 京都大学数理解析研究所, 2016年2月
中村健太郎	Colmezの乗法的合成積を用いた局所イプシロン同型の構成について	九大代数学セミナー, 2016年2月, 九州大学, 2016年2月
中村健太郎	Local and global epsilon conjectures for the rank two case	「An explicit week」2016年2月, KIAS (ソウル), 2016. 2
中村健太郎	J. Bellaïche and G. Chenevier, "Families of Galois representations and Selmer groups" の概説	2016年度整数論サマースクール, 2016. 8
Yasuhiro Nakagawa	On the existence problems for Kähler-Ricci solitons on certain toric bundles	第22回複素幾何シンポジウム(金沢), 2016. 11
中川泰宏	ある種のトーリック束の上の Kähler-Ricci ソリトンの存在問題について	2016年度福岡大学微分幾何研究集会, 2016年11月
中川泰宏	ある種のトーリック束の上の Kähler-Ricci ソリトンの存在問題	東工大幾何セミナー, 2016年12月
中川泰宏	ある種のトーリック束の上の Kähler-Ricci ソリトンについて	淡路島幾何学研究集会2017, 2017年1月

物理科学専攻

原著論文

遠藤隆	力センサーと Arduino を用いたばね振動の計測	物理教育 Vol.64, No.3, pp.190-193, 2016. 9
-----	----------------------------	--

Masanori Miyazaki, Ichihiro Yamauchi, Ryosuke Kadono	Quest for the origin of heavy fermion behavior in d-electron systems	Journal of the Physical Society of Japan, Vol.85, pp.091009, 2016. 4
X.-L. Xu, D.-D. Meng, X.-G. Zheng, I. Yamauchi, I. Watanabe, Q.-X. Guo	Critical slowing of quantum atomic deuterium/hydrogen with features of multiferroicity in the geometrically frustrated system $\text{Co}_2(\text{OD})_3\text{Cl}/\text{Co}_2(\text{OH})_3\text{Cl}$	Physical Review B, Vol. 95, pp.024111, 2017. 1
Satoshi Suehiro, Keisuke Horita, Azzah Dyah Pramata, Masayoshi Yuasa, Yoichi Ishiwata, Kengo Shimanoe, Tetsuya Kida	Efficient solution route to transparent ZnO semiconductor films using colloidal nanocrystals	Journal of Asian Ceramic Societies 4 (2016) 319-323, 2016. 6
開田丈寛, 河野宏明, 高橋純一, 八尋正信 菅野淳平, 河野宏明, 八尋正信	Interplay between sign problem and Z_3 symmetry in three-dimensional Potts models Determination of hadron-quark phase transition line from lattice QCD and two-solar-mass neutron star observations	Physical Review D, Vol.94, No.1, pp.014011-1~014011-13, 2016. 7 Physical Review D, Vol.94, No.1, pp.014024-1~014024-9, 2016. 7
宮原昌久, 鳥越悠平, 河野宏明, 八尋正信 S. Takakura, I. Yamamoto, E. Koga, F. Ichikawa, J. Azuma, M. Maki	Equation of state and transition temperatures in the quark-hadron hybrid model Temperature-dependent Fermi surface of the misfit cobaltite $[\text{Bi}_2\text{Sr}_2\text{O}_4]_{0.51}\text{CoO}_2$: A comparison with $[\text{Bi}_2\text{Ba}_2\text{O}_4]_{0.50}\text{CoO}_2$	Physical Review D, Vol.94, No.1, pp.016003-1~016003-10, 2016. 7 Phys. Rev. B, Vol.93, pp.1651181-5, 2016. 4
J.B.R. Battat,,,,, A.Sugiyama et,al Kari Enqvist, Toyokazu Sekiguchi, Tomo Takahashi	Readout technologies for directional WIMP Dark Matter detection Mixed inflaton and spectator field models: CMB constraints and μ distortion	Phys. Rep C,Vol.C662, pp.1-46, 2016. 10 Journal of Cosmology and Astroparticle Physics, 1604, 057 (2016), 2016. 4
Ayuki Kamada, Kaiki Taro Inoue, Tomo Takahashi	Constraints on mixed dark matter from anomalous strong lens systems	Physical Review D 94, 023522 (2016), 2016. 7
Drazen Glavan, Tomislav Prokopec, Tomo Takahashi	Late-time quantum backreaction of a very light non-minimally coupled scalar	Physical Review D 94, 084053 (2016), 2016. 10
Tobias Binder, Laura Covi, Ayuki Kamada, Hitoshi Murayama, Tomo Takahashi, Naoki Yoshida	Matter power spectrum in hidden neutrino interacting dark matter models: a closer look at the collision term	Journal of Cosmology and Astroparticle Physics, 1611, 043 (2016), 2016. 11
Christian Byrnes, Guillem Domenech, Misao Sasaki, Tomo Takahashi	Strongly scale-dependent CMB dipolar asymmetry from super-curvature fluctuations	Journal of Cosmology and Astroparticle Physics, 1509, 067 (2016), 2016. 12

Ayuki Kamada, Kazunori Kohri, Tomo Takahashi, Naoki Yoshida	Effects of electrically charged dark matter on cosmic microwave background anisotropies	Physical Review D95, 023502 (2017), 2017. 1
Kazunori Kohri, Yoshihiko Oyama, Toyokazu Sekiguchi, Tomo Takahashi	Elucidating dark energy with future 21 cm observations at the epoch of reionization	Journal of Cosmology and Astroparticle Physics, 1702, 024 (2017), 2017. 2
Xing-Liang Xu, Xu-Guang Zheng, Isao Watanabe	Utilizing muon-spin-relaxation to probe ferroelectric transition in hydroxyl salt $\text{Co}_2(\text{OD})_3\text{Cl}$	Ferroelectrics, Volume 505, 2016-Issue 1 (2016) 141-146 doi/abs/10.1080/00150193.2016.1255131

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

石渡洋一	V ₂ O ₃ ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	九州大学低温センターだより, No. 42774, 2017. 3
Makoto Maki, Emi Koga, Sho-ichi Takakura, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma	Time-resolved photoemission study of charge-density wave in $\text{K}_0.3\text{MoO}_3$	Activity Report, Synchrotron Light Application Center Saga University 2014-2015, 2016. 9
Makoto Maki, Sho-ichi Takakura, Emi Koga, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma	Pseudo-gap formation in misfit-cobaltites studied by photoemission spectroscopy	Activity Report, Synchrotron Light Application Center Saga University 2014-2015, 2016. 9
真木一, 高倉将一	層状ミスフィット型コバルト酸化物の結晶構造解析	九州大学ナノマテリアル開発のための超顕微解析共有拠点 平成27年度成果報告書, 2016年10月
真木一, 高倉将一	層状ミスフィット型コバルト酸化物の不整合性解析	九州大学ナノマテリアル開発のための超顕微解析共有拠点 平成27年度成果報告書, 2016年10月

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

石渡洋一, 石井啓文, 南任真史, 木田徹也	V ₂ O ₃ ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	第26回日本MRS年次大会, 2016年12月
Tomo Takahashi	How can we probe inflation and the origin of density fluctuations?	JGRG26, Osaka City University, 2016. 10
Tomo Takahashi	Dark matter and Bounds on the low-reheating Temperature	Higgs as a probe of New Physics 2017, 2017. 3
鄭旭光	Mechanism Study for New Ferroelectric Transition in Hydroxyl Salt $\text{Co}_2(\text{OD})_3\text{Cl}$	ICTAM-AFM 10, International Conference on Technologically Advanced Materials and Asian Meeting on Ferroelectricity, 07-11 Nov 2016 at University of Delhi, New Delhi, India.

一般講演 (学会講演を含む)

船久保公一, 冬頭かおり, 瀬名波栄問 Hajime Aoki	高エネルギーでスファレロン過程は見えるか? Particle physics, String theory and Matrix model	日本物理学会秋季大会 (宮崎大学), 2016. 9 13th Yonsei-Saga Joint Seminar, 2017. 1
安敏志, 稲垣祐次, 河江達也, 石井啓文, Yen-Fa Liao, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	Co ドープ ZnO ナノ粒子とノンドープ ZnO ナノ粒子 の混合体の磁性	第122回日本物理学会九州支部例会, 2016年12月
牛島幸輝, 石井啓文, Yen-Fa Liao, Ku-Ding Tsuei, 今村真幸, 高橋和敏, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	NiS ナノ結晶の金属絶縁体転移	第122回日本物理学会九州支部例会, 2016年12月
丸山徹, 今村真幸, 高橋和敏, 石井啓文, Yen-Fa Liao, Ku-Ding Tsuei, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	Fe ₃ O ₄ ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	第122回日本物理学会九州支部例会, 2016年12月
宮原昌久, 鳥越悠平, 菅野淳平, 石井優大, 河野宏明, 八尋正信 開田丈寛, 高橋純一,	ハドロン相からクォーク相へのクロスオーバー相転移 の有効モデルによる解析 2 Z ₃ 対称性と符号問題	日本物理学会2016年秋季大会, 宮崎 大学, 2016年 9 月 日本物理学会2016年秋季大会, 宮崎 大学, 2016年 9 月
宮原昌久, 鳥越悠平, 河野宏明, 八尋正信 菅野淳平, 河野宏明, 八尋正信	クォーク・ハドロンハイブリッドモデルによる格子 QCD 計算の解析 III 有限アイソスピン化学ポテンシャル領域から探るカイ ラル・閉じ込め転移間の相関	第122回日本物理学会九州支部例会, 福岡大学, 2016年12月 第122回日本物理学会九州支部例会, 福岡大学, 2016年12月
河野宏明, 高橋純一, 石井優大, 菅野淳平, 宮原昌久, 八尋正信, 中村純	格子 QCD を用いた非対称有限密度物質の研究 III	日本物理学会2016年秋季大会, 宮崎 大学, 2016年 9 月
河野宏明, 高橋純一, 石井優大, 菅野淳平, 宮原昌久, 八尋正信, 中村純	格子 QCD を使った中性子星内物質の探究 II	第122回日本物理学会九州支部例会, 福岡大学, 2016年12月
高倉将一, 山本勇, 東純平, 市川聡夫, 友清芳二, 田中鉄土, 真木一	層状コバルト酸化物の電子構造における構造不整合性 の影響	第10回九州シンクロトロン光研究セ ンター研究成果報告会, 2016年 8 月

中庭翔, 柳瀬拓哉, 岡優希, 湯浅貴裕, 沼野壮, 山内一宏, 真木一, 鄭旭光 Sho-ichi Takakura, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma, Makoto Maki	水酸塩化物 $\text{Co}_2(\text{OH})_3\text{Cl}/\text{Co}_2(\text{OD})_3\text{Cl}$ の創製と評価 Temperature dependent Fermi surface in misfit cobal- tites studied by ARPES	2016年応用物理学会九州支部学術講 演会, 2016年12月 The 1st Asian Applied Physics Con- ference, 2016. 12
松尾一輝, 中島和貴, 高倉将一, 真木一 中島和貴, 松尾一輝, 高倉将一, 真木一 長崎祥之, 杉山晃, 房安貴弘, 他 中北慎太郎, 杉山晃, 房安貴弘, 他 戸田大輔, 杉山晃, 房安貴弘, 他 Tomo Takahashi	K0. 3MoO_3 単結晶の熱電能測定 熱電能でみる KTaO_3 における不純物の影響 LCTPC 用ゲート装置のシミュレーションによる性能 評価 STRIPIX チップを用いたガス検出器によるイメージ ング測定評価 ILC-TPC 読み出しエレクトロニクスの冷却研究 Probing Inflationary Universe with 21cm fluctuations	第122回日本物理学会九州支部例会, 2016年12月 第122回日本物理学会九州支部例会 プログラム, 2016年12月 日本物理学会2016年秋季大会, 2016 年9月 日本物理学会2016年秋季大会, 2016 年9月 日本物理学会2016年秋季大会, 2016 年9月 Seminar at McGill University, Mont- real, 2017年03月
Tomo Takahashi	Probing inflationary models on small and large scales	Cosmology Seminar at Institute for Theoretical Physics, Utrecht Uni- versity, 2016年11月
Tomo Takahashi	Dark matter interaction and structure formation in the Universe	Seminar at SISSA, Trieste, It- aly, 2016年11月
Tomo Takahashi	Probing Multi-field models of Inflation on Small Scales	Seminar at University of War- saw, 2016年06月
Tomo Takahashi	Mixed inflation and Spectator field Models: Current constraints and CMB mu distortion	Cosmology seminar at University of Jyvaskylä, 2016年05月
高橋智	Inflationary Universe: Current status and future pros- pects	福岡工業大学セミナー, 2016年04月

知能情報システム学専攻

著書

Setia Damawan Afandi, Yeni Herdiyeni, Lilik B. Prasetyo, Wahyudi Hashi, Kohei Arai, Hiroshi Okumura N. Bu, T. Tsuji, O. Fukuda	Nitrogen Content Estimation of rice Crop Based on Near Infrared (NIR) reflectance Using Artificial Nueal Network (ANN) EMG-Controlled Human-Robot Interfaces: A Hybrid Motion and Task Modeling Approach	Procedia Environmental Sciences, Elsevier, 33, 63-69, 2016年4月 Human Modeling for Bio-Inspired Robotics 1st Edition, Edited by Jun Ueda and Yuichi Kurita, 75-110, 2016, 2016 年9月
---	--	--

原著論文

Kohei Arai	Comparative Study of optimization Methods for Estimation of Sea Surface Temperature and Ocean Wind with microwave Radiometer data	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 1, 1-6, 2016. 1
Kohei Arai, Taka Eguchi	Rescue System with Health Condition Monitoring Together with Location and Attitude Monitoring as well as the Other Data Acquired with Mobile Devices	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 1, 7-13, 2016. 1
Kohei Arai, Masanori Sakashita	Evaluation of Cirrus Cloud Detection Accuracy of GO-SAT/CAI and Landsat-8 with laser Radar: Lidar and Confirmation with Calipso Data	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 1, 14-21, 2016. 1
Kohei Arai, Masaya Nakashima	Creation of a remote Sensing Portal for Practical Use Dedicated to Local Governments in Kyushu, Japan	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 3, 1-7, 2016. 1
Kohei Arai, takashi Higuchi	Method for Reducing the Number of Wild Animal Monitors by Means of Kriging	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 5, 14-20, 2016. 1
Kohei Arai, Masanori Sakashita, Hiroshi okumura, Shuichi Kawakami, Kei Shiomi, Hirofumi Ohyama,	Comparative Study on Cloud Parameter Estimation Among GOSAT/CAI, MODIS, CALIPSO/CALIOP and Landsat-8/OLI with Laser Radar as True Data	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 5, 21-29, 2016. 5
Kohei Arai	One of the Possible Causes for Diatom Appearance in Ariake Bay Area in Japan in the Winter from 2010 to 2015 (Clarified with AQUA/MODIS)	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 4, 1-8, 2016. 4
Kohei Arai, Shohei Fujise	Wildlife Damage Estimated and Prediction Using Blog and Tweet Information	International Journal of Advanced Computer Science and Applications, 5, 4, 15-21, 2016. 4
Kohei Arai	Data Hiding Method Replacing LSB of Hidden Portion for Secrete Image with Run-Length Coded Image	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 12, 8-16, 2016.
Herman Tolle, Aryo Pinandto, Eric Muhammad, Adans J., Kohei Arai	Virtual reality game controlled with user's head and body movement detection using smartphone sensors	Asian Research Publishing Network: ARPN Journal of Engineering and Applied Sciences, 10, 20, 9776-9782, 2016, ISBN1819-6608.
Iqbal Agmed, Hiroshi Okumura, Kohei Arai	An Information model as a Guideline to Design sustainable Green SLA (GSLA)	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 7, 4, 302-310, 2016. 5
Kohei Arai	Relation between Large Sized Diatom Appearance and Meteorological Data in Ariake Bay Area in Japan, in Particular, in the Winter in 2016	International Journal of Engineering Science and Research Technology, 2, 2, 1-9, 2016
Kohei Arai, Gondoh, Miura, Shigetomi	Effect of Stump density, Fertilizer on Rice Crop Quality and Harvest Amount in 2015 Investigated with Drone mounted NIR Camera Data	International journal of Engineering Science and research Technology, 2, 2, 1-7, 2016

O.Uchino, T.Sakai, T.Izumi, T.Nagai, I.Morino, A.Yamazaki, M.Deushi, K.umimoto, T.Maki, Y.Tanaka, T.Akaho, H.Okumura, K.Arai, T.Nakatsuru, T.Matsunaga, T.Yokota	Lidar Detection of High Concentrations of Ozone and Aerosols Transported from Northwest Asia Over Saga, Japan	Atmospheric Chemistry and Physics, dic: 10. 5194/acp-2016-520, 17, 1865-1879, 2017
Keiya Yummoto, Takashi Nagao, Maki Kikuchi, Tsuuoshi Sekiyama, Hiroshi Murakami, Taichu Tanaka, Akinori Ogi, Hitoshi Irie, Pradeep Khatri, Hiroshi Okumura, Kohei Arai, Isamu Morino, Osamu Uchino, Takashi Maki Kohei Arai	Aerosol data assimilation using data from Himawari-8, a next generation geostationary meteorological satellite	Geophysical Research Letters, AGU Publication, American Geophysical Union Journal, Wiley Online Library, DOI10. 1002/2016 GL069298, 2016
Akira Ono, Kohei Arai	Thresholding Based Method for Rain, Cloud Detection with NOAA/AVHRR Data by Means of Jacobi Iteration Method	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 6, 21-27, 2016
Herman Tolle, Kohei Arai	Radiometric Calibration of Spaceborne Optical Sensors	Journal of Remote Sensing Society of Japan, 36, 3, 256-263, 2016
Kohei Arai	Design of Head Movement Controller System (HEMOCS) for Control Mobile Application Through Head Pose Movement Detection	International Journal of Interactive Mobile Technologies, 10, 3, 24-28, 2016
Kohei Arai	Method for 3D Image Representation with Reducing the Number of Frames Based on Characteristics of Human Eyes	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 8, 7-12, 2016
Kohei Arai	Sensitivity Analysis of Aerosol Parameter Estimations with Measured Solar Direct and Diffuse Irradiance	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 8, 13-20, 2016
Kohei Arai	Pursuit Reinforcement Competitive Learning: PRCL Based Online Clustering with Tracking Algorithm and Its Application to Image Retrieval	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 9, 9-16, 2016
Iqbal Ahmed, Hiroshi Okumura, Kohei Arai	Identifying Green Services Using GSLA Method for Archiving Sustainability in Industries	International Journal of Advanced Computer Science and Applications, 7, 9, 160-167, 2016
Kohei Arai, Cahya Rahmad	Image Retrieval Method Utilizing Texture Information Derived from Discrete Wavelet Transformation Together with Color Information	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 10, 1-6, 2016

Kohei Arai	Error Analysis of Line of Sight Estimation Using Purkinje Images for Eye-Based Human Computer Interaction: EBHCI	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 10, 14-23, 2016
Kohei Arai	Method for Vigor Diagnosis of Tea Trees Based on Nitrogen Content in Tealeaves Relating to NDVI	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 10, 24-30, 2016
Kohei Arai	Pursuit Reinforcement Competitive Learning: PRCL Based On-line Clustering with Learning Automata	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 10, 37-43, 2016
Kohei Arai	Method for Aerosol Parameter Estimation Error Analysis- Consideration of Noises Included in the Measured Solar Direct and Diffuse Irradiance	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 11, 1-9, 2016
Kohei Arai	Aerosol Parameter Estimation Method Utilizing Solar Direct and Diffuse Irradiance Measuring Instrument without Sun Tracking Mechanics	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 11, 10-16, 2016
Kohei Arai, Kenji Gondoh, Osamu Shigetomi, Yuko Miura	Method for NIR Reflectance Estimation with Visible Camera Data Based on Regression for NDVI Estimation and Its Application for Insect Damage Detection of Rice Paddy Fields	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 11, 17-22, 2016
Iqbal Ahmed, Kenji Endo, Osamu Fukuda, Kohei Arai, Hiroshi Okumura, Kenichi Yamashita	Japanese Dairy Cattle Productivity Analysis using Bayesian Network Model (BNM)	International Journal of Advanced Computer Science and Applications, 7, 11, 31-37, 2016
Kohei Arai	Size Distribution Estimation Method Using Reflected Laser Light Angle Dependency by Rain Droplets	International Journal of Advanced Research on Artificial Intelligence, 5, 12, 1-7, 2016
Osamu Fukuda, Tatsuma Shimizu, Hiroshi Okumura, Kohei Arai, Kiyotaka Fukumoto, Satoshi Muraki,	Analysis of tigh proportion using the portable ultrasound imaging system	Proceedings of the IEEE Healthcom 2016, #1570286269, 2016. 5
Ari Sandhyavitri, Fajar restubadi, Rudianda Sulaiman, kohei Arai, Sigit Sutikno,	Assessment of mangrove carbon stock based on remote sensing (RS), Geographic Information System (GIS), and ground check methods in Indragiri Hilir, Indonesia	Proceedings of the ICCOE Conference, 1-8, 2016. 4

Osamu Uchino, Isamu Morino, Tetsu Sakai, Toshiharu Izumi, Tomohiro Nagai, Takashi Shibata, Hiroshi Okumura, Kohei Arai, Ben Liley, Gerty Bagtasa Kohei Arai	Lidar observations at prioritized sites for GOSAT validation	Proceedings of the AGU Fall Meeting 2016
Kohei Arai	Wavelet Multi-Resolution Analysis and Its Application to Polarimetry SAR Classification	Proceeding of the SAI Computing Conference 2016
Kohei Arai	Intelligent System for XCO ₂ and XCH ₄ Retrieval with FTIR Data	Proceedings of the SAI Intelligent Systems Conference 2016
Kohei Arai	Intelligent System for Agricultural Field Monitoring	Proceedings of the SAI Intelligent Systems Conference 2016
Kohei Arai	Future Technology for Wearable Computing in Particular for Input Devices	Proceedings of the SAI Future Technology Conference 2016
Kohei Arai	Wearable computing with computer input just by sight for health care	Proceedings of the 2016 International Conference on Advanced Computer Science and Information Systems, Keynote speech, 2016
Kohei Arai	Multi-level observation system for agricultural field monitoring	Proceedings of the 1 st International Conference on Sustainable Information, Engineering and Technology, Keynote Speech, 2016
Kohei Arai	Multi-Layer Observation for Agricultural Field Monitoring	Proceedings of the 1 st ICON-EEI 2016 Conference, Keynote Speech, 2016
Osamu Fukuda, Daisuke Hashimoto, Iqbal Ahmed	Bioelectrical impedance analysis for estimating marbling score of live beef cattle in Japan	2016 IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management (IEEM), 2016., 2016. 12
Iqbal Ahmed, Osamu Fukuda, Hiroshi Okumura, Kenji Endo, Kohei Arai, Kenichi Yamashita	Japanese Dairy Cattle Productivity Analysis using Bayesian Network Model (BNM)	International Journal of Advanced Computer Science and Applications, Vol. 7, No.11, pp. 31 - 37, 2016, 2016年11月
Osamu Fukuda, Tatsuma Shimizu, Hiroshi Okumura, Kohei Arai, Kiyotaka Fukumoto, and Satoshi Muraki	Analysis of Thigh Cross-sectional Proportion Using the Portable Ultrasound Imaging System	18th International Conference on E-health Networking, Application & Services, 2016年 9 月

Chika Oshima, Koichi Nakayama, Osamu Fukuda 石田 開, 鈴木啓太, 花田英輔, 広瀬 稔 掛下哲郎, 柴田祐貴	The Measurement of Wrist and Elbow Movements to Demonstrate a Relationship between a Piano Performer's Intended Movement and Performance 医療機関での LED 照明の安全な導入に向けた電磁環境面での評価－医用テレメータへの影響の検証－ Comparison Function with Right Answer for Software Design Support Tool Perseus	SICE annual conference 2016, pp.830-833, 2016年9月 医療機器学, Vol. 3, No.324-331, 2017.3 8-th International Conference on Computer Supported Education (CSEDU 2016), No.pp.341-348, 2016.4 5th International Conference on Learning Technologies and Learning Environment (LTLE 2016), No.322-327, 2016.7 5th International Conference on Learning Technologies and Learning Environment (LTLE 2016), No.316-321, 2016.7 情報処理学会論文誌：教育とコン ピュータ, Vol.No. 2, No.pp.20-36, 2016.10 18th International Conference on In- formation Integration and Web- based Applications & Services (ii- WAS 2016), No.pp.209-213, 2016.12
Tetsuro Kakeshita, Kosuke Ohta	Student Feedback Function for Web-based Programming Education Support Tool pgtracer	18th International Conference on In- formation Integration and Web- based Applications & Services (ii- WAS 2016), No.209-213, 2016.12
Miyuki Murata, Tetsuro Kakeshita	Analysis Method of Student Achievement Level utilizing Web-Based Programming Education Support Tool pgtacer	18th International Conference on In- formation Integration and Web- based Applications & Services (ii- WAS 2016), No.209-213, 2016.12
掛下哲郎, 柳田峻, 太田康介	穴埋め問題を用いたプログラミング教育支援ツール pgtracer の開発と評価	Proceedings of the 2016 Interna- tional Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition, No.pp.270-275, 2016.7 Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4 Advances in Intelligent Systems and Computing, No.939-948, 2016.4
Mika Ohtsuki, Kazuki Ohta, Tetsuro Kakeshita	Software Engineer Education Support System ALECSS Utilizing DevOps Tools	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4
Mika Ohtsuki, Kazuki Ohta, Tetsuro Kakeshita	Software Engineer Education Support System ALECSS Utilizing DevOps Tools	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.939-948, 2016.4
HAJIME OMURA, TERUYA MINAMOTO	IMAGE QUALITY DEGRADATION ASSESSMENT BASED ON THE DUAL-TREE COMPLEX DISCRETE WAVELET TRANSFORM FOR EVALUATING DIGITAL IMAGEWATERMARKING	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4
Ryuji Ohura, Hajime Omura, , Yasuhisa Sakata, Teruya MInamoto Hiroki Matsunaga, Hajime Omura, Ryuji Ohura, Teruya Minamoto	Computer-aided diagnosis method for detecting early esophageal cancer from endoscopic image by using dyadic wavelet transform and fractal dimension Daubechies wavelet-based method for early esophageal cancer detection from flexible spectral imaging color enhancement image	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4
町島希美絵, 石井弓子, 大島千佳, 細井尚人, 中山功一	重度認知症患者デイケアにおける利用者の「できる」作業決定までの過程	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4
Chika Oshima, Kimie Machishima, Katsuki Yamaguchi, Koichi NAKAYAMA	A Piano Lesson Method where User Plays the Piano Laying His or Her Hands on the Image of a Model Performer's Hands	Advances in Intelligent Systems and Computing, No.929-938, 2016.4 日本認知症ケア学会誌論文, Vol. 2, No. 503-512, 2016.7 Lecture Notes in Computer Science, No.475-483, 2016.7

- Chika Oshima,
Koichi NAKAYAMA,
Osamu Fukuda
Chika Oshima,
Kimie Machishima,
Katsuki Yamaguchi,
Koichi NAKAYAMA
中山功一, 村上剛,
大島千佳
- The Measurement of Wrist and Elbow Movements to Demonstrate a Relationship between a Piano Performer's Intended Movement and Performance
A Method of Displaying a Model Performance to Motivate Elderly Novice People to Play the Keyboard Instrument
バランス Wii ボードを用いた足用ポインティングシステムの検討
- the SICE annual conference 2016, No.830-833, 2016. 9
ヒューマンインタフェース学会誌, 「人を誘う (いざなう, さそう) インタフェース」特集号, Vol. 3, No. 163-176, 2016. 8
ヒューマンインタフェース学会論文誌, Vol. 1, No. in Printing, 2017. 2
- Yasuhisa Okazaki,
Seina Mori,
Hiroshi Wakuya,
Nobuo Mishima,
Yukuo Hayashida,
Byung-Won Min
I. Ahmed,
H. Okumura, and
K. Arai
I. Ahmed,
H. Okumura,
and K. Arai
H. Ohyama,
S. Kawakami,
O. Uchino, T. Sakai,
I. Morino, T. Nagai,
K. Shiomi,
M. Sakashita,
T. Akaho,
H. Okumura,
K. Arai
O. Uchino, T. Sakai,
T. Izumi, T. Nagai,
I. Morino,
A. Yamazaki,
M. Deushi,
K. Yumimoto,
T. Maki,
Taichu Y. Tanaka,
T. Akaho,
H. Okumura,
K. Arai,
T. Nakatsuru,
T. Matsunaga,
T. Yokota
- Development of a Sustainable Community-based Hazard Map Creation Support System for Traditional Towns with Local Heritage
An Informational Model as a Guideline to Design Sustainable Green SLA (GSLA)
Identifying Green Services using GSLA Model for Achieving Sustainability in Industries
Seasonal variation of the O₃-CO correlation derived from remote sensing measurements over western Japan
Lidar detection of high concentrations of ozone and aerosol transported from Northeast Asia over Saga, Japan
- International Journal of Contents, Vol.No.2, No.pp.58-65, 2016. 6
International Journal of Advanced Computer Science and Applications, Vol.4, No.302-310, 2016. 4
International Journal of Advanced Computer Science and Applications, Vol. 9, No.160-167, 2016年9月
Atmospheric Environment, No. 344-354, 2016年12月
Atmospheric Chemistry and Physics, No.1865-1879, 2017. 2

I. Ahmed, K. Endo, O. Fukuda, K. Arai, H. Okumura and K. Yamashita	Japanese Dairy Cattle Productivity Analysis using Bayesian Network Model (BNM)	International Journal of Advanced Computer Science and Applications, Vol. 11, No. 31-37, 2016年12月
Ryoji Kurata, Naoto Hamada, Chia-Ling Hsu, Takamasa Suzuki, Suguru Ueda, Makoto Yokoo	Pareto Efficient Strategy-proof School Choice Mechanism with Minimum Quotas and Initial Endowments	Fifteenth International Conference on Autonomous Agents and Multi-agent Systems (AAMAS 2016), No.59-67, 2016. 5
Akihiro Nakayama, Macoto Kikuchi, Akihiro Shibata, Yuki Sugiyama, Shin-ichi Tadaki and Satoshi Yukawa	Quantitative explanation of circuit experiments and real traffic using the optimal velocity model	New Journal of Physics, No.43040, 2016. 4
Shin-ichi Tadaki, Macoto Kikuchi, Akihiro Nakayama, Akihiro Shibata, Yuki Sugiyama and Satoshi Yukawa	Characterizing and distinguishing free and jammed traffic flows from the distribution and correlation of experimental speed data	New Journal of Physics, No.83022, 2016. 8
Takuma Kimura, Teruya Minamoto, Mitsuhiro T. Nakao	Optimal order constructive a priori error estimates for a full discrete approximation of the heat equation	17th International Symposium on Scientific Computing, Computer Arithmetic and Verified Numerics, No. 72-73, 2016年9月
Ryo Kobayashi, Takuma Kimura, Shin'ichi Oishi	A method of verified computation for convex programming	17th International Symposium on Scientific Computing, Computer Arithmetic and Verified Numerics, No.121-122, 2016. 9
Ryo Kobayashi, Takuma Kimura, Shin'ichi Oishi	A method for verifying the accuracy of numerical solutions of symmetric saddle point linear systems	Numerical Algorithms, No.42754, 2016. 11
Nobuhiko Yamaguchi	Visualizing States of Time-series data by Autoregressive Gaussian Process Dynamical Models	The 8th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems, and the 17th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS-ISIS 2016), No.972-975, 2016. 8
Yoshiyuki Yamashita	Implementing a Rasterization Framework for a Black Hole Space-Time	Journal of Information Processing, Vol.4, No.10, 2016. 7

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

花田英輔	持ち込まれるモバイル端末に対応する無線LANの整備と環境の構築（警告：今の無線LANでは危ない（Part 1）） -- （患者ニーズにこたえるLAN対応）	月刊新医療, Vol. 12, No. 122-125, 2016年12月
------	---	---------------------------------------

花田英輔, 加納 隆	医療機関で安心安全に電波を活用するための手引き発行について：医療のユビキタス化を目指して	電子情報通信学会ヘルスケア・医療情報通信技術研究会報告, Vol. 141, No. 105-108, 2016年 7月
花田英輔, 石田 開	PLC の利用に関する検討医療環境における高速電力線搬送通信 (PLC) の導入実験と EMC : 何を調べ、何を明らかにしたいのか	月刊 EMC, Vol. 3, No. 9197, 2016年 7月
皆本晃弥	ティーチング・ポートフォリオによる教育業績評価	医学教育, Vol. 2, No. 89-96, 2016年 4月
岡崎泰久, 西村康平, 吉川 厚	手書きとアニメーションによる情報提示の比較評価実験	電子情報通信学会技術研究報告, Vol., No. 228, No. pp. 13-18, 2016年 9月
西村康平, 吉川 厚, 岡崎泰久	手書きとアニメーションによる情報提示の興味領域分析	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 266, No. pp. 21 -26, 2016年10月
evri Tri Ardiansah, Yasuhisa Okazaki, Aji Prasetya Wibawa, Triyanna Widiyaningtyas	Development of a Web-based Data base Learning Support System for Practical Implementation of SQL	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 266, No. 57-62, 2016年10月
奥 暁大, 田中久治, 岡崎泰久	多様なモバイル端末に対応した学内のイベント案内アプリケーションの試作と評価	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 266, No. pp. 67-72, 2016年10月
岡崎泰久, 奥 暁大, 田中久治	HTML5 による学内イベント案内アプリケーションの試作	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. no. 517, No. pp. 189-194, 2017年 3月
岡崎泰久, 田代健太, 吉川 厚	音声による説明を伴う情報提示における手書きとアニメーションの比較実験	教育システム情報学会研究報告, Vol. no. 6, No. pp. 83-88, 2017年 3月
荒木直人, 日永田泰啓, 只木進一	マイクロブログに現れる Dunbar 数とその起源	第22回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム, No. 25, 2016年12月
野田季宏, 日永田泰啓, 只木進一	Nagel-Schreckenberg モデルを用いた流量逆転の原因分析	第22回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム, No. 53, 2016年12月
山口暢彦	ARGPDM を用いた時系列データの状態可視化	第32回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, No. 521-526, 2016年 9月

特許

新井康平	表示制御装置	佐賀大学, 特願2013-133818 (審査請求),
中山功一, 大島千佳	気分誘導装置および気分誘導プログラムならびに気分誘導方法	佐賀大学, 特願2013-237109 (審査請求),
皆本晃弥	情報処理装置, 情報抽出装置, 情報処理方法及びそのプログラム	佐賀大学, 5935972 (国内登録),
新井康平	健康管理システム, その方法及びプログラム並びに眼鏡型生体情報取得装置	佐賀大学, 5943344 (国内登録),
皆本晃弥	情報処理装置及び情報処理プログラム	佐賀大学, 6069788 (国内登録),

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

福田修	モノのインターネットと AI およびその応用事例	佐賀生産技術研究会 第241回例会, 2016年 6 月
Eisuke Hanada, Takato Kudou	Managing the Availability of Hospital Wireless Communication Systems	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference, 2016. 8
Takato Kudou, Eisuke Hanada	Numerical Analysis of Electromagnetic Band-Stopping using Non-Metal Periodic Structures	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference, 2016. 8
花田英輔, 加納 隆	医療機関で安心・安全に電波を活用するための手引き	2017年日本建築学会 建築電磁環境に関する研究発表会2017資料集, 2017年 2 月
掛下哲郎	ソフトウェア技術者認証に関する国際標準 ISO/IEC 24773とその改訂に向けた戦略	情報処理学会第79回全国大会イベント「CITP 続々誕生－国際的に通用する高度情報処理技術者資格－」, 2017年 3 月
木村拓馬	最適化問題に関連する精度保証付き数値計算法について	第28回 RAMP シンポジウム, 2016年10月

一般講演 (学会講演を含む)

板東由憲, 福田修, ト楠, 奥村 浩, 新井康平	一般物体認識機能を有する義手制御システムの開発	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 2016年
島隆聖, 何宇楠, 福田修, 奥村浩, 新井康平, ト楠	空間情報を利用した深層畳込みニューラルネットによる物体認識	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 2016年12月
高橋雄太, 福田修, 奥村浩, 新井康平	IoT 技術を取り入れた筋電義手の制御	ロボティクス・メカトロニクス講演会2016, 2016年 6 月
板東由憲, 福田修, 奥村浩, 新井康平	筋電位識別と一般物体認識を融合した電動義手の制御	ロボティクス・メカトロニクス講演会2016, 2016年 6 月
福田修, 森直道, 橋元大介, 早田剛, 佐藤正浩, 高山和貴	生体電気インピーダンスを利用した肥育牛の脂肪交雑評価システム	ロボティクス・メカトロニクス講演会201, 2016年 6 月
Eisuke Handa, Takato Kudou	Insuring the "network availability" necessary for effective wireless communication in hospitals	Medical Informatics Europe 2016, 2016. 8
Kai Ishida, Eisuke Hanada, Minoru Hirose	Investigation of Interference with Medical Devices by Power Line Communication to Promote Its Safe Introduction to the Clinical Setting	EMC Europe 2016, 2016. 9
大田和樹, 高崎光弘, 大月美佳, 掛下哲郎	ソフトウェア開発技術者教育支援システム ALECSS を用いたプログラムの自動点検機能の評価	情報処理学会九州支部若手の会セミナー, 2016年 9 月
大月美佳, 大田和樹, 高崎光浩, 掛下哲郎	ソフトウェア開発技術者教育支援システム ALECSS のためのプログラム点検用スクリプトの実装と評価	情報処理学会情報教育シンポジウム (SSS2016), 2016年 8 月

Yutaro Hidaka, Nobuo Mishima, Hiroshi Wakuya, Yukuo Hayashida, Yasuhisa Okazaki, Keiko Kitagawa, Sun-Gyu Park, Yong-Sun Oh	A temporary evacuation area like open space analysis for disaster prevention town considering probability of street blockade-	Proceedings of 2016 KoCon Spring Conference: Convergence Contents Vol.14, No 1., 2016. 5
Byung-Won Min, Yasuhisa Okazaki, Yong-Sun Oh	Design of Management Structure Measuring Integrated Monitoring System Based on Linked Open Data	Proceedings of 2016 KoCon Spring Conference: Convergence Contents Vol.14, No 1., 2016. 5
Shun Kozaki, Yasuhisa Okazaki, Hiroshi Wakuya, Nobuo Mishima, Yukuo Hayashida, Byung-Won Min	Implementation of information sharing on a Hazard Map Creation Support System in a Traditional Local Town	Proceedings of 2016 KoCon Spring Conference: Convergence Contents Vol.14, No 1., 2016. 5
西村康平, 吉川 厚, 岡崎泰久	手書きとアニメーションによる情報提示の違いの分析	教育システム情報学会第41回全国大会, 2016年 8月
奥 暁大, 田中久治, 岡崎泰久	多様なモバイル端末に対応した学内のイベント案内アプリケーションの開発	教育システム情報学会第41回全国大会講演論文集, 2016年 8月
西村康平, 吉川 厚, 岡崎泰久	手書きとアニメーションによる情報提示の興味領域分析	電子情報通信学会教育工学研究会, 2016年10月
Jevri Tri Ardiansah, Yasuhisa Okazaki, Aji Prasetya Wibawa, Triyanna Widiyaningtyas	Development of a Web-based Data base Learning Support System for Practical Implementation of SQL	電子情報通信学会教育工学研究会, 2016年10月
奥 暁大, 田中久治, 岡崎泰久	多様なモバイル端末に対応した学内のイベント案内アプリケーションの試作と評価	電子情報通信学会教育工学研究会, 2016年10月
松尾将, 田中久治, 岡崎泰久	歴史的な地方都市における域ハザードマップ作成支援システムの地図画面改良	教育システム情報学会2016年度学生研究発表会, 2017年 3月
筒井隆文, 田中久治, 岡崎泰久	HTML 5 を用いた卓球ゲームリアルタイム記録・分析アプリの開発	教育システム情報学会2016年度学生研究発表会, 2017年 3月
Jevri Tri ARDIANSAH, Yasuhisa OKAZAKI, Aji Prasetya WIBAWA, Triyanna WIDIYANINGTYAS	Development and Trial Use of a Web-based Database Learning System	教育システム情報学会2016年度学生研究発表会, 2017年 3月
岡崎泰久, 奥暁大, 田中久治	HTML 5 による学内イベント案内アプリケーションの試作	電子情報通信学会教育工学研究会 (ET), 2017年 3月
岡崎泰久, 田代健太, 吉川 厚	音声による説明を伴う情報提示における手書きとアニメーションの比較実験	教育システム情報学会研究会, 2017年 3月
Shun Kozaki, Yasuhisa Okazaki, Hiroshi Wakuya, Nobuo Mishima, Yukuo Hayashida, Byung-Won Min	Implementation of the Information Management Function of a Hazard Map Creation Support System in a Traditional Local Town	ICCC 2016 International Conference on Convergence Content, 2016. 12

Yutaro Hidaka, Nobuo Mishima, Hiroshi Wakuya, Yasuhisa Okazaki, Yukuo Hayashida, Keiko Kitagawa, Sun-gyu Park, Yong-sun Oh Byung-Won Min, Yong-Sun Oh, Yukuo Hayashida, Nobuo Mishima, Yasuhisa Okazaki 吉賀夏子, 只木進一 吉賀夏子, 只木進一	An evacuation route study based on probability of street blockade and risk of refuge place in a traditional lowland town Usability Improvement of Mobile U-Health Service Platform 古典籍データ中の非正規記述からの周辺情報抽出とその構造化 古典籍データ中の非正規記述からの周辺情報抽出とその構造化	ICCC 2016 International Conference on Convergence Content, 2016. 12 ICCC 2016 International Conference on Convergence Content, 2016. 12 人文科学とコンピュータシンポジウム 2016, 2016年12月 人文科学とコンピュータシンポジウム 2016 (国立情報学研究所, 2016), 2016年12月
荒木直人, 日永田奏啓, 只木進一 野田季宏, 日永田奏啓, 只木進一 山下義行	マイクロブログに現れる Dunbar 数とその起源 Nagel-Schreckenberg モデルを用いた流量逆転の原因分析 タブレット端末上でのブラックホール時空のリアルタイムコンピュータグラフィックス	第22回交通流の自己駆動粒子径シンポジウム (京都大学, 2016), 2016年12月 第22回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム (京都大学, 2016), 2016年12月 第69回電気・情報関係学会九州支部連合大会, 2016年9月
花田英輔, 工藤孝人 花田英輔, 加納隆	情報通信設備を考慮した病院建築・設備の有り方の再考 医療機関における無線 LAN 利用に向けた手引き	電子情報通信学会2016年総合大会, BI-10-6, 2016, 3 2016年電子情報通信学会通信ソサイエティ大会, B-20-19, 2016, 9
花田英輔	医療機関での無線 LAN 利用の問題点と対策	第45回日本医療福祉設備学会 p. 83, 2016, 10
花田英輔	医療機関における無線通信活用上の問題点	第36回医療情報学連合大会2-G-1-2, p. 142, 2016, 11
和田浩樹, 花田英輔	緊急時対応機能を持つ健康情報保持アプリケーションの開発	第45回日本医療福祉設備学会 p. 157, 2016, 10

循環物質化学専攻

著書

高椋利幸	材料表面の親水・親油の評価と制御設計	2016年7月
------	--------------------	---------

原著論文

- | | | |
|---|---|--|
| Guoyoung Song,
Gen Luo,
Juzo Oyamada,
Yi Luo,
Zhaomin Hou | ortho-Selective C-H addition of N,N-dimethyl anilines to alkenes by a yttrium catalyst | Chem. Sci. 7, pp.5265-5270, 2016. 4 |
| Adi E. Nako,
Juzo Oyamada,
Masayoshi Nishiura,
Zhaomin Hou | Scandium-catalysed intermolecular hydroaminoalkylation of olefins with aliphatic tertiary amines | Chem. Sci. 7, pp.6429-6434, 2016. 7 |
| Masanao Era,
Xuelong Zhang,
Tsutomu Ishii,
Thies Thiemann,
Kanji Kubo,
Akira Ori, and
Shuntaro Mataka | High hole mobility of benzo-2,1,3-thiadiazole polycrystals formed by utilizing self-assembly property of liquid crystalline mesophase. | Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.03 DE 02-1-03 DE 02-4, 2016. 3 |
| Masanao Era,
Takeshi Yasuda,
Kento Mori,
Naoki Kawano,
Masanori Hoshimizu,
and Keisuke Asai | PbBr-based layered perovskite organic-inorganic superlattice having carbazole chromophore; hole-mobility and quantum mechanical calculation | Journal of Nanoscience and Nanotechnology, Vol.16, pp.3159-3167, 2016. 4 |
| Masanao Era,
Yumeko Komatsu,
and Naotaka Sakamoto | Enhancement of Exciton Emission in Lead Halide-Based Layered Perovskites by Cation Mixing | Journal of Nanoscience and Nanotechnology, Vol.16, pp.3338-3342, 2016. 4 |
| Kensuke Hirotaki,
Kohei Yamaguchi,
Takeshi Hanamoto | Base-Free Synthesis of CF ₃ -containing β -Tryptamine Derivatives from N-Nosyl-2-CF ₃ -Aziridine and Indoles | Synlett, Vol.27, pp.2846-2850, 2016. |
| H.Osako, J.Taira,
Y. Higashimoto,
H. Kodama,
S. Osada | Peptide Deformylase Processable Triazole-containing Formyl Peptide Mimetics | Pept. Sci. 2015, pp.159-162, 2016. 2 |
| R. Kai, K. Kurihara,
Y. Katafuchi,
S. Koga, S. Osada,
M. Jelokhani-Niaraki,
H. Kodama | Syntheses and Biological Activities of Heterodimeric Formyl Peptides Cross-Linked with Amino Acid Residues | Pept. Sci. 2016, pp.100, 2017. 3 |
| Y. Watanabe,
A. Kawasetsu,
S. Osada,
M. Jelokhani-Niaraki,
H. Kodama | Effect of Hinge Sequence on the Ion Channel Activity of Aib-Containing Synthetic Peptides | Pept. Sci. 2016, pp.103, 2017. 3 |
| 西郡大, 園田泰正,
兒玉浩明 | 「多面的・総合的評価」に向けた佐賀大学の入試改革 | 大学入試研究ジャーナル, Vol. 26, pp. 23-28, 2016年3月 |

- T. Iyoda,
Y. Nagamine,
Y. Nakane,
Y. Tokita, S. Akari,
K. Otsuka, M. Fujita,
K. Itagaki,
Y. Takizawa,
H. Orita, T. Owaki,
J. Taira, R. Hayashi,
H. Kodama, F. Fukai
北村二雄
- Coadministration of the FNIII 14 peptide synergistically augments the anti-cancer activity of chemotherapeutic drugs by activating pro-apoptotic Bim
- PLoS One, 11, e0162525, 2016. 9
- Sakiyama, Hiroshi;
Kato, Masatoshi;
Sasaki, Satoshi;
Tasaki, Moriya;
Asato, Eiji;
Koikawa, Masayuki
Megumi Yoshitake,
Ko Yoneda,
Yasunori Yamada,
Masayuki Koikawa
Masaya Okamura,
Mio Kondo,
Reiko Kuga,
Yuki Kurashige,
Takeshi Yanai,
Shinya Hayami,
Vijayendran K. K. Praneeth,
Masaki Yoshida,
Ko Yoneda,
Satoshi Kawata,
Shigeyuki Masaoka
Masato Tominaga,
Aiko Sasaki,
Masayuki Tsushida,
Makoto Togami
Fredy Kurniawan,
Nur Shofwah Al Kiswiyah,
Kartika A. Madurani,
Masato Tominaga
Masato Tominaga,
Aiko Sasaki,
Makoto Togami
- 超原子価ヨウ素を用いるフッ素化反応：触媒的および量論的フッ素化反応の開発
- 有機合成化学協会誌, Vol. 75, pp. 134-143, 2017年 2月
- Synthesis and magnetic properties of a dinuclear manganese(II) complex with two manganese(II) ions of C₂-twisted octahedral geometry
- Polyhedron, Vol.111, pp.32-37, 2016. 4
- Synthesis and crystal structure of a tetranuclear Mn(III)-Ni(II)heterometal complex of N-(2-oxymethylphenyl) salicylideneimine
- X-ray Structure Analysis Online 32, 1-2, 2016
- A pentanuclear iron catalyst designed for water oxidation
- Nature 530, 465-468, 2016
- Biosurfactants Functionalized Single-walled Carbon Nanotubes to Promote Laccase Bioelectrocatalysis
- New J.Chem., Vol.41, No.1, pp.231~236, 2017. 1
- Single-Walled Carbon Nanotubes-Modified Gold Electrode for Dopamine Detection
- ECS Journal of Solid State Science and Technology, Vol.6, No.6, pp.M3109-M3112, 2017. 2
- Bioelectrocatalytic Oxygen Reaction and Chloride Inhibition Resistance of Laccase Immobilized on Single-walled Carbon Nanotube and Carbon Paper Electrodes
- Electrochem., Vol.84, No.5, pp.315-31, 2016. 5

- Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru, Yushi Oishi, Takayuki Narita
Yushi Oishi, Masahiko Shimoda, Takayuki Narita, Koichi Sakaguchi, and Masanao Era
K. Ohto, Y. Hashimoto, Y. Ueda, A. Yamashita, S. Morisada, H. Kawakita, Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto
M. Matsugami, R. Yamamoto, T. Kumai, M. Tanaka, T. Umecky, T. Takamuku, S. Katsube, M. Kinoshita, K. Amano, T. Sato, Y. Katsumoto, T. Umecky, T. Takamuku, T. Kaji, M. Hiramoto, Y. Tsurunaga, K. Nishiyama
B. A. Marekha, V. Koverga, E. Chesneau, O. Kalugin, T. Takamuku, P. Jedlovszky, A. Idrissi
Y. Horikawa, T. Tokushima, O. Takahashi, H. Hoke, T. Takamuku
- Volume and temperature change behaviors of photothermal convertible hydrogels
- Color-tunable Langmuir Film with Layered Perovskite structure by Controlling the Composition Ratio of Halogen Species
- Formaldehyde Removal by Using Solid Phase Extraction with an Imination Reaction on an Amine Type Trident Molecule-Impregnated Resin
- High extraction ability and selectivity of a tripodal pivalamide derivative for Pt (IV) from hydrochloric acid solutions
- Hydrogen Bonding in Ethanol-Water and Trifluoroethanol-Water Mixtures Studied by NMR and Molecular Dynamics Simulation
- Solvent-Dependent Properties and Higher-Order Structures of Aryl Alcohol + Surfactant Molecular Gels
- Local Structure in Terms of Nearest Neighbor Approach in C4mim⁺-based Ionic Liquids: MD Simulations
- Correlation between Soft X-ray Absorption and Emission Spectra of the Nitrogen Atoms within Imidazolium-based Ionic Liquids
- Polymer. Vol.116, pp.539-539, 2017
2017. 3
- Chemistry Letters, Vol.45, No.12, pp.1418-1420, 2016
- Solvent Extr. Res. Dev., Jpn., Vol.23, No.2, pp.181-186, 2016. 5
- Sep. Sci. Technol., Vol.51, No.15-16, pp.2700-2707, 2016. 5
- J. Mol. Liquids, Vol.217, pp.3-11, 2016. 7
- Langmuir, Vol.32, pp.4352-4360, 2016. 4
- J. Phys. Chem. B, Vol.120, pp.5029-5041, 2016. 5
- J. Phys. Chem. B, Vol.120, pp.7480-7487, 2016. 7

- T. To, Y. Hatomoto,
T. Umecky,
T. Takamuku
B. A. Marekha,
O. N. Kalugin,
M. Bria,
T. Takamuku,
S. Gadžuric,
A. Idrissi
T. Fujisawa,
H. Kuramochi,
H. Hosoi,
S. Takeuchi,
T. Tahara
N. Shin, K. Hanaoka,
W. Piao,
T. Miyakawa,
T. Fujisawa,
S. Takeuchi,
S. Takahashi,
T. Komatsu,
T. Ueno, T. Terai,
T. Tahara,
M. Tanokura,
T. Nagano, Y. Urano
M. Furuta,
T. Fujisawa,
H. Urago, T. Eguchi,
T. Shingae,
S. Takahashi,
E. W. Blanch,
M. Unno
藤澤知績, 海野雅司
- Solvation Power of HFIP for the Hydrophilic and the Hydrophobic Moieties of L-leucine Studied by MD, IR, and NMR Techniques
Competition between Cation-Solvent and Cation-Anion Interactions in Imidazolium Ionic Liquids with Polar Aprotic Solvents
Role of Coherent Low-Frequency Motion in Excited-State Proton Transfer of Green Fluorescent Protein Studied by Time-resolved Impulsive Stimulated Raman Spectroscopy
Development of an Azoreductase-based Reporter System with Synthetic Fluorogenic Substrates
Raman Optical Activity of Tetra-alanine in the Poly(L-proline) II Type Peptide Conformation
ラマン光学活性分光法
- Ultrafast Dynamics in Aromatic Cation Based Ionic Liquids:
A Femtosecond Raman-Induced Kerr Effect Spectroscopic Study
Effect of Partial Pressure on CO₂ Solubility in Ionic Liquid Mixtures of 1-Butyl-3-methylimidazolium Acetate and 1-Butyl-3-methylimidazolium Bis (trifluoromethanesulfonyl) amide
CO₂ Solubility in and Physical Properties for Ionic Liquid Mixtures of 1-Butyl-3-methylimidazolium Acetate and 1-Butyl-3-methylimidazolium Bis (trifluoromethanesulfonyl) amide
- J. Mol. Liquids, Vol.230, pp.261-270, 2017. 3
ChemPhysChem, Vol.18, pp.718-721, 2017. 1
Journal of the American Chemical Society, Vol.138, pp.3942-3945 (2016), 2016. 3
ACS Chemical Biology, Vol.12, pp.558-5563, 2016. 12
Physical Chemistry Chemical Physics, 19, 2078-2086 (2017), 2016. 12
分光研究, 第65巻, 第4号, 218-231, 2016年10月
Bulletin of the Chemical Society of Japan, Vol.89, pp.1106-1128 (2016), 2016. 6
Fluid Phase Equilibria, Vol.420, pp.74-82, 2016. 7
Journal of Molecular Liquids, Vol.217, pp.112-119, 2016. 5

T. Makino, T. Umecky, M. Kanakubo	CO ₂ Absorption Properties and Mechanisms for 1-Ethyl-3-methylimidazolium Ether-functionalized Carboxylates	Industrial & Engineering Chemistry Research, Vol.55, No.50, pp.12949-12961, 2016. 11
Y. Yamada, D. Koori, Y. Oshikawa, and M. Koikawa	Stereospecific Interaction of Optically Active Sulfur-Bridged Dinuclear Co(III)-Pt(II) Complex with Pseudo-Enantiomeric Co(III)-M(II) (M: Pd or Pt) Complex Involving Unequivalent π Electronic System	Inorg. Chim. Acta, 450, 225-231 (2016), 2016
Y. Yamada, D. Koori, K. Mori, and Y. Oshikawa	Syntheses, Crystal Structures, and Properties of Optically Active Lu(III) and Yb(III) Complexes of N,N'-Bis(2-hydroxybenzyl)-N,N'-bis(2-pyridylmethyl)-R-1,2-propanediamine with Chloride or Thiocyanate	J. Coord. Chem., 69, 3735-3744 (2016), 2016

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

富永昌人	「泥の電池」による先進的環境プロセス	ケミカルエンジニアリング, Vol. 61, No. 6, pp. 418-422, 2016年6月
尾形剛志, 森貞真太郎	吸着等温線の測定テクニックー液相吸着ー	Adsorption News, Vol. 30, No. 3, pp. 22-26, 2016年10月
大渡啓介, 川喜田英孝 藤澤知績, 海野雅司	事例27 貴金属回収を目指したバイオマス(微細藻類など)の有効利用 ラマン光学活性分光法	地域生物資源産業化事例集, pp. 85-87, 2016年11月 分光研究, Vol. 65, No. 1, pp. 218-231, 2016年8月
海野雅司	ラマン分光法の有田焼評価への活用	セラミックス, Vol. 51, No. 1, pp. 550-552, 2016年9月

特許

江良正直	化合物及び発光材料	佐賀大学, 住友化学(株), 特願2016-126043,
大石祐司, 江良正直, 成田貴行, 久保明美	有機無機層状ペロブスカイト薄膜の製造方法	佐賀大学, 特願2016-127235,
大渡啓介, 上田祐生	白金抽出剤, 白金の抽出方法, 及び白金の回収方法	佐賀大学, 田中貴金属工業(株), 特願2016-225239,
兒玉浩明	PDGF 依存性細胞増殖抑制剤, PDGF 依存性細胞増殖の抑制方法, 細胞分散抑制剤, 細胞分散の抑制方法, テモゾロミド活性増強剤及び抗腫瘍剤	佐賀大学, 東京理科大, 筑波大学, 特願2016-529523,
成田貴行, 大石祐司, 本田貴浩, 高崎夕希	機能性カプセル	佐賀大学, 特願2016-246316,
北村二雄	α -フルオロアセトフェノン誘導体の製造方法	佐賀大学, 特願2013-117352 (審査請求),
大渡啓介, 井上勝利, Paudyal, Hari, 川喜田英孝	溶液中の陰イオン種の除去方法	佐賀大学, 鎌田バイオエンジニアリング, 特願2014-010580 (審査請求),
北村二雄	モノフルオロマロン酸誘導体の製造方法	佐賀大学, 東ソー・エフテック(株), 特願2014-034410 (審査請求),
花本猛士	ジフルオロメチル基含有化合物及びその用途	佐賀大学, 東ソー・エフテック(株), 特願2014-034419 (審査請求),

大渡啓介, 川喜田英孝, 井上勝利 北村二雄, 権藤圭祐	貴金属吸着剤及び貴金属の回収方法 1,2-ビス (トリメチルシリル) ベンゼンまたはその類 縁化合物の製造方法	佐賀大学, 株式会社デンソー, 6009735 (国内登録), 佐賀大学, 5950255 (国内登録),
成田貴行, 大石祐司, 高倉洋一 北村二雄	基質応答性自律振動型マイクロカプセル 2-フルオロ-1,3-ジカルボニル化合物の製造方法	佐賀大学, 6069782 (国内登録), 佐賀大学, 東ソー・エフテック, 5959467 (国内登録),
兒玉浩明	抗癌剤の活性増強剤	佐賀大学, 東京理科大学, 香川大学, 5924593 (国内登録),
江良正直	化合物及び発光材料	佐賀大学, 住友化学(株), PCT/JP2017 /006002 (PCT 出願),
井上勝利, 大渡啓介, 川喜田英孝 井上勝利, 大渡啓介, 川喜田英孝	貴金属吸着剤及び貴金属の回収方法 吸着剤及び貴金属の回収方法	佐賀大学, 株式会社デンソー, 201110204483.3 (中国), 佐賀大学, 株式会社デンソー, ZL 201210043360.0 (中国),

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

Tsugio Kitamura 大石祐司	Hypervalent Iodine-Mediated Fluorination: Catalytic and Stoichiometric Approaches 凝集体界面の構造制御	5th International Conference on Hy- pervalent Iodine Chemistry, 2016. 7 第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
坂口幸一 坂口幸一	印刷技術を利用した電子素子ものづくり 溶媒親和性炭素材料の合成と評価	佐賀環境フォーラム, 2016年5月 2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月
M. Tominaga,	Energy Conversion Systems Using Biocatalytic Fuel Cell	Research Quality Circle, Gandhi- gram Rural Institute - Deemed Uni- versity, 2016. 12
M. Tominaga	High Potential Oxygen Reduction at Laccase-Modified SWCNT Electrode for Enzyme Catalytic Fuel Cel	First International Conference on Advanced Materials, (SCICON 16), Amrita Vishwa Vidyapeetham (Am- rita University), 2016. 12
M. Tominaga	Energy Conversion Systems with Biocatalytic Fuel Cells	The 3rd International Seminar on Fundamental and Application of Chemical Engineering (ISFACHE 2016), Sheraton Surabaya Hotel & Towers, Surabaya, Indonesia (2016), 2016. 11
M. Tominaga	Fast Direct Electron Transfer Reaction of Laccase at Biosurfactant-Modified Single-Walled Carbon Nano- tubes	France-Japan Meeting on (bio)- functionalization of nanostructured carbon and (bio)-electrocatalytic ap- plications, University of Grenoble Aopes, Grenoble Alpes, France, 2016. 9

M. Tominaga	Mud Battery for Power Generation and Clean Up	International Guest Lecture of Chemical Engineering Department, Institute Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya, Indonesia, 2016. 5
富永昌人	単層カーボンナノチューブ界面の酵素触媒機能化	機能性有機・無機材料フォーラム－中嶋直敏先生御退職記念講演会－，高分子学会九州支部 有機材料研究グループ研究会，2017年3月
富永昌人	電気化学測定から解ること～これまでの研究例を交えて～	工学系高度人材育成コンソーシアム 佐賀，佐賀大学，2016年10月
富永昌人	ラッカーゼとの電子移動反応速度に及ぼすナノカーボンのサイズ効果	第65回高分子討論会，2016年9月
富永昌人	生物電気化学からの展開－酵素パワー，泥の電池まで	新学術領域「分子ロボティクス」定例研究会講演会，2016年7月
成田貴行	自律運動する材料	M&M 研究会，2016年4月
K. Ohto	Preparation history of phosphonic acid type extraction reagents for rare earth metals	German-Japanese Symposium "Bridge Dresden-Japan", 2016. 5
K.Ohto	Precious metal separation with calixarene derivatives using microreactor system	4th International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE – THEORY AND PRACTICE 2016, 2016. 9
K. Ohto	Size-discriminative coextraction of sodium and other metal ions with calix[4]arene derivatives	Daegu University Seminar, 2017. 1
K. Ohto	Metal separation with macrocyclic compounds and application	Lecture at Superhoo Industries Company Ltd., 2016. 11
大渡啓介	金属分離剤の分子設計のための構造効果と弱い相互作用に対する理解と応用	第3回「貴金属抽出分離研究会」，2017年1月
高椋利幸	イオン液体と分子性液体の混合状態と遷移金属イオンの錯形成平衡に対するその効果	第29回九州分析化学若手の会春の講演会，福岡，2016年5月
高椋利幸	ヘキサフルオロイソプロパノールの溶媒和挙動と生体関連分子に対するその影響	研究会「分子を使った寄せ木細工」～自己組織化したソフトマテリアルが織りなす「かたち」と機能～，松江，2016年5月
梅木辰也	CO ₂ 化学吸収液の探索と分子間相互作用の解明	第32回緑陰セミナー，2016年7月
藤澤知績	Time-resolved impulsive stimulated Raman study of green fluorescent protein: role of a coherent low frequency mode in the excited state proton transfer	第77回岡崎カンファレンス：International Symposium on Ultrafast Dynamics in Molecular and Material Sciences，2017年3月
森貞真太郎	高分子電解質修飾シリカ粒子を用いたコロイド粒子膜の構造制御	2016年度第1回粉体操作に伴う諸現象に関する勉強会，2016年7月
梅木辰也	CO ₂ 化学吸収液の探索と反応機構解明	第19回連携大学院産学官交流セミナー，2017年1月
海野雅司	ラマン円偏光二色性分光を用いた色素タンパク質の構造解析	第四回分子設計研究会，2016年6月
Unno, M	Raman Optical Activity of Photoreceptor Proteins under Pre-resonance and Resonance Conditions	Fifth International Conference on Vibrational Optical Activity, Antwerp, Belgium 2016. 9

一般講演 (学会講演を含む)

山田 蓮, 小山田重蔵, 北村二雄 江良正直	アルキンのヒドロアリール化反応の新規触媒の開発	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
江良正直	フルオレン誘導体の発光特性とシンチレーター材料としての特性評価	大阪大学レーザー研シンポジウム2016, 2016年4月
江良正直	Squeezed Out 法により有機層に機能性発色団を導入した有機-無機層状ペロブスカイト薄膜の作製	第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月
黒里郁仁, 石川卓也, 山田泰教, 花本猛士 道城正和, 花本猛士	2-CF ₂ H-N-Ts アジリジンを用いた β-CF ₂ H-トリプタ ミン誘導体の簡便合成	第26回万有福岡シンポジウム, 2016 年4月
中村祐輝, 花本猛士 道城正和, 花本猛士	β-ブromo-β- (トリフルオロメチル) ビニルスルホニ ウム塩の合成と応用	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
中村祐輝, 花本猛士	官能基化された β-トリフルオロメチルオレフィンの 簡便合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
中村祐輝, 花本猛士	含フッ素不飽和スルホニウム塩の合成と反応	第39回フッ素化学討論会, 2016年9 月
中村祐輝, 花本猛士	トリフルオロエチリデンマロン酸エステルの合成と反 応	第39回フッ素化学討論会, 2016年9 月
廣瀧謙亮, 山口浩平, 花本猛士 花本猛士	2-CF ₃ -N-Ns-アジリジンとインドールの熱による開 環反応	第39回フッ素化学討論会, 2016年9 月
甲斐涼太, 長田聰史, 兒玉浩明 西郡大, 山口明德, 松高和秀, 長田聰史, 坂口幸一, 福井寿雄, 高森裕美子, 園田泰正, 兒玉浩明	Regioselective ring-opening reactions of 2-difluoromethyl-N-Ts-aziridine	18th European Symposium on Fluo- rine Chemistry, 2016. 8
甲斐涼太, 長田聰史, 兒玉浩明	Glu 残基で架橋したホルミルペプチドヘテロ二量体の 合成と生物活性	平成28年度日本生化学会九州支部例 会, 2016年5月
西郡大, 山口明德, 松高和秀, 長田聰史, 坂口幸一, 福井寿雄, 高森裕美子, 園田泰正, 兒玉浩明	多面的・総合的評価に向けたタブレット入試の検討～ 「佐賀大学版 CBT」の実現に向けて～	平成28年度全国大学入学者選抜研究 連絡協議会大会, 2016年6月
古川 旺, 平 順一, 兒玉浩明, 長田聰史 兒玉美瑛, 平 順一, 兒玉浩明, 長田聰史	トリアゾール含有 peptide deformylase 阻害剤の合成 と評価	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
甲斐涼太, 栗原滉季, 長田聰史, 兒玉浩明	Peptide deformylase に認識されるトリアゾール含有 擬ペプチド性基質の探索	第54回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
甲斐涼太, 栗原滉季, 長田聰史, 兒玉浩明	ホルミルペプチドヘテロ二量体の生物活性における架 橋残基の効果	第55回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
矢津田祐介, 栗原滉季, 兒玉浩明, 長田聰史	光架橋アミノ酸を含む FPR 2 アンタゴニストの構造 活性相関	第56回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
渡邊裕大, 長田聰史, 兒玉浩明	両性イオンをもつ環状テトラペプチドの合成とイオン チャンネル活性	第57回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
R. Kai, K. Kurihara, Y. Katafuchi, S. Koga, S. Osada, M. Jelokhani-Niaraki, H. Kodama	Syntheses and Biological Activities of Heterodimeric Formyl Peptides Cross-Linked with Amino Acid Resi- dues	第53回ペプチド討論会, 2016年10月

Y. Watanabe, A. Kawasetsu, S. Osada, M. Jelokhani-Niaraki, H. Kodama	Effect of Hinge Sequence on the Ion Channel Activity of Aib-Containing Synthetic Peptides	第53回ペプチド討論会, 2016年10月
渡邊裕大, 長田聰史, 兒玉浩明	環状テトラペプチドの持つ官能基とイオン選択性	2016年日本化学会中国・四国支部大会, 2016年11月
甲斐涼太, 兒玉浩明	ホルミルペプチドのヘテロ二量体化による機能性および生物活性の変化	2016年日本化学会中国・四国支部大会, 2016年11月
中森晴香, 小山田重蔵, 北村二雄	アルキンの臭素化反応による3-プロモチオフェン誘導体の簡便合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
三宅あずさ, 小山田重蔵, 北村二雄	新規環状超原子価ヨウ素化合物の合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
江口伸夫, 小山田重蔵, 北村二雄	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの機能基変換	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
水野翔太, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
田中英彦, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
山田 蓮, 小山田重蔵, 北村二雄	アルキンのヒドロアリアル化反応の新規触媒の開発	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
前田大成, 小山田重蔵, 北村二雄	二酸化炭素を原料とする環状カルボナート及びカルバメートの合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
山崎雄輝, 小山田重蔵, 北村二雄	かさ高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
光富大貴, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤とアジリジンの反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
権藤圭祐, 小山田重蔵, 北村二雄	トリメチルシリルアレーン類のアシルオキシ化反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
水野翔太, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応	第19回ヨウ素学会シンポジウム, 2016年9月
三宅あずさ, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	第39回フッ素化学討論会, 2016年9月

水野翔太, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応	第39回フッ素化学討論会, 2016年9月
三宅あずさ, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	第19回ヨウ素学会シンポジウム, 2016年9月
権藤圭祐, 北村二雄, 小山田重蔵	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化反応の開発	第6回CSJ化学フェスタ2016, 2016年11月
江口伸夫, 北村二雄, 小山田重蔵	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの官能基変換	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
林田和也, 小山田重蔵, 北村二雄	ポリチオフェン及びオリゴチオフェンに関する研究	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
田中英彦, 山田凜, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
中森晴香, 森田一弘, 小山田重蔵, 北村二雄	[1] ベンゾチエノ [3,2-b] [1] ベンゾチオフェン (BTBT) 誘導体の新しい合成方法	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
三宅あずさ, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
光富大貴, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤とアジリジンの反応	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
水野翔太, 牟田健祐, 小山田重蔵, 北村二雄	超原子価ヨウ素を用いたアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
権藤圭祐, 小山田重蔵, 北村二雄	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化反応の開発	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
山崎雄輝, 小山田重蔵, 北村二雄	嵩高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
北村二雄, 山崎雄輝, 小山田重蔵, 松尾 司	立体的にかさ高い超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	第43回有機典型元素化学討論会, 2016年12月
Megumi Yoshitake, Yasumasa Ogata, Momoko Nishihashi, Ko Yoneda, Yasunori Yamada, Hiroshi Sakiyama, and Masayuki Koikawa	SYNTHESES, STRUCTURES, AND MAGNETIC PROPERTIES OF TETRANUCLEAR COBALT AND NICKEL COMPLEXES WITH ONO-TRIDENTATE LIGANDS	第15回分子磁性国際会議 (ICMM 2016), 2016年9月
梅本祐介, 米田宏, 山田泰教, 鯉川雅之	長鎖アルキル連結型配位子による多核金属錯体の合成と性質	錯体化学会第66回討論会, 2016年9月

緒方康真, 吉武恵, 米田宏, 山田泰教, 鯉川雅之	N-(2-ヒドロキシメチルフェニル) サリチリデンイミンによる Co-Ni ヘテロ金属多核錯体の構造と磁性	錯体化学会第66回討論会, 2016年9月
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	Synthesis and Evaluation of Graphene Derivatives by using Fluoro Alkyl Chain Silane Coupling Reagent	9th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME 2016), 2016. 5
内野聖子, 白鳥 武, 黒木惟, 梶山孝太郎, 城尾実咲, 大竹亜紗美, 滝澤登, 坂口幸一	Synthesis and Electrical Evaluation of Hydrophilic Graphite Oxide via Atmospheric Pressure Plasma Process	9th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME 2016), 2016. 5
内野聖子, 大竹亜紗美, 滝澤登, 坂口幸一	過酸化水素を用いた酸化グラフェン合成法の検討	第6回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年6月
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	フッ化アルキル付加酸化グラフェンの撥水性および電気特性評価	第6回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年6月
牛島政也, 中野安優美, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一	界面活性剤の鎖長変化による酸化グラフェンの相互作用の変化	第6回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年6月
平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一	長鎖アルキルを持つ酸化グラフェン誘導体のエステル化反応による合成	第6回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年6月
内野聖子, 大竹亜紗美, 滝澤登, 坂口幸一	Synthesis of Graphite Derivatives with Solvent Affinity using H ₂ O ₂	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPEP 2016), 2016. 9
大竹亜紗美, 内野聖子, 坂口幸一	Fabrication and Demonstration of Dispersibility Evaluation System for Graphene Oxide	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPEP 2016), 2016. 9
牛島政也, 中野安優美, 河津誠二, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一	A change in the interaction of graphene oxide by chain length variation of the surfactant	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPEP 2016), 2016. 9
平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一	Synthesis of graphene derivatives with long alkyl chain by esterification	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPEP 2016), 2016. 9
坂口幸一, 白鳥武, 黒木惟, 松尾大樹, 内野聖子, 大竹亜紗美, 滝澤登	Synthesis of Graphite-like Dispersible Carbon Material by using Atmospheric Plasma Method	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPEP 2016), 2016. 9
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	フッ化アルキルを付加した導電酸化グラフェン膜の合成と評価	フッ素化学討論会, 2016年9月

牛島政也, 中野安優美, 河津誠二, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一	Analysis of hydrophobic interaction of graphene oxide and surfactant by using a potentiometric titration	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
白鳥武, 内野聖子, 松尾大樹, 坂口幸一	Synthesis and analysis of hydrophilicity carbon material by using Atmospheric Pressure Plasma	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
島靖卓, 平川あい, 大竹亜紗美, 坂口幸一	Synthesis of GO derivative with long alkyl chain by esterification reaction on targeting OH groups in graphene oxide	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一	Synthesis of GO derivative by esterification reaction into graphene oxide for introducing some functional groups	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
大竹亜紗美, 内野聖子, 坂口幸一	Fabrication and characterization of Dispersibility Evaluation System for Graphene Oxide	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	Fabrication of Conductive Graphene Oxide derivative films with Fluoro Alkyl Chain	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	フッ素化アルキル鎖付加による撥水導電性酸化グラフェン薄膜の評価	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
島靖卓, 藤戸昭典, 大竹亜紗美, 坂口幸一	シランカップリングによる有機溶媒に分散可能なGO誘導体の合成	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
牛島政也, 中野安優美, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一	電位差滴定法を用いたハロゲン分子を含む界面活性剤と酸化グラフェンの相互作用の検証	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
園田航大, 牛島政也, 河津誠二, 滝澤登, 坂口幸一	ハロゲン含有界面活性剤を用いた異なる酸化法で作成した酸化グラフェンの表面構造解析	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
大竹亜紗美, 内野聖子, 福田伸子, 坂口幸一	アルキル付加グラフェン誘導体の合成と機能性の評価	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月
島靖卓, 大竹亜紗美, 平川あい, 坂口幸一	GO表面のOH基へのエステル化反応を利用した有機溶媒親和性のあるGO誘導体の合成	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月
白鳥武, 内野聖子, 松尾大樹, 坂口幸一	大気圧プラズマ法による親水性炭素材料の合成および分析	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月
牛島政也, 中野安優美, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一	界面活性剤の鎖長変化により生じる酸化グラフェンとの相互作用変化の解析	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月
清永つかさ, 黒木惟, 梶山孝太郎, 白鳥武, 内野聖子, 坂口幸一	大気圧プラズマ法を用いて合成した親水化酸化グラフェンの電気特性評価	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月

松尾大樹, 内野聖子, 白鳥武, 梶山孝太郎, 坂口幸一 坂口幸一, 大竹亜紗美	原料粒子サイズの異なる親水性炭素材料の電気特性 Synthesis and evaluation of various graphene like materials with solvent affinity by using plasma and chemical reaction	2016物理化学インターカレッジ, 2016年11月 The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2016. 12
平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一 大竹亜紗美, 内野聖子, 坂口幸一 平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一 大竹亜紗美, 内野聖子, 坂口幸一 牛島政也, 園田航大, 滝澤登, 坂口幸一 平川あい, 島靖卓, 大竹亜紗美, 坂口幸一	Study on synthesis route for graphene oxide derivatives via esterification reaction レーザー光源分散性評価装置による GO の分散性評価 エステル化反応を用いた酸化グラフェンへの官能基導入の検討 酸化グラフェンのレーザー光源分散性評価装置の試作 界面活性剤の親水基との相互作用を利用した酸化グラフェンに含まれる酸素官能基量の評価法 エステル化反応による機能化された酸化グラフェンの合成	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 2016. 12 第7回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年12月 第7回酸化グラフェンシンポジウム, 2016年12月 第64回応用物理学会春季学術講演会 2017年3月 第64回応用物理学会春季学術講演会 2017年3月 第64回応用物理学会春季学術講演会 2017年3月
N. S. K. Gowthaman, M. Tominaga, S. Abraham John Raden Darmawan, Arief Widjaja, Sri Rachmania Juliastuti, Nuniek Hendrianie, Chanifah Hidayah, Dessy Rosita Sari, Suwito, Shigeru Morimura, and Masato Tominaga Shintaro Morisada,	Fabrication of Gold-Platinum Bimetallic Nanoparticles on the Jungle-Gym Structured Single-Walled Carbon Nanotubes Study of Mud Utilization as an Alternative Electricity Source Using Microbial Fuel Cells	International Conference on Materials for Sustainable Future (ICMSF 2016), 2016. 7 The 3rd International Seminar on Fundamental and Application of Chemical Engineering (ISFACHE 2016), Sheraton Surabaya Hotel & Towers, Surabaya, Indonesia (2016), 2016. 11
Miki Hayashi, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada 森貞真太郎, 堀口洋佑, 川喜田英孝, 大渡啓介 森貞真太郎	Fabrication of Non-Close-Packed Colloidal Layers by Convective Self-Assembly Using Polyelectrolyte-Grafted Silica Particles Effect of the Substrate Hydrophilicity on Colloidal Layers Prepared by Convective Self-Assembly Process 温度応答型界面活性マイクロゲルの開発 高分子電解質修飾シリカ粒子を用いた非最密充填コロイド粒子膜の作製	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials (ISPCAM 2016), 2016. 12 The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials (ISPCAM 2016), 2016. 12 化学工学会第85年会, 2017年3月 国際粉体工業展東京2016, 2016年12月

林 実樹, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	高分子修飾シリカ粒子を用いた移流集積における粒子 - 基板間相互作用の影響	第28回九州地区若手ケミカルエンジ ニア討論会, 2016年7月
Tokunaga Shota, Yushi Oishi and Takayuki Narita	A Study of alginate-gelatine Janus particles having en- zyme activities	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Band pattern formed through the gelation of collagen solution.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Preparation and characterization of the sugar- triggering beating capsule.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Hiroki Yamada, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Novel desiccant cooling system using functional fab- rics.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Ryo Okazaki, Natsumi Nakashima, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Membrane area and volume of DMPC/cholesterol liposomes deformed by pH changes.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru Takayuki Narita and Yushi Oishi	A challenge to the light driven oscillator using light- heat conversion hydrogels.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Akemi Kubo, Eri Tsukamoto, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era Yushi Oishi	Efficient preparation method of lead-based layered perovskite thin films and their optical measurements.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Shohei Morita, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era, Yushi Oishi	Molecular aggregation behavior of alkylammonium monolayer on an aqueous solution of sodium bromide.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Misaki Kondo, Takayuki Narita, Masayuki Tokita, Yushi Oishi	Self-organized patterns obtained by gelation of poly- saccharide solution.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
光武祐希, 黒田裕介, 成田貴行, 大石祐司	AFM を用いた DMPC 系ベシクルの開裂機構の検討	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
Misaki Kondo, Honami Takajo, Yushi Oishi and Takayuki Narita	A Novel Pattern Obtained through the Gelation of Col- lagen Solution	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10

Yuki Takazaki, Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Chitosan Containing Self-Beating Capsule Triggered by Glucose Recognition	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Hiroki Yamada, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	A New Desiccant Cooling System using Functional Fabrics	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Ryo Okazaki, Natsumi Nakashima, Yushi Oishi and Takayuki Narita	pH Induced Liposome Deformation Caused by the Membrane Area and Volume Change.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru Takayuki Narita and Yushi Oishi	Light Driven Self-oscillation Gel using Hysteresis of Temperature Responsive Hydrogel	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Kiyotaka Fujise, Shota Tokunaga, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Preparation of Alginate-Gelatin Janus Particles for Bio-Active Targeting	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
Shohei Morita, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era, Yushi Oishi	Molecular aggregation behavior of alkyl amine mono- molecular film on an aqueous solution of NaBr	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
山田裕貴, 成田貴行, 大石祐司	脱着材を使用した冷却デバイスの検討	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
岡崎涼, 中島夏実, 成田貴行, 大石祐司	π -A 曲線と共焦点顕微鏡観察による DMPC 系リポ ソームの形状評価	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
近藤美咲, 高上穂奈美, 成田貴行, 大石祐司	微小空間でのゲル化で生じるコラーゲンゲルの形態形 成	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
高崎夕希, 本田貴浩, 大石祐司, 成田貴行	グルコース応答性自律振動カプセルの創製	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
森田祥平, 成田貴行, 江良正直, 大石祐司	原子間力顕微鏡を用いた水面上アルキルアミン単分子 膜の崩壊挙動の評価	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
藤瀬清貴, 徳永翔太, 成田貴行, 大石祐司	バイオポリマーを用いた JANUS 型粒子の調製と応用	平成28年度 物理化学インターカ レッジセミナー, 2016年11月
中村駿介, 成田貴行, 大石祐司	光駆動型自律振動ゲルシステムの構築	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年11月
近藤美咲, 大石祐司, 成田貴行	アルギン酸カルシウムゲルの形態形成とポリマー濃度 依存性	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年11月
Shunsuke Nakamura, Takayuki Narita and Yushi Oishi	Self-Oscillating Hydrogel System Driven by Light Sause	The 11th SPSJ International Poly- mer Conference (IPC 2016), 2016. 12

Misaki Kondo, Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Novel pattern of Collagen Gel Through Iontropic Gelation	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 2016. 12
Kiyotaka Fujise, Shota Tokunaga, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Study of bio-active Janus particles consist of alginate-gelatine matrix.	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 2016. 12
Yuki Takazaki, Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Preparation of Bioactive Janus Particles Using Biopolymer Templates	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 2016. 12
Kouichirou Tatebayashi, Takayuki Narita and Yushi oishi	Effect of self-seeding process on single crystal shape of polyethylene	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 2016. 12
近藤美咲, 高上穂奈美, 成田貴行, 大石祐司	アルギン酸ゲルに現れる巨視的パターン形成原理の解明	九州地区高分子若手研究会・冬の講演会2016, 2016年11月
高崎夕希, 本田貴浩, 大石祐司, 成田貴行	グルコースを認知して拍動する機能性微粒子の創製	九州地区高分子若手研究会・冬の講演会2016, 2016年11月
光武祐希, 黒田裕介, 成田貴行, 大石祐司	AFM を用いたリン脂質ベシクル膜の形態観察	九州地区高分子若手研究会・冬の講演会2016, 2016年11月
Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Patterns formed through the gelation of collagen solution	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar,2016.10
Keisuke Ohto, Hiroshi Murakami, Hiromasa Murashima, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Jan Weigand, Karsten Gloe	Solvent extraction of trivalent rare earths with acidic organophosphorus trident molecules	Rare Earths 2016 in Sapporo, Japan, 2016. 6
黒岩春乃, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	カリックス [4] アレーンモノホスホン酸誘導体によるアルカリ金属抽出挙動の検討	第53回化学関連支部合同大会, 2016年7月
宮井翔太, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	クエン酸を母体とした抽出試薬による金属イオンの抽出挙動の検討	第53回化学関連支部合同大会, 2016年7月

K. Ohto, B. B. Adhikari, H. Sadamatsu, S. Morisada, H. Kawakita, H. Endou 黒岩春乃, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介 宮井翔太, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介 Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto P 53	Gas adsorption property of calixarenes	The 8th ISNSC (International Symposium on Nano & Supramolecular Chemistry, 2016. 7
黒岩春乃, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	カリックス [4] アレーン誘導体をもちいたアルカリ金属抽出における構造解析	第33回九州分析化学若手の会 夏季セミナー, 2016年7月
宮井翔太, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	クエン酸を母体としたアミド基・カルボキシル基混合型抽出試薬の開発および金属イオンの抽出挙動の検討	第33回九州分析化学若手の会 夏季セミナー, 2016年7月
Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto P 53	Extraction of platinum group metals with nitrogenous extractants and its extraction mechanism analysis	4nd International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE - THEORY AND PRACTICE 2016, 2016. 9
Y. Ueda, E. Mizuki, S. Morisada, H. Kawakita, F. Hennersdorf, M. Wenzel, J.J. Weigand, K. Ohto	Extraction of Platinum Group Chlorometalates from HCl solution with Tripodal Extractants	Mitteldeutsches Anorganiker Nachwuchs Symposium (MANS-14), 2016. 9
Y. Ueda, E. Mizuki, S. Morisada, H. Kawakita, F. Hennersdorf, M. Wenzel, J.J. Weigand, K. Ohto	Tripodal Extractants for Platinum Group Chlorometalates	Whler-Tagung 2016, 2016. 9
Yuki Ueda, Erina Mizuki, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Jan J. Weigand, Keisuke Ohto	Extraction of Platinum Group Metals with Tripodal Extractants	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 11
Ramachandra Rao Sathuluri, Yehezkiel S. Kurniawan, Wataru Iwasaki, Keisuke Ohto	Microreactor System for Precious Metal Ion Recovery with Calixarene Derivatives	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 10
K. Ohto	Functionality and application of calixarene compounds for metal extraction	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 10

<p>Takenori Shimojo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto Yoga Priastomo, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Shintaro Morishada Clemens Taube, Marco Wenzel, Keisuke Ohto, Jan J. Weigand</p>	<p>Phenylketone Functionalized p-tert-Octylcalix[4]arene as Ionophore for Silver Ion-selective Electrode</p>	<p>The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 10</p>
<p>Yoga Priastomo, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Shintaro Morishada Clemens Taube, Marco Wenzel, Keisuke Ohto, Jan J. Weigand</p>	<p>Preparation of Palladium-Resin based on Calix[4]arene for Solid-State Hydrogen Storage</p>	<p>The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 10</p>
<p>大渡啓介, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴</p>	<p>Salen-type ligands for rare earth metal extraction</p>	<p>The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 2016. 11</p>
<p>大渡啓介, 上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴</p>	<p>アミドおよびウレア型抽出試薬による塩酸媒体からの白金 (IV) の抽出 - 工業的な観点における研究</p>	<p>第35回溶媒抽出討論会, 2016年11月</p>
<p>上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴, Jan J. Weigand, 大渡啓介</p>	<p>アミドおよびウレア型抽出試薬による塩酸媒体からの白金 (IV) の抽出 - 抽出機構の分光学的解析</p>	<p>第35回溶媒抽出討論会, 2016年11月</p>
<p>Takenori Shimojo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto Yoga Priastomo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto</p>	<p>Preparation of silver ion-selective electrodes containing calix[4]arene derivatives as an ionophores</p>	<p>The 29th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE 2016), 2016. 12</p>
<p>Y. S. Kurniawan, R. R. Sathuluri, K. Ohto, H. Kawakita, S. Morisada, W. Iwasaki, M. Miyazaki</p>	<p>Preparation of resin based on calix[4]arene for palladium adsorption</p>	<p>The 7th Liaoning University-Saga University Joint Seminar, 2016. 12</p>
<p>上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴, Jan J. Weigand, 大渡啓介</p>	<p>Mutual extractive separation of precious metals with calixarene derivatives using microreactor system</p>	<p>第19回連携大学院産学官交流セミナー, 2017年1月</p>
<p>上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴, Jan J. Weigand, 大渡啓介</p>	<p>アミドおよびウレア型抽出試薬による4価白金の抽出機構に関する分光学的解析</p>	<p>化学工学会 第82年会, 2017年3月</p>
<p>時貞雄成, 兒玉浩明, 長田聰史</p>	<p>モノフルオロオレフィンに有する翻訳後修飾リジンミミックの合成研究</p>	<p>第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月</p>

古川 旺, 平 順一, 兒玉浩明, 長田聰史	トリアゾール含有 peptide deformylase 阻害剤の合成と評価	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
兒玉美瑛, 平 順一, 兒玉浩明, 長田聰史	Peptide deformylase に認識されるトリアゾール含有擬ペプチド性基質の探索	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
時貞雄成, 兒玉浩明, 長田聰史	モノフルオロオレフィンに有する翻訳後修飾リジンミミックの合成研究	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
成原明宏, 松坂慧, 兒玉浩明, 長田聰史	分子内アシル転位による In situ 活性化型 Psammaplin A-1 前駆体	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 2016年11月
Yusei Tokisada, Hiroaki Kodama, Satoshi Osada	Synthetic studies of monofluoroalkene-based mimetics of post-translationally modified lysine	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
T. Takamuku, Y. Kawazu, H. Sakurai, H. Hoke, Y. Yamada, T. Umecky, K. Ozutsumi	Thermodynamics for Complex Formation of Transition Metal Ions in Imidazolium-based Ionic Liquid-Molecular Liquid Binary Solutions	EMLG/JMLG Annual Meeting 2016, Plataniass-Chania, Crete, Greece, 2016. 9
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における遷移金属イオンの錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	第53回化学関連支部合同九州大会, 小倉, 2016年7月
藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和に対するフッ化アルコール添加の効果	第39回フッ素化学討論会, 佐賀, 2016年9月
高椋利幸, 堀川裕加, 徳島 高, 高橋 修, 保家宇宙	軟 X 線吸収および発光分光法で観測するイミダゾリウム系イオン液体の電子構造	第39回溶液化学シンポジウム, つくば, 2016年11月
梅木辰也, 後藤瑛裕, 林 直樹, 高椋利幸	グアニジンを用いた Deep Eutectic Mixtures の CO ₂ 化学吸収	第39回溶液化学シンポジウム, つくば, 2016年11月
藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	アルコール添加による水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和構造の変化	第39回溶液化学シンポジウム, つくば, 2016年11月
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 山田泰教, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における CO ²⁺ , Ni ²⁺ の錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	2016年11月
渡辺日香里, 梅木辰也, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏	擬プロトン性イオン液体の構造と特異なプロトン伝導機構	第48回溶融塩化学討論会, 新潟, 2016年11月
藤澤知績, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld, 海野雅司	ラマン光学活性に基づくオレンジカロテノイドタンパク質の活性部位における発色団の立体構造変化	第43回生体分子科学討論会, 2016年 6月

原口翔次郎, 新ヶ江貴仁, 笠井紀貴, 熊内雅人, 藤澤知績, 花本猛士, Wouter D. Hoff, 海野雅司	Photoactive Yellow Protein 発色団の面外方向への歪みに敏感な C-H 面外変角振動モードの帰属	九重分子科学セミナー2016, 2016年9月
渡邊亘平, 小副川晋介, 広瀬 侑, 藤澤知績, 池内昌彦, 海野雅司	紫外共鳴ラマン分光法によるシアノバクテリオクロム RcaE の光変換機構の解析	九重分子科学セミナー2016, 2016年9月
Tomotsumi Fujisawa, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld, Masashi Unno	Chromophore conformation in active site of orange carotenoid protein from Raman optical activity	Fifth International Conference on Vibrational Optical Activity, Antwerp, Belgium, 2016. 9
Takashi Nagai, Tatsuya Iwata, Shota Ito, Mineo Iseki, Masakatsu Watanabe, Masashi Unno, Shinya Kitagawa, Hideki Kandori	Analysis of a hydrogen bonding network of the BLUF domain using isotope-labeled samples	第54回日本生物物理学会年会, 2016年11月
Tomotsumi Fujisawa, Masashi Unno, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld	Chromophore conformation in active site of orange carotenoid protein from Raman optical activity spectroscopy	第54回日本生物物理学会年会, 2016年11月
Kouhei Watanabe, Shinsuke Osoegawa, Yuu Hirose, Tomotsumi Fujisawa, Masahiko Ikeuchi, and Masashi Unno	Photoconversion Mechanism of Cyanobacteriochrome RcaE Studied by Ultraviolet Resonance Raman Spectroscopy	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
Masahiro Abe, Tomotsumi Fujisawa, Takashi Kikukawa, Masashi Unno	Low temperature Raman/ROA measurement of photoreceptor protein	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 11
渡邊亘平, 小副川晋介, 広瀬 侑, 藤澤知績, 池内昌彦, 海野雅司	紫外共鳴ラマン分光法を用いたシアノバクテリオクロム RcaE の光変換機構の解明	日本化学会 第97春季年会 (2017), 2017年3月
渡邊亘平, 小副川晋介, 広瀬 侑, 藤澤知績, 池内昌彦, 海野雅司	Assignment of Raman Optical Activity Spectra of Photoactive Yellow Protein by Isotopic Labeling	日本化学会 第97春季年会 (2017), 2017年3月
FUJISAWA, Tomotsumi LUNNO, Masashi	Searching for anhamonic low frequency mode in green fluorescent protein	日本化学会 第97春季年会 (2017), 2016年3月

D. Koori, K. Mori, Y. Oshikawa, and Y. Yamada	Synthesis, Crystal Structure, and Some Spectrochemical Properties of Optically Active Lutetium(III) Complex of N,N'-Bis(2-hydroxybenzyl)-N,N'-bis(2-pyridylmethyl)-R-1,2-propanediamine with Chloride and Derived Thiocyanate Complex from Ligand Exchange Reaction	Rare Earths 2016 in Sapporo, Hokkaido, June 5-10, 2016, Abstr. No. 1 P-27., 2016
K. Mori, T. Kaminaka, D. Koori, and Y. Yamada 押川雄紀, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	Syntheses, Crystal Structures, and Some Spectrochemical Properties of Yttrium(III) and Terbium(III) Complexes of Optically active N ₄ O ₂ Ligand Derived from 1,2-Propanediamine with Nitrate as Co-Ligand ジアニリンから誘導される N ₂ O ₂ 配位子を含む螺旋型 Zn(II) 錯体の振れ源に依存した構造および分光学的特性	Rare Earths 2016 in Sapporo, Hokkaido, June 5-10, 2016, Abstr. No. 1 P-28., 2016 第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-003., 2016年
郡 大心, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	1,2-Propanediamine から誘導される光学活性な分岐状六座配位子を含む Lu(III) 錯体の構造および分光学的性質	第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-011., 2016年
小林和矢, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	フルオレン骨格を有する N ₂ O ₂ 型配位子を用いた Zn(II) 錯体の合成と分光学的性質	第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-030., 2016年
森 健吾, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	1,2-Propanediamine から誘導される光学活性な分岐状六座配位子を含む Tb(III) 錯体の合成と性質	第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-034., 2016年
木村孝弘, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	1-Phenylethylamine から誘導される光学活性二座配位子を含む混合配位子 Ni(II) 錯体の構造特性	第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-060., 2016年
野上雄大, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	キレート型ジホスフィンを含む混合配位子 Cu(I) 錯体の合成と性質	第53回化学関連支部合同九州大会, 福岡, 2016年7月, 講演番号 IC-2-061., 2016年
居石和己, 米田 宏, 山田泰教, 鯉川雅之	ポルフィリンとアニオン性補助配位子を用いた銅錯体の合成と性質	第66回錯体化学討論会, 福岡, 2016年9月, 講演番号 1 PA-008., 2016年
原田滉平, 米田 宏, 山田泰教, 鯉川雅之	架橋性金属ポルフィリンを基盤としたニッケル錯体の合成と性質	第66回錯体化学討論会, 福岡, 2016年9月, 講演番号 1 PA-010., 2016年
押川雄紀, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	配位可能部位の空間的隔たりが異なる N ₂ O ₂ 型配位子から誘導される Zn(II) 錯体の構造および分光学的性質	第66回錯体化学討論会, 福岡, 2016年9月, 講演番号 2 PA-001., 2016年
森 健吾, 米田 宏, 鯉川雅之, 山田泰教	1,2-Propanediamine から誘導される光学活性な分岐状六座配位子を含む Y(III) 錯体の分光学的性質	第66回錯体化学討論会, 福岡, 2016年9月, 講演番号 2 PA-002., 2016年
押川雄紀, 山田泰教	Thiodianiline から誘導される多座配位子を含む Zn(II) 錯体の分光学的性質における置換基の影響	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム (第9回臭素化学懇話会年会 in 佐賀), 佐賀, 2016年11月, 講演番号 P-07., 2016
森 健吾, 押川雄紀, 郡 大心, 山田泰教	光学活性な分岐状6座配位子を含む Tb(III) 錯体の分光学的性質における置換基の影響	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム (第9回臭素化学懇話会年会 in 佐賀), 佐賀, 2016年11月, 講演番号 P-08., 2016

小林和矢, 山田泰教	9,9-Bis (4-aminophenyl)fluorene から誘導される多座配位子を含む Zn(II)錯体の分光学的性質	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム (第9回臭素化学懇話会年会 in 佐賀), 佐賀, 2016年11月, 講演番号 P-09., 2016
------------	---	---

機械システム工学専攻

著書

石井建樹, 只野裕一, 加藤準治, 車谷麻緒	例題で学ぶ連続体力学	森北出版, 2016年5月
---------------------------	------------	---------------

原著論文

Yutaka HAYAMA, Fumihito OHSHIMA, Junichi IBUKURO, Akira MATSUO, Seiya HAGIHARA	Measurement of torsional strain distributions on cylindrical surfaces using fiber Bragg grating optical fiber sensing	Mechanical Engineering Letters, No. Paper No.16-00502, 2016. 11
Daichi Baba, Kiyotaka Izumi, Takeshi Tsujimura	Particle filter based human tracking system	Procs. of The 22nd Int. Symp. on Artificial Life and Robotics and The 2nd Int. Symp. on Biocomplexity, pp. pp. 565/570, 2016. 1
岡佑亮, 塩見憲正, 木上洋一, 瀬戸口俊明	低比速度斜流送風機の性能と内部流動計測 (翼先端すき間が及ぼす影響)	ターボ機械, Vol. 44, No. 6, pp. 356-363, 2016年6月
木上洋一, 塩見憲正, 高尾学, 村上天元, 今井康貴, 永田修一	潮流発電用の集流装置付き往復流型衝動タービンに関する研究	ターボ機械, Vol. 44, No. 8, pp. 496-504, 2016年8月
A. Kaji, Y. Kinoue, N. Shiomi and T. Setoguchi	A Study on the Half-Ducted Axial Flow Fan Designed by a Diagonal Flow Fan Design Method	Open Journal of Fluid Dynamics, Vol.7, pp.15-25, 2017. 1
Md. Hasan Ali, Salsuwanda SELAMAT, Akio MIYARA and Keishi KARIYA	PERFORMANCE ANALYSIS OF SLINKY LOOP HORIZONTAL GROUND HEAT EXCHANGERS	Proceedings of the 8th ACRA, pp. 070, 2016. 5
M.Mostaqur Rahman, Keishi Kariya and Akio Miyara	AN EXPERIMENTAL STUDY OF HEAT TRANSFER DURING CONDENSATION OF REFRIGERANT R 134 a INSIDE HORIZONTAL MULTIPORT MINICHANNEL	Proceedings of the 8th ACRA, pp. 075, 2016. 5
Salsuwanda Selamat, Akio Miyara, Keishi Kariya	Numerical study of horizontal ground heat exchangers for design optimization	Renewable Energy, Vol.95, pp.561-573, 2016. 9
Keishi KARIYA, Mohammad Sultan MAHMUD, Akitoshi KAWAZOE and Akio MIYARA	Local heat transfer characteristics of the R 1234 ze(E) two phase flow inside a plate heat exchanger	2016 Purdue Conferences, pp.2600, 2016. 7

Md. Hasan ALI, Salsuwanda Bin SELAMAT, Keishi KARIYA and Akio MIYARA	Experimental Performance Estimations of Horizontal Ground Heat Exchangers for GSHP System	2016 Purdue Conferences, pp.2601, 2016. 7
Yasuhiro KUDO, Kyosuke NAKAISO, Keishi KARIYA and Akio MIYARA	Experimental Study on boiling and condensation heat transfer in a horizontal mini channel	2016 Purdue Conferences, pp.2602, 2016. 7
M.Mostaqur Rahman, Yasuhiro Kudo, M. Khairul Bashar, Keishi Kariya, Akio Miyara	EXPERIMENTAL STUDY ON CONDENSATION HEAT TRANSFER AND PRESSURE DROP INSIDE 2.13 MM ID SMOOTH AND MICROFIN HORIZONTAL TUBE	Proceedings of the Asian Conference on Thermal Sciences 2017, 1st ACTS, pp.P00159, 2017. 3
Shigeru KOYAMA, Yukihiro HIGASHI, Akio MIYARA, Ryo AKASAKA and Chieko KONDOU	FUNDAMENTAL RESEARCH ON NEXT GENERATION REFRIGERANTS FOR AIR CONDITIONING SYSTEMS –ASSESSMENT OF THERMOPHYSICAL PROPERTIES, HEAT TRANSFER CHARACTERISTICS AND CYCLE PERFORMANCE–	JRAIA INTERNATIONAL SYMPOSIUM 2016 (JRAIA 2016 KOBE), pp.329-335(0801), 2016. 12
M.Mostaqur Rahman, Khairul Bashar, Yasuhiro Kudo, Keishi Kariya, Akio Miyara	Experimental adiabatic two-phase pressure drop of R 134 a flowing inside a multiport minichannel	The 7th BSME International Conference on Thermal Engineering (ICTE 2016), No.2. 20, pp.35, 2016. 12
Md. Masud Rana Khan, Md. Anowar Hossain, Hasan Mohammad Mostofa Afroz, Akio Miyara	Prediction of In-Tube Pressure Drop of Low GWP Refrigerants During Condensation and Evaporation	The 7th BSME International Conference on Thermal Engineering (ICTE 2016), No.9. 04, pp.79, 2016. 12
Mohammad Ariful Islam, Keishi Kariya, Hirotaka Ishida, Ryo Akasaka & Akio Miyara	Application of the extended corresponding states model for prediction of the viscosity and thermal conductivity of cis-1,3,3,3-tetrafluoropropene (R 1234 ze(Z))	Science and Technology for the Built Environment, Vol.22, No.8, pp. 1167-1174, 2016. 8
JALALUDDIN, AKIO MIYARA	THERMAL PERFORMANCES OF VERTICAL GROUND HEAT EXCHANGERS IN DIFFERENT CONDITIONS	Journal of Engineering Science and Technology, Vol.11, No.12, pp.1771-1783, 2016. 12
Md.Hasanuzzaman, Akio Miyara	SIMILARITY SOLUTION OF NATURAL CONVECTIVE BOUNDARY LAYER FLOW AROUND A VERTICAL SLENDER BODY WITH SUCTION AND BLOWING	J.Mech.Cont. & Math. Sci., Vol.11, No.2, pp.8-22, 2017. 1
Kazuya Sato, Ryuichiro Daikoku	A Simple Autonomous Flight Control of Multicopter Using Only Web Camera	Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.28, No.3, pp.286-294, 2016. 6
Kazuya Sato, Toru Kasahara, and Tomoyuki Izu	A Simple Autonomous Flight Control Method of Quadrotor Helicopter using only single Web Camera	2016 International Conference on Unmanned Aircraft Systems ICUAS'16, pp.671-678, 2016. 6

S. Minematsu and K. Sato	Autonomous Control of Mobile Robot using only Camera Image and Odometry Information	International Conference on Information and Communication Technology Robotics ICT-ROBOT 2016, pp.ThCT 1.5, 2016. 9
Yusuke Fukushima, Shigeru Matsuo, Toshiaki Setoguchi, Norimasa Shiomi, Tokitada Hashimoto, Heuy Dong Kim, Shen Yu	Effect of nozzle inlet shape on annular swirling flow with non-equilibrium condensation	Journal of Thermal Science, Vol.24, No.4, pp.344-349, 2015. 11
Koutaro Tsubaki, Yuichi Mitsutake	Performance of ground-source heat exchangers using short residential foundation piles	Energy, Vol.104, pp.229-236, 2016
Tsujimura, Takeshi Shimada, Yuta Tashiro, Yuki Izumi, Kiyotaka Yoshida, Koichi	Optical axis adjustment system for free space optics transmission	39th International Conference on Telecommunications and Signal Processing, pp.731-734, 2016. 11
Izumi, Kiyotaka Tanaka, Hironori Tsujimura, Takeshi Shimada, Yuta Tashiro, Yuki Izumi, Kiyotaka Yoshida, Koichi	Nonholonomic control considering with input saturation for a mobile robot	SICE Annual Conference 2016, No. Th 3 G.2, pp.1173-1178, 2016. 11
Tsujimura, Takeshi Shimada, Yuta Tashiro, Yuki Izumi, Kiyotaka Yoshida, Koichi	Initial alignment method for free space optics laser beam	Jpn. J. Appl. Phys., Vol.55, No.8 S 3, 2016. 7
Daisuke Tsuchiya, Takeshi Tsujimura, Kiyotaka Izumi	Fingerspelling Translation Based on Forearm Electromyogram	SICE Annual Conference 2016, Vol. Th 2 aPo 3.8, 2016. 9
Takeshi Tsujimura, and Kiyotaka Izumi	Active Spatial Interface Projecting Luminescent Augmented Reality Marker	2016 IEEE International Conference on Multisensor Fusion and Integration for Intelligent Systems, pp.499-504, 2016. 9
Yuki Tashiro, Yosuke Suito, Yuta Shimada, Kiyotaka Izumi, Koichi Yoshida, Takeshi Tsujimura	Transmission quality of bilateral free space optics system	2017 IEEE International Conference on Mechatronics, 2017. 2
Daichi Baba, Kiyotaka Izumi, Takeshi Tsujimura	Particle Filter Based Human Tracking System	22nd International Symposium on Artificial Life and Robotics, Vol.OS 4-4, 2017. 1
Yuichi TADANO	Formability of magnesium sheet with rolling texture	International Journal of Mechanical Sciences, Vol.108-109, pp. 72-82, 2016. 4
Yuichi TADANO, Seiya HAGIHARA	Hydrostatic pressure dependent crystal plasticity by homogenization-based finite element method	ISIJ International, Vol.56, No.4, pp. 700-707, 2016. 4

Yuichi TADANO, Yui YOSHIHARA, Seiya HAGIHARA Yuichi TADANO	A crystal plasticity modeling considering volume fraction of deformation twinning	International Journal of Plasticity, Vol.84, pp.88-101, 2016. 9
Takaaki KURISU, Yuichi TADANO, Seiya HAGIHARA	Subsequent yield behavior of hexagonal metal with rolling texture	Key Engineering Materials, Vol.725, pp.220-225, 2017. 2
Takeshi SOEDA, Yuichi TADANO, Seiya HAGIHARA	Effect of lattice rotation on hardening behavior of HCP metal	Key Engineering Materials, Vol.725, pp.502-507, 2017. 2
	Quantitative evaluation of deformation twinning behavior in polycrystalline pure magnesium	Key Engineering Materials, Vol.725, pp.214-219, 2017. 2

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

長谷川裕之	表面処理研究室	設計工学, Vol. 52, pp. 29, 2017年1月
塩見憲正	半開放型プロペラファンの性能と人口翼端近傍流れ (特集空調・電子機器用ファンの最新技術と今後の展開)	ターボ機械, Vol. 43, No. 1, pp. 44-50, 2015年1月
只野裕一	研究環境紹介カリフォルニア大学サンディエゴ校 Department of Structural Engineering	計算工学, Vol. 21, No. 2, pp. 31-32, 2016年4月
只野裕一	結晶塑性論による多金属の材料モデリング	JACM メールマガジン, Vol. 32, pp. 5-6, 2016年7月
只野裕一	微視構造に起因する不確かさを考慮したマグネシウム合金の変形双晶モデリング	マツダ財団研究報告書, Vol. 28, pp. 120-127, 2016年6月
岡田裕, 伊井仁志, 岩本薫, 萩野正雄, 河合浩志, 高橋昭如, 只野裕一, 三目直登, 山田崇恭, 山田知典, 遊佐泰紀	12th World Congress on Computational Mechanics (WCCM XII) and 6th Asia-Pacific Congress on Computational Mechanics (APCOM VI) 会議報告	JACM メールマガジン, Vol. 33, pp. 4-8, 2016年9月
宮良明男	研究室紹介 佐賀大学 熱エネルギーシステム学研究室 —冷凍空調関連分野の研究を進める宮良・仮屋研究室—	冷凍, 2017. 1

特許

武富紳也	金属配線中の欠陥を低減させる機構と方法	佐賀大学、北九州市、特願2017-044795,
宮良明男, 仮屋圭史 辻村健, 泉清高	ヒートポンプシステム 光空間通信システム	佐賀大学、特願2017-027348, 佐賀大学、特願2013-196495 (審査請求), 佐賀大学、6086440 (国内登録),
佐藤和也, 青崎史哉, 藤瀬想太郎	操作支援装置	

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

車谷麻緒, 只野裕一, 加藤準治	固体力学演習(1)	第29期非線形CAE勉強会「実験・計測とシミュレーションのクロスアプローチ」, 2016. 5
---------------------	-----------	---

Yuichi TADANO, Jiun-Shyan CHEN	A meshfree approach for higher-order gradient crystal plasticity	Keynote Lecture at USACM Conference on Isogeometric Analysis and Meshfree Methods, 2016. 10
-----------------------------------	--	---

一般講演 (学会講演を含む)

北御門雄大, 長谷川裕之 長谷川裕之, 北御門雄大 北御門雄大, 森亮裕, 長谷川裕之 北御門雄大, 中元寺功貴, 長谷川裕之 石田賢治, 益田敬明, 宮田晃志, 藤丸雄也, 樋口裕樹, 村松純希 田代祐基, 水頭洋介, 嶋田裕太, 泉清高, 辻村健 仮屋圭史, Md. Hasan Ali, 中村勝太, 宮良明男 工藤康浩, 中磯亨介, 仮屋圭史, 宮良明男	RF スパッタリング法による Cr 系セラミック薄膜の開発と工具摩耗への影響 窒化チタンの微細構造および表面特性に与えるタンゲステン添加効果 クロム系窒化物およびチタン系窒化物からなる積層膜の構築および薄膜特性の評価 窒化ジルコニウムをベースとする多元系セラミック薄膜の開発 高圧水素中の微量水分の霜点推算法に関する研究 双方向光空間通信システムの通信品質の検討 水平設置スリンキー型地中熱交換器に関する検討 扁平多穴管内における沸騰凝縮熱伝達の実験的考察	精密工学会九州支部講演会, 2016年12月 精密工学会九州支部講演会, 2016年12月 表面技術協会第135回講演会, 2017年3月 精密工学会春季大会, 2017年3月 日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月 第59回自動制御連合講演会論文集, 2016年11月 第50回空気調和・冷凍連合講演会講演論文集 (CD-ROM), No. 34, 2016年4月 第50回空気調和・冷凍連合講演会講演論文集 (CD-ROM), No. 17, 2016年4月
木上洋一, 塩見憲正, 瀬戸口俊明 木上洋一, 塩見憲正, 瀬戸口俊明 Y. Kinoue, S. Sato, N. Shiomi, T. Setoguchi A. Kaji, Y. Kinoue, N. Shiomi, T. Setoguchi A. Kaji, Y. Kinoue, N. Shiomi, T. Setoguchi N. Shiomi, Y. Kinoue, T. Setoguchi	CO ₂ 冷凍サイクル用エジェクターの駆動ノズル部流れの速度計測 高比速度斜流ファンの軸流静翼列におけるはく離流れの実験と数値解析 Experimental and Numerical Investigations on the Separated Flow of Axial Flow NACA 65 Stator in Diagonal Flow Fan A Study on the Half-Ducted Axial Flow Fan Designed by a Diagonal Flow Fan Design Method An Investigation of the Effect of Radial Inflow and Outflow on the Performance of Half-Ducted Axial Flow Fan Changes of Flow Fields with Flowrate in Two Kinds of Propeller Fans	第26回環境工学総合シンポジウム2016講演論文集, 2016年7月 日本機械学会2016年度年次大会, 2016年9月 6th Asian Joint Workshop on Thermophysics and Fluid Science, 2016. 9 6th Asian Joint Workshop on Thermophysics and Fluid Science, 2016. 9 27th International Symposium on Transport Phenomena, 2016. 9 27th International Symposium on Transport Phenomena, 2016. 9

M. M. A. Alam, M. Takao, A. Takami, S. Okuhara, Y. Kinoue and T. Setoguchi	Wells Turbine with Booster – Effect of Guide Vanes on the Performance –	Proceedings of 5th International Conference on Renewable Energy Research and Applications, Birmingham, 2016. 11
塩見憲正, 村上天元, 高尾学, 木上洋一, 今井康貴, 永田修一	往復流型衝動タービンを有する潮流発電システムに関する研究 (タービンハブ比の影響)	日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集, 2016年11月
立若一輝, 黒崎健太, 塩見憲正, 木上洋一, 瀬戸口俊明	狭隘場に置かれた半開放型軸流ファンの性能と内部流れ	日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月
中尾瑛一, 黒崎健太, 木上洋一, 塩見憲正, 瀬戸口俊明	斜流ファンの設計法を用いた半開放型軸流ファンの設計と数値解析 (渦形式の影響)	日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月
山田航平, 高尾学, 奥原真哉, アラムアシュラフル, 木上洋一, 瀬戸口俊明	波力発電用二重反転タービンの性能予測	日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月
高尾学, 勝部春花, 奥原真哉, アラムアシュラフル, 木上洋一, 瀬戸口俊明	ブースターを有するウエルズタービンの性能解析	日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月
田中雅哉, 木上洋一, 塩見憲正, 瀬戸口俊明	減速流れにおける NACA65翼まわりのコーナーはく離に関する研究 (食い違い角の影響)	日本機械学会九州支部第70期講演会講演論文集, 2017年3月
馬渡俊文, 山田知弘, 坂本洋平, 原豊, 張波, 大野信義	凝集型ソフトマター添加潤滑油の高圧物性と衝撃 EHL 油膜形成	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016春東京予稿集, 2016年5月
谷野順英, 篠崎良平, 杉井秀夫, 張波, 馬渡俊文	潤滑油相転移がプレス加工に及ぼす影響	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016春東京予稿集, 2016年5月
坂本洋平, 馬渡俊文, 佐藤善紀, 張波, 大野信義	ライスオイルの高圧物性に関する研究	日本機械学会2016年度年次大会講演論文集 [2016. 9. 11-14, 福岡] [No. 16-1], 2016年9月
馬渡俊文, 大野信義, 張波	高密度 PFPE 流体の非ニュートン熱弾性流体潤滑解析に関する研究	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016秋新潟予稿集, 2016年10月
谷野順英, 篠崎良平, 杉井秀夫, 張波, 馬渡俊文	潤滑油相転移がプレス加工に及ぼす影響 (その2)	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016秋新潟予稿集, 2016年10月
佐藤善紀, 中川雄太, 馬渡俊文, 張波	Na ₂ SO ₄ 溶液中における SUS304鋼のインパクトフレタリング摩耗特性	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016秋新潟予稿集, 2016年10月

張波, 馬渡俊文, 坂本洋平	新しい潤滑油高压密度測定法の開発に関する研究	日本トライボロジー学会トライボロジー会議2016秋新潟予稿集, 2016年10月
工藤康浩, 中磯亨介, 仮屋圭史, 宮良明男 仮屋圭史, Md. Hasan Ali, 中村勝太, 宮良明男 Md. Hasan Ali, Salsuwanda SELAMAT , Akio MIYARA and Keishi KARIYA M.Mostaqur Rahman, Keishi Kariya and Akio Miyara	扁平多穴管内における沸騰凝縮熱伝達の実験的考察 水平設置スlinky型地中熱交換器に関する検討 PERFORMANCE ANALYSIS OF SLINKY LOOP HORIZONTAL GROUND HEAT EXCHANGERS AN EXPERIMENTAL STUDY OF HEAT TRANSFER DURING CONDENSATION OF REFRIGERANT R 134 a INSIDE HORIZONTAL MULTIPORT MINICHANNEL	第50回空気調和・冷凍連合講演会講演論文集 (CD-ROM), 2016年4月 第50回空気調和・冷凍連合講演会講演論文集 (CD-ROM), 2016年4月 Proceedings of the 8th ACRA, 2016. 5 Proceedings of the 8th ACRA, 2016. 5
Keishi KARIYA, Mohammad Sultan MAHMUD, Akitoshi KAWAZOE and Akio MIYARA Md. Hasan ALI, Salsuwanda Bin SELAMAT, Keishi KARIYA and Akio MIYARA Yasuhiro KUDO, Kyosuke NAKAISO, Keishi KARIYA and Akio MIYARA M. Khairul BASHAR, Yasuhiro KUDO, M. Mostaqur RAHMAN, Keishi KARIYA and Akio MIYARA	Local heat transfer characteristics of the R 1234 ze(E) two phase flow inside a plate heat exchanger Experimental Performance Estimations of Horizontal Ground Heat Exchangers for GSHP System Experimental Study on boiling and condensation heat transfer in a horizontal mini channel An experimental investigation on boiling and condensation heat transfer in multiport mini channel	2016 Purdue Conferences, 2016. 7 2016 Purdue Conferences, 2016. 7 2016 Purdue Conferences, 2016. 7 2016年度日本冷凍空調学会年次大会 CD-ROM 論文集, 2016年9月
北川弘樹, 仮屋圭史, 石田賢治, 宮良明男 仮屋圭史, Mohammad Ariful Islam, Md. Jahangir Alam, 宮良明男 A.MIYARA, K. KARIYA and K. SONODA 仮屋圭史, 宮良明男	冷蔵庫の蒸発器除霜運転における冷媒挙動に関する基礎的研究 冷媒 R1234ze(Z)の高温域における熱伝導率および粘度測定 TWO PHASE FLOW AND LOCAL HEAT TRANSFER CHARACTERISTICS IN A PLATE HEAT EXCHANGER CHANNEL プレート式熱交換器内気液二相流の流動観察	2016年度日本冷凍空調学会年次大会 CD-ROM 論文集, 2016年9月 2016年度日本冷凍空調学会年次大会 CD-ROM 論文集, 2016年9月 The 27th International Symposium on Transport Phenomena, Honolulu, Hawaii, USA (USB), 2016. 9 日本冷凍空調学会 第17回西日本地区技術交流会, 2016年9月

Md. Jahangir Alam, Mohammad Ariful Islam, Hirotaka Ishida, Keishi KARIYA, Akio MIYARA	Measurement of Thermal Conductivity of cis-1,1,1,4,4,4-hexafluoro-2-butene (R 1336 mzz(Z)) by the Transient Hot-Wire Method	11th Asian Thermophysical Properties Conference, ATPC 2016, Yokohama, 2016. 10
一ノ瀬裕太, 工藤康浩, M.Khairul Bashar, 野崎昌太郎, 仮屋圭史, 宮良明男 其田光希, MOHAMMAD SULTAN MAHMUD, 仮屋圭史, 宮良明男 M.Mostaqur Rahman, Yasuhiro Kudo, M. Khairul Bashar, Keishi Kariya, Akio Miyara 仮屋圭史, Md. Jahangir Alam, Mohammad Ariful Islam, 宮良明男	溝付細径管の沸騰凝縮熱伝達特性および圧力損失特性 プレート式熱交換器の局所伝熱特性に関する検討 EXPERIMENTAL STUDY ON CONDENSATION HEAT TRANSFER AND PRESSURE DROP INSIDE 2.13 MM ID SMOOTH AND MICROFIN HORIZONTAL TUBE 冷媒 R1336mzz(Z) (cis-1,1,1,4,4,4-hexafluoro-2-butene) の輸送物性測定	日本機械学会九州支部第70期総会講演会, 2017年3月 日本機械学会九州支部第70期総会講演会, 2017年3月 Proceedings of the Asian Conference on Thermal Sciences 2017, 1st ACTS, 2017. 3 第37回日本熱物性シンポジウム, 2016年11月
一ノ瀬彩実, 森田繁樹, 服部信祐, 眞山剛 坂口尚希, 池田亮太, 森田繁樹, 眞山剛, 服部信祐 一ノ瀬彩実, 森田繁樹, 服部信祐, 眞山剛 坂口尚希, 森田繁樹, 服部信祐, 眞山剛 竹村実央, 北村顕, 森田繁樹	AZ31Mg 合金圧延材における引張および圧縮変形中のミクロ組織変化の観察 AZ31Mg 合金圧延材の疲労特性に及ぼす負荷開始方向の影響 AZ31マグネシウム合金圧延材における引張および圧縮中の変形組織の発展 高応力振幅下における AZ31Mg 合金圧延材の疲労特性に及ぼす負荷開始方向の影響 擬似生体環境内での AZ31マグネシウム合金の腐食挙動	日本機械学会 M&M2016材料力学カンファレンス, OS01-13, 2016年10月 日本機械学会 M&M2016材料力学カンファレンス, OS01-10, 2016年10月 軽金属学会第131回秋期大会概要 (2016), 311-312, 2016年11月 軽金属学会第131回秋期大会概要 (2016), 375-376, 2016年11月 日本機械学会九州学生会 第48回卒業研究発表講演会 論文集, 2017年3月 日本機械学会九州学生会 第48回卒業研究発表講演会 論文集, 2017年3月 日本機械学会九州学生会 第48回卒業研究発表講演会 論文集, 2017年3月
久國繁幸, 阿南翔, 坂口尚希, 森田繁樹, 眞山剛, 服部信祐 阿南翔, 久國繁幸, 坂口尚希, 森田繁樹, 眞山剛, 服部信祐 有川秀一, 国重康太, 森田繁樹 大島史洋, 諸富 秀, 吉野英弘 大島史洋, 諸富秀	高応力振幅下における AZ31Mg 合金圧延材の疲労寿命に及ぼす負荷開始方向の影響 AZ31Mg 合金圧延材の疲労特性に及ぼす機械的特性異方性の影響 スペックル干渉法による AZ31マグネシウム合金の引張変形挙動観察 内歯車のスカイピング加工に関する研究 (切削動力に及ぼすカッタ諸元の影響) 内歯車のスカイピング加工に関する研究 (切削トルクに及ぼすカッタオフセットの影響)	日本機械学会九州学生会 第48回卒業研究発表講演会 論文集, 2017年3月 日本機械学会九州学生会 第48回卒業研究発表講演会 論文集, 2017年3月 日本機械学会関東支部第23期総会・講演会, 2017年3月 日本機械学会2016年度年次大会講演論文集, 2016年9月 日本機械学会九州支部講演論文集, 2017年3月

藤井一光, 佐藤和也	ROS を用いた複数台カメラによる移動ロボット群のフォーメーション制御	第59回自動制御連合講演会, 2016年11月
石若広太郎, 佐藤和也	無限軌道式ロボット車の倒立制御	第59回自動制御連合講演会, 2016年11月
峰松慎一郎, 佐藤和也	カメラによる自己位置補正可能なロボット車の自律移動制御	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2016年11月
藤原颯馬, 佐藤和也	ROS を用いたクアッドローターコプターの自律飛行制御	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2016年11月
堀江孝典, 佐藤和也	画像処理による MATLAB/Simulink を用いた二輪移動ロボット車の制御	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2016年11月
Satoshi Ueno, Wakana Tsuru, Yoichi Kinoue, Norimasa Shiomi and Toshiaki Setoguchi	PIV Measurement of Carbon Dioxide Gas-Liquid Two-Phase Nozzle Flow	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference2015, 1 - 7, 2015年7月
武富紳也, 萩原世也	α 鉄中の $\{112\}$ $\langle 111 \rangle$ 刃状転位の運動速度に及ぼす水素の影響に関する原子シミュレーション	日本鉄鋼協会第172回秋季講演大会, 2016年9月
光武雄一, 椿耕太郎, 福島慎平, 田中文弥	高温面上への液滴衝突時の非定常遷移沸騰過程	第53回日本伝熱シンポジウム講演論文集, 2016年
塩谷光基, 椿耕太郎, 今浪翔太, 光武雄一	地中熱の空調利用に適したサイクルに関する実験	第53回日本伝熱シンポジウム講演論文集, 2016年
椿耕太郎, 塩谷光基, 光武雄一	温暖地における地中熱の利用に適した空調用サイクル	第21回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集, 2016年
Kazuki Yoshida, Koutaro Tsubaki, Yuichi Mitsutake, Akitoshi Fujisawa, Shinichi Miura	Characteristics of gas permeability and effective thermal conductivity in metal hydride packed bed of CaNi ₅	Proceedings of the 4th International Forum on Heat Transfer, IFHT 2016, 2016
吉田一喜, 吉島正朗, 椿耕太郎, 光武雄一, 藤澤彰利, 三浦真一	水素吸蔵合金 CaNi ₅ 充填層における通気抵抗および熱輸送特性	日本機械学会九州支部講演論文集, 2017年3月
樋口裕樹, 塩谷光基, 高山卓也, 椿耕太郎, 光武雄一	地中熱の空調利用に適したサイクルの計算	日本機械学会九州支部講演論文集, 2017年3月
泉, 浦田, 辻村	ヒト検出と顔認識を利用したパーティクルフィルタによる複数人物追跡システム	ROBOMECH, 2016. 6
浦田, 土谷, 泉, 辻村	前腕筋電位に基づく手指動作識別技術	ROBOMECH, 2016. 6
Kiyotaka Izumi, Takeshi Tsujimura: Takeshi Tsujimura, Yuta Shimada, Yuki Tashiro, Kiyotaka Izumi, Koichi Yoshida	Nonholonomic Control Considering with Input Saturation for a Mobile Robot, Optical Axis Adjustment System for Free Space Optics Transmission	SICE Annual Conference 2016, 2016. 9 39th International Conference on Telecommunications and Signal Processing, 2016. 9
山川幸秀, 青木梨生, 泉清高, 辻村健:	赤外光拡張現実マーカの認識精度に関する分光分析評価	日本機械学会九州支部 第70期総会・講演会, 2017年3月

田中裕之, 辻村健, 泉清高 泉, 辻村	拡張現実システムにおける曲面の認識 入力制限を有する非ホロノミックシステムの不変多様体に基づく制御	日本機械学会九州支部 第70期総会・講演会, 2017年3月 第17回システムインテグレーション部門講演会 (SI2016), 2016年12月 2016. 5
石橋弘樹, 佐藤善紀, 伊藤卓哉, 張波 佐藤善紀, 秋吉元, 馬渡俊文, 張波 佐藤善紀, 中川雄太, 馬渡俊文, 張波	プラズマ溶射アルミナ被膜の摩擦摩耗特性に及ぼすpHの影響 インパクトフレッティング試験による SUS304ステンレス鋼の腐食摩耗に関する研究 Na ₂ SO ₄ 溶液中における SUS304鋼のインパクトフレッティング摩耗特性	日本機械学会2016年度年次大会, 2016年9月 2016年10月
Mwangi Jessee Njora, Yoshiki Sato, Bo Zhang	The performance of (Al, Ti)N – PVD coated and uncoated carbide tools in high speed finish turning of Inconel 718	2016. 10
Mwangi Jessee Njora, Yoshiki Sato, Bo Zhang	Tool life and surface integrity in high speed turning of Inconel 718 alloy with PVD-TiAlN coated carbide tools	2016. 12
坂本洋平, 馬渡俊文, 張波, 佐藤善紀, 大野信義	ライソオイルの高圧物性に関する研究	2016年9月
只野裕一, 吉原唯, 萩原世也 萩原世也, 白濱智大, 甲斐千尋, 武富紳也, 只野裕一, 田中智行 只野裕一	体積分率を考慮した変形双晶モデルによる多結晶HCP金属の結晶塑性解析 SPH法への多直線近似弾塑性構成則の適用 高次勾配結晶塑性論を用いた双結晶の圧縮挙動解析	第65期日本材料学会学術講演会講演論文集, pp. 341-342, 2016年5月 第21回計算工学講演会論文集, 2016年5月 第21回計算工学講演会論文集, 2016年6月
Yuichi TADANO, Jiun-Shyan CHEN	Effect of boundary conditions on bicrystalline micropillar compression using high-order gradient crystal plasticity	12th World Congress on Computational Mechanics, 2016. 7
Seiya HAGIHARA, Tomohiro SHIRAHAMA, Chihiro KAI, Shinya TAKETOMI, Yuichi TADANO, Satoyuki TANAKA	Elastic-plastic smoothed particle hydrodynamics method for fluidstructure interaction analysis –multi-linear constitutive equation–	12th World Congress on Computational Mechanics, 2016. 7
Phyo Wai MYINT, Seiya HAGIHARA, Toru TANAKA, Shinya TAKETOMI, Yuichi TADANO	Prediction on initiation of fracture surface for punching process	12th World Congress on Computational Mechanics, 2016. 7
Seiya HAGIHARA, Tomohiro SHIRAHAMA, Shinya TAKETOMI, Yuichi TADANO, Satoyuki TANAKA	Smoothed particle hydrodynamics method for elastic-plastic analysis –application of multi-linear constitutive equation–	7th International Conference on Computational Methods, 2016. 8
只野裕一, 萩原世也	メッシュフリー法を用いた高次勾配結晶塑性解析へのアプローチ	第29回計算力学講演会講演論文集, 2016年9月

甲斐千尋, 萩原世也, 武富紳也, 只野裕一, 田中智行 只野裕一	多直線近似構成則を用いた SPH 法による弾塑性解析	第29回計算力学講演会講演論文集, 2016年9月
Yuichi TADANO	底面および非底面すべり系の活動が六方晶金属の非法線性に及ぼす影響	M&M2016材料力学カンファレンス 論文集, 2016年10月
Takaaki KURISU, Yuichi TADANO, Seiya HAGIHARA	Subsequent yield behavior of hexagonal metal with rolling texture	13th Asia-Pacific Conference on En- gineering Plasticity and Its Applica- tions, 2016. 12
Takeshi SOEDA, Yuichi TADANO, Seiya HAGIHARA	Effect of lattice rotation on hardening behavior of HCP metal	13th Asia-Pacific Conference on En- gineering Plasticity and Its Applica- tions, 2016. 12
栗栖嵩明, 只野裕一, 萩原世也	Quantitative evaluation of deformation twinning behavior in polycrystalline pure magnesium	13th Asia-Pacific Conference on En- gineering Plasticity and Its Applica- tions, 2016. 12
副田武司, 只野裕一, 萩原世也	六方晶金属における幾何学的硬化に関する結晶塑性解析	日本機械学会九州支部第70期総会・ 講演会講演論文集, 2017年3月
	多結晶純マグネシウムにおける変形双晶に関する定量的検討	日本機械学会九州支部第70期総会・ 講演会講演論文集, 2017年3月

電気電子工学専攻

原著論文

佐藤, 西山, 豊田	マジック T を用いた5.8GHz帯E面広角指向性レクテナ	電子情報通信学会論文誌B, Vol. Vol.J99-B, No.No. 6, pp.pp. 415- 423, 2016年6月
H. Satow, Y. Tanaka, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Design of an In-Phase/Anti-Phase Triple-Feed Array Antenna Using Two Types of Magic-Ts	IEICE Commun. Express, Vol.5, No.11, pp.413-417, 2016. 11
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	A circularly polarized array antenna with inclined patches using both-sided MIC technology	IEICE Communications Express, Vol.6, No.1, pp.40-45, 2017.1
Akio Shimizu, Yohei Ishikawa, Sumio Fukai	A High Output-Swing Current Mirror With Neuron MOSFETs in Standard CMOS Technology	IEEE Asia Pacific Conf. on Circuits and Systems, Vol. APCCAS 2016, pp.77-78, 2016. 10
Yuki Matsuda, Akio Shimizu, Yohei Ishikawa, Sumio Fukai	Buffer With Neuron MOSFETs for Class-G Head- phone Driver	13th International SoC Design Con- ference, Vol.ISOCC 2016, pp.116-117, 2016. 10
Akio Shimizu, Yohei Ishikawa, Sumio Fukai	A Variable Overdrive voltage CMOS Current Mirror for Low-Voltage Applications	International Conference on Analog VLSI Circuits, Vol. AVIC 2016, pp.123-127, 2016
野口卓朗, 深井澄夫, 石川洋平, 清水暁生, 豊田一彦	簡易型微小位相差計測回路に適した自動計測システム	電気学会論文誌C, Vol. 136巻, No. 7号, pp. 881-886, 2016年7月

Shigeomi Hara, Sergio Honwana, Makoto Kasu, Noriaki Matsui	Discrete-Fourier-Transform-based Interpolation Method for Missing Data of Measurement in Mega Solar Power Plant	26th edition of the International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-26), pp.Area 5_2-0002, 2016. 10
Shigeomi Hara, Makoto Kasu, Noriaki Matsui	Construction of Fast Measurement System in Yoshinogari Mega Solar Power Plant	26th edition of the International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-26), pp.Area 5_2-0009, 2016. 10
Shigeomi Hara, Makoto Kasu, Noriaki Matsui	Development of Computer Program for Large-scale Measurement data of Yoshinogari Mega Solar Power Plant	26th edition of the International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-26), pp.Area 5_2-0010, 2016. 10
Shigeomi Hara, Makoto Kasu, Noriaki Matsui	Estimation Method of Solar Cell Temperature Using Meteorological Data in Mega Solar Power Plant	IEEE JOURNAL OF PHOTOVOLTAICS, Vol.Vol.6, No.No.5, pp. pp.1255-1260, 2016. 9
Shigeomi Hara, Makoto Kasu	Fast Measurement System for Operating Strings in Yoshinogari Mega Solar Power Plant	International Workshop on the Sustainable Actions for “Year by Year Aging” under Reliability Investigations in Photovoltaic Modules, 2016, pp.P 11, 2016. 10
K. Hanada, T. Moribayashi, T. Uematsu, S. Masuya, K. Koshi, K. Sasaki, A. Kuramata, O. Ueda, and M. Kasu	Observation of nanometer-sized crystalline grooves in as-grown β -Ga ₂ O ₃ single crystals	Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.030303, 2016. 4
T. Oishi, K. Harada, Y. Koga, and M. Kasu	Study on conduction mechanism in highly doped b-Ga ₂ O ₃ (-201)single crystals grown by edge-defined film-fed growth method and their Schottky barrier diodes	Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, No.3, pp.030305, 2016. 4
M. Kasu, K. Hirama, K. Harada, and T. Oishi, Makoto Kasu	“Study on capacitance-voltage characteristics of diamond field-effect transistors with NO ₂ hole doping and Al ₂ O ₃ gate insulator layer	Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.041301, 2016. 4
	Diamond epitaxy: basics and applications	Progress in Crystal Growth and Characterization of Materials, Vol.62, pp.317-328, 2016. 8
S. Hara, M. Kasu, and N. Matsui,	“Estimation method of solar cell temperature using meteorological data in mega solar power plant	IEEE Journal of Photovoltaics, Vol.6, pp.1255, 2016. 8

- Takayoshi Oshima, Ryo Wakabayashi, Mai Hattori, Akihiro Hashiguchi, Naoto Kawano, Kohei Sasaki, Takekazu Masui, Akito Kuramata, Shigenobu Yamakoshi, Kohei Yoshimatsu, Akira Ohtomo, Toshiyuki Oishi and Makoto Kasu
Formation of indium-tin oxide ohmic contacts for β -Ga₂O₃
Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.1202B7, 2016. 8
- M. Kasu, K. Hanada, T. Moribayashi, A. Hashiguchi, T. Oshima, T. Oishi, K. Koshi, K. Sasaki, A. Kuramata, and O. Ueda
Relationship between crystal defects and leakage current in β -Ga₂O₃ Schottky barrier diodes
Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.1202BB, 2016. 12
- K Hanada, T. Moribayashi, K. Koshi, K. Sasaki, A. Kuramata, O. Ueda, and M. Kasu
Origins of etch-pits in (010) β -Ga₂O₃ single crystals
Japanese Journal of Applied Physics, Vol.55, pp.1202BG, 2016. 12
- Makoto Kasu
Diamond field-effect transistors for RF power electronics: Novel NO₂ hole doping and low-temperature deposited Al₂O₃ passivation
Japanese Journal of Applied Physics, Vol.56, No.1, pp.01AA01, 2017. 1
- Toshiyuki Oishi, Naoto Kawano, Satoshi Masuya, and Makoto Kasu
Diamond Schottky Barrier Diodes With NO₂ Exposed Surface and RF-DC Conversion Toward High Power Rectenna
IEEE ELECTRON DEVICE LETTERS, Vol.38, No.1, pp.87, 2017. 1
- Yoichi Toyokawa, Yoshihito Yagyū, Tatsuya Misawa and Akikazu Sakudo
A new roller conveyer system of non-thermal gas plasma as a potential control measure of plant pathogenic bacteria in primary food production
Food Control, Vol.72, No.Part A, pp. pp.62-72, 2017. 2
- Md. Amzad Hossain, T. Ide, K. Ikari, Y. Ohtsu
High-density radio-frequency magnetized plasma sputtering source with rotational square-shaped arrangement of rod magnets for uniform target utilization
Vacuum, Vol.128, pp.219-225, 2016. 4
- Yasunori Ohtsu, Shohei Tsuruta, Tatsuo Tabaru, Morito Akiyama
Plasma characteristics and target erosion profile of racetrack-shaped RF magnetron plasma with weak rubber magnets for full circular target utilization
Surface & Coatings Technology, Vol.307, pp.pp.1134-1138, 2016. 11
- 大石敏之, 岸川拓也, 吉川大地, 平間一行, 嘉数誠
表面伝導型ダイヤモンドFETのデバイスシミュレーションに関する検討
電子情報通信学会論文誌C, Vol.J99-C, No. 5, pp.pp. 193 - 200, 2016年5月

- M.Kasu, K.Hirama, K. Harada, and T.Oishi
T. Oshima,
R. Wakabayashi,
M. Hattori,
A. Hashiguchi,
N. Kawano,
K. Sasaki, T. Masui,
A. Kuramata,
S. Yamakoshi,
K. Yoshimatsu,
A. Ohtomo, T. Oishi,
and M. Kasu
M. Kasu, K. Hanada,
T. Moribayashi,
A. Hashiguchi,
T. Oshima, T. Oishi,
K. Koshi, K. Sasaki,
A. Kuramata, and
O. Ueda
T. Oishi, N. Kawano,
S. Masuya, and
M. Kasu
Kohei Yoshimatsu,
Hirokazu Okabe,
Takayoshi Oshima,
Shigeaki Ueda,
Akira Ohtomo
Hisanori Mashiko,
Kohei Yoshimatsu,
Takayoshi Oshima,
and Akira Ohtomo
Makoto Kasu,
Kenji Hanada,
Tomoya Moribayashi,
Akihiro Hashiguchi,
Takayoshi Oshima,
Toshiyuki Oishi,
Kimiyooshi Koshi,
Kohei Sasaki,
Akito Kuramata,
and Osamu Ueda
- Study on capacitance-voltage characteristics of diamond field-effect transistors with NO₂ hole dopinb and Al₂O₃ gate insulator layer
Formation of indium-tin oxide ohmic contacts for β -Ga₂O₃
Relationship between crystal defects and leakage current in β -Ga₂O₃ Schottky barrier diodes
Diamond Schottky Barrier Diodes With NO₂ Exposed Surface and RF-DC Conversion Toward High Power Rectenna
Strain-induced metal-insulator transition in t_{2g} electron system of perovskite titanate films
Fabrication and characterization of semiconductor photoelectrodes with orientation-controlled α Fe₂O₃ thin films
Relationship between crystal defects and leakage current in β -Ga₂O₃ Schottky barrier diodes
- Jpn. J. Appl. Phys., Vol.55, pp.041301, 2016. 2
Jpn. J. Appl. Phys., Vol.55, pp.1202B7, 2016. 10
Jpn. J. Appl. Phys., Vol.55, pp.1202 BB, 2016. 11
IEEE Electron Device Lett., Vol.38, pp.87-90, 2017. 1
Physical Review B , Vol.930, pp.195159, 2016
The Journal of Physical Chemistry C, Vol.120, pp.2747, 2016
Japanese Journal of Applied Physics Selected Topics in Applied Physics, Vol.55, pp.1202BB, 2016

- Takayoshi Oshima, Ryo Wakabayashi, Mai Hattori, Akihiro Hashiguchi, Naoto Kawano, Kohei Sasaki, Takekazu Masui, Akito Kuramata, Shigenobu Yamakoshi, Kohei Yoshimatsu, Akira Ohtomo, Toshiyuki Oishi, and Makoto Kasu
Formation of indium-tin oxide ohmic contacts for β -Ga₂O₃
Japanese Journal of Applied Physics Selected Topics in Applied Physics, Vol.55, pp.1202BB, 2016
- Mai Hattori, Takayoshi Oshima, Ryo Wakabayashi, Kohei Yoshimatsu, Kohei Sasaki, Takekazu Masui, Akito Kuramata, Shigenobu Yamakoshi, Koji Horiba, Hiroshi Kumigashira, and Akira Ohtomo
Epitaxial growth and electric properties of γ -Al₂O₃ (110) films on β -Ga₂O₃ (010) substrates
Japanese Journal of Applied Physics Selected Topics in Applied Physics, Vol.55, pp.1202BB, 2016
- 古川達也, 福本尚生, 竹内健太郎, 吉田大貴, 久保康平
I. Toyoda and E. Nishiyama
一般配電系電力状態観測用柱上開閉器内蔵樹脂一体型電圧電流センサの実現性に関する研究
電気学会論文誌 A (基礎・材料・共通部門誌), Vol. 137, No. 1, pp. 58-64, 2017年1月
Proc. 2017 IEEE Int'l Conf. Computational Electromagnetics, pp.130-132, 2B1.5, 2017. 3
- 山口優太, 古川達也, 福本尚生, 伊藤秀昭, 相知政司, 比良優貴
山口, 加保, 豊田, 上原, 中川, 荒木
電力工学教育模擬マイクログリッドシステムの実現に向けた遠隔発電実験システムの開発
電気学会論文誌 C (電子・情報・システム部門誌), Vol. 36, No. 11, pp. 1574-1580, 2016年11月
信学論 (C), Vol. J99-C, No. 5, pp. 266-275, May2016., 2016年5月
- 佐藤博, 西山英輔, 豊田一彦
マジック T を用いた5.8GHz帯E面広角指向性レクテナ
信学論 (B), Vol. J99-B, No. 6, pp. 415-423, June2016., 2016年6月
- 野口卓朗, 深井澄夫, 石川洋平, 清水暁生, 豊田一彦
簡易型微小位相差計測回路に適した自動計測システム
電学論 (C), Vol. 136, No. 7, pp. 881-886, July2016., 2016年7月
- H. Satow, Y. Tanaka, E. Nishiyama, and I. Toyoda
Design of an In-Phase/Anti-Phase Triple-Feed Array Antenna Using Two Types of Magic-Ts
IEICE Commun. Express, Vol.5, No.11, pp.413-417, Nov.2016., 2016. 11

M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	A Circular Polarization Array Antenna With Inclined Patches Using Both-Sided MIC Technology	IEICE Commun. Express, Vol.6, No.1, pp.40-45, Jan.2017., 2017年1月
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	Design of an Orthogonal Feed Circularly Polarized Microstrip Array Antenna Suitable for Large Scale Extensible Arrays	5th Int'l Conf. Informatics, Electronics & Vision (ICIEV 2016), 53, Dhaka, Bangladesh, May 2016., 2016. 5
T. Tanaka, H. Umezaki, and I. Toyoda	Stabilizing Output Performance of Positive Feedback Type Push-Push Oscillator Array by Injection Locking Technology	2016 17th Int'l Symp. Antenna Technology and Applied Electromagnetics (ANTEM 2016), Montreal, QC, Canada, July 2016., 2016. 7
E. Nishiyama, T. Ino, and I. Toyoda	(Invited) Double Balanced Multiplier Integrated Wideband Circular Polarization Switchable Microstrip Antenna	2016 IEEE Int'l Symp. Radio-Frequency Integration Tech. (RFIT 2016), Taipei, Taiwan, Aug.2016., 2016. 8
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	A Microstrip Antenna With Circular Polarization Switching Capability for X-Band Applications	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp.820-821, POS 2-55, Okinawa, Japan, Oct.2016., 2016. 10
H. Satow, Y Tanaka, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An H-Plane Wide-Angle Rectenna Using an In-Phase/Anti-Phase Dual-Feed Antenna	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp.532-533, POS 1-124, Okinawa, Japan, Oct.2016., 2016. 10
R. Rashid, D. Hattori, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An RF Multiplier Integrated Planar Antenna for DOA Estimation	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp.438-439, POS 1-77, Okinawa, Japan, Oct.2016., 2016. 10
I. Toyoda and E. Nishiyama	Rectenna Design Using Electromagnetic Simulation Including Nonlinear Devices' (Invited), "	Proc. 2017 IEEE Int'l Conf. Computational Electromagnetics," pp.130-132, 2BI 5, Kumamoto, Japan, Mar. 2017.
Mitsuhiro Nishio, Katsuhiko Saito, Masakatsu Abiru, Eiichiro Mori, Yasuhiro Araki, Daichi Tanaka, Tooru Tanaka and Qixin Guo	Low Pressure MOVPE Growth and Characterization of ZnTe Homoepitaxial Layers	physica status solidi (c) Vol.13 (2016) pp.439-442., 2016. 7

- Katsuhiko Saito,
Masakatsu Abiru,
Eiichiro Mori,
Yasuhiro Araki,
Daichi Tanaka,
Tooru Tanaka,
Qixin Guo and
Mitsuhiro Nishio
- Zhengwei Chen,
Xu Wang,
Fabi Zhang,
Shinji Noda,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka,
Mitsuhiro Nishio,
Qixin Guo
- Xu Wang,
Zhengwei Chen,
Fabi Zhang,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka,
Mitsuhiro Nishio,
Qixin Guo
- Zhengwei Chen,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka,
Mitsuhiro Nishio,
Qixin Guo
- Zhengwei Chen,
Xu Wang,
Fabi Zhang,
Shinji Noda,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka,
Mitsuhiro Nishio,
Makoto Arita and
Qixin Guo
- Xu Wang,
Zhengwei Chen,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka,
Mitsuhiro Nishio,
Qixin Guo
- Influence of source transport rate upon fractions of Mg and Se in Zn_{1-x}Mg_xSe_yTe_{1-y} layers grown by metalorganic vapor phase epitaxy
- Temperature dependence of luminescence spectra in europium doped Ga₂O₃ film
- Influence of substrate temperature on the properties of (AlGa)₂O₃ thin films prepared by pulsed laser deposition
- Highly transparent conductive Ga doped ZnO films in the near-infrared wavelength range
- Observation of low voltage driven green emission from erbium doped Ga₂O₃ light-emitting devices
- Temperature-dependent Raman scattering in cubic (InGa)₂O₃ thin film
- physica status solidi (c) Vol.13 (2016) pp.443-447., 2016. 7
- Journal of Luminescence, Vol.177 (2016) pp.48-53., 2016. 9
- Ceramics International, Vol. 42 (2016) pp.12783-12788., 2016. 8
- Journal of Materials Science: Materials in Electronics, Vol.27 (2016) pp.9291-9296., 2016. 9
- Applied Physics Letters, Vol.109 (2016) pp.022107(4pages), 2016. 9
- Journal of Alloys and Compounds, Vol.690 (2017) pp.287-292., 2017. 1

Fabi Zhang, Makoto Arita, Xu Wang, Zhengwei Chen, Katsuhiko Saito, Tooru Tanaka, Mitsuhiro Nishio, Teruaki Motooka and Qixin Guo	Toward controlling the carrier density of Si doped Ga ₂ O ₃ films by pulsed laser deposition	Applied Physics Letters, Vol.109 (2016) pp.102105(5pages), 2016. 9
Zhengwei Chen, Kazuo Nishihagi, Xu Wang, Katsuhiko Saito, Tooru Tanaka, Mitsuhiro Nishio, Makoto Arita and Qixin Guo	Band alignment of Ga ₂ O ₃ /Si heterojunction interface measured by X-ray photoelectron spectroscopy	Applied Physics Letters, Vol.109 (2016) 102106(4pages), 2016. 9
秋山 肇, 内海 淳, 田中 徹, 齋藤勝彦, 西尾光弘, 郭 其新	直接接合技術を用いた p-ZnTe/n-ZnO ヘテロ接合界面の作製と電気特性評価	電気学会論文誌 C136 (12), 1762-1767 (2016). , 2016. 9

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

中山恭綺, 野口卓朗, 清水暁生, 深井澄夫	多出力ニューロン MOS カレントミラーに用いるキャリブレーション回路の検討	電子情報通信学会技術研究報告, Vol.ICD2015 - 134, pp. 211 - 215, 2016年 3月
松永祐太郎, 野口卓朗, 清水暁生, 石川洋平, 深井澄夫	FG-MOSFET を用いた 4 値 ALU の評価	電気学会電子回路研究会, Vol.ECT-17-020, pp. 101-104, 2017年 1月
野口卓朗, 深井澄夫, 石川洋平, 清水暁生, 木本晃, 豊田一彦	生体インピーダンス計測に適した簡易型微小位相差計測回路の検討	電気学会電子回路研究会, Vol.ECT-17-017, pp. 83-87, 2016年 1月
大塩悠貴, 野口卓朗, 石川洋平, 深井澄夫	フィールド実験用電源管理システムの検討	電気学会電子回路研究会, Vol.ECT-17-014, pp. 69-72, 2016年 1月
川添浩太郎, 谷口幹, 吉野託未, 大塩悠貴, 野口卓朗, 深井澄夫, 清水暁生, 石川洋平	有明高専における LSI 設計・試作検証・計測システム開発を通じた技術者教育の取り組み	Vol.ECT-17-012, pp. 57-61, 2017年 1月
齋藤孝一, 清水暁生, 石川洋平, 深井澄夫 佐々木伸一	可変オーバードライブ電圧カレントミラーに用いるアンプの検討 プリント配線板からの放射雑音低減法 (プリント基板からのエミッション対策)	電気学会電子回路研究会, Vol.ECT-17-001, pp. 1 - 4, 2017年 1月 電磁環境工学情報 EMC, Vol. 第29巻 (No. 343), No. 第7号 (平成28年11月号), pp. 47-59, 2016年 11月
續諒人, 森田佐知子, 福本尚生, 古川達也	大学生のための合同会社説明会企業受付システムへのメール送信機能と学生専用ページの設計と開発	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 116, No. 266, ET2016 - 54, pp. 73-78, 2016年10月

本川良真, 福本尚生, 古川達也	EMS 学習支援システムにおける気温と電力需要の関係についての学習教材の開発	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 116, No. 266, ET2016 - 43, pp. 9 -14, 2016年10月
中溝徹, 森田佐知子, 福本尚生, 古川達也	LAPP を用いた Web ベースのアンケート作成支援システムにおける条件分岐機能の実装	電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 116, No. 266, ET2016 - 50, pp. 51-56, 2016年10月
古賀優太, 福本尚生, 古川達也 竹内健太郎, 古川達也, 福本尚生, 吉田大貴 山口優太, 福本尚生, 古川達也 吉田大貴, 古川達也, 福本尚生 豊田一彦	多巻線方式を模したモデル変圧器の漏れリアクタンスの計測と解析結果の比較 ダウンサイジングした柱上開閉器内蔵樹脂一体型電力センサの絶縁と出力特性に関する解析 調光制御を付与した太陽光発電シミュレーションシステムの開発 力率及び高調波伝搬方向検出システムのリアルタイム性の向上 【論文誌技術解説】 大学発マイクロ波論文特集の発刊に寄せて	電気学会計測研究会資料, No.IM-16-044, pp. 7 -12, 2016年11月 電気学会計測研究会資料, No.IM-16-043, pp. 1 - 6, 2016年11月 電気学会計測研究会資料, No.IM-16-048, pp. 27-32, 2016年11月 電気学会計測研究会資料, No.IM-16-049, pp. 33-38, 2016年11月 信学会エレソニュースレター, vol. 164, p. 19, Jan. 2017., 2017年1月
豊田一彦	[巻頭言] 大学発マイクロ波論文特集の発行にあたってーより豊かで安全・安心な社会の実現を目指してー	信学論 (C), Vol. J99-C, No. 12, pp. 564-565, Dec. 2016., 2016年12月
石崎, 豊田, 山中 豊田一彦, 田中高行, 西山英輔, 高橋潤, 田中裕喜	マイクロ波学生設計コンテストにおける優秀学生の育成法 マイクロ波回路とアンテナを一体複合化した高機能平面アンテナ技術／多彩な機能を実現する平面レクテナ技術	信学誌, Vol. 99, No. 4, pp. 351-355, Apr. 2016., 2016年4月 MWE2016大学展示, 2016年11月

特許

三沢達也	プラズマ殺菌装置	佐賀大学, 琉球大学, 大阪府立環境農林水産総合研究所, 特願2016-536967
大島孝仁	アバランシェフォトダイオード	佐賀大学・(株)タムラ製作所・(株)ノバルクリスタルテクノロジー, 特願2016-113456
嘉数誠, 大石俊之, 大島孝仁 大津康徳	ダイヤモンドコンタクト構造とこれを用いた電子素子 プラズマ処理装置	佐賀大学, 名古屋大学, 特願2016-161890 佐賀大学, 神港精機株式会社, 6030867 (国内登録)
三沢達也, 林信哉 三沢達也	プラズマ生成装置 プラズマ殺菌装置	佐賀大学, 6083093 (国内登録) 佐賀大学, 琉球大学, PCT/JP 2016/065824 (PCT 出願)
三沢達也	プラズマ殺菌装置	佐賀大学, 佐世保工専, 琉球大学, PCT/JP2016/081799 (PCT 出願)

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

Ichihiko Toyoda and Eisuke Nishiyama	Rectenna Design Using Electromagnetic Field Simulation Including Nonlinear Devices	2017 IEEE Antennas and Propagation Society Topical Meeting on Computational Electromagnetics, 2017.3
E. Nishiyama, T. Ino, and I. Toyoda	Double Balanced Multiplier Integrated Wideband Circular Polarization Switchable Microstrip Antenna	2016 IEEE Int'l Symp. Radio-Frequency Integration Tech., 2016.8
I. Toyoda and E. Nishiyama	Advanced Planar Rectenna Technology	11th Asia-Pacific Engineering Research Forum on Microwaves and Electromagnetic Theory, 2016.10
E. Nishiyama and I. Toyoda	Double Balanced Multiplier Integrated Polarization Agile Microstrip Antenna	11th Asia-Pacific Engineering Research Forum on Microwaves and Electromagnetic Theory, 2016.10
Makoto Kasu, Toshiyuki Oishi	Diamond Devices for RF Applications	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference, 2016.8
Makoto Kasu, Toshiyuki Oishi	Recent Progress of Diamond Devices for RF Applications	2016 IEEE Compound Semiconductor IC Symposium, 2016.10
Md. Amzad Hossain and Yasunori Ohtsu	Plasma fundamentals and its application for material processing	Special lecture in Rajshahi University of Engineering and Technology, Bangladesh, Jan.26, 2017, 2017.1
M. Kasu, T. Oishi	Diamond devices for RF applications	2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference (URSI AP-RASC), 2016.8
M. Kasu, T. Oishi	Recent Progress of Diamond Devices for RF Applications	38th IEEE COMPOUND SEMICONDUCTOR IC (CSIC) SYMPOSIUM, 2016.10
Takayoshi Oshima	PLD and MBE growth of Ga ₂ O ₃ and (Al _x Ga _{1-x}) ₂ O ₃	German-Japanese Gallium Oxide Technology Meeting 2016, Berlin, Germany (Sep.7-9, 2016) (Oral, Invited), 2016
大島孝仁	Mist CVD 法の基礎と応用	日本学術振興会透明酸化物光・電子材料第166委員会第72回研究会, 田町キャンパスイノベーションセンター, 東京都(2016年7月15日). (招待), 2016年
大島孝仁	酸化ガリウム系半導体の薄膜成長	第1回 ISYSE 研究会, 広島大学 (2016年8月26日). (招待), 2016
I. Toyoda and E. Nishiyama	Rectenna Design Using Electromagnetic Field Simulation Including Nonlinear Devices (Invited)	Proc. 2017 IEEE Int'l Conf. Computational Electromagnetics, pp. 130-132, 2B1.5, 2017年3月
E. Nishiyama, T. Ino, and I. Toyoda	(Invited) Double Balanced Multiplier Integrated Wideband Circular Polarization Switchable Microstrip Antenna	2016 IEEE Int'l Symp. Radio-Frequency Integration Tech. (RFIT 2016), Taipei, Taiwan, Aug.2016., 2016.8
I. Toyoda and E. Nishiyama	(Invited) Advanced Planar Rectenna Technology	2016年10月

E. Nishiyama, T. Ino, and I. Toyoda	(Invited) Double Balanced Multiplier Integrated Polarization Agile Microstrip Antenna	Proc. 11th Asia-Pacific Engineering Research Forum on Microwaves and Electromagnetic Theory (AP-MET 2016), pp.38-42, Oct.2016., 2016. 10
Tooru Tanaka	ZnTeO-based multiple band gap semiconductors for intermediate band solar cells (invited)	2016 Collaborative Conference on 3 D and Materials Research (CC3 DMR), 20 June 2016, Incheon, South Korea., 2016. 6

一般講演 (学会講演を含む)

高橋 潤, 西山英輔 豊田一彦	B-21-1 電気2重層キャパシター一体型ディファレンシャルレクテナの特性評価 (B-21. 無線電力伝送, 一般セッション)	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
田中裕喜, 西山英輔, 田中高行, 豊田一彦	B-1-60スロットT分岐型マジックTのH面指向性可変アレーアンテナへの応用 (B-1. アンテナ・伝播B (アンテナ一般), 一般セッション)	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
古川義晃, 西山英輔, 豊田一彦	B-1-59ガン発振器を一体化したアクティブアレーアンテナの提案 (B-1. アンテナ・伝播B (アンテナ一般), 一般セッション)	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
佐藤 博, 田中裕喜, 西山英輔, 豊田一彦	B-1-502種類の平面型マジックTを用いた同相・逆相3給電アンテナの提案 (B-1. アンテナ・伝播B (アンテナ一般), 一般セッション)	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
伊野孝宏, 西山英輔, 豊田一彦	二重平衡型乗算器を用いた偏波切り替え機能を有する平面アンテナの基礎検討 (アンテナ・伝播, マイクロ波における学生・若手発表および一般)	映像情報メディア学会技術報告, 2016年1月
末長秀人, 西山英輔, 豊田一彦	Magic-T回路を用いた偏波共用L形マイクロストリップアレーアンテナの基礎検討 (アンテナ・伝播, マイクロ波における学生・若手発表および一般)	映像情報メディア学会技術報告, 2016年1月
田中裕喜, 西山英輔, 田中高行, 豊田一彦	スロットT分岐型マジックTを用いた2給電平面アレーアンテナの基本検討 (アンテナ・伝播, マイクロ波における学生・若手発表および一般)	映像情報メディア学会技術報告, 2016年1月
R. Rashid, E. Nishiyama, I. Toyoda	B-1-187 Performance Analysis of Magic-T Integrated Array Antennas in Two Different Configurations	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, I. Toyoda	B-1-186 Experimental Investigation of a Circularly Polarized Array Antenna With Inclined Linear Polarization Patches	電子情報通信学会総合大会講演論文集, 2016年3月
R. Rashid, D. Hattori, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An RF Multiplier Integrated Planar Antenna for DOA Estimation	2016 Int'l Symp. Antennas and Propag., 2016. 10
H. Satow, Y Tanaka, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An H-Plane Wide-Angle Rectenna Using an In-Phase/Anti-Phase Dual-Feed Antenna	2016 Int'l Symp. Antennas and Propag., 2016. 10

M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	A Microstrip Antenna With Circular Polarization Switching Capability for X-Band Applications	2016 Int'l Symp. Antennas and Propag, 2016. 10
高橋良介, 柴田和明, 木本晃, 深井澄夫 國崎恒成, 森下伊織, 大塩悠貴, 堀田孝之, 荻島真澄, 中島正寛, 古賀つかさ, 深井澄夫, 石川洋平 吉田照長, 野口卓朗, 深井澄夫, 木本晃 坂本幸大, 山口智敬, 松永裕太郎, 野口卓朗, 深井澄夫 山口智敬, 坂本幸大, 松永裕太郎, 大塩悠貴, 野口卓朗, 深井澄夫 石川洋平, 堀田孝之, 中島正寛, 荻島真澄, 嘉藤学, 松野哲也, 清水暁生, 宮本英揮, 徳本家康, 佐藤三郎, 深井澄夫, 上村祐一郎	膀胱内尿量検出のためのリアルタイムインピーダンス測定 土壌水分センサーネットワークのクラウド運用に関する一考察 胸郭インピーダンス計測に用いる計測回路の検討 パストランジスタを用いた4値AND回路・OR回路の設計 パストランジスタを用いた4値AND回路・OR回路のレイアウト設計 産学学連携の可能性と障壁 —農工連携のスタートアップ期を例に—	日本生体医工学会九州支部学術講演会, 2016年3月 IEEE 主催2016年第1回学生研究発表会, 2016年11月 IEEE 主催2016年第1回学生研究発表会, 2016年11月 2016年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・講演論文集, 2016年9月 2016年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・講演論文集, 2016年9月 産学連携学会第14回大会, 2016年6月
石川洋平, 深井澄夫, 佐藤三郎, 菅沼明, 森山英明, 清水暁生, 野口卓朗, 永利新一, 太田順一郎, 橋爪康知, 山科敏彦, 内田康雄, 光山一生 石川洋平, 清水暁生, 城門寿美子, 野口卓朗, 深井澄夫, 橋爪康知 原 重臣, 嘉数 誠, 松井則明 原 重臣, 嘉数 誠, 松井則明, 佐藤梨都子, 増田 淳 原 重臣, 嘉数 誠, 松井則明	若手産学連携コーディネータの育成 —まちなかシリコンバレー戦略— 「起業・連携・IoT」をキーワードとした人材育成 吉野ヶ里メガソーラー発電所計測データを用いたストリング内部状態推定法の検討 吉野ヶ里メガソーラー発電所における大規模測定データ可視化システムの開発 放射伝熱を考慮した太陽電池セル温度推定法の検討—理論の構築と吉野ヶ里メガソーラーでの測定—	産学連携学会第14回大会, 2016年6月 第3回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究ワークショップ, 2016年5月 第13回 「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム, 2016年5月 AIST 太陽光発電研究 成果報告会 2016, 2016年6月 平成28年 電気学会 電力・エネルギー部門大会 (第27回), 2016年9月

首藤謙太郎, 原 重臣, 嘉数 誠, 増富康記	吉野ヶ里メガソーラーにおける大規模計測データ解析システムの開発	平成28年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会, 2016年11月
諸石祐介, 原 重臣, 嘉数 誠, 増富康記	吉野ヶ里メガソーラー発電所における高速測定データを解析するソフトウェアの開発	平成28年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会, 2016年11月
原 重臣, 嘉数 誠, 増富康記	吉野ヶ里メガソーラーにおける測定データに含まれる欠損区間を補間するソフトウェアの開発	平成28年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会, 2016年11月
原 重臣, 嘉数 誠, 松井則明, 佐藤梨都子, 増田 淳	吉野ヶ里メガソーラー発電所における高速測定システムの構築	AIST 太陽光発電研究 成果報告会 2016, 2016年 6月
石本一貴, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	足裏センサを用いたヒト型ロボットの姿勢制御	IEEE 主催2016年度第1回学生研究発表会予稿集, 2016年11月
笹山友裕, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	ROS と HummingBoard を用いた分散型3次元物体自動形状計測システムの開発	IEEE 主催2016年度第1回学生研究発表会予稿集, 2016年11月
中野秀彦, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	図形模写ロボットにおける対象図形の計測・解析法の検討	IEEE 主催2016年度第1回学生研究発表会予稿集, 2016年11月
中島麻貴, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	Optimization of Speech and Motion Actions in a Dialogue System by POMCP	Proceedings of the 22nd International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 2017), 2017. 1
石本一貴, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	Learning of Walking Motion of a Humanoid Robot Using POMCP	Proceedings of the 22nd International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 2017), 2017. 1
笹山友裕, 伊藤秀昭, 福本尚生, 和久屋寛	A Distributed and Automated Three-Dimensional Object Shape Measurement System Using ROS and HummingBoard	Proceedings of the 22nd International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 2017), 2017. 1
山内一宏, 平石雅俊, 岡部博孝, 竹下聡史, 幸田章宏, 小嶋健児, 門野良典, 田中秀数	ミュオンスピン回転/緩和法で見たハニカム格子スピ ン系 α -RuCl ₃ の磁気秩序	科研費基盤研究 (A) スピンの分 数化による量子スピン液体の開拓 研究会「第一回 量子スピン液体研 究の新展開」, 2016年 7月
山内一宏, 平石雅俊, 岡部博孝, 竹下聡史, 幸田章宏, 小嶋健児, 門野良典, 田中秀数	ハニカム格子磁性体 α -RuCl ₃ の磁気秩序	第122回日本物理学会九州支部例会, 2016年12月
境智弘, 吉田祐紀, 猪原哲	水中キャピテーション場における放電生成の基礎的特 性	H28年度電気学会基礎・材料・共通 部門大会, 2016年 9月
吉田祐紀, 境智弘, 猪原哲	水中キャピテーション放電の発光分光測定	H28年度電気学会基礎・材料・共通 部門大会, 2016年 9月
猪原哲	パルスパワーによるモモ枝の休眠打破	電気学会パルスパワー研究会, 2016 年 8月
境智弘, 猪原哲, 徳 山由佳, 寺東宏明	水中キャピテーション・放電プラズマ併用型リアクタ による殺菌特性について	電気学会プラズマ・パルスパワー・ 放電合同研究会, PST-16-108, PPT-16-88, ED-16-204, 2016年10 月

吉田祐紀, 境智弘, 猪原哲, 寺東宏明	水中キャビテーション・放電プラズマ併用型リアクタ の水処理効果の改善について	電気学会プラズマ・パルスパワー・ 放電合同研究会, PST-16-119, PPT-16-99, ED-16-215, 2016年10 月
徳山由佳, 工藤健一, 境智弘, 伊藤博則, 猪原哲, 寺東宏明 榊谷聡士, 森林朋也, 角谷均, 嘉数 誠	水中放電プラズマによる酸化 DNA 損傷と突然変異 高温アニールによるダイヤモンド単結晶の積層欠陥の 消高温度アニールによるダイヤモンド単結晶の積層欠陥 の消滅	日本環境変異原学会第45回大会 (平 成28年11月17-18日 つくば), 2016 年11月 応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 9 月
大石敏之, 河野直士, 嘉数 誠 河野直士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之 梁 剣波, 榊谷聡士, 嘉数 誠, 重川直輝 大島孝仁, 若林 諒, 服部真依, 橋口明広, 河野直人, 佐々木公平, 増井建和, 倉又朗人, 山腰茂伸, 吉松公平, 大友 明, 大石敏之, 嘉数 誠 橋口明広, 森林朋也, 花田賢志, 大島孝仁, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠 森林朋也, 花田賢志, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠	ダイヤモンドデバイスを用いた無線電力伝送用レクテ ナの理論的検討 酸化ガリウムダイオードを用いたレクテナ回路動作 ダイヤモンド単結晶と Si 単結晶基板の常温接合 β -Ga ₂ O ₃ 用 ITO オーミック電極	応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 9 月 応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 9 月 応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年
橋口明広, 森林朋也, 花田賢志, 大島孝仁, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠 森林朋也, 花田賢志, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠	β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流 と結晶欠陥との関係 β -Ga ₂ O ₃ (010) 単結晶のエッチピットの構造	応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 9 月 応用物理学会秋季講演会, 2016年 9 月13~16日, 新潟, 2016年 9 月
M. Kasu, T. Oisi, N. Kawano, A. Miyachi, and S. Kawasaki S. Masuya, T. Moribayashi, K. Hanada, H. Sumiya, M. Kasu Kenji Hanada, Makoto Kasu	abrication of Diamond Rectenna Devices for RF Power Transmission Disappearance of stacking faults in single crystal dia- mond by thermal annealing Real -Time Measurement of Hole Doping by NO ₂ and SO ₂ Molecular Adsorption on H-Terminated Diamond Surfaces	27th International Conference on Diamond and Carbon Materials 2016, Sep 4-8, Monpelie, 2016. 9 27th International Conference on Diamond and Carbon Materials 2016, Sep 4-8, Monpelie, 2016. 9 27th International Conference on Diamond and Carbon Materials 2016, Sep 4-8, Monpelie, 2016. 9

M. Kasu, K. Hanada, K. Funaki, S. Masuya, T. Oshima, and T. Oishi	Fabrication of diamond field-effect transistors with double NO ₂ hole doping and low-temperature-deposited Al ₂ O ₃ gate insulator layer	27th International Conference on Diamond and Carbon Materials 2016, Sep 4-8, Monpelie, 2016. 9
S. Masuya, T. Moribayashi, K. Hanada, H. Sumiya, M. Kasu 嘉数 誠, 原 重臣, 植松卓巳 舟木浩祐, 石松裕真, 榎谷聡士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之 河野直士, 深見 成, 榎谷聡士, 嘉数 誠, 大石敏之 森林朋也, 橋口明広, 大島孝仁, 花田賢志, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠	Determination of stacking faults in an (111) high pressure/high temperature (HP/HT) diamond single crystals with extremely low defect density via synchrotron X-ray topography 吉野ヶ里メガソーラーにおける高速測定システムの構築 ダブル NO ₂ ホールドーピングした水素終端ダイヤモンド MOSFET の連続動作 ダイヤモンド素子を用いた高耐压レクテナ回路の作製 (2'01) β-Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係	27th International Conference on Diamond and Carbon Materials 2016, Sep 4-8, Monpelie, 2016. 9 応用物理学会春季講演会, 2017年3月14~17日, 横浜, 2017年3月 応用物理学会春季講演会, 2017年3月14~17日, 横浜, 2017年3月 応用物理学会春季講演会, 2017年3月14~17日, 横浜, 2017年3月 応用物理学会春季講演会, 2017年3月14~17日, 横浜, 2017年3月
大島孝仁, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠	(001) β-Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係	応用物理学会春季講演会, 2017年3月14~17日, 横浜, 2017年3月
Tatsuya Misawa, Hiroaki Kodaera, Yuji Kawakami, Masakazu Kawahara	Dependence of Frequency and Electric Conductivity on Current Distribution in SPS Process	International Conference on PROCESSING & MANUFACTURING OF ADVANCED MATERIALS (THERMEC' 2016), MESSE GRAZ, Graz, Austria, 2016. 6
Tatsuya Misawa, Hiroaki Kodaera, Yuji Kawakami, Masakazu Kawahara 三沢達也	Behavior of current distribution in the conductive sintering materials on SPS process with high frequency current components 大気圧プラズマを用いた農産物の殺菌消毒技術 – プラズマを用いた様々な応用技術 –	World PM2016 Congress & Exhibition (Congress Centre Hamburg, Hamburg, Germany), 2016. 10 平成28年 M&M 研究会 9月例会 (サンメッセ鳥栖・3階大会議室, 2016年9月9日), 2016年9月
三沢達也, 川上雄士, 川原正和	放電プラズマ焼結プロセスにおける電流分布の温度依存性	日本機械学会機械材料・材料加工部門 第24回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2016) (2015/11/26, 早稲田大学), 2016年11月

三沢達也, 川上雄士, 川原正和	放電プラズマ焼結プロセスの焼結容器内部の電流分布の温度依存性	東北大学金属材料研究所研究部共同利用ワークショップ 通電焼結技術による新材料開発と実用化 第21回通電焼結研究会 (東北大学金属材料研究所講堂, 2016/12/2), 2016年12月
三沢達也, 酒井大樹, 川上雄士, 川原正和	導電性材料の放電プラズマ焼結における電気的特性と焼結挙動	第4回 MACKIY 講演会 in 長岡, 主催: 技学イノベーション推進センター, フォーラム MACKIY, 協賛: 京大桂ベンチャープラザ (長岡技術科学大学 機械・建設1号棟 3F 大学院講義室, 2016/12/22), 2016年12月
三沢達也	立体形状に適応する大気圧非平衡プラズマの放電構造	プラズマ・核融合学会 第33回年会, 2016年12月
三沢達也, 作道章一, 柳生義人, 西岡輝美, 三島朋子	農産物・食品の汚染や品質劣化を防ぐプラズマ殺菌・消毒技術	アグリビジネス創出フェア2016 (東京ビッグサイト, 2016年12月14-16日), 2016年12月
大津康徳, 住山貴史, 山口真依, 田原竜夫, 本村大成	円筒型ターゲットを用いた高周波磁化プラズマスパッタによる AZO 薄膜の低温合成	第63回応用物理学会春季学術講演会, 19p-P6-2, 東工大, 201603, 2016年3月
M. A. Hossain, K. Ikari, T. Ide, Y. Ohtsu	Development of High-Density RF Magnetized Sputtering Plasma Source with Square-Shaped Arrangement of Magnets for Uniform Target Utilization	2016年第63回応用物理学会春季学術講演会, 19p-P8-1, 東工大, 201603, 2016年3月
Md. Amzad Hossain and Yasunori Ohtsu	Electrical and Structural Properties of Copper Thin Films Deposited by Novel RF Magnetized Plasma Sputtering with Gyrotory Square-Shaped Arrangement by Bar Permanent Magnets	69th Annual Gaseous Electronics Conference, October 10-14, 2016, Bulletin of the American Physical Society, 2016. 10
J. Schulze, E. Schuengel, N. Matsumoto, Y. Ohtsu	Spatial structure of plasma density and electron temperature in capacitive RF discharges with a single ring-shaped narrow trench of various depths	69th Annual Gaseous Electronics Conference, October 10-14, 2016, Bulletin of the American Physical Society, 2016. 10
高田祐輔, 菅原光星, 大津康徳	RF マグネトロンスパッタリングにより合成した PVDF 薄膜の評価	電気学会プラズマ・パルスパワー・放電合同研究会資料2016年10月20日, 2016年10月
井手 翼, 中村優太郎, 大津康徳, 田原竜夫, 本村大成	角形磁石を用いた回転型十字磁化プラズマスパッタリング装置の開発と銅ターゲット均一利用	電気学会プラズマ・パルスパワー・放電合同研究会資料2016年10月20日, 2016年10月
住山貴史, 福本喬也, 大津康徳, 田原竜夫, 本村大成	対向円筒型ターゲットを用いた RF 磁化放電スパッタによる AZO 透明導電薄膜合成	電気学会プラズマ・パルスパワー・放電合同研究会資料2016年10月20日, 2016年10月
麻生和希, 大津康徳	高周波水素プラズマ中のプラズマパラメータ計測	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月

菅原光星, 高田祐輔, 大津康德	ポリマー材料を用いた高周波マグネトロンスパッタによる撥水性薄膜合成	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月
住山貴史, 福元喬也, 大津康德, 田原竜夫, 本村大成 高崎雅也, 大津康德	対向円筒型ターゲットを用いたリング状磁化放電スパッタによる低抵抗 AZO 薄膜合成	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月
中村優太郎, 井手 翼, 大津康德	Ar-O ₂ 混合 RF プラズマ中の空間構造のプロープ計測	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月
角型磁石を用いた高周波マグネトロンスパッタ装置の開発と銅ターゲットの有効利用		プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月
福元喬也, 住山貴史, 大津康德	円筒型 AZO 対向ターゲットを用いた高周波スパッタプラズマの空間構造	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部, 第20回支部大会, 2016年12月
井手 翼, 中村優太郎, 大津康德 高田祐輔, 菅原光星, 大津康德	銅ターゲット均一利用のための回転型十字磁化プラズマスパッタリング装置の開発	プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016年12月
RF マグネトロンスパッタにおける PVDF 薄膜特性に及ぼすガス圧力・電力の影響		プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第20回支部大会, 2016. 12
Y. Ohtsu , Md. Amzad Hossain, T. Ide and Y. Nakamura	Preparation of Copper Thin Film by Radio Frequency Magnetized Plasma Sputtering Source with Gyrotory Various Magnet Arrangements	26th Annual Meeting of MRS-Japan 2016, 2016. 12
Md. Amzad Hossain and Yasunori Ohtsu	RF Magnetized Ring-Shaped Plasma for Uniform Cu Target Utilization by Circular Magnets Monopole Arrangement	ISPlasma 2017, Chubu Univ., 2017. 3
Yasunori Ohtsu and Kenta Nagamatsu	Surface treatment of silicon wafer by atmospheric pressure plasma jet with a tungsten rod coated by C ₂ F ₄	ISPlasma 2017, Chubu Univ., 2017. 3
T. Oishi, N. Kawano, and M. Kasu	Demonstration of RF-DC conversion using dual diode rectifier circuit for rectenna with diamond Schottky barrier diodes	Compound Semiconductor Week 2016 (the 43rd International Symposium on Compound Semiconductors (ISCS)), 2016. 6
M. Kasu, T. Oishi, N. Kawano, A. Miyachi, S. Kawasaki	Fabrication of diamond rectenna devices for wireless power transmission	International Conference on Diamond and Carbon Materials, 2016. 9
M. Kasu, K. Hanada, Y. Koga, T. Oshima, T. Oishi Y. Yamaguchi, J. Kamioka, S. Shinjo, K. Yamanaka and T. Oishi	Fabrication of diamond field-effect transistors with double NO ₂ hole doping and low-temperature Al ₂ O ₃ gate insulator layer	International Conference on Diamond and Carbon Materials, 2016. 9
Physical Model of RF Leakage in GaN HEMTs on Si Substrates Based on Atomic Diffusion Analysis at Buffer/Substrate Interface		38th IEEE COMPOUND SEMICONDUCTOR IC (CSIC) SYMPOSIUM, 2016. 10
河野直士, 嘉数 誠, 大石敏之	ダイヤモンドショットキーバリアダイオードによるレクテナ回路の作製	電子情報通信学会研究会, 2016年 5月

山口修造, 大石敏之	GaN HEMT の低周波等価回路パラメータへのバックトラップの影響	電子情報通信学会研究会, 2016年11月
大石敏之, 山口裕太郎, 山中宏治	AlGaIn/GaN HEMT の電気的特性に対する保護膜残留応力依存性-TCAD シミュレーションによる検討-	電子情報通信学会研究会, 2017年1月
大石敏之, 河野直士, 嘉数 誠	ダイヤモンドデバイスを用いた無線電力伝送用レクテナの理論的検討	第77回応用物理学会春季学術講演会, 2016年9月
河野直士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之	酸化ガリウムダイオードを用いたレクテナ回路動作	第77回応用物理学会春季学術講演会, 2016年9月
河野直士, 榎谷聡士, 大島孝仁, 大石敏之	レクテナにおけるダイヤモンドショットキーバリアダイオードの抵抗容量積の影響	第77回応用物理学会春季学術講演会, 2016年9月
大島孝仁, 若林 諒, 服部真依, 橋口明広, 河野直人, 佐々木公平,	β -Ga ₂ O ₃ 用 ITO オーミック電極	第77回応用物理学会春季学術講演会, 2016年9月
増井建和, 倉又朗人, 山腰茂伸, 吉松 公, 大友 明, 大石敏之, 嘉数 誠		
橋口明広, 森林朋也, 花田賢志, 大島 孝, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平,	β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係	第77回応用物理学会春季学術講演会, 2016年9月
倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠		
吉川大地, 網代康祐, 山口裕太郎, 山中宏治, 大石敏之	小信号特性の周波数依存性を利用した GaN ショットキーバリアダイオードのパラメータ抽出	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 2016年9月
大石敏之, 河野直士, 嘉数 誠	ダイヤモンド素子を用いたレクテナの理論的検討と動作実証	第8回集積化MEMSシンポジウム, 2016年10月
河野直士, 深見 成, 榎谷聡士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之	ダイヤモンド素子を用いたレクテナ回路の高電圧動作	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月
舟木浩祐, 石松裕真, 榎谷聡士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之	ダブル NO ₂ ホールドーピングした水素終端ダイヤモンド MOSFET の連続動作	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月
橋口明広, 森林朋也, 大島孝仁, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平,	β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月
倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠		
森林朋也, 橋口明広, 大島孝仁, 花田賢志, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠	β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月

加藤勇次, 大島孝仁, 河野直士, 倉又朗人, 山腰茂伸, 藤田静雄, 大石敏之, 嘉数 誠 大石敏之, 山口裕太郎, 山中宏治 山口裕太郎, 半谷政毅, 山中宏治, 大石敏之 工藤徹也, 大島孝仁, 大橋一輝, 吉松公平, 大友 明 Takayoshi Oshima, Ryo Wakabayashi, Mai Hattori, Akihiro Hashiguchi, Naoto Kawano, Kohei Sasaki, Takekazu Masui, Akito Kuramata, Shigenobu Yamakoshi, Kohei Yoshimatsu, Akira Ohtomo, Toshiyuki Oishi, and Makoto Kasu Makoto Kasu, Kenji Hanada, Yuta Koga, Takayoshi Oshima, and Toshiyuki Oishi 橋口明広, 森林朋也, 花田賢志, 大島孝仁, 大石敏之, 輿 公祥, 佐々木公平, 倉又朗人, 上田 修, 嘉数 誠 河野直士, 榎谷聡士, 大島孝仁, 嘉数 誠, 大石敏之	β -(Al _x Ga _{1-x}) ₂ O ₃ ヘテロ接合界面におけるキャリア閉じ込めの観察 ゲート金属残留応力が GaN HEMT の電気的特性に与える影響 – TCAD シミュレーションによる検討 – Ka 帯 GaNHEMT の分布型大信号モデル グラフォエピタキシャル ZnO 薄膜におけるホール移動度の向上 ITO ohmic contacts for β -Ga ₂ O ₃ Fabrication of diamond field-effect transistors with double NO ₂ hole doping and low-temperature-deposited Al ₂ O ₃ gate insulator layer β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのリーク電流と結晶欠陥との関係 レクテナにおけるダイヤモンドショットキーバリアダイオードの抵抗容量積の影響 酸化ガリウムダイオードを用いたレクテナ回路動作	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月 2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, 2017年3月 2017年電子情報通信学会総合大会, 2017年3月 2016年第63回応用物理学会春季学術講演会, 東京工業大学 (2016年3月19-22日) 20p-S222-1., 2016年 German-Japanese Gallium Oxide Technology Meeting 2016, Berlin, Germany (Sep. 7-9, 2016) (Poster), 2016年 International Conference on Diamond and Carbon Materials, Montpellier, France (Sep.4-8, 2016) P 13. 19 (Poster), 2016年 2016年第77回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 新潟県 (2016年9月13-16日) 16a-A22-2., 2016年 2016年第77回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 新潟県 (2016年9月13-16日) 15a-B1-6., 2016年 2016年第77回応用物理学会秋季学術講演会, 朱鷺メッセ, 新潟県 (2016年9月13-16日) 15a-B1-5., 2016年
---	---	--

大島孝仁, 若林 諒, 服部真依, 橋口明広, 河野直士, 佐々木公平, 増井建和, 倉又朗人, 山腰茂伸, 吉松公平, 大友 明, 大石敏之, 嘉数 誠 今別府秀行, 大島孝仁, 服部真依, 中谷道人, 須山敏尚, 吉松公平, 大友 明 南 龍司, 佐々木伸一	β -Ga ₂ O ₃ 用 ITO オーミック電極 立方晶 Mg _x Zn _{1-x} O 混晶薄膜および超格子構造の深 紫外 CL 発光特性 プリント配線板電源層からの放射雑音低減方法の検討	2016年第77回応用物理学会秋季学術 講演会, 朱鷺メッセ, 新潟県 (2016 年 9月13-16日) 14p-P10-24., 2016年 2016年第77回応用物理学会秋季学術 講演会, 朱鷺メッセ, 新潟県 (2016 年 9月13-16日) 13a-D62-9., 2016年 2016年度電子情報通信学会九州支部 学生会講演会 —基板端スルーホールの評価 —, 2016年 9月
笛田和希, 佐々木伸一, 南 龍司 森 慶明, 佐々木伸一, 南 龍司 大島允裕, 佐々木伸一, 木原大輔, 南 龍司 山浦健吾, 佐々木伸一, 木原大輔, 南 龍司 森 慶明, 佐々木伸一 笛田和希, 佐々木伸一, 南 龍司 南 龍司, 佐々木伸一 山口優太, 福本尚生, 古川達也, 瀬戸口和明 吉田大貴, 古川達也, 福本尚生 黒川 楽, 古川達也, 福本尚生 松尾駿宏, 福本尚生, 古川達也, 伊藤秀昭 本川良真, 福本尚生, 古川達也 古川達也, 福本尚生, 古賀優太	プリント配線板電源層からの放射雑音低減～メッシュ 電源層～ 多値伝送におけるクロストーク低減方法についての検討 インテリジェント照明システムの検討 ～焦電センサ による人体移動動作の検出～ 証明反射光による可視光通信の検討 マイクロストリップ線路における遠端クロストーク低 減技術 —最適付加容量の算出— プリント配線板電源層からの放射雑音低減 —格子状 電源層— 抵抗付加法によるプリント配線板電源層からの放射雑 音低減 —周辺部スルーホール評価— 教育支援用誘導機およびインバータ遠隔実験システム の開発 FA コンピュータを用いた配電系における力率計測及 び高調波伝搬方向解析システムの開発 有限要素法を用いたギター・ピックアップ・フェンス の電磁界解析 超音波センサを用いた素材識別イメージング計測の試 み EMS 学習支援システムのための計測回路の改善 COMSOL Multiphysics を用いた変圧器漏れインダク タンスの解析と実験的検証	2016年度電子情報通信学会九州支部 学生会講演会, 2016年 2016年度電子情報通信学会九州支部 学生会講演会, 2016年 9月 2016年電子情報通信学会九州支部学 生会講演会, 2016年 9月 2016年度電子情報通信学会九州支部 学生会講演会, 2016年 9月 電子情報通信学会技術研究報告 環 境電磁工学, 2017年 1月 電子情報通信学会技術研究報告 環 境電磁工学, 2017年 1月 電子情報通信学会技術研究報告 環 境電磁工学, 2017年 1月 平成28年度電気学会 基礎・材料・ 共通部門大会, 2016年 9月 平成28年度電気学会 基礎・材料・ 共通部門大会, 2016年 9月 平成28年度電気学会 基礎・材料・ 共通部門大会, 2016年 9月 IEEE 主催2016年度第 1回学生研究 発表会, 2016年11月 IEEE 主催2016年度第 2回学生研究 発表会, 2016年12月 COMSOL Conference Tokyo 2016, 2016. 12

Takayuki Tanaka, Hirotaka Umezaki, and Ichihiko Toyoda	Stabilizing Output Performance of Positive Feedback Type Push-Push Oscillator Array by Injection Locking Technology	17TH International Symposium on Antenna Technology and Applied Electromagnetics (ANTEM 2016), Montreal Canada., 2016. 7
田中裕喜, 西山英輔, 田中高行, 豊田一彦 作本 匠, 田中高行, 豊田一彦 宮内紀尚, 田中高行, 豊田一彦	同相／逆相 3 給電アンテナを用いた 2 次元指向性可変アレーアンテナの試作評価 基本波抑圧構成を用いたマルチポート高調波ガン発振器の試作評価 相互同期型結合回路を用いた Push-Push 発振器アレーの特性評価	電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-1-50, 札幌, 2016年 9 月 電子情報通信学会ソサイエティ大会, C-2-24, 札幌, 2016年 9 月 電子情報通信学会ソサイエティ大会, C-2-25, 札幌, 2016年 9 月
R. Rashid, M. A. Hossain, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Proposal of a Two-Dimensional DOA Estimation Antenna Using Multilayer Structure	Proc. 2017 IEICE General Conf., B-1-130, 2017. 3
M. A. Rahman, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Design of a Slot-Loaded Dual-Band Dual-Polarization Microstrip Antenna	Proc. 2017 IEICE General Conf., B-1-133, 2017. 3
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	Design of an Orthogonal Feed Circularly Polarized Microstrip Array Antenna Suitable for Large Scale Extensible Arrays	5th Int'l Conf. Informatics, Electronics & Vision (ICIEV 2016), 53, Dhaka, Bangladesh, May 2016., 2016. 5
M. A. Rahman, E. Nishiyama, M. A. Hossain, Q. D. Hossain, and I. Toyoda	A Microstrip Antenna With Circular Polarization Switching Capability for X-Band Applications	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp. 820-821, POS 2-55, Okinawa, Japan, Oct. 2016., 2016. 10
H. Satow, Y Tanaka, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An H-Plane Wide-Angle Rectenna Using an In-Phase/Anti-Phase Dual-Feed Antenna	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp. 532-533, POS 1-124, Okinawa, Japan, Oct. 2016., 2016. 10
T. Tanaka, H. Umezaki, and I. Toyoda	Stabilizing Output Performance of Positive Feedback Type Push-Push Oscillator Array by Injection Locking Technology	Proc. of 17TH International Symposium on Antenna Technology and Applied Electromagnetics (Antem 2016) Montreal, Canada, July 2016
R. Rashid, D. Hattori, E. Nishiyama, and I. Toyoda	An RF Multiplier Integrated Planar Antenna for DOA Estimation	Proc. 2016 Int'l Symp. Antennas and Propag. (ISAP 2016), pp. 438-439, POS 1-77, Okinawa, Japan, Oct. 2016., 2016. 10
田中裕喜, 西山英輔, 田中高行, 豊田一彦	入力振幅比制御指向性可変アンテナの給電位相誤差に対する特性変動の検討	映像情報メディア学会放送技術研究会, BCT2017-5, Jan. 2017., 2017年 1 月
伊野孝宏, 西山英輔, 豊田一彦	二重平衡型乗算器と複合した円偏波マイクロストリップアンテナの非線形特性に関する検討	映像情報メディア学会放送技術研究会, BCT2017-9, Jan. 2017., 2017年 1 月
古川義晃, 西山英輔, 豊田一彦	偏波切り替え機能を有するガン発振器一体型リングスロットアクティブアンテナの実験評価	映像情報メディア学会放送技術研究会, BCT2017-16, Jan. 2017., 2017年 1 月

後田寛紀, 西山英輔, 豊田一彦	多素子化によるガン発振器一体型アクティブアレーアンテナの特性改善	映像情報メディア学会放送技術研究会, BCT2017-17, Jan. 2017., 2017年1月
福島義浩, 西山英輔, 豊田一彦	位相差給電による磁気共鳴型選択的無線電力伝送の拡張性に関する実験的検討	電子情報通信学会無線電力伝送研究会, WPT2016-45, Jan. 2017., 2017年1月
高橋潤, 西山英輔, 豊田一彦	ディファレンシャルレクテナのDCアレーを用いた電気2重層キャパシタへの充電特性	電子情報通信学会無線電力伝送研究会, WPT2016-50, Jan. 2017., 2017年1月
佐藤博, 西山英輔, 豊田一彦	スロットT型マジックTを用いて構成したH面広角指向性レクテナの特性改善	電子情報通信学会無線電力伝送研究会, WPT2016-51, Jan. 2017., 2017年1月
西山英輔, 伊野孝宏, 豊田一彦	二重平衡型乗算器の非線形特性を活用した円偏波マイクロストリップアンテナの実験検討	電子情報通信学会無線端末・アンテナシステム測定技術研究会, AMT2016-05, Dec. 2016., 2016年12月
作本匠, 田中高行, 豊田一彦	基本波フィルタを装荷したマルチポート高調波ガン発振器の試作評価	電子情報通信学会マイクロ波研究会, MW2016-129, Nov. 2016., 2016年11月
福島孟, 田中高行, 豊田一彦	スロットリング共振器を用いたマルチポートPush-Push発振器の実験評価	電子情報通信学会マイクロ波研究会, MW2016-130, Nov. 2016., 2016年11月
宮内紀尚, 田中高行, 豊田一彦	相互同期型結合回路を用いたPush-Push発振器アレーの出力安定性の評価	電子情報通信学会マイクロ波研究会, MW2016-131, Nov. 2016., 2016年11月
T. Ino, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Experimental Study of a Circularly Polarized Circular Microstrip Antenna With Double Balanced Multiplier	Rec. 2016 Joint Conf. of Electrical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, 10-1 A-01, Sep. 2016., 2016. 9
Y. Furukawa, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Basic Study of a Ring Slot Antenna Integrating Gunn Oscillators for Spatial Modulation	Rec. 2016 Joint Conf. of Electrical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, 10-1 P-02, Sep. 2016., 2016. 9
K. Saisyo, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Basic Study of a Planar Rectenna Using Slot-Microstrip Line T-Junction	Rec. 2016 Joint Conf. of Electrical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, 10-2 A-03, Sep. 2016., 2016. 9
T. Suenaga, E. Nishiyama, A. Morita, T. Kudo, and I. Toyoda	Miniaturization of 920-MHz Differential Rectennas Using Shorted-Microstrip Antennas	,2016. 9
H. Ushiroda, E. Nishiyama, and I. Toyoda	Basic Evaluation of a Slot-Ring Gunn Oscillator for Active Antennas	Rec. 2016 Joint Conf. of Electrical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, 10-2 A-07, Sep. 2016., 2016. 9
佐藤博, 田中裕喜, 西山英輔, 豊田一彦	2種類のマジックTを用いた3給電平面アレーアンテナの逆相給電H面利得向上の検討	2016信学ソ大, B-1-49, Sep. 2016., 2016年9月

- R. Rashid,
E. Nishiyama, and
I. Toyoda
Theoretical Evaluation of an Extended Monopulse DOA Estimation Antenna Integrating RF Multiplier
Proc. 2016 IEICE Society Conf., B-1-83, Sep. 2016., 2016. 9
- M. A. Rahman,
E. Nishiyama, and
I. Toyoda
Design of a Circularly Polarized Microstrip Antenna With Frequency and Polarization Diversity Using Single Corner Perturbation
Proc. 2016 IEICE Society Conf., B-1-85, Sep. 2016., 2016. 9
- 高橋潤, 西山英輔,
豊田一彦
蓄電型ディファレンシャルレクテナの変換特性の検討
2016信学ソ大, B-21-9, Sep. 2016., 2016年9月
- 福島義浩, 西山英輔,
豊田一彦
位相差給電による選択無線電力伝送の拡張性に関する検討
2016信学ソ大, B-21-12, Sep. 2016., 2016年9月
- 伊野孝宏, 西山英輔,
豊田一彦
二重平衡型乗算器を一体化した円偏波アンテナ構成法の検討
電子情報通信学会, アンテナ・伝播研究会, AP2016-72, Aug. 2016., 2016年8月
- 後田寛紀, 西山英輔,
豊田一彦
ガン発振器を一体化した4素子パッチアクティブアレーアンテナの基礎検討
電子情報通信学会, アンテナ・伝播研究会, AP2016-75, Aug. 2016., 2016年8月
- E. Nishiyama,
T. Yamada, and
I. Toyoda
Basic Study on Varactor Loaded Tunable Circularly Polarized Microstrip Antenna
2016 Thailand-Japan Microwave (TJMW 2016), TH 2-03, Bangkok, Thailand, June 2016., 2016. 6
- A. J. Alvina,
E. Nishiyama, and
I. Toyoda
Experimental Evaluation of a Bow-Tie Rectenna
IEICE Tech. Rep., WPT 2016-11, June 2016., 2016. 6
- Qixin Guo,
Zhenwei Chen,
Shinji Noda,
Katsuhiko Saito,
Tooru Tanaka, and
Mitsuhiro Nishio
Green Electroluminescence from Er Doped Gallium Oxide/Silicon Heterostructured Light Emitting Device
58th Electronic Materials Conference, June 22-24, 2016, University of Delaware, Newark, DE, June 22, PS 7., 2016. 6
- T. Tanaka,
S. Tsutsumi,
Y. Okano, K. Saito,
Q. Guo, M. Nishio,
K. M. Yu, and
W. Walukiewicz
Cl-doping in Highly Mismatched ZnTe 1-xOx Alloys for Intermediate Band Solar Cells
43rd IEEE Photovoltaic Specialists Conference (PVSC-43), June 9, 2016, Portland. 772., 2016. 6
- M. Nishio, K. Saito,
Y. Nakatsuru,
T. Shono, Y. Matsuo,
A. Tomota,
T. Tanaka, and
Q. X. Guo
Photoluminescence and Electrical Properties of P-doped ZnTe Layers Grown by Low Pressure MOVPE
The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy (IC-CGE 18), August 7-12, 2016, Nagoya, ThP-T 04-11., 2016. 8
- K. Saito, M. Nishio,
Y. Nakatsuru,
T. Shono, Y. Matsuo,
A. Tomota,
T. Tanaka, and
Q. X. Guo
Growth of ZnMgSeTe nearly Lattice-matched to ZnTe and p-type Doping by Low-pressure MOVPE
The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy (IC-CGE 18), August 7-12, 2016, Nagoya, ThP-T 04-10, 2016. 8

X. Wang, K. Saito, T. Tanaka, M. Nishio, Q.-X. Guo	Low temperature growth of ZnO/MgZnO single quantum well	The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy (IC-CGE 18), August 7-12, 2016, Nagoya, ThP-T 04., 2016. 8
Z. Chen, K. Saito, T. Tanaka, M. Nishio, M. Arita, Q. Guo T. Tanaka, T. Terasawa, Y. Okano, S. Tsutsumi, K. Saito, Q. Guo, M. Nishio, K. M. Yu, and W. Walukiewicz	Epitaxial growth of Ga ₂ O ₃ :Er films on silicon substrate	The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy (IC-CGE 18), August 7-12, 2016, Nagoya, MoP-G 04., 2016. 8
Qixin Guo, Katsuhiko Saito, Tooru Tanaka, Mitsuhiro Nishio	Growth of Zn _{1-x} CdxTe _{1-y} Oy (x=0.2~0.5) highly mismatched alloys for intermediate band solar cells	26th edition of the International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-26), 26 October 2016, Singapore., 2016. 10
潮昇平, 岡野友紀, 堤修治, 田中徹, 齊藤勝彦, 郭其新, 西尾光弘	Crystal growth of gallium oxide based wide bandgap semiconductors	International conference on applied crystallography, October 17-19, 2016, Houston, USA, Oct. 1816: 45-17: 10, 2016. 10
寺沢俊貴, 岡野友紀, 堤修治, 田中徹, 齊藤勝彦, 郭其新, 西尾光弘	MBEによるサファイア基板上 ZnCdO 薄膜の光学的・電気的特性評価	2016年第77回応用物理学会秋季学術講演会, 2016年9月13日, 13p-D61-6, 朱鷺メッセ, 新潟., 2016年9月
庄野智瑛, 中鶴悠太, 松尾友誠, 友田晃宏, 齊藤勝彦, 田中徹, 郭其新, 西尾光弘	MBEによる Zn _{1-x} CdxTe _{1-y} Oy (x=0.2~0.5) 薄膜の成長と評価	2016年第77回応用物理学会秋季学術講演会, 2016年9月14日, 14p-P8-2, 朱鷺メッセ, 新潟., 2016年9月
森龍, 中鶴悠太, 庄野智瑛, 齊藤勝彦, 田中徹, 西尾光弘, 郭其新	減圧有機金属気相成長法により作製された As-grown とアニール処理後の燐ドーピング ZnTe 膜の電気的光学的性質	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 平成28年9月29日, 宮崎大学, 05-1A-01., 2016年9月
友田晃宏, 中鶴悠太, 庄野智瑛, 松尾友誠, 齊藤勝彦, 田中徹, 郭其新, 西尾光弘	THz デバイス応用のための MOVPE 法による (0001) α -Al ₂ O ₃ 基板上への ZnTe 単結晶の成長	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 平成28年9月29日, 宮崎大学, 05-1A-02, 2016年9月
中鶴悠太, 庄野智瑛, 松尾友誠, 友田晃宏, 齊藤勝彦, 田中徹, 郭其新, 西尾光弘	減圧有機金属気相法による 4元混晶半導体 Zn _{1-x} MgxSeyTe _{1-y} 膜の組成制御と結晶評価	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 平成28年9月29日, 宮崎大学, 05-1A-03, 2016年9月
松尾友誠, 友田晃宏, 中鶴悠太, 庄野智瑛, 齊藤勝彦, 田中徹, 郭其新, 西尾光弘	減圧有機金属化学気相法による燐ドーピング Zn _{1-x} MgxSeyTe _{1-y} 膜の作製と評価	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 平成28年9月29日, 宮崎大学, 05-1A-04, 2016年9月
	有機金属化学気相法により作製された燐ドーピング Zn _{1-x} MgxSeyTe _{1-y} 膜のアニール処理効果	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会, 平成28年9月29日, 宮崎大学, 05-1A-05, 2016年9月

野田真司, 陳 政委, 齊藤勝彦, 田中 徹, 西尾光弘, 郭 其新	PLD 法による p 型 Si (111) 基板上への Eu ドープ Ga 2O ₃ 薄膜の成長と評価	平成28年度 (第69回) 電気・情報関 係学会九州支部連合大会, 平成28年 9月29日, 宮崎大学, 05-1A-06, 2016年9月
下川顕太郎, 伊藤 亘, 齊藤勝彦, 田中 徹, 西尾光弘, 郭 其新	RF スパッタリング法による GaAs (111) 基板上への GaN 薄膜成長に関する研究	平成28年度 (第69回) 電気・情報関 係学会九州支部連合大会, 平成28年 9月29日, 宮崎大学, 05-1A-07, 2016年9月
岡野友紀, 堤 修治, 潮 昇平, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘	MBE 成長 ZnCdTeO 薄膜の光学特性の評価と太陽電 池応用	平成28年度 (第69回) 電気・情報関 係学会九州支部連合大会, 平成28年 9月29日, 宮崎大学, 05-1A-10, 2016年9月
田中徹, 岡野友紀, 堤修治, 齊藤勝彦, 郭其新, 西尾光弘	中間バンド型太陽電池用 ZnCdTeO 薄膜の成長と評価	第1回フロンティア太陽電池セミ ナー, 2016年11月17日, 京都大学, 2016年11月
田中徹, 潮昇平, 岡野友紀, 堤修治, 齊藤勝彦, 郭其新, 西尾光弘	ZnCdO 透明導電膜の作製と評価	第1回フロンティア太陽電池セミ ナー, 2016年11月17日, 京都大学, 2016年11月
友田晃宏, 松尾友誠, 齊藤勝彦, 田中 徹, 郭 其新, 西尾光弘	有機金属気相法による4元混晶半導体 Zn _{1-x} Mg _x SeyTe _{1-y} 膜の諸特性の成長室内圧力効果	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-1., 2016年12 月
松尾友誠, 友田晃宏, 齋藤勝彦, 田中 徹, 郭 其新, 西尾光弘	減圧有機金属気相成長法による Zn _{1-x} Mg _x SeyTe _{1-y} のドーピング特性	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-2., 2016年12 月
嘉藤祐介, 辻 俊一, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘	金属積層プリカーサのセレン化による Cu ₂ ZnSnSe ₄ 薄 膜の作製と評価	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-3., 2016年12 月
潮 昇平, 岡野友紀, 堤 修治, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘	MBE により成長した ZnCdO 薄膜の特性評価	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-4., 2016年12 月
堤 修治, 岡野友紀, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘	Cl ドープ ZnTeO 薄膜の MBE 成長と中間バンド型太 陽電池への応用	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-5., 2016年12 月
伊藤 亘, 下川顕太郎, 齊藤勝彦, 田中 徹, 西尾光弘, 郭 其新	RF スパッタリング法による GaAs (100) 基板上への GaN 薄膜成長	平成28年度応用物理学会九州支部学 術講演会, 対馬市交流センター, 平 成28年12月3日, 3Ba-6., 2016年12 月

S. Tsutsumi, Y. Okano, T. Tanaka, K. Saito, Q. Guo, M. Nishio, K. M. Yu, and W. Walukiewicz	Synthesis of Cl-doped ZnTeO for Intermediate Band Solar Cells	第26回日本 MRS 年次大会, 産業貿易センタービル, 横浜市, 平成28年12月20日, A3-P20-002, 2016年12月
堤 修治, 岡野友紀, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘, 太野垣健	MBE 法による Cl ドープ ZnTeO 成長と中間バンド型太陽電池への応用	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, パシフィコ横浜, 平成29年3月17日, 17a-513-1., 2017年3月
嘉藤祐介, 辻 俊一, 田中 徹, 齊藤勝彦, 郭 其新, 西尾光弘	金属積層プリカーサを用いたセレン化法による Cu ₂ ZnSnSe ₄ 薄膜の作製	2017年第64回応用物理学会春季学術講演会, パシフィコ横浜, 平成29年3月17日, 17a-513-7., 2017年3月
Hiroshi Wakuya, Ryoma Katsumoto, Hideaki Itoh, Nobuo Mishima, Sang-Hoon Oh, and Yong-Sun Oh	A trial of evacuation route planning based on genetic algorithm for dealing with real-world problem	Proceedings of the 2016 Korea Contents Association Spring Academic Conference, X-4, 2016. 5
Sang-Hoon Oh and Hiroshi Wakuya	Improving the water level prediction in Andong region	Proceedings of the 2016 Korea Contents Association Spring Academic Conference, X-9, 2016. 5
和久屋寛, 井上隆太, 伊藤秀昭	自己組織化マップにおける特定データの学習速度調節効果について	第32回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, TB2-4, 2016年9月
西村良貴, 和久屋寛, 伊藤秀昭, 三島伸雄	遺伝的アルゴリズムを用いた緊急時避難経路探索の高速化	第18回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会予稿集, B102, 2016年12月
田中裕恒, 和久屋寛, 伊藤秀昭, 岡崎泰久, 三島伸雄	自己組織化マップを用いたハザードマップにおける危険箇所の情報可視化	第18回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会予稿集, B103, 2016年12月
田中裕恒, 和久屋寛, 伊藤秀昭, 岡崎泰久, 三島伸雄	自己組織化マップによる歴史的な地方都市の災害種別に応じた危険箇所の分類	第18回自己組織化マップ研究会2017講演論文集, SOM2017-01, 2017年3月

都市工学専攻

著書

大串浩一郎, (池田駿介・小松利光 ・馬場健司・望月常好 編)	気候変動下の水・土砂災害適応策 - 社会実装に向けて -	佐賀低平地の洪水・高潮対策, pp. 209-214, 2016年11月
--	---------------------------------	---

原著論文

- Taher Osman, Prasanna Divigalpitiyac, Takafumi Arima
 Driving factors of urban sprawl in Giza Governorate of Greater Cairo Metropolitan Region using AHP method
 Land Use Policy ELSEVIER, Vol. Vol.58, pp.pp.21-31, 2016. 12
- Heba Hassan, Daisuke Sumiyoshi, Ahmed El-Kotory, Takafumi Arima, Aly Ahmed
 Measuring people's perception towards Earth-sheltered buildings using photo-questionnaire survey
 Sustainable Cities and Society ELSEVIER, Vol.26, pp.76-90, 2016.10
- Taher Osman, Prasanna Divigalpitiyac, Takafumi Arima
 Quantifying the Driving Forces of Informal Urbanization in the Western Part of the Greater Cairo Metropolitan Region
 Environments, , June 2016, Vol.Vol.3, No.Issue 2, 2016. 6
- 金ドン均, 有馬隆文, 坂井猛
 歩行消費エネルギーからみた斜面市街地における空き家・空き地の発生要因に関する研究
 日本建築学会計画系論文集, No. 726号, pp. 1715-1726, 2016年 8月
- Suksiripattanapong, C., Horpibulsuk, S., Chinkulkijniwat, A., Chai, J.-C., Shen, S.-L. and Arulrajah, A.
 Parametric study on performance of bearing reinforcement earth (BRE) wall.
 KSCE Journal of Civil Engineering., 2016
- Chai, J.-C., Sari, K., Shen, S.-L. and Cai, Y.-Q.
 Predicting self-healing ratio of GCL with a damage hole.
 Geotextiles and Geomembranes, Vol.44, No.5, pp.761-769., Vol.Vol.44, No.No.5, pp.pp.761-769., 2016. 5
- Chai, J.-C. and Saito, A.
 Interface Shear Strengths Between Geosynthetics and Clayey Soils.
 Int. J. of Geosynth. and Ground Eng. Vol.2, Paper No.19, DOI 10.1007/s40891-016-0060-8., Vol.Vol.2, No. No.19, 2016
- Zhou, Y. and Chai, J.-C.
 Equivalent 'smear' effect due to non-uniform consolidation surrounding a PVD.
 Geotechnique, Vol.66 [http://dx.doi.org/10.1680/jgeot.16.P.087], Vol.Vol.66, 2016. 12
- Chai, J.-C., Negami, T., Aiga, K. and Hino, T.
 Effect of pore water chemistry on anisotropic behavior of clayey soil and possible application in underground construction.
 Underground Space. Vol.1, 114-123., Vol.Vol.1, pp.114-123, 2016. 12
- Chai, J.-C., Suddeepong, A., Liu, D.-F. and Yuan, D.-J.
 Effect of daily fluctuation of groundwater level on land -subsidence.
 Int. J. of Geosynth. and Ground Eng. Vol.3, Paper No.1, DOI 10.1007/s40891-016-0079-x., Vol.Vol.3, No.No.1, 2017. 1
- 松本嘉孝, 加藤崇洋, 猪八重拓郎
 GISを用いた災害時の応急給水量の評価－愛知県豊田市中心部を事例として－
 土木学会論文集 G (環境) Vol. 72, No. 6, P.II_319-II_324, 2016
- 酒井莉奈, 猪八重拓郎
 土地利用の変遷から見た都市化の実態と浸水想定区域の関係性の研究－佐賀低平地を対象として－
 日本都市計画学会都市計画論文集, Vol. 51, No. 3, pp. 401-408, 2016
- Somusiri Siewwuttanagul, Takuro INOHAЕ, Nobuo Mishima
 The Urban Development Dynamics: Simulating the Spatial Urban Gravitation in Fukuoka Urbanized Area
 International Journal of Building, Urban, Interior and Landscape 8, pp.5-12, 2016
- S. Siewwuttanagul, T. Inohae, N. Mishima
 An Investigation of Urban Gravity to Develop a Better Understanding of the Urbanization Phenomenon Using Centrality Analysis on GIS Platform
 Procedia Environmental Sciences, Vol.36, pp.191-198, 2016

Makoto Taniguchi, Nobuo Mishima, Takayuki Fuchikami	Distribution of American houses around the USA air force soon after the second world war in Fukuoka, Japan	Proceedings of 4th International Conference on Civil and Urban Engineering, March, 2017., pp.pp 256-261, 2017. 3
Kaori Inomata, Takayuki Fuchigami, and Nobuo Mishima 清田 勝, 石橋孝治, 猪八重拓郎, 木梨真知子, 林田行雄	Characteristics and values as a source of the "UMANOSUKE FUNAKI ARCHIVES" 健全者の心理的バリアを考慮した障害者用駐車施設の新しい設計コンセプト	Proceedings of 4th International conference on Civil and Urban Engineering, March, 2017, 2017. 3 都市計画論文集, Vol.Vol. 51, No. No. 3, pp. 1213-1219, 2016年10月
Yukuo Hayashida, Masaru Kiyota, Nobuo Mishima, Yong-sun Oh, Jaesoo Yoo	Tool for Analyzing Activity of Evacuating and Supporting People- Where are you now? Are you fine? -	Vol.Conference of Korea Contents Association, No.May 2016, pp.247-248, 2016. 5
Tuti AGUSTIN, Takuro INOHAE and Masaru KIYOTA A. Harisah, A.N Kakon, N. Mishima, and T. Arima	インドネシアにおける通学時の交通安全教育プログラムの検討 Yobuko morning market in Saga Prefecture, Japan; Its character as sustainable and creative place	International Journal of Sciences: Basic and Applied Research, Vol. Vol.00, No.No.1, pp.1-18, 2016 Lowland Technology International 2016, International Association of Lowland Technology (IALT); ISSN 1344-9656, Vol.18, No.3, pp.209-218, 2016. 12
N. Srinurak, N. Mishima, and A.N. Kakon	Urban morphology and accessibility classification as supportive data for disaster mitigation in Chiang Mai, Thailand	Lowland Technology International 2016, International Association of Lowland Technology (IALT); ISSN 1344-9656, Vol.18, No.3, pp.219-230, 2016. 12
M.R. Derbel, Y. Sumida, and N. Mishima	Comparative analysis of different landscaping approach in a traditional area from the perspective of architectural insertion	Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, 309-316, September 15-17, 2016 at Mangalore, India, pp.309-316, 2016. 9
Yutaro Hidaka, Nobuo Mishima	Location planning of temporary evacuation areas analysis for disaster prevention town considering probability of rubble flow and probability of street blockage	Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, 336-341, September 15-17, 2016 at Mangalore, India, pp.336-341, 2016. 9
Khaing Myint Mo, Nobuo Mishima	A study on colonial pattern city in tropical zone considering urban morphology viewing from shading aspect	Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, pp.359-364, 2016. 9
M.W.H. Nipun, A.N. Kakon, S.M.N. Hossain, and N. Mishima	Growing residential built density in Dhaka -It's causes and consequences: A case study of Kazipara, Mirpur	Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, September 15-17, 2016 at Mangalore, India, pp.365-, 2016. 9
Somsiri Siewwuttanagul, Takuro Inoha, and Nobuo Mishima	The urban spatial development potential assessment by the study of urban centrality analysis	Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, pp.379-384, 2016. 9

Kaori Inomata, Takayuki Fuchigami, and Nobuo Mishima	Characteristics and values as a source of the "UMA-NOSUKE FUNAKI ARCHIVES"	Proceedings of 4th International conference on Civil and Urban Engineering, March 13-15, 2017, Prague, U 0020, pp.205-210, 2017. 3
Haruka Masamori, Nobuo Mishima, Tomoyuki Koga	Development of LED Illumination Work at a Town Center in Collaboration of Students from Different Fields	Proceedings of 4th International conference on Civil and Urban Engineering, March 13-15, 2017, Prague, Czech Republic, U 0035, pp.248-255, 2017. 3
Makoto Taniguchi, Nobuo Mishima, and Takayuki Fuchigami	Distribution of American houses around the USA air force soon after the second world war in Fukuoka, Japan	Proceedings of 4th International Conference on Civil and Urban Engineering, March 13-15, 2017, Prague, Czech Republic, U 0040, pp.256-261, 2017. 3
Yumi Sumida, Nobuo Mishima	A Study on System for Reuse of Vacant Houses of a Historic Town by an Intermediate Organization viewing from Habitants' perception	Proceedings of 4th International Conference on Civil and Urban Engineering, March 13-15, 2017, Prague, Czech Republic, U 0032, pp.233-240, 2017. 3
Shintaro Iwao, Nobuo Mishima, and Hideo Tomita	Characteristics of the Two-storied Japanese-style Wooden Gate designed by Architect Kingo Tatsuno in Takeo Onsen	Proceedings of 4th International Conference on Civil and Urban Engineering, March 13-15, 2017, Prague, Czech Republic, U 0033, pp.241-247, 2017. 3
Nattasit Srinurak, Nobuo Mishima, Janjira Sukwai Tomoyuki Koga, Takayuki Fuchigami, and Nobuo Mishima	Angular Segment Analysis to support the Reinvention of Religious spaces in Chiang Mai's Historic town 学生のまちづくり参加能力向上に向けた評価尺度の開発	Proceedings of the 11th ISAIA, Sept. 20-23, 2016, Miyagi, Japan, D-5-1, pp.1920-1925, 2016. 9 第16回建築教育シンポジウム, No. 16, pp. 13-18, 2016年11月
Yasuhisa Okazaki, Seina Mori, Hiroshi Wakuya, Nobuo Mishima, Yukuo Hayashida, Byung-Won Min	Development of a Sustainable Community-based Hazard Map Creation Support System for Traditional Towns with Local Heritage	International Journal of Contents Vol: Vol.12 Issue: No.2 Page: pp.58-65, Vol.12, No.2, pp.58-65, 2016. 6
Somsiri Siewwuttanagul, Takuro Inoha, Nobuo Mishima	The Urban Development Dynamics: Simulating the Spatial Urban Gravitational in Fukuoka Urbanized Area, Japan	International Journal of Building, Urban, Interior and Landscape Technology (BUILT journal), issue 8, pp.5-12, 2016, Online ISSN 2228-9194, No.8, pp.5-12, 2017. 2
K.Nishimura, K.Mita, Y.Kato	A fundamental study on influences of form shape on chloride penetration of mortar	New Technology for Urban Safety of Mega Cities in ASIA 2016, 2016. 11
Shohei Yamada, Katsushi Ijima, Hiroyuki Obiya and Muhammad Nizam Zakaria	An Orthotropic Membrane Model for the Large Deformation Analysis and Snapping Phenomena of the Dome Inflated	MATEC Web of Conferences Volume 47, pp.6, 2016. 8

- A. Yamasaki,
H. Obiya, K. Ijima
and Z. M. Nizam
Ohgushi, K.,
H. Nakashima,
T. Hino, T. Morita
and T. Jansen
押川英夫,
大串浩一郎,
杉原裕司, 小松利光
Ohgushi, K.,
H.Oshikawa, Y.Tani
and M.Kushibe
- A Numerical Case Study on Contact Analysis with Large Displacement
- A study on Jobaru River basin management by numerical simulations of flooding and sediment deposition with field survey
- 流水型ダムの洪水制御の簡易解析
- Numerical analysis of flow and sediment transport on the traditional water management system in Ishiibi water diversion of Kase River, Japan
- MATEC Web of Conferences, Vol. Volume 47, pp.7, 2016. 4
- Lowland Technology International, Vol.18, No.1, pp.23-30, 2016. 7
- 土木学会論文集B 1 (水工学), Vol. 73, No. 4, pp.I_1255-I_1260, 2017年 2月
- Proceedings of the 20th Congress of the Asia Pacific Division of the International Association for Hydro Environment Engineering and Research (APD-IAHR), e-proceedings, Colombo, Sri Lanka, pp.7 pages, 2016. 9
- Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, Mangalore, India, pp.516-522, 2016. 9
- Proceedings of 10th International Symposium on Lowland Technology, Mangalore, India, pp.385-391, 2016. 9
- Proceedings of International Symposium on History of Indigenous Knowledge, Saga, Japan, pp.11-18, 2016. 10
- 土木学会論文集B 1 (水工学), Vol. 73, No. 4, pp.I_1255-I_1260, 2017年 2月
- Procedia-Social and Behavioral Sciences, Vol.218, pp.161-170, 2016. 5
- Proceedings of the 20th IAHR-APD Congress of the Asia Pacific Division of the International Association for Hydro Environment Engineering & Research, Vol.20, pp.8 p.,2016. 8
- 日本流体力学会年会2016講演論文集, Vol. 35, pp. 4p. , 2016年 9月
- Proceedings of the International High-Performance Built Environment Conference-SBE16, iHBE 2016 2016. 11
- Pokhrel, P. and
K. Ohgushi
- Estimation of actual evapotranspiration and its seasonal variation in Kase River basin
- Morita, T. and
K. Ohgushi
- Evacuation and flood simulations in lowland area including embankment
- 大串浩一郎,
長幡侑樹
- 佐賀市十間掘川の利活用に向けた水理学的検討
- 押川英夫,
大串浩一郎,
杉原裕司, 小松利光
H. Oshikawa,
T. Komatsu
- 流水型ダムの洪水制御の簡易解析
- Experimental Study on the Wake Structure behind a Cylindrical Rotator with Asymmetric Protrusions in a Unidirectional Flow
- Behavior of Suspended Solids in the Neritic Region of an Inner Bay
- Hideo Oshikawa,
Ryoma Yoshitake,
Akira Tai and
Yuichi Hayami
- Hideo Oshikawa,
Ryoma Yoshitake,
Akira Tai and
Yuichi Hayami
- 内湾浅海域における底質輸送に及ぼす外力因子の評価
- Evaluation on the Energy Consumption and Thermal Environment in Different Residential Building Types During Mid-season in Hot-summer and Cold-winter Zone in China
- 吉武竜馬, 押川英夫,
田井明, 速水祐一
Haiqiang Liu,
Shoichi Kojima

Parinee Srisuwan, Shoichi Kojima	Field investigation on indoor thermal environment of a high-rise condominium in hot-humid climate of Bangkok, Thailand	Proceedings of the International High-Performance Built Environment Conference-SBE16, iHBE 2016 2016. 11
Parinee Srisuwan, Shoichi Kojima	Field Investigation on Indoor Thermal Performance of a High-rise Residential Unit in Bangkok	International Journal of Building, Urban, Interior and Landscape Technology, Vol.7, pp.13-22, 2016
S. Juengjarernnirathorn, M. Ohno, Y. Mishima, H. Suhara and H. Araki	Evaluation on applicability of a new hybrid adsorbent to waste pollution control in Lowland by complex leachate from waste landfill site	Lowland Technology International, International Association of Lowland Technology (IALT), Vol.17, No.4, pp.225-232, 2016. 3
S. Juengjarernnirathorn, M. Ohno, H. Suhara, Y. Mishima and H. Araki	Fundamental study on Arsenic removal from water/wastewater by using Hybrid adsorbent	6th International Congress on Arsenic in the Environment (As 2016) - Arsenic Research and Global Sustainability, pp.537-538, 2016. 6
Y. Mishima, W. Pongkarn, S. Juengjarennirathoron and H. Araki	A study on adsorption ability of a new type of nano-sized layered double hydroxide for phosphorus solution	10th International Symposium on Lowland Technology, 490-494, 2016. 9
W. Pongkarn, S. Juengjarernnirathor, Y. Mishima and H. Araki	The evaluation on Iron and Manganese removal in natural water resource by using a new hybrid adsorbent	10th International Symposium on Lowland Technology, pp.495-500, 2016. 9,

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

内田青蔵, 安野彰, 須崎文代, 洲上貴由樹, 清直樹 三島伸雄, 住田裕美	”持家”志向の高まりに関する研究－戦前期の日本電話建物株式会社を中心に－ 受け入れ基盤の弱い歴史的町並みにおける団体宿泊国際交流の実験的取り組み	平成26年度～平成28年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書, pp.41-53, 2017年3月 日本建築学会都市計画本委員会, 「グローバルな人口流動と都市デザイン」, 都市計画部門研究協議会資料, pp. 49-52, 2016, pp. 49-52, 2016年8月
---	---	---

特許

伊藤幸広	加振装置, 振動測定システム, 振動測定方法および張力の計測方法	西松建設(株), 大日本コンサルタント(株), 特願2016-112665,
伊藤幸広	変位計測方法, 及び変位計測装置	佐賀大学, 長崎大学, (株)計測リサーチコンサルタント, 特願2016-213712,
伊藤幸広	斜張橋のケーブルの検査装置	佐賀大学, 西松建設(株), 特願2016-248357,
伊藤幸広, 志岐和久	変位検出装置	佐賀大学, 特願2014-018569 (審査請求),
荒木宏之, 三島悠一郎	廃棄物埋設処理場及び廃棄物処理システム	佐賀大学, 日本国土開発, 特願2014-122682 (審査請求),

荒木宏之, 三島悠一郎	イオン吸着材	佐賀大学, 日本国土開発, 日本建設技術, 特願2016-082282 (審査請求),
荒木宏之, 三島悠一郎	イオン吸着材の製造方法	佐賀大学, 日本国土開発, 日本建設技術, 5928960 (国内登録),
伊藤幸広, 志岐和久	亀裂検出方法及び亀裂検出システム	佐賀大学, 長崎大学, 15/030, 209 (米国),
伊藤幸広, 志岐和久	亀裂検出方法及び亀裂検出システム	佐賀大学, 長崎大学, 14854757.3(欧州),

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

Chai, J.-C., Shen, S.-L. and Liu, M	Predicting performance of embankments on PVD improved subsoils.	Proceedings of Embankment Prediction Symposium, Newcastle, Australia, pp.77-96, 2016. 9
Chai, J.-C.	Consolidation analysis of clay deposits with vertical or horizontal drains (Miura Lecture).	Proceedings of the 10th International Symposium on Lowland Technology, International Association of Low land Technology, 10th ISLT 2016, pp.1-14, 2016. 9
三島伸雄	茅葺町家が連なる歴史的町並みまちづくりと防災研究～佐賀県鹿島市肥前浜宿での取り組み～	福岡県建築住宅センター勉強会, 2016年6月7日, 2016年6月
Nobuo Mishima	Conservation Research Activity for Cultural Diversity	KazGASA, Kazakhstan, June 20, 2016, 2016. 6
三島伸雄	佐賀のまちづくり	柳川市民の会, 2016年7月24日, 2016年6月
三島伸雄	佐賀でのまちなか再生と実践例 失敗と成功	民間まちづくり実践セミナー, 下関市唐戸市場, 2016年10月1日, 2016年10月
三田勝也, 西村和朗, 加藤佳孝	型枠界面に生じるブリーディング水の挙動に関する実験的検討	「コンクリートのブリーディング制御」に関するシンポジウム, 2016年3月
大串浩一郎	土木遺産としてのデ・レイケ導流堤とその機能評価	平成28年度嘉瀬川交流塾, さが水ものがたり館, 2016年11月
Toshimitsu Komatsu, Hideo Oshikawa and Akihiro Hashimoto	Adaptation to Water Related Disasters Induced by Global Environmental Change	Korea(BUGB)-Japan(SC)2010 Joint Seminar on Civil Engineering, 2010. 8
小島昌一	住まいの熱環境と健康	一般社団法人全国古民家再生協会九州・沖縄地区会員大会, 2016年5月
小島昌一	住宅の断熱による快適性向上と省エネルギー	健康・省エネセミナー in 神埼, 2016年10月
小島昌一	住宅の断熱改修による快適性向上と省エネルギー	健康・省エネセミナー in 伊万里, 2016年11月
小島昌一	Smart Wellness House	浙江大学城市学院客員教授就任記念講演, 2016年12月

一般講演（学会講演を含む）

Chanmee, N., Chai, J.-C. & Hino, T.	Estimation of Overconsolidation Ratio from Piezocone Sounding Results.	Proceedings of 19th Southeast Asian Geotechnical Conference & 2nd AGSSEA Conference (19 SEAGC & 2AGSSEA), Kuala Lumpur, Malaysia, pp.349-354., 2016. 9
Zhou, Y. and Chai, J.-C.	Characteristics of PVD Induced Radial Consolidation.	Proceedings of 19th Southeast Asian Geotechnical Conference & 2nd AGSSEA Conference (19 SEAGC & 2AGSSEA), Kuala Lumpur, Malaysia, pp.959-962., 2016. 6
上永泰裕, 齋藤昭則, 柴 錦春	真空圧と載荷重併用による粘性土の側方変形特性	平成28年度土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月
野田雄介, 齋藤昭則, 根上武仁, 柴 錦春	高含水比粘性土の圧密特性に及ぼす間隙水質の影響	平成28年度土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月
淵上貴由樹, 内田青蔵	わが国近代の住宅における「寝室」の二階配置について－明治後期から昭和初期に刊行された住宅関連書籍の記述を用いて－	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）, 2016年8月, 2016年8月
淵上貴由樹, 内田青蔵	「敷地規模」からみたわが国近代の中流層向け住宅の二階建てに関する一考察－明治後期から昭和初期までに刊行された住宅関係単行本を史料として－	平成28年度日本生活文化史学会大会研究発表, 2016年9月
淵上貴由樹, 内田青蔵	居室の南面配置と居間の起居様式からみた二階建て住宅の間取りの変化－明治後期から昭和初期に刊行された住宅関係単行本の掲載図案を用いて－	日本建築学会九州支部研究報告第56号, 2017年3月, 2017年3月
前田成貴, 伊藤幸広, 石橋孝治, 三田勝也, 原田耕司, 梶田幸秀	ラインセンサタイプ全視野ひずみ計測装置を用いた鉄筋腐食モニタリングに関する研究	平成28年度土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月
住田裕美, 三島伸雄, 淵上貴由樹	歴史的町並みの住民認識からみた中間組織による空き家利活用管理体制	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 7314, 2016年8月
古賀智之, 淵上貴由樹, 三島伸雄	PROGを採用した学生のまちづくり参加能力向上の分析手法に関する研究	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 2016年8月
廣橋碧, 淵上貴由樹, 三島伸雄	地目・等級からみた開墾会社永沢社による入植地整備－『明治三十二年土地臺帳印旛郡八街村八街』を資料として－	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 2016年8月
埋金卓司, 三島伸雄, 淵上貴由樹	韓国安東市河回村における延焼予測からみた避難計画立案	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 2016年8月
日高祐太郎, 三島伸雄, 淵上貴由樹	道路閉塞確率からみた歴史的町並みの一時避難場所の検証	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 2016年8月
増森遥香, 淵上貴由樹, 三島伸雄	異なる専門分野の学生によるまちなかLED電飾の共同制作プロセス	日本建築学会大会学術講演梗概集（九州）2016年8月, 2016年8月
日高祐太郎, 三島伸雄, 淵上貴由樹	低平地に位置する歴史的町並みにおける住民意識を考量した避難経路分析について－指定避難所への避難リスクと道路閉塞確率を踏まえて－	日本建築学会九州支部研究報告第56号2017年3月5日, 会場:長崎大学, 2017年3月

スリーヌラクナッタシット, 三島伸雄	The study on relation logic of the religious space in inherited historic city using space syntax	日本建築学会九州支部研究報告第56号2017年3月会場：長崎大学, 2017年3月
カイミイモ, 三島伸雄	A Study of Tree Pattern and Tree species of Colonial Grid Pattern City in tropical Zone Considering Urban Morphology Using Statistical Analysis	日本建築学会九州支部研究報告第56号2017年3月, 会場：長崎大学, 2017年3月
古賀智之, 住田裕美, 増森遥香, 三島伸雄	学生の能力向上に向けたまちづくり参加能力尺度の開発	日本建築学会九州支部研究報告第56号2017年3月, 会場：長崎大学, 2017年3月
Shun Kozaki, Yasuhisa Okazaki, Hiroshi Wakuya, Nobuo Mishima, Yukuo Hayashida, Byung-Won Min	Implementation of the Information Management Function of a Hazard Map Creation Support System in a Traditional Local Town	ICCC 2016, International Conference on Convergence Content, December 10-13, 2016, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 2016. 12
Keiko Kitagawa, Hawang-woo Noh, Yukuo Hayashida, Nobuo Mishima	Risk-Based Approach of Human Reliability Assessment for Disaster Prevention Design –Rethink the Risk Management–	ICCC 2016, International Conference on Convergence Contents, December 10-13, 2016, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 2016. 12
Yutaro Hidaka, Nobuo Mishima, Hiroshi Wakuya, Yasuyuki Okazaki, Yukuo Hayashida, Keiko Kitagawa, Sun-gyu Park, Yong-sun Oh	An evacuation route study based on probability of street blockade and risk of refuge place in a traditional lowland town	ICCC 2016, International Conference on Convergence Content, December 10-13, 2016, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 2016. 12
Yukuo Hayashida, Keiko Kidou, Nobuo Mishima, Keiko Kitagawa, Yong-sun Oh, Jaesoo Yoo	Remote Monitoring of Activities of Mobilizing Evacuees	ICCC 2016, International Conference on Convergence Content, December 10-13, 2016, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 2016. 12
Byung-Won Min, Yong-sun Oh, Yukuo Hayashida, Nobuo Mishima, Yasuyuki Okazaki	Usability Improvement of Mobile U-Health Service Platform	ICCC 2016, International Conference on Convergence Content, December 10-13, 2016, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, 2016. 12
Shun Kozaki, Yasuhisa Okazaki, Hiroshi Wakuya, Nobuo Mishima, Yukuo Hayashida, Byung-Won Min	Implementation of Information sharing on a Hazard Map Creation Support System in a Traditional Local Town	Annual Meeting of KoCon, May 20-21, 2016, 2016. 5

Yutaro Hidaka, Nobuo Mishima, Hiroshi Wakuya, Yukuo Hayashida, Yasuhisa Okazaki, Keiko Kitagawa, Sun-gyu Park, Yong-sun Oh	A temporary evacuation area like open space analysis for disaster prevention town considering probability of street blockade	Annual conference of KoCon 2016, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Hiroshi Wakuya, Ryoma Katsumoto, Hideaki Itoh, Nobuo Mishima, Sang-Hoon Oh, Yong-Sun Oh	A Trial of Evacuation Rout Planning Based on Genetic Algorithm for Dealing with Real-world Problem	Annual Meeting of KoCon 2016, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Yukuo Hayashida, Masaru Kiyota, Nobuo Mishima, Yong-sun Oh, Jaesoo Yoo	Tool for Analyzing Activity of Evacuating and Supporting People –Where are you? Are you alright?–	Annual Meeting of KoCon 2016, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Keiko Kitagawa, Takenori Hino, Suman Manandhar, Hwang-woo Noh, Yong-sun Oh, Nobuo Mishima	Aspects of the Implementation of Support System for Next Disaster in Undeveloped Country –A Case Study of Ger. Area in Mongolia	Annual Meeting of KoCon, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Sun-gyu Park, Nobuo Mishima, Young-jin Kwon	Simulation Study on the Fire Safety of Asan Oeam Folk and Jeonju Hanok Village	Annual Meeting of KoCon 2016, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Yong-sun Oh, Nobuo Mishima	Derived Topics and Their Development from ICT-Based DPD Concept	Annual Meeting of KoCon 2016, May 20-21, 2016, Korea, 2016. 5
Koichiro Ohgushi and Takuro Inohae	A study of the flood damage risk based on hte city planning system	The 5th Korean-Japan Crisis & Emergency Management Seminar, Seitoku University, Japan, 2016. 12
大串浩一郎	防災・減災の視点から見た高齢者施設・避難所等の配置	第2回避難所・避難生活学会，御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター，2016年9月
川原航，大串浩一郎	筑後川右岸16kmの大曲に流入する中小河川の効果について	平成28年度土木学会西部支部研究発表会，2017年3月
西田義史， 大串浩一郎， 野口剛志，森田俊博	嘉瀬川ダムにおける水質管理と河川環境	平成28年度土木学会西部支部研究発表会，2017年3月
Preeti Pokhrel and K.Ohgushi	Prediction of hydrologic impacts due to climate change scenarios in upstream catchment of Kase River basin	Proceedings of JSCE Kyushu Branch Conference, Saga University, 2017. 3

Hideo Oshikawa, Ryoma Yoshitake, Akira Tai and Yuichi Hayami	Behavior of Suspended Solids in the Neritic Region of an Inner Bay	20th IAHR-APD Congress of the Asia Pacific Division of the International Association for Hydro Environment Engineering & Research, 2016. 8
Koichiro Ohgushi, Hideo Oshikawa, Yosuke Tani and Masanao Kushibe	Numerical Analysis of Flow and Sediment Transport on the Traditional Water Management System in Ishi-ibi Water Diversion of Kase River, Japan	20th IAHR-APD Congress of the Asia Pacific Division of the International Association for Hydro Environment Engineering & Research, 2016. 8
堤大二郎, 橋本彰博, 藤田和夫, 押川英夫, 小松利光, 松永信博 本村航平, 押川英夫, 藤田和夫, 小松利光 石原耕一, 押川英夫, 小松利光, 小島治幸, 鄒曙光	納豆菌群を封入したコンクリートブロックの水質浄化能力に及ぼすブロック投入時間の影響 —適切なブロック敷設距離・間隔の検討— 波浪場における非対称没水構造物群周りの残差流生成特性 蛍光砂を用いた三里松原海岸の漂砂研究	平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月 平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月 平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月
三戸佑夏, 押川英夫, 小松利光 久保奈央, 田井明, 橋本彰博, 押川英夫, 小松利光	直列配置された流水型ダム群の洪水制御効果に関する研究 地域気象観測システムデータを用いた降雨形態の時空間変化の解析	平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月 平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月
大島崇史, 押川英夫, 藤田和夫, 小松利光	冠水時の自動車通行に対する危険性の評価	平成22年度 土木学会西部支部研究発表会, 2011年3月
堤大二郎, 橋本彰博, 藤田和夫, 押川英夫, 小松利光, 松永信博 今村友彦, 押川英夫, 小松利光	納豆菌群を封入したコンクリートブロックによる水質浄化能力の評価 —ブロックから放出された菌の活動に及ぼす流速の影響— 流水型ダムの洪水調節能力改善手法に関する研究	平成21年度 土木学会西部支部研究発表会, 2010年3月 平成21年度 土木学会西部支部研究発表会, 2010年3月
押川英夫, Rusdin ANDI, 橋本彰博, 小松利光	方向抵抗差を有する管路の振動流場における残差流生成特性	第54回水工学講演会, 2010年3月
押川英夫, 寺尾直樹, 小松利光 橋本彰博, 山本真義, 堤大二郎, 押川英夫, 松永信博, 小松利光, 古賀雅之, 岩下智明, 原田敦彦	流れにより回転する柱状体の後流構造に関する実験的研究 有用微生物群を封入した多孔質コンクリートブロックの流水中での水質浄化能力の検討	第54回水工学講演会, 2010年3月 第54回水工学講演会, 2010年3月
Hideo OSHIKAWA, Toshimitsu KOMATSU H. Oshikawa, A. Hashimoto, K. Tsukahara and T. Komatsu	Characteristics of Flows around Submerged Asymmetrical Structures in Irregular Wave Fields Flood Disasters Due to Recent Abnormal Rainfall and Preventive Measures in Japan	8th International Symposium on Marine Engineering, 2009. 10 33RD IAHR Congress, 2009. 8

押川英夫, 武田宜紘, 石貫國郎, 添田宏, 中村嘉邦, 小松利光 中島泰裕, 押川英夫, 小松利光	波浪場における非対称没水構造物群周りの残差流 治水専用穴あきダムの洪水調節能力改善手法に関する研究	第34回海洋開発シンポジウム, 2009年6月 2009年度・河川技術に関するシンポジウム -新しい河川整備・管理の理念とそれを支援する河川技術に関するシンポジウム-, 2009年6月 平成20年度 土木学会西部支部研究発表会, 2009年3月
堤大二郎, 橋本彰博, 藤田和夫, 押川英夫, 小松利光, 松永信博 武田宜紘, 吉海宏祐, 押川英夫, 藤田和夫, 石貫國郎, 添田宏, 中村嘉邦, 小松利光 石原耕一, 押川英夫, 松永信博, 小松利光 中島泰裕, 押川英夫, 小松利光 寺尾直樹, 押川英夫, 藤田和夫, 小松利光 押川英夫, 橋本彰博, 小松利光 吉武竜馬, 押川英夫, 田井明, 速水祐一 鶴崎永悟, 押川英夫, 大串浩一郎, 田井明, 吉武竜馬, 速水祐一 吉武竜馬, 押川英夫, 田井明, 速水祐一 押川英夫, 大串浩一郎, 杉原裕司, 小松利光 小淵真弓, 小島昌一	納豆菌群を封入したコンクリートブロックの水質浄化能力 -ブロック上の流速変化に着目して- 波浪場における非対称没水構造物群周りの流れ 三里松原海岸の海岸侵食に関する調査研究 治水専用穴あきダム(流水型ダム)の洪水調節能力改善手法に関する研究 流れにより回転する柱状非対称構造物の後流構造に関する基礎的研究 過疎化が進行する水害常襲地域の今後の防災対策に関する調査研究 内湾浅海域における底質輸送に及ぼす外力因子の評価 内湾浅海域の懸濁物質の応答特性に関する研究 内湾浅海域における土砂動態に及ぼす波・流れの影響 流水型ダムの洪水制御の簡易解析 住宅における外部環境緩衝空間と隣接室内空間の温熱環境の関係性に関する研究	平成20年度 土木学会西部支部研究発表会, 2009年3月 平成20年度 土木学会西部支部研究発表会, 2009年3月 平成20年度 土木学会西部支部研究発表会, 2009年3月 第53回水工学講演会, 2009年3月 日本流体力学学会 年会2016, 2016年9月 平成28年度 土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月 平成28年度 土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月 第61回水工学講演会, 2017年3月 日本建築学大会学術講演会梗概集 2016年8月
須谷拓矢, 小島昌一, 松川和弘, 栗崎和歩, 國吉敬司 松川和弘, 小島昌一, 須谷拓矢, 國吉敬司 國吉敬司, 小島昌一, 松川和弘, 須谷拓矢 小淵真弓, 小島昌一	地域基幹病院における省CO ₂ ・省エネ手法の技術検証(第4報) ヒートポンプ式給湯システム及び人感センサー連動空調制御の省エネ効果検証 地域基幹病院における省CO ₂ ・省エネ手法の技術検証(第5報) 冷温水・冷却水の変流量制御及び大温度差送水の省エネ効果検証 地域基幹病院における省CO ₂ ・省エネ手法の技術検証(第6報) 竣工後の継続的性能検証とファインチューニングの取り組み 縁側と隣接室内空間の温熱環境の関係性に関する研究	日本建築学大会学術講演会梗概集 2016年8月 日本建築学大会学術講演会梗概集 2016年8月 日本建築学大会学術講演会梗概集 2016年8月 日本建築学会九州支部研究報告会 2017年3月

平井孝明, V. Narumol, 佐々木広光, 古賀憲一, 三樹祐太, 高木洋輔	嘉瀬川ダムの副ダムによる水質改善効果に関する基礎研究	平成28年度土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月
阪田真由子, V. Narumol, 佐々木広光, 古賀 憲一	筑後大堰湛水域における内部生産の変動に関する研究	平成28年度土木学会西部支部研究発表会, 2017年3月

先端融合工学専攻

著書

Mitsunori Yada	Syntheses and Applications of Titanium Compound Nanofiber Thin Films	Nanofiber Research – Reaching New Heights, 2016. 10
大住晃, 亀山建太郎, 松田吉隆	カルマンフィルタとシステムの同定 – 動的逆問題へのアプローチ	森北出版株式会社, 2016年10月
Xing Feng, Yanping Du, Xianfu Wei, Takehiko Yamato	Pyrene-Based Advanced Luminescence Materials- Synthesis, Structure and Application	China Science and Technology Press 2016. 9

原著論文

Hiroshi Dozono, Gen Niina, Satoru Araki`M	Convolutional Self Organizing Map	Proceeding of The 2016 International Conference on Computational Science and Computational Intelligence (CSCI), pp.pp.767-761, 2016.12
Gen Niina, Hiroshi Dozono,	HMM training by using a Self-Organizing Map for time series prediction	Proceedings of 2017 9th International Conference on Machine Learning and Computing (ICMLC 2017), 2017.2
Daisuke Yahara, Takuma Yoshida, Yuya Enokida, Eiji Takahashi	Directional migration of MDA-MB-231 cells under oxygen concentration gradients.	Adv Exp Med Biol, Vol.923, pp.129-134, 2016.8
後藤聡, 末次輝章, 松田吉隆, 杉剛直, 森崎敬史, 池上康之, 江頭成人	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの遠隔監視 Web アプリケーション開発	システム制御情報学会論文誌, Vol. 29, No. 9, pp. 414-421, 2016年9月
後藤聡, 矢野撰, 松田吉隆, 杉剛直, 江頭成人	眼電図と筋電図を用いたハンズフリー移動ロボット遠隔操作システムの開発	電気学会論文誌 C, Vol. 136, No. 9, pp. 1283-1290, 2016年9月

- Yoshitaka Matsuda,
Satoru Goto,
Takenao Sugi,
Takafumi Morisaki,
Takeshi Yasunaga
and Yasuyuki Ikegami
Liquid Level Control of Separator in an OTEC Plant
with Uehara Cycle
システム制御情報学会論文誌,
Vol. 29, No. 12, pp. 535-543, 2016
年12月
- Yoshitaka Matsuda,
Takenao Sugi,
Satoru Goto and
Naruto Egashira
Teleoperation of Robot Arm with Position Measure-
ment via Angle-pixel Characteristic and Visual Sup-
porting Function
Artificial Life and Robotics, Vol.21,
No.4, pp.478-485, 2016.12
- Weimin Guan,
Hang Qian,
Fuxin Fang,
Yao Luo, Jun Yang,
Baichao Chen,
Yanhui Gao,
Kazuhiro Muramatsu
Numerical modeling of excess loss in SiFe sheet con-
sidering pinning effect
IEEE Transactions on Applied Su-
perconductivity, Vol.26, No.7, pp.#
0608804, 2016.7
- Yoichi Miyagawa,
Shintaro Morisada,
Keisuke Ohto,
Hidetaka Kawakita
Hydrodynamic chromatography using flow of a highly
concentrated dextran solution through a coiled tube
Carbohydrate Polymers, Vol.146,
pp.109-114, 2016
- Keisuke Ohto,
Yuuki Hashimoto^B,
Yuki Ueda^D,
Ayahiro Yamashita^M,
Shintaro Morisada,
Hidetaka Kawakita
Formaldehyde removal by using solid phase extrac-
tion with an imination reaction on an amine type tri-
dent molecule-impregnated resin
Solvent Extraction Research and
Development, Japan, Vol.23, pp.181-
186, 2016
- Izumi Nakashima^B,
Akari Kishida^B,
Yuji Takaoka^D,
Shintaro Morisada,
Keisuke Ohto,
Hidetaka Kawakita,
Wataru Iwasaki,
Ramachandra Rao Sathuluri,
Masaya Miyazaki
Adsorption and elution of glucuronic acid and chon-
droitin sulfate using amino-group-containing spherical
gel
Journal of Applied Glycoscience,
Vol.63, pp.69-75, 2016
- H. Tanaka^M,
Y. Uno^M,
S. Morisada, K. Ohto,
H. Kawakita
Filtration and recovery of starch granules using as-
sembled magnetite filter
Chemical Engineering Processing:
Process Intensification, Vol.110,
pp.128-133, 2016
- Md. T. I. Khan,
R. Takata, H. N. Siti
Effect of Wave Velocity in AE Damage Location of a
Steel Plate
CD-ROM, COMADEM 2016, Xi'an,
Shaanxi, China, 2016.8
- Tawhidul Islam Khan
& Harino Yoho
Integrity analysis of knee joint by acoustic emission
technique
paper format: Journal of Multimodal
User Interfaces, Vol.10, No.4, pp.319-
324, 2016.12

- Yusuke FUKUSHIMA, Shigeru MATSUO, Norimasa SHIOMI and Toshiaki SETOGUCHI
M. M. A. Alam, T. Setoguchi, S. Matsuo, M. Takao, and H. D. Kim
M. Takeshita, T. Hirowatari, A. Takedomi
I. Hamdi, G. Buntinx, A. Perrier, O. Devos, N. Jaïdane, S. Delbaere, A. K. Tiwari, J. Dubois, M. Takeshita, Y. Wada, S. Aloïse
Jiaxin Yuan, Yongheng Zhong, Chenmeng Zhang, Wenjun Zeng, Baichao Chen, Cuihua Tian, Changhong Deng, Min Zhou, Kazuhiro Muramatsu, Jin Wang
寺本顯武
寺本顯武
Sathi Rani Mitra, Md. Mahbub Hasan, and Kenbu Teramoto
Mitsunori Yada, Takashi Miyaguchi, Daiki Watanabe, Yukako Hayashi, Tatsuya Ayabe, Toshio Torikai and Takanori Watari
- Annular Supersonic Swirling Flows with Heterogeneous Condensation
The Effect of Homogeneous Nucleation in Supersonic Condensing Submillimeter Scaled Jets
E/Z isomerization of a thermally bistable photochromic dithienylethene
New insights into the photoswitching mechanisms of normal dithienylethenes
Optimal electromagnetic hybrid negative current compensation method for high-speed railway power supply system
Image Reconstruction of Corrosion under Coating Film by Dynamic Shear Strain Analysis of Lamb Waves
Gradient reconstruction from diffraction images obtained by Differential coherent illumination
Speaker invariant principal component determination for Bangla vowel perceptual space
Morphological control and upconversion luminescence of hollow CeO₂ and Er³⁺-Yb³⁺ codoped CeO₂ particles
- Journal of Thermal Science, Vol.25, No.6, pp.518-525, 2016.11
Computational Thermal Sciences: An International Journal, Vol.8, No.3, pp.209-232, 2016.11
Tetrahedron Letters, Vol.57, pp.3565, 2016.4
Physical Chemistry and Chemical Physics, Vol.18, pp.28091, 2016.9
Journal of Modern Power Systems and Clean Energy, Vol.4, No.1, pp.123-134, 2016.1
Proc.of 19th World Conference on Non-Destructive Testing 2016, 2016.6
Proc.of SICE 2016, pp.1147-1151, 2016.9
Proceedings of the 5th International Conference on Informatics, Electronics & Vision (ICIEV 2016), 2016.5
CrystEngComm, Vol.18, pp.8377-8387, 2016.11

- Takeo Minamikawa, Takashi Ogura, Takashi Masuoka, Eiji Hase, Yoshiaki Nakajima, Yoshihisa Yamaoka, Kaoru Minoshima and Takeshi Yasui
Optical-frequency-comb based ultrasound sensor
Proc. SPIE, Vol.10064, pp.100645C, 2017.3
- M.-Q. Ran, J.-Y. Yuan, Y.-H. Zhao, L. Mu, X. Zeng, C. Redshaw, L. Jiang and T. Yamato
A multichannel thiacalix[4]arene-based fluorescent chemosensor for Zn²⁺, F⁻ ions
Supramolecular Chemistry, Vol.28, pp.418-426, 2016.3
- X. Feng, J.-Y. Hu, C. Redshaw and T. Yamato
Functionalization of Pyrene to Advanced Luminescence Materials – A review of Methodolog
Chem.-Eur. J., Vol.22, pp.11898-11916, 2016.5
- X. Feng, N. Seto, C.-Z. Wang, T. Matsumoto, J. Tanaka, M. R. J. Elsegood, L. Horsburgh, C. Redshaw and T. Yamato
Extended π -conjugated pyrene derivatives: structural, photophysical and electrochemical properties
ChemistrySelect, Vol.1, pp.1926-1932, 2016.5
- Z. Kowser, C.-C. Jin, M. Fukuda, X.-K. Jiang, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato
A new pyrene based Schiff base derivative: a highly selective fluorescence turn on sensor toward Cu²⁺
Tetrahedron, Vol.72, pp.4575-4581, 2016.5
- S. Rahman, H. Tomiyasu, H. Kawazoe, J.-L. Zhao, H. Cong, X.-L. Ni, X. Zeng, M. R. J. Elsegood, T. G. Warwick, S. J. Teat, C. Redshaw, P. E. Georghiou and T. Yamato
A study of anion binding behaviour of 1,3-alternate thiacalix[4]arene-based receptors bearing urea moieties
New J. Chem., Vol.40, pp.9245-9251, 2016.9
- X.-K. Jiang, Y. Ikejiri, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato
Synthesis and structures of *O*-anthrylmethyl-substituted hexahomotrioxacalix[3]-arenes
Journal of Molecular Structur., Vol.1120, pp.274-280, 2016.6

- U. Rayhan,
Z. Kowser,
C. Redshaw and
T. Yamato
X.-K. Jiang, Y. Ikejiri,
C.-C. Jin, C. Wu,
J.-L. Zhao, X.-L. Ni,
X. Zeng,
C. Redshaw and
T. Yamato
T. Akther,
Md. M. Islam,
S. Rahman,
P. E. Georghiou,
T. Matsumoto,
J. Tanaka,
P. Thuéry,
C. Redshaw and
T. Yamato
J.-L. Zhao,
X.-K. Jiang, C. Wu,
C.-Z. Wang, X. Zeng,
C. Redshaw and
T. Yamato
C. Wu, J.-L. Zhao,
X.-K. Jiang,
C.-Z. Wang, X.-L. Ni,
X. Zeng,
C. Redshaw and
T. Yamato
C.-Z. Wang, J.-H. Do,
T. Akther, X. Feng,
L. Horsburgh,
M. R. J. Elsegood,
C. Redshaw and
T. Yamato
C. Wu, Y. Ikejiri,
X. Zeng,
M. R. J. Elsegood,
C. Redshaw and
T. Yamato
C. Wu, Y. Ikejiri,
X. Zeng,
M. R. J. Elsegood,
C. Redshaw and
T. Yamato
- Reduction of diphenylacetylene using Al powder in the presence of noble metal catalysts in water
Synthesis and evaluation of a novel fluorescent sensors based on hexahomotrioxa-calix[3]arene for Zn(II) and Cu(II)
Synthesis, structural properties, electrophilic substitution reactions and DFT computational studies of 1,2-dimethyl[2.10]metacyclophan-1-enes
An Unprecedented Photochemical Reaction in Anthracene-Containing Derivatives
A novel fluorescence "on-off-on" chemosensor for Hg²⁺ via a water-assistant blocking heavy atom effect
D- π -D chromophores based on dithieno[3,2-b:2',3'-d]thiophene (DTT): Potential application in the fabrication of solar cell
Synthesis of Mono-*O*-Alkylated Homooxalix[3]arene and a Protection-Deprotection Strategy for Homooxalix[3]arene
Click-modified hexahomotrioxalix[3]arenes as fluorometric and colorimetric dual-modal chemosensors for 2,4,6-trinitrophenol
- Tetrahedron, Vol.72, pp.6943-6947, 2016.7
Tetrahedron, Vol.72, pp.4854-4858, 2016.5
ChemistrySelect, Vol.1, pp.3594-3600, 2016.7
ChemPhyChem, Vol.17, pp.3217-3222, 2016.8
Dalton Transactions, Vol. 45, pp.14948-14953, 2016.10
Tetrahedron, No.73, pp.307-312, 2017.1
Org. Lett., Vol.19, No.1, pp.66-69, 2017.1
Anal. Chim. Acta., Vol.936, pp.9245-9251, 2016.9

C.-Z. Wang, R. Kihara, X. Feng, P. Thuéry, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis, Structure and Photophysical Properties of Pyrene-based [5]Helicenes: an Experimental and Theoretical Study	ChemistrySelect, Vol. 2, No. 4, pp.1436-1441, 2017.1
T. Akther, Md. M. Islam, T. Matsumoto, J. Tanaka, P. Thuéry, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and Structure of 1,2-Dimethylene[2.10]metacyclophane and Its Conversion to Chiral [10]Benzenometacyclophanes	Eur. J. Org. Chem., No.3, pp.1721-1726, 2017.3
T. Akther, Md. M. Islam, S. Rahman, P. E. Georghiou, T. Matsumoto, J. Tanaka, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and conformations of [2.n]metacyclophan-1-ene epoxides and their conversion to [n.1]metacyclophanes	Org. Biomol. Chem., Vol.15, No.3, pp.3519-3527, 2017.3
C.-Z. Wang, J.-H. Do, T. Akther, X. Feng, T. Matsumoto, J. Tanaka, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and fluorescence emission properties of D- π -D monomers based on dithieno[3,2-b:2',3'-d]thiophene	Journal of Luminescence, Vol.188, No.3, pp.388-393, 2017.3

総説・資料・解説・研究報告・総合雑誌の論文

山岡禎久, 高松哲郎	非線形光学現象を利用した光音響顕微鏡イメージング	光アライアンス, Vol. 28, No. 3, pp. 11-15, 2017年3月
Katsutoshi Inoue, Manju Gurung [†] D, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Durga Parajuli [†] D, Bimala Pangen [†] D, Shafiq Alam	Development of novel biosorbents for gold and their application for the recovery of gold from spent mobile phones	The Recovery of Gold from Secondary Sources, pp.143-171, 2016
イスラム カーン	適応 AE 信号処理にりる膝関節炎症診断	2016年7月
イスラム カーン	適応 AE 信号処理による機械・生体に関する物に起きる欠陥・損傷の評価・診断	2016年11月
米川史晃, 木本 晃	湿潤分布測定のための静電センサの検討	電気学会計測研究会資料, 2016年11月
高橋良介, 木本 晃, 野口卓朗, 深井澄夫	腹部インピーダンスセンサによる膀胱内尿量・心拍測定のための基礎的検討	電気学会計測研究会資料, 2016年11月
平野秀知, 藤 直人, 木本 晃	呼吸・脈・圧力分布同時測定のための多機能型フィルムセンサ	電気学会計測研究会資料, pp.47-50, 2016年12月

寺本顕武, 西脇大貴	微分干渉照明を用いた面外せん断歪みの計測	第33回センシングフォーラム予稿集, pp. 95-100, 2016年9月
寺本顕武, 西脇大貴	動的な面外せん断歪み計測を実現する微分干渉照明光学系	第24回超音波による非破壊評価シンポジウム講演論文集, pp. 59-64, 2017年1月
山岡禎久	超音波回折限界を超える超解像光音響イメージングの開発	Annual report of the Murata science foundation, Vol. 30, pp. 123-130, 2016年12月
矢田光徳	セラミックス粒子・薄膜の形態制御と高機能化	佐賀県高等学校教育研究会理科部会誌, 2017年3月

特許

川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	触媒成分の分離方法	佐賀大学, 日本ゼオン(株), 特願2016-142184,
川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	触媒回収方法	佐賀大学, 日本ゼオン(株), 特願2016-104571,

招待講演・特別講演 (学会シンポジウム等での講演を含む)

Eiji Takahashi	Imaging of oxygen in single cardiac myocyte reveals intracellular trafficking of energy	Ireland-Japan Joint Seminar: Membrane trafficking, cilia and oxygen sensing, 2016.10
高橋英嗣	がんの遠隔転移：がん細胞は酸素をもとめて遊走するか？	酸素ダイナミクスに関するセミナー, 2016年10月
川喜田英孝 竹下道範	流れや膜を用いた粒子の分離 光スイッチとしてのフォトクロミックシクロファン類の開発	県立広島大学 特別講義, 2016年 化学関連支部合同九州大会, 2016.7
上野直広	応力発光イメージングにおけるパターン抽出について	応力発光技術コンソーシアム平成28年度第2回講演会, 2016.12
矢田光徳	セラミックス粒子・薄膜の形態制御と高機能化	平成28年度佐賀県高等学校理科教育研究大会, 2016年11月
山岡禎久, 山本壮里, 高橋英嗣	光音響法を用いた超音波トランスデューサ指向性評価の検討	第89回日本超音波医学会学術集会シンポジウム「光と超音波融合によるイメージングモダリティの新展開」, 2016年5月
山岡禎久	Improvement of imaging speed and contrast in two-photon photoacoustic microscopy (TP-PAM)	Biomedical Imaging and Sensing Conference 2016 (BISC'16), 2016.5
山岡禎久	医療応用を目指した生体深部光音響イメージング技術	第141回微小光学研究会「メディカル・バイオフィotonicsに革新をもたらす微小光学」, 2016年9月
山岡禎久	生体深部観察のための光音響顕微鏡と非線形光学の融合	第11回NIBBバイオイメージングフォーラム, 2017年2月
山岡禎久	深部観察のための光音響顕微鏡 - 光と超音波の融合 -	埼玉大学『脳科学セミナー・ミニシンポジウム』, 2017年3月

Takehiko Yamato	Advanced Pyrene-Based Luminescent Materials	特別講演会 西北大学材料科学院 (School of Chemistry and Materials, Northwest University, Xi'an, China), 2016年7月
Takehiko Yamato	Calixarene Based Fluorescent Chemosensors	特別講演会 カーティン大学化学科 (Curtin University, Australia), 2016年11月
Takehiko Yamato	Calixarene-based Fluorescent Chemosensors via Click Chemistr	The 7th Liaoning University-Saga University Joint Seminar (International Seminar, Liaoning University, (Shenyang, China), 2016年12月
Takehiko Yamat	Advanced Pyrene-Based Luminescent Materials	特別講演会 シンガポール国立大学化学科 (National University of Singapore) (Singapore), 2017年1月
Takehiko Yamato	Brief Guide of Saga University, National University Corporation, Japan	特別講演会 マンダレー大学 (Mandalay University) Myanmar, 2017年2月

一般講演 (学会講演を含む)

嶋田歩実 ¹ M 堂園 浩	自己組織化マップを用いたモーションの生成	第32回ファジィシステムシンポジウム, 2016年9月
荒木 諭 ¹ M 堂園 浩	自己組織化マップを用いた音声データ解析	第32回ファジィシステムシンポジウム, 2016年9月
円田智博 ¹ M 堂園 浩	自己組織化マップを用いたC言語演習状況の視覚化	2016年9月
松藤翔大 ¹ M 堂園 浩	自己組織化マップを用いたDNA配列の解析手法の開発	第32回ファジィシステムシンポジウム, 2016年9月
榎田祐也, 矢原大裕, 吉田拓磨, 鶴野雄介, 大久保魁馬, 馬場 嵐, 山岡禎久, 高橋英嗣	MDA-MB-231細胞遊走のpH依存性	第55回日本生体医工学会大会, 2016年4月
山岡禎久, 宇野友貴, 山本壮里, 原田義規, 高松哲郎, 高橋英嗣	2光子光音響顕微鏡高速化のための光学系最適化	第55回日本生体医工学会大会, 2016年4月
Eiji Takahashi	Mitochondrial membrane potential in DMOG model of metabolic reprogramming.	ISOTT 2016, 2016.7
Yuya Enokida, Yusuke Tsuruno, Kaima Okubo, Yorihisa Yamaoka, Eiji Takahashi	Directional migration of MDA-MB-231 cells under O ₂ /pH gradients.	ISOTT 2016, 2016.7
高橋英嗣 鶴野雄介, 大久保魁馬, 藤原隆祐, 榎田祐也, 高橋英嗣	酸素を必要としないミトコンドリア呼吸の可能性 MDA-MB-231細胞は metabolic gradient 下で方向性に遊走する	第67回西日本生理学会, 2016年10月 第14回がんとハイポキシア研究会, 2016年11月

鶴野雄介, 大久保魁馬, 藤原隆祐, 榎田祐也, 山岡禎久, 高橋英嗣 大久保魁馬, 鶴野雄介, 藤原隆祐, 榎田祐也, 山岡禎久, 高橋英嗣 島田典, 松田吉隆, 杉剛直, 後藤聡, 森崎敬史, 安永健, 池上康之 Yoshitaka Matsuda, Satoru Goto, Takenao Sugi, Takafumi Morisaki and Yasuyuki Ikegami	Metabolic gradients 下の細胞遊走 培養細胞培地に形成される O ₂ 勾配のイメージング ウエハラサイクル海洋温度差発電プラントの冷熱源実験データに基づく線形補間による発電量静的モデルの構築 Liquid Level Control of Separator in an OTEC Experimental Plant with Uehara Cycle via LQG Control Theory	第20回 酸素ダイナミクス研究会, 2016年11月 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 2017年3月 第60回システム制御情報学会研究発表講演会, 2016年5月25日~27日, 京都テルサ, 京都, 323-4, 2016年5月 Proceedings of the 47th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications, Waikiki Beach Marriott Resort & Spa, Honolulu, Hawaii, USA, December 5-8, 2015, pp.368-373, 2016.5
大庭尚之, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 後藤和彦, 池田拓郎, 後藤純信, 山崎貴男, 飛松省三 永島好浩, 松田吉隆, 後藤聡, 杉剛直, 森崎敬史, 安永健, 池永康之	半側空間刺激時視覚誘発電位の特徴解析システム スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化システムのシミュレーションモデルの改良	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会予稿集, 平成28年11月26日~27日, 佐賀大学本庄キャンパス, 佐賀, 2016, 204B4, pp. 190-193, 2016年11月 第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会予稿集, 平成28年11月26日~27日, 佐賀大学本庄キャンパス, 佐賀, 2016, 201A3, pp. 96-99, 2016年11月
東明純輝, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 野平晴彦, 久保田有一	複数の脳波導出法を組み合わせたICU記録脳波における異常波自動検出	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会予稿集, 平成28年11月26日~27日, 佐賀大学本庄キャンパス, 佐賀, 2016, 104B3, pp. 67-70, 2016年11月
Masaya Minoda, Takenao Sugi, Yoshitaka Matsuda, Satoru Goto, Takao Yamasaki, Naruto Egashira 島田典, 松田吉隆, 杉剛直, 後藤聡, 森崎敬史, 安永健, 池上康之 上野智広, 松田吉隆, 杉剛直, 後藤聡, 森崎敬史, 安永健, 池上康之, 江頭成人	画像情報を用いた眼球運動特徴抽出による意思伝達装置の開発 海洋温度差発電実験プラント温熱源の温水温度実験データを用いた動的モデル構築 海洋温度差発電プラント遠隔監視システムのユーザーインターフェイス機能の向上	SICE ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016, 大阪国際交流センター, 大阪, 1C1-2, pp. 28-29, 2016年11月 第59回自動制御連合講演会, 北九州国際会議場, 福岡, 2016, FrA5-5, pp. 748-752, 2016年11月 第59回自動制御連合講演会, 北九州国際会議場, 福岡, 2016, ThA2-5, pp. 39-44, 2016年11月

Yoshitaka Matsuda, Satoru Goto, Takenao Sugi, Takafumi Morisaki, Takeshi Yasunaga and Yasuyuki Ikegami 松田吉隆, 杉剛直, 後藤聡, 森崎敬史, 安永健, 池永康之, 江頭成人	Model Construction of Warm Water Temperature of Heat Source in an OTEC Experimental Plant via Stochastic Process 2 段ランキンサイクル海洋温度差発電プラントのシミュレータに基づく遠隔操作 Web アプリケーション開発	Abstracts of the 48th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications, Fukuoka Institute of Technology, Fukuoka, JAPAN, November 4-5, 2016, pp.31-32, 2016.11 第17回システムインテグレーション部門講演会 (SI2016), 2016年12月15日~17日, 札幌, pp. 544-548, 2016年12月
Yoshitaka Matsuda, Takenao Sugi, Satoru Goto and Naruto Egashira	Construction of Remote Operation System for a Mobile Robot with Vision System based on Automatic Template Generation	Proceedings of The Twenty-Second International Symposium on Artificial Life and Robotics 2017 (AROB 22nd 2017), The Second International Symposium on BioComplexity 2017 (ISBC 2nd 2017), B-Con Plaza, Beppu, Japan, January 19-21, 2017, pp.467-470, 2017.1
Fuxin Fang, Weimin Guan, Haiyang Kong, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu Baichao Chen, Liangliang Wei, Yang Lei, Yongheng Zhong, Cuihua Tian, Weimin Guan, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Jiaxin Yuan	Investigation on power and loss densities of scaled-down laminated cores Investigation on a modified hybrid compact saturated-core fault current limiter based on permanent magnets	IEEE International Conference on Applied Superconductivity and Electromagnetic Devices (IEEE ASEMD 2015), no.cp-30, pp.619-620, Shanghai, China, 2015.11 The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation (IEEE CEFC 2016), no.MPO 71-9, Miami, U.S.A., 2016.11
新郷忠真, 福山拓夢, 小平田隆男, 住隆博, 橋本時忠, 瀬戸口俊明	Ho:YAG レーザー誘起キャビテーションに関する基礎研究	キャビテーションに関するシンポジウム (第18回), 2016年12月
横尾侑子, 吉次達哉, 住隆博, 橋本時忠, 松尾繁, 瀬戸口俊明	衝撃波管駆動粉体注射器を用いた模擬生体への貫入試験	平成28年度 衝撃波シンポジウム, 2017年3月
新郷忠真, 福山拓夢, 小平田隆男, 橋本時忠, 住隆博, 瀬戸口俊明	レーザー誘起キャビテーションの医療応用へ向けた基礎研究	平成28年度 衝撃波シンポジウム, 2017年3月
川淵航, 井上有己, 河津由佳, 日吉雅也, 三苦和明, 橋本時忠, 住隆博, 瀬戸口俊明	空気銃式無針注射器を用いたゲル薬剤の貫入に関する研究	平成28年度 衝撃波シンポジウム, 2017年3月

竹下海渡, 堂之下雄也, 金丸拓史, 住隆博, 橋本時忠, 瀬戸口俊明	膨張波と気泡の干渉現象の観察	日本機械学会九州支部第70期総会講演会, 2017年3月
井上有己, 河津由佳, 日吉雅也, 三苫和朗, 川測航, 住隆博, 橋本時忠, 瀬戸口俊明	空気銃を用いた微細ゲルの貫入試験	日本機械学会九州支部第70回総会講演会, 2017年3月
Takumi Kanemaru, Tokitada Hashimoto, Kiyonobu Ohtani 岩谷英樹, 林 喜章	Fundamental study on Biological Influence by Underwater Expansion Wave Irradiation	The Thirteenth International Conference on Flow Dynamics (ICFD 2016), 2016年10月
林 喜章, 平田 淳	Raspberry Pi を用いた上肢動作推定に関する研究	日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会2016, 2016年6月 第17回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会, 2016年12月
川喜田英孝, 岩崎涉, 寺崎正	管内に充填したゲル粒子による糖の吸着	第18回連携大学院産学官交流セミナー, 産総研九州センター, 2016年1月
川喜田英孝, 永田大貴, 森貞真太郎, 大渡啓介	磁性粒子に導入したデキストランによる水性二相抽出	分離技術会年会2016, 2016年
川喜田英孝	デキストランを孔内部に導入した膜によるコロイド粒子の分離	分離技術会年会2016, 2016年
梶原孝文, 森貞真太郎, 大渡啓介, 川喜田英孝	高分子溶液に分散したパラジウムの回収	分離技術会年会2016, 2016年
梶原孝文, 森貞真太郎, 大渡啓介, 川喜田英孝	高分子溶液に分散したパラジウムの樹脂や膜を用いた連続回収	第53回 化学関連支部合同九州大会, 2016年
川喜田英孝	佐賀大学で考えた研究教育	平成28年度 九州地区大学一高専若手研究者研究・教育セミナー, 2016年
坂本寛宗, 川喜田英孝, 野口英行, 森貞真太郎, 大渡啓介	アミン化合物の酸化グラファイトへの吸着とそれを利用した膜の流束制御	化学工学会第48回秋季大会, 2016年
川喜田英孝, 田中東紀, 永田大貴, 森貞真太郎, 大渡啓介	マグネタイト集積膜を用いたコロイド粒子のろ過	化学工学会第48回秋季大会, 2016年

高岡祐士, 森貞真太郎, 大渡啓介, 川喜田英孝	積層ゲル変形による流れと粒子ろ過	第16回産学連携フェア 若手研究者のためのポスターセッション発表募集, 2016年
江崎翔平, 高岡祐士, 森貞真太郎, 大渡啓介, 川喜田英孝	ゲルの局所的変形を用いた粒子ろ過	第16回産学連携フェア 若手研究者のためのポスターセッション発表募集, 2016年
川喜田英孝, 梶原孝文, 森貞真太郎, 大渡啓介	高分子の沈殿を用いた高粘度高分子溶液に分散したパラジウムの回収	第35回溶媒抽出討論会, 2016年
Takafumi Kajiwara, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Recovery of palladium in high-concentrated polymer solution by precipitation of water-soluble polymer	The 29th International Symposium on Chemical Engineering, 2016
カーン エムディ・テイ・イスラム, 鶴丸想一郎	AE パラメータを用いた b 値分布による構造物のき裂進展解析	2016年12月
南 昂希, 木本 晃	積層型センサによる前腕筋活動測定の検討	第55回日本生体医工学会大会抄録集, 2016年4月
米川史晃, 木本 晃	皮膚湿潤測定のための静電センサ構造の検討	第55回日本生体医工学会大会抄録集, 2016年4月
米川史晃, 木本 晃	静電センサによる湿潤分布測定の基礎的検討	第33回センシングフォーラム, 2016年9月
大石裕也, 南 昂希, 木本 晃	筋活動解析のためのウェアラブル積層型センサの検討	IEEE 主催 2016年度 第1回「学生研究発表会」予稿集, 2016年11月
岸田貴斗, 木本 晃	電気・超音波マルチイメージングのためのプローブの検討	IEEE 主催 2016年度 第1回「学生研究発表会」予稿集, 2016年11月
高橋良介, 木本 晃	ウェアラブルインピーダンス式排尿検知システムの検討	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2016年11月
南 昂希, 木本 晃	筋活動解析のための積層型センサシステム	第35回計測自動制御学会九州支部学術講演会, 2016年11月
Ho Yun Jung, Shigeru Matsuo, Yusuke Fukushima, Toshiaki Setoguchi, Heuy Dong Kim and Shen Yu	Interaction of Shock Wave with Boundary Layer in a Supersonic Rectangular Nozzle Flow	Proceedings of 6th Asian Joint Workshop on Thermophysics and Fluid Science, USB, September 20-23, 2016, Guilin, China., 2016.9
Yusuke Fukushima, Shigeru Matsuo, Norimasa Shiomi and Toshiaki Setoguchi	Effect of Heterogeneous Condensation on Annular Swirling Flow in a Supersonic Nozzle	Proceedings of the 27th International Symposium on Transport Phenomena, USB (ISTP-120), 20-23 September 2016, Honolulu, USA., 2016.9
福島悠介, 松尾 繁, 塩見憲正, 瀬戸口俊明	非平衡凝縮を伴う超音速環状旋回流の数値解析	第94期日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集 (No. 16-31), GS-01, (2016. 11. 12-13), 山口大学工学部 (山口), 2016年11月

- 福島悠介, 松尾 繁, 村上竜太, 瀬戸口俊明
非均一凝縮を伴う超音速環状旋回流に関する研究
日本機械学会九州支部第70期総会・講演会, No.178-1, 413, (2017. 3. 14), 佐賀大学理工学部 (佐賀), 2017年3月
- 村上竜太, 松尾 繁, 福島悠介, 瀬戸口俊明
超音速矩形ノズル内の非平衡凝縮流れと衝撃波の干渉
日本機械学会九州支部第70期総会・講演会, No.178-1, 412, (2017. 3. 14), 佐賀大学理工学部 (佐賀), 2017年3月
- M. Takeshita, T. Hirowatari, A. Takedomi
E/Z isomerization of a thermally bistable photochromic dithienylethene
International Symposium on Organic Photochromism 2016, 2016.11
- Y. Suetsugu, R. Yamashita, M. Takeshita
Development of photochromic rotaxanes composed of a thiophenophane shuttle and an axis
International Symposium on Organic Photochromism 2016, 2016.11
- K. Tokushige, M. Takeshita
Photoreversible supramolecular polymer with triple hydrogen bonding and diarylethene photoswitch
International Symposium on Organic Photochromism 2016, 2016.11
- 末次裕介, 山下力也, 竹下道範
フォトクロミックロタキサンの開発
化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
- 武富敦, 廣渡拓也, 竹下道範
熱不可逆なEZ光異性化をおこなうジチエニルエテン化合物の開発
化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
- Yusuke Suetsugu, Rikiya Yamashita, Michinori Takeshita
Development of photochromic rotaxanes composed of a thiophenophane shuttle and an axis
The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 10
- Keita Tokushige, Michinori Takeshita
Photoreversible supramolecular polymer with triple hydrogen bonding and diarylethene photoswitch
The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 2016. 10
- Fuxin Fang, Weimin Guan, Haiyang Kong, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu
Numerical modeling of pinning and skin effects in silicon steel plate using finite element method
2015 IEEE International Conference on Applied Superconductivity and Electromagnetic Devices (IEEE ASEMD 2015), no. H2-2 (Invited), pp.621-622, Shanghai, China, 2015.11
- Yanhui Gao, Daisuke Kusano, Kazuhiro Muramatsu, Weimin Guan, Jiaxin Yuan, Cuihua Tian, Baichao Chen
Loss and noise reduction of magnetically saturated reactor considering laminated structure of cores
The 7th International Conference on Electromagnetic Field Problems and Applications (ICEF 2016), no. OC 1-4, Xi'an, China, 2016.9
- Yanhui Gao, Hassan Ebrahimi, Hiroshi Dozono, Kazuhiro Muramatsu, Weimin Guan, Jiaxin Yuan, Cuihua Tian, Baichao Chen
Micromagnetics simulation of ferromagnetic materials using large cells
The 14th International Workshop on 1 & 2 Dimensional Magnetic Measurement and Testing (1 & 2 DM 2016), no.OA-2, Tianjin, China, 2016.9

峯 宜孝, 江口勇人, 高 炎輝, 堂蘭 浩, 村松和弘	スカラヒテリシスのモデリングにおけるプレイモデル と自由エネルギーの比較	電気学会静止器・回転機合同研究会, nos. SA-16-066, RM-16-112, 石 垣島, 2016年 9月
峯 宜孝 M, 江口勇人, 高 炎輝, 堂蘭 浩, 村松和弘 畑原広志, 高 炎輝, 堂園 浩, 村松和弘	プレイモデル及び自由エネルギーモデルを用いたヒス テリシスモデリングの近似精度	平成28年度(第69回)電気・情報関 係学会九州支部連合大会, no. 02- 1 A-01, 宮崎大, 2016年 9月
内尾祥貴, 高 炎輝, 堂園 浩, 村松和弘	磁界解析における ICCG 法のアルゴリズム改良と並列 計算による高速化	平成28年度(第69回)電気・情報関 係学会九州支部連合大会, no. 02- 1 A-02, 宮崎大, 2016年 9月
草野大輔, 高 炎輝, 堂蘭 浩, 村松和弘	誘導機の磁界解析の高速化のための初期値の検討	平成28年度(第69回)電気・情報関 係学会九州支部連合大会, no. 02- 1 A-03, 宮崎大, 2016年 9月
藤木拓哉, 高 炎輝, 堂蘭 浩, 村松和弘	磁界・構造併用解析を用いたバルブ型可飽和リアクト ルの騒音の低減	平成28年度(第69回)電気・情報関 係学会九州支部連合大会, no. 02- 1 A-04, 宮崎大, 2016年 9月
Mohendro Kumar Ghosh, Yanhui Gao, Hiroshi Dozono, Kazuhiro Muramatsu Hassan Ebrahimi, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu	Loss Reduction of Laminated Core by Replacing Sur- face Layers with Different Grade of Electrical Steel Sheets	平成28年度(第69回)電気・情報関 係学会九州支部連合大会, no. 02- 1 A-05, 宮崎大, 2016年 9月 The 69th Joint Conference of Elec- trical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, no.02-1A-06, Miyazaki Univ., 2016.9
Baichao Chen, Lei Liu, Xuanyao Luo, Cuihua Tian, Zhiye Du, Weimin Guan, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Jiaxin Yuan	Fast non-linear magnetic field analysis of inverter- driven machines by applying POD on linearized coeffi- cient matrices	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.MP 041-8, Miami, U.S.A., 2016.11
Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Narihiro Takeda, Daisuke Kusano, Hiroshi Dozono, Weimin Guan, Jiaxin Yuan, Cuihua Tian, Baichao Chen, Kenya Konishi, Kazunobu Kanazawa	Optimal gear capacity design of 380V/30kVar super- conducting controllable reactor based on ANSYS- immune algorithm	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.MP 062-8, Miami, U.S.A., 2016.11
	Simple L and T shaped butt joints composed of ani- sotropic and isotropic block cores in three-phase reac- tor	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.MP 082-1, Miami, U.S.A., 2016.11

<p>Baichao Chen, Liangliang Wei, Cuihua Tian, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Jiaxin Yuan</p>	<p>Optimization study of a novel small-section permanent -magnet-biased fault current limiter with leakage flux effect</p>	<p>The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.TP 012- 10, Miami, U.S.A., 2016.11</p>
<p>Cuihua Tian, Yongheng Zhong, Jiaxin Yuan, Yang Lei, Baichao Chen, Kazuhiro Muramatsu</p>	<p>A coupled method for evaluating eddy current loss of NdFeB permanent magnets in a saturated core fault current limiter</p>	<p>The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.TP062-8, Miami, U.S.A., 2016.11</p>
<p>Baichao Chen, Weiqiang Qi, Junwei Zhou, Yongheng Zhong, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Jiaxin Yuan</p>	<p>Effect of magnetic-valve distribution on reactance of magnetic controlled reactor</p>	<p>The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.WP012-8, Miami, U.S.A., 2016.11</p>
<p>Yoshitaka Mine, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Weimin Guan, Cuihua Tian, Jiaxin Yuan, Baichao Chen</p>	<p>Comparison of hysteresis modeling methods using play model and free energy model</p>	<p>The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.WP021-3, Miami, U.S.A., 2016.11</p>
<p>Jiaxin Yuan, Yongheng Zhong, Yang Lei, Cuihua Tian, Liangliang Wei, Weimin Guan, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Baichao Chen</p>	<p>A novel topology of hybrid saturated core fault cur- rent limiter considering permanent magnets stability performance</p>	<p>The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.WP051-1, Miami, U.S.A., 2016.11</p>
<p>Baichao Chen, Xiang Li, Cuihua Tian, Zhiye Du, Weimin Guan, Yanhui Gao, Kazuhiro Muramatsu, Jiaxin Yuan</p>	<p>Transient characteristics analysis of a 380V/30kVar superconducting controlled reactor</p>	<p>he 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computa- tion (IEEE CEFC 2016), no.WP062-1, Miami, U.S.A., 2016.11</p>

Yanhui Gao, Daisuke Kusano, Kazuhiro Muramatsu, Weimin Guan, Jiaxin Yuan, Cuihua Tian, Baichao Chen	Loss and noise reduction of saturable magnetically controlled reactor by improving structure of magnetic valves	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation (IEEE CEFC 2016), no.WP051-6, Miami, U.S.A., 2016.11
Yanhui Gao, Weimin Guan, Kazuhiro Muramatsu, Cuihua Tian, Jiaxin Yuan, Baichao Chen	Investigation on numerical modeling of excess loss in SiFe sheet considering pinning effect	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation (IEEE CEFC 2016), no.WP082-6, Miami, U.S.A., 2016.11
Kazuhiro Muramatsu, Yanhui Gao, Yusuke Moriyama, Hiroshi Dozono, Takaaki Nishino, Kazuyuki Miura	Modeling of leakage magnetic field of electric machines using blocks with magnetizations for design of magnetically shielded room	The 17th Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation (IEEE CEFC 2016), no.WO021-4, Miami, U.S.A., 2016.11
高 炎輝, 関 偉民, 陳 柏超, 村松和弘	磁壁の歪みの時間的変化を考慮した電磁鋼板の異常渦電流損に関するモデリング	電気学会静止器・回転機合同研究会, nos. SA-17-009, RM-17-009, 法政大, 2017年1月
藤木拓哉, 高 炎輝, 堂園 浩, 村松和弘	磁界解析を用いた圧粉磁心の磁気特性のモデリング	電気学会静止器・回転機合同研究会, nos. SA-17-010, RM-17-010, 法政大, 2017年1月
草野大輔, 高 炎輝, 村松和弘, 堂園 浩 内尾祥貴, 高 炎輝, 堂園 浩, 村松和弘	磁界・構造併用解析を用いたバルブ型可飽和リアクトルの騒音低減法の検討 積層構造を考慮した三次元磁界解析による誘導機の鉄芯端部の磁束分布の検討	平成29年電気学会全国大会, no.5-082, 富山大, 2017年3月 平成29年電気学会全国大会, no.5-042, 富山大, 2017年3月
Yutaka HARA, Yuuki FURUKAWA, Takahiro SUMI, Hiromichi AKIMOTO, Shigeo YOSHIDA	Numerical analysis of flow field around an endplate of straight-blade vertical axis wind turbine	The 15th World Wind Energy Conference and Exhibition, 2016.10
住隆博, 黒滝卓司	拡散界面モデルによる超高压噴射・噴霧現象の数値シミュレーション	平成28年度衝撃波シンポジウム, 1 A2-4, 2017年3月
黒滝卓司, 住隆博	Sharp interface model を用いた相変化を伴う流れのモデル化及びキャビテーションバブル崩壊に関する数値解析	平成28年度衝撃波シンポジウム, 3 C1-1, 2017年3月
Yu-Nan He, Takuya Hirohata, Naohiro Ueno, Yuki Fujio, Chao-Nan Xu	Real-time Fatigue Crack Detection of Composite Vessel using Mechanoluminescent Sensor with GPU acceleration	International Multi-Conference on Engineering and Technology Innovation 2016, 2016.10
藤瀬将司, 上野直広, 林喜章	体温測定に向けた非接触式温度検出システムの提案	日本機械学会 九州支部 第70期総会・講演会, 2017年3月
久原俊亮, 山本祥平, 上野直広, 小柳悟	オールメタルシーリング機構の性能評価に関する研究	日本機械学会 九州支部 第70期総会・講演会, 2017年3月

Mitsunori Yada, Tateaki Yamanoi, Takashi Miura ^M , Toshio Torikai, Takanori Watari	Simple Template-Free Synthesis of Bi ₂ O ₃ Microflow- ers composed of microrods	AMEC-2016 The 10th Asian Meet- ing on troceramics, 2016.12
三浦高史, 藤木祐太, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	リン酸チタ及びナトウムノ粒子の合成と Na イオン電 池特性 イオン電池特性 イオン電池特性	平成28年度九州支部秋季合同研究発 表会, 2016年11月
渡邊大貴, 宮口貴史, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	Er ³⁺ と Yb ³⁺ をドーブした CeO ₂ 中空粒子の合成と アップコンバージョ発光特性	平成28年度九州支部秋季合同研究発 表会, 2016年11月
権藤未来, 藤木祐太, 矢田光徳, 井上侑子, 周致霆	液相法を用いたニッケル化合物の合成と特性評価	平成28年度九州支部秋季合同研究発 表会, 2016年11月
藤木祐太, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	リン酸チタンナノ粒子の形態制御とリチウムイオン電 池への応用	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
大坪由佳, 磯野健一, 矢田光徳	Li-Cu-Ni-Mn-O スピネル系正極材料の合成と評価	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
前田みさき, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	チタンメッシュ表面上でのリン酸チタン薄膜の合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 2016年7月
山岡禎久, 宇野友貴, 山本壮里, 原田義規, 高松哲郎, 高橋英嗣	2光子光音響顕微鏡高速化のための光学系最適化	第55回日本生体医工学会大会, 2016 年4月
南川丈夫, 小倉隆志, 中嶋善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武史	ファイバー光コム共振器型ひずみセンサーの開発	第57回光波センシング技術研究会, 2016年6月
南川丈夫, 小倉隆志, 増岡孝, 中嶋善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武史	ファイバー光コム共振器によるひずみセンシング	2015年度精密工学会秋季大会, 2016 年9月
Takeo Minamikawa, Takashi Ogura, Takashi Masuoka, Eiji Hase, Yoshiaki Nakajima, Yoshihisa Yamaoka, Kaoru Minoshima, and Takeshi Yasui	Optical-frequency-comb based ultrasound sensor	Photonics West BiOS 2017, 2017.1
南川丈夫, 増岡孝, 小倉隆志, 中嶋善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武史	光コムセンシングキャビティによる超音波計測	Optics and Photonics Japan 2016, 2016年10月
遠藤大輔, 吉田克己, 多々見純一, 高橋英嗣, 山岡禎久	セラミックス内部欠陥評価を目指した光音響イメージ ング技術の開発	レーザー学会学術講演会第37回年次 大会, 2017年1月
山本壮里, 高橋英嗣, 山岡禎久	光音響イメージングにおける相互関法を用いた信号の 選択的検出	レーザー学会学術講演会第37回年次 大会, 2017年1月

増岡孝, 小倉隆志, 南川丈夫, 中島善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武史 趙 江林・大和武彦	光音響波検出のための RF 変換ファイバー光コムの開 発 チアカリックス [4] アレーンを基盤とするヘテロダ イトピクレスセプターの合成と包接挙動	レーザー学会学術講演会第37回年次 大会, 2017年1月 第14回ホスト・ゲスト化学シンポジ ウム 高知市 2016年6月4-5日, 2016年6月
○坂口滉弥・ 大和武彦 ○木原理絵・ 大和武彦 ○中嶋貴広・ 大和武彦 ○一柳弥志・ 大和武彦 ○Chuan-Zeng Wang, Takehiko Yamato	ピレンを基盤とした新規青色発光材料の合成と光学特 性の評価 ピレンを構成単位とするヘリセン型分子の合成と光学特 性 フルオレニル基を導入したピレン類の合成と光学特性 ピレンを構成要素とする青色燐光物質の合成と評価 Regioselective substitution at the 1,3- and 5,9-positions of pyrene for the construction of small dipolar mole- cules	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2016年7月2日 第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日 第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日 第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日 第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日
Chuan-Zeng Wang , Kouya Sakaguchi and ○Takehiko Yamato 趙 江林・ ○大和武彦 ○Hisashi Ichiyanagi, Koya Sakaguchi and Takehiko Yamato	Regio-selective Synthesis and Photophysical Proper- ties of Asymmetrically Tetrasubstituted Pyrene De- rivatives with Electron Donors and Acceptors アントラセン部位を持つチアカリックス [4] アレー ン誘導体の光化学反応 Synthesis and fluorescence emission properties of novel pyrene-based blue light- emitting monomer	第27回基礎有機化学討論会 広島市 2016年9月 第46回 複素環化学討論会 金沢市 2016年9月 The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日
○Nakashima Takahiro, Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of 1,3- diarylpyrenes	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日
○Noda Yuki and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of extended π - conjugated giant molecules based pyrene	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Saga University (Saga), 2016年11月1日
○Chong Wu and Takehiko Yamato	Triazole-Modified Hexahomotrioxacalix[3]arene as Fluorescent Chemosensor for 2,4,6-trinitrophenol (TNP) Explosive Through CH Hydrogen Bonding In- teraction	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日
○Chuan-Zeng Wang and Takehiko Yamato	Regioselective substitution at the 1,3- and 5,9-positions of pyrene for the construction of small dipolar mole- cules	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Saga University (Saga), 2016年11月1日
○Akisumi Ageno, Jiang-Lin Zhao and Takehiko Yamato	A Rare and Exclusive Endoperoxide Photoproduct De- rived from Thiocalix[4]arene Crown-shaped Deriva- tive Bearing 9,10-Substituted Anthracene Moiety	The 7th Liaoning University-Saga University Joint Seminar (Interna- tional Seminar, Liaoning University, (Shenyang, China), 2016年12月8- 9日

Yoshitaka Matsuda, Takenao Sugi, Satoru Goto and Naruto Egashira	Construction of Remote Operation System for a Mobile Robot with Vision System based on Automatic Template Generation	Proceedings of The Twenty-Second International Symposium on Artificial Life and Robotics 2017 (AROB 22nd 2017), The Second International Symposium on BioComplexity 2017 (ISBC 2nd 2017), B-Con Plaza, Beppu, Japan, January 19-21, 2017, pp.467-470, 2017.1
中島大弥, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 野平晴彦, 久保田有一	ICU 記録脳波における律動性デルタ活動の特徴抽出	2017年日本生体医工学会九州支部学術講演会, 九州大学伊都キャンパス, 3B2, p. 42, 2017年3月4日, 2017年3月
東明純輝, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 野平晴彦, 久保田有一	ICU 記録脳波における異常波検出システムの判定精度向上	2017年日本生体医工学会九州支部学術講演会, 九州大学伊都キャンパス, 3B1, p. 41, 2017年3月4日, 2017年3月
大庭尚之, 後藤和彦, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤 聡, 池田拓郎, 山崎貴男, 飛松省三, 後藤純信	視覚誘発電位頭皮上分布の特徴解析システム	2017年日本生体医工学会九州支部学術講演会, 九州大学伊都キャンパス, 2B3, p. 35, 2017年3月4日, 2017年3月
河原諒治, 杉剛直, 松田吉隆, 後藤聡, 木暮貴政, 白川修一郎	シート型体振動計を用いた睡眠時の心拍・呼吸情報の抽出	2017年日本生体医工学会九州支部学術講演会, 九州大学伊都キャンパス, 1A2, p. 18, 2017年3月4日, 2017年3月

(9) 国際共同研究の実施状況

研究者代表	研究参加者	研究題目	研究期間	経費の出所
房安 貴弘	【ドイツ】ハンブルク	ヒッグス粒子の詳細測定に向けた検出器モジュールの開発研究	平成28年11月2日～平成28年11月16日	佐賀大学研究者海外派遣事業
山内 一宏	【カナダ】バンクーバー	ミュオン照射実験により層状物質 Y2C と超伝導体 La-1111-H 材料の物性評価		
高橋 智	【フィンランド】ユバスキュラ	宇宙論に関する研究		
高橋 智	【ポーランド】ワルシャワ 【フランス】パリ	宇宙論に関する研究		
高橋 智	【オランダ】ユトレヒト 【イタリア】トリエステ	宇宙論に関する研究		
高橋 智	【フィンランド】ユバスキュラ, ヘルシンキ	インフレーション宇宙に関する研究		
高橋 智	【韓国】ポハン	インフレーション宇宙に関する研究		
高橋 智	【カナダ】モントリオール	カナダとの二国間交流事業に関する共同研究		
岡崎 泰久 (参加者)	【韓国】群山市	二国間交流事業共同研究 (代表者: 三島伸雄教授)	平成26年7月1日～平成28年6月30日	受託事業費 (日本学術振興会)
富永 昌人	【インドネシア】	JST 二国間交流事業共同研究	平成26年7月1日～平成28年6月30日	受託事業費 (日本学術振興会)
富永 昌人	【インドネシア】	微生物燃料電池に関する研究	継続中	
富永 昌人	【インド】	ナノカーボンに関する研究	継続中	
富永 昌人 (参加者)	【フランス】グレノーブル大学	グルコースバイオ燃料電池に関する研究 (代表者: 岡山大仁科准教授)	継続中	戦略的国際共同プログラム (IST) 日本-フランス (分子技術)
高椋 利幸	【フランス】リール第1大学	イオン液体の物性に関する研究		
海野 雅司、 藤澤 知績	【米国】オクラホマ州立大 W. D. Hoff	光受容タンパク質の反応機構研究		
海野 雅司、 藤澤 知績	【豪州】RMIT 大 E. W. Blanch	表面増強ラマン光学活性分光の開発		
藤澤 知績、 海野 雅司	【米国】ミシガン州立大 C. A. Kerfeld	カロテノイドタンパク質の反応機構研究		
大渡 啓介	【インドネシア】ガジャ・マダ大学 Jumina	Synthesis of C-Arylcalix [4] resorcinarene Nano Particles from Clove Leave Oil and Their Application as Adsorbent and Extractant for Heavy Metal Cations	2004～継続中	なし

研究者代表	研究参加者	研究題目	研究期間	経費の出所
大渡 啓介、 川喜田英孝	【ドイツ】 ドレスデン工科大学 Jan J. Weigand	レアメタル回収のための高効率試 薬の開発	2014～継続中	H27, 28工学系研究科長経費研究活 性化事業「中期計画推進経費」 Erasmus + 2014 - 2016, 2017 - 2019
宮良 明男	【台湾】	地中熱交換器に関連する研究		
和久屋 寛 (参加者)	【韓国】群山市	二国間交流事業共同研究 (代表 者: 三島伸雄教授)	平成26年 7月 1 日～平成28年 6 月30日	受託事業費 (日本学術振興会)
大津康徳	【アメリカ】 ウェスト・バージニア 大学 J. Schulz 博士	高周波プラズマに関する研究	2015～継続中	なし
柴 錦春	【中国】上海	軟弱地盤の掘削による地盤変形に 関する国際共同研究		
柴 錦春	【中国】上海	粘性粘土地盤に関する研究		
柴 錦春	【中国】上海市	盛土挙動予測に関する研究		
柴 錦春	【中国】	有明粘土圧密・透水特性に関する 研究		
三島 伸雄	【ミャンマー】	世界展開力		
三島 伸雄	【韓国】群山市	二国間交流事業共同研究	平成26年 7月 1 日～平成28年 6 月30日	受託事業費 (日本学術振興会)
三島 伸雄	【オーストリア】 【チェコ】	まち空間改善に関する研究		科学研究費
大串浩一郎	【モンゴル】	モンゴル・ウランバートル市防災 に関する共同研究		
村松 和弘	【中国】武漢大学	電力用リアクトルの開発	2007～継続中	

編 集 後 記

理工学部はH28年に50周年という節目の年を迎えました。私が赴任して25年ですので、ちょうど倍にあたります。先人の先生方のご活躍とご貢献により、多くの実績が報告され、現在に至っています。ScienTechは32号を数えます。赴任した年のScienTech平成3年度7号はB5版でしたが、小特集として「21世紀の科学・技術と理工学部」が生まれ、伊藤学部長をはじめ、各学科の代表または数名の代表者の連名、あるいは学科名として2、または4頁で寄稿されています。当時は博士後期課程が走り始めたばかりということもあり、その内容は近未来の予想図的なものが多く、夢や希望に溢れているように思えました。ScienTechの他の部分の構成は現在と変わりありませんが、7号では「退職教員より」に寄稿がなく（退職者がいなかったか、寄稿して頂けなかったか!?）、逆に新任教官紹介には15名の方が紹介されていました。32号では4名の退職教員（センターを含む）と5名の新任教員（ただし、27年度採用の方が3名）でした。このことだけでも大学の現状や時代の流れが汲み取れます。しかし、予算減という名目のもとに雇用の切り捨てや研究費削減が自明のように行われ、いとも簡単に負のスパイラルに陥りかねない時代だからこそ、先生方の内外におけるご活躍はたいへん重要であり、それらを記録する本誌の役割もまた重要です。

7号への寄稿者ならびに編集委員は錚々たるメンバーであり、時代の流れを感じずにはいられません。たいへんな時期にバトンを受け取ってしまいましたが、今こそ真価が問われているのかもしれませんが、悪あがきとなっても次の世代に少しでも負担をかけないように、足掻いていきたいと思っています。

末筆ながら、ご多忙の中、32号にご寄稿いただきました先生方、校正と編集にご尽力いただきました編集委員の先生方に心よりお礼申し上げます。

（集報・サイエンテック編集専門委員会委員長 大渡啓介）

平成28年度工学系研究科
集報・サイエンテック編集専門委員会

委員長 房 安 貴 弘 (物理科学専攻)
委員 中 村 健 太 郎 (数理科学専攻)
木 村 拓 馬 (知能情報システム学専攻)
小 山 田 重 蔵 (循環物質化学専攻)
長 谷 川 裕 之 (機械システム工学専攻)
福 本 尚 生 (電気電子工学専攻)
根 上 武 仁 (都市工学専攻)
矢 田 光 徳 (先端融合工学専攻)

平成29年度工学系研究科
集報・サイエンテック編集専門委員会

委員長 大 渡 啓 介 (循環物質化学専攻)
委員 加 藤 孝 盛 (数理科学専攻)
房 安 貴 弘 (物理科学専攻)
上 田 俊 (知能情報システム学専攻)
泉 清 高 (機械システム工学専攻)
三 沢 達 也 (電気電子工学専攻)
根 上 武 仁 (都市工学専攻)
住 隆 博 (先端融合工学専攻)

平成29年11月30日 発行

編集兼
発行者 〒840-8502 佐賀市本庄町1
佐賀大学大学院工学系研究科

印刷 (株)昭和堂
〒849-0932 佐賀市鍋島町八戸溝1449-2

